ミルコvsヒョードル戦を、もうやるしかない！

平成15年1月21日第三種郵便物認可　平成15年6月26日発行（毎月第2・第4木曜日発行）　第5巻・13号・通巻96号

REBORN PRIDE.26
6·8 横浜アリーナ
藤田が
"中西学"になった日……
ヒョードル、
マジで強すぎた！
REBORN
PRIDE.26
JUNE 8 SUNDAY at YOKOHAMA ARENA
撮影◎佐久間立秋（望遠）

「元気があれば勇気が沸いた。藤田、出てこーい!!」

王者の風格が藤田を呑み込む

▲アントニオ猪木がメイン前にいつものテーマ曲で登場。マイクを握り、「元気ですかーっ! 元気があれば勇気が沸いた。藤田、出てこーい!!」と絶叫

▶師匠・猪木の呼びかけに応じて入場してきた藤田。すでに「臨戦態勢」と言わんばかりに裸で入場してきた

▶後から入場してきたヒョードル。落ち着いた表情ながら、まるで狩人のように鋭い眼光でリング上の藤田を見つめた

▼ヒョードルの鋭い右フックが藤田の顔面を襲う。ガードの上からでも効きそうなキツイ一発だ

ⒸEssei Hara

▼タックルから足を取ってなんとかテイクダウンをしようとする藤田だが、ヒョードルは驚異的な足腰の強さで倒れない

腕を回し静かに睨むヒョードル

▲しばらくスタンドで間合いを計るように見合った後、ヒョードルはガードを下げ、腕を小さく回す。気合いが入っている証拠か

藤田をロープ際に詰めたヒョードルが左のパンチにいくと、藤田の右フックがカウンターとなってテンプルに！　ヒョードルの身体が左右に大きく揺れる。藤田に大チャンス到来！

▶足下がおぼつかないヒョードルの手が、藤田に抱きつこうと宙を泳ぐ。ヒョードルといえどもパンチが急所に当たれば効く。やはり、人間だったのだ

▼藤田は組まれるとすぐに投げでテイクダウンを奪い上になる。しかし、ヒョードルは恐るべき回復力で立ち上がり再びスタンド勝負に

©Essei Hara

惜しい。惜しかった。あとチョットで藤田はヒョードルに勝つチャンスがあった。試合は立ち技の打撃戦。これが『プライド』新時代の闘いなのだ。

藤田のパンチがヒョードルの左の目の上あたりにヒットする。体勢が崩れた。明らかに効いていたし、その証拠にあのヒョードルが流血。普通は「あれで勝負あった！」になるはずだった……。

攻めきれなかった。畳み掛けられなかった。詰めを欠いた。それとも藤田にスタミナがなかったのか？ 獲物を狩りする時の一気の強襲。電光石火の止め。そのいつもの藤田らしさが出なかった。

こういう時、ポーカーフェイスの男は底力を発揮する。逆に闘志に火をつけてしまったのだ。静かなる男、サイレントファイターの怒濤の大逆襲。それも一瞬の出来事だった。一寸先は闇か、そうでなかったら紙一重という名の天国と地獄か？ いったいどっちなのだ。

え？ あれ？ そうだ。これって攻防があったのだ。実に見事なまでのプロレス的展開。これをプロレス的と言わなくて、なんと言うのだ。しかし、しかしである。

敗者には何もない。何があると言うのだ？ それが、それが『プライド』のシビアな現実なのだ。

そこが『プライド』とプロレスの決定的な違いでもある。その意味ではこの一戦は、最も『プライド』らしさを見せつけた名勝負と言える。最後、ヒョードルは必死だった。「こいつをオレが殺らなかったら、オレが殺られてしまう」という恐怖感。あの無表情な男から結果的にそれを引き出した藤田という男もまた凄いと言える。

ただ、やっぱり、どこまでいっても敗者には何もない。これから藤田は何をすればいいのか？ 何をするにも説得力がなくなってしまったというもう一つの現実。

厳しい。残酷すぎる。救いがない。試合前、藤田には勝算があったはずである。タイプ的に「与（くみ）しやすし」と戦力分析したから、ヒョードル戦に対して真っ先に手を上げたのだ。

その理由はミルコのように純然たる打撃ファイターではないからだ。だが、その読みは通用しなかった。ヒョードルには常識では計りがたい計算外の意外とも言える打撃のセンスが隠されていた。

パカーン。一発で決まった。でも先に一発食ってヨロッとしたのはヒョードルのほう。それも打撃がスペシャリストではない藤田から食ったことを考えると、ヒョードルの打撃は完璧とは言えない。

ミルコはそれを頭にインプット

静かなる男の闘争本能に火がついた

▶さらに追い打ちの左フック、右ストレートでアゴを打ち抜かれた藤田は前のめりに崩れ落ちる

ヒョードルの起死回生の左ミドルが藤田の脇腹に突き刺さる

©Essei Hara

脱兎のごときスピードで藤田のうしろに着いたヒョードルは、そのまま一気に首を絞め上げる。完璧なチョークスリーパーに藤田なす術なくタップ

「殺らなければ殺られる」

したはずだ。ところで試合があった日の朝、日刊スポーツのBATTLE面を見ると、中西学の直筆の言葉がでかく載っていた。

「殴られるのは嫌だし蹴られたら痛い。KOされて気を失うかもしれない。血ゲロを吐くかもしれない。骨も折れるかもしれない。だけど、そういう思いをして21世紀のプロレスってものを見せる」

私はこの言葉にしびれた。お前はそこまで自分をカミングアウトしたのか？　突き抜けている。

また、こうも書いている。

「藤田戦で一歩踏み出したけども う一歩踏み出すなら、まったく違うものに踏み込みたかった。大きなことを達成するには痛みのある挑戦をして、火の中にも飛び込まないと。だからタックルも、投げもグラウンドもない、厳しい世界にと思った……」（原文まま）

これを見た時、私は「藤田はヒョードルに勝てない、負けるな」と思った。5・2東京ドームで中西は藤田にボロボロにされた。

屈辱的敗北。手も足も出なかった。子供扱いされた。あれは格闘技の世界では再起不能に近いダメージ。イメージダウンだった。

そんな中西が底無しの地獄へと自分から落ちていく決心をしてしまったのだ。みんなから馬鹿と言われ続けてきた中西も、そこまでいったら本物だ。K—1ジャパンのリングに出ていく中西は、この一点では藤田に勝った。

完全に一矢、報いたと言える。だから私は今回の『SRS・DX』の表紙は、中西にしようと考えていた。表紙のコピーは『この男の生き方によって、世界は劇的に変

わる。その時が今、来た！」とい

紙一重という名の天国と地獄。

藤田、天国から地獄へ 藤田、お前も中西になれ！

あわや大金星という展開から、一気に地獄に落とされた藤田。しかし、藤田の一発は完全無欠と思われたヒョードルの牙城に風穴を開けたのは確かだ

紙一重の激戦を制したヒョードルは、藤田の腕を取り健闘を称えた。藤田の顔には悔しさがにじんだ

▲リングに上がった猪木は、「いい試合だった。とても興奮した」と藤田に声を掛けた

★第7試合/メインイベント（1R10分、2、3R5分）

○E・ヒョードル〈ロシア/ロシアン・トップチーム〉 × 藤田和之〈日本/猪木事務所〉●

（1R4分17秒、裸絞め）

わる。その時が今、来た！」といった感じのものである。

それは幻の表紙に終わった。中西的生き方の中には我々、現代人に対するヒントがある。もはやいい格好をしている場合ではない。

それはプロレス界の住人に特に言わなければならない。今回の藤田がそうだ。あんな決定的な負け方を、誰が予想できただろうか？

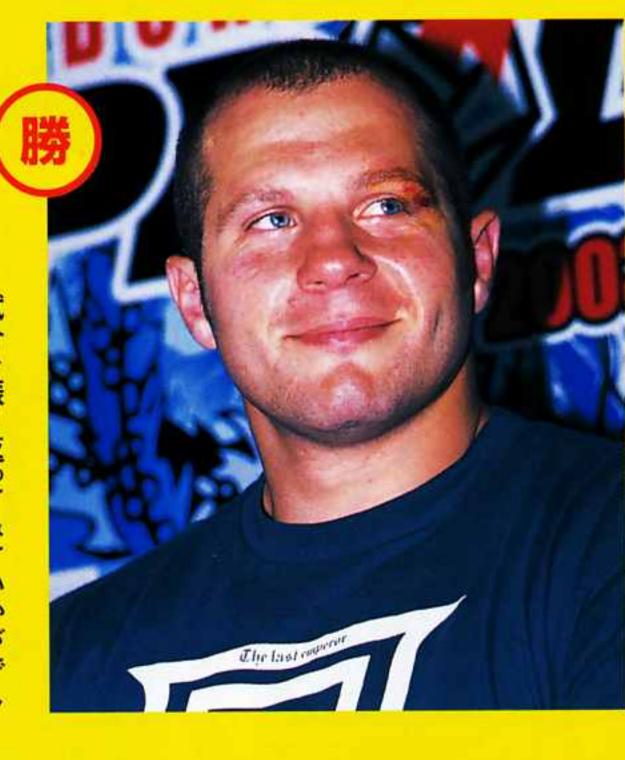
中西が6月29日、K―1ジャパンのリングでなるかもしれない悲惨な出来事を、藤田が先にやってしまったのだ。この一点で私は中西と藤田の間には、なんの違いもないと思っている。

中西は負けることを初めから覚悟しているのに、藤田は勝つ自信があって試合に臨んだ。あるとしたらその違いぐらいだ。ヒョードル戦の試合リポートに中西のことを出されるのは、藤田としては許せないことかもしれない。

『プライド』のレベルはまたしても上がった。勢いのあるものだけが生き残れるリング。それは実力があってこその話。しかも強さを維持できる期間は極めて短い。

最強という称号がこんなに賞味期限が短くていいのか？　最強は基本的に短期政権でしかない。ここに『プライド』の最大の真理があるのだ。つまり勝ち続けているもの、負けていないもの、常勝チャンピオンは、いつか近いうちに誰かに簡単に負けてしまったり、その立場を取って代わられる。

それが〃ＲＥＢＯＲＮ〃……生まれ変わるの意味かも。それが分かっていたら残された我々の道は中西になるしかない。藤田、お前も中西になれ！　（ターザン山本）

ヒョードルのコメント 勝

――試合を振り返ってみていかがでしたか?

ヒョードル　フジタサンは、とても強いファイターでした。最初の10分間であんなにパンチが速いとは思っていなかったので、それがちょっと私のミスでした。

「あんなにパンチが速いとは…… ちょっと私のミスでした」

――強いというのはどの部分で?

ヒョードル　まず言えることは、彼は体力的に凄く強いということです。

――藤田VS中西戦をご覧になっていると思うんですが、あの時の藤田選手と比べてみて、いざ闘ってみて全然印象が違ったということですか?

ヒョードル　私との対戦に向けて、準備を凄くしていたと思います。私の弱点も強い点もいろいろ研究していたと思います。彼はナカニシ戦の時に比べてずっと体力的にも強くなっていたと思います。

――藤田選手の弱点はどこだと思ってましたか?

ヒョードル　闘いの後半で腕の動きが弱まってくるという弱点がありました。速さも失ってきていました。

――藤田選手のパンチでちょっとふらついたように見えたシーンがあったんですが、あのシーンはどうだったんですか?

ヒョードル　パンチは効いてましたが、素早く立て直すことができたと思います。まあ闘いではよくあることですから。

――ミルコ選手は、「もし藤田選手の打撃が強ければ藤田選手が勝てたんじゃないか」と言ってましたが。

ヒョードル　力強い打撃というのではなくて、ポイントを突いた打撃というのが重要なんだと思います。どれだけ打撃を打つかということではなくて、正確さが大切だと思います。

――ミルコ選手は「あなたにだったら打ち勝てる」と言ったんですよ。

ヒョードル　今度、ミルコ選手と闘うことができることは、私にとって、非常に喜ばしいことです。ミルコ選手はとても打撃が速くて、その辺は良いと思います。次の闘いの相手はミルコ選手になると思いますけれども、彼は凄く良い選手だと思います。

――今日のミルコVSヒーリング戦を見ていたら、その感想を教えてほしいんですけど。

ヒョードル　ヒーリング選手は、自分の動きに終始してしまったんだと思います。ミルコ選手はヒーリングの動きに対して、よく見て動いていたと思います。■

藤田のコメント 負

――試合前に、チャンピオンと闘って今の総合格闘技における自分の力を確かめたいと言ってましたけど、実際闘ってみていかがでしたか?

藤田　うん、あの~強いね。いいね、凄く。最高の舞台で、最強の相手とできて、今のそのショックの感触をしっかりと体に刻みましたんで、気持ち良くREBORNできました。

「最高の舞台で、最高の相手と最高の試合ができた」

――〝いける〟と手ごたえを感じる場面もあったんじゃないですか?

藤田　そうですね。もう、必死です。いや~もう彼は強いですよ。最高の舞台で、最高の相手と最高の試合ができたと思ってますんで。これでまた切り替えて、横浜で藤田はまたREBORNしましたんで、これからも闘い続けます。ありがとうございました。

――次の目標となると、とりあえずチャンピオンと一戦を交えたということで、これから次なる目標に向かっていくということですか?

藤田　目標はいっぱいありすぎるんで、あとは自分の嗅覚に任せて。

――試合後に猪木さんから、試合について何か言われましたか?

藤田　あの~、特にないですけど、「いい試合だった。とても興奮した」とおっしゃってました。

――結果は負けになりましたけど、内容に関しては自分である程度いけたということですか?

藤田　負けましたからね、悔しくないと言ったら嘘ですけど。この結果をきちんと捉えて、正面で受け止めて、これからまた自分の糧として闘いのロードを進んで行きたいと思います。まあ、一番最初に『プライド』に上がった時も言ったように、「人生辛くても笑いながら歩こうぜ」と。笑いながら、笑うと言ってもヘラヘラじゃないんだけども、前向きに歩いていこうと思います。

――ミルコ選手が、もう少し打撃を練習をしていれば、勝てたんじゃないかと言ってましたが。

藤田　う~ん、ありがとう(笑)。ミルコも強くなってますからね。また闘う時があったら、もっと凄い試合ができるんじゃないかなと。ミルコもどんどん進化してますから。■

通常の『プライド』ルールでも強いミルコ。ヒース・ヒーリングを1R3分17秒でKOしてしまった

『プライド』にとっては外敵のミルコ。彼がコールされると観客はブーイングを飛ばした

『プライド』ファンはヒースの入場を大声援で迎えた

▼ヒーリングのタックル＆突進を全ていなす。その華麗な姿は闘牛士のようだった

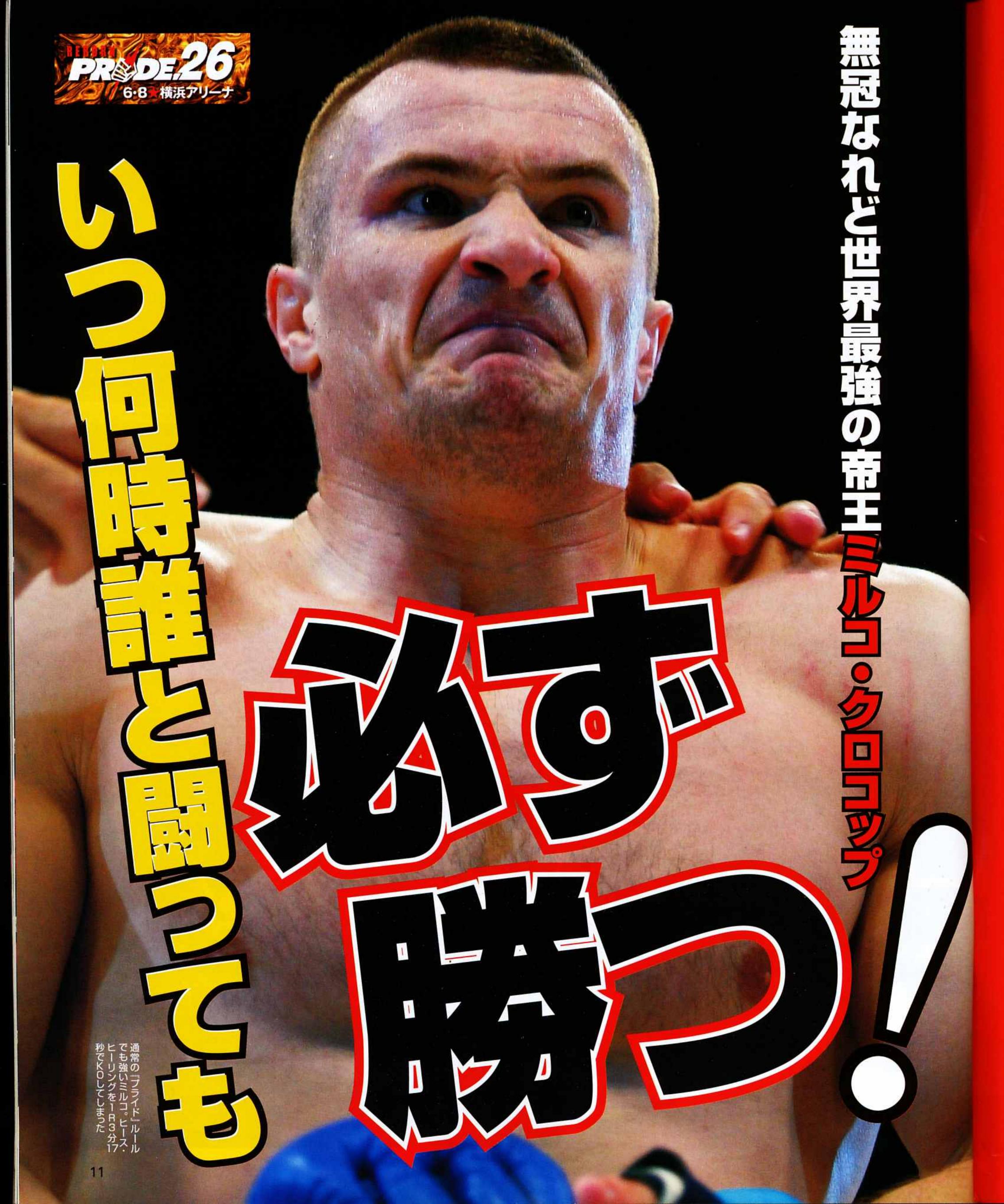
1人で立てないなら手を貸そうか?

一切寝技に付き合わないミルコ。一方のヒーリングも果敢にスタンドでの勝負に挑んでいった

勝負を決めたのはミルコが得意とする左の蹴りだった。ここまでグサリと決まったら立ち上がれないだろう

©Essei Hara

▲タックルを潰して4ポイントのヒザ蹴りまで。ミルコは、やりたい放題

▲左ハイも振っていくミルコ。だが、ヒーリングも右ハイを返すなど最後まで攻撃的だった

▶左ミドルを食らったヒーリングは崩れ落ち、そこをミルコが左のパンチを11連打して試合はストップ。試合後、ア然とするヒーリングを思いやるミルコの姿が印象的だった。王者の風格ありだ

格闘技に詳しい読者の方々なら分かると思うのだが、試合前の勝敗予想でミルコの勝利をあげる記者は誰もいなかった。

なにしろ、相手はノゲイラをかなり苦しめたヒーリングだ。であるのに、そんな相手を自ら指名し、そしてルールも通常の『プライド』ルールを受諾したミルコ。これまで総合は特別ルールしかやっていない彼にとって、これは相当なハンデとなるだろう。

サップに勝利し、最強の名に最も近い男と呼ばれるようになったミルコなのに、なぜ、そんなリスキーなことをするのか？　マスコミ陣は首を傾げずにはいられなかった。もっと楽な相手を選ぶことができただろうに、ルールについてもグレイシー一族のようにゴネることができただろうに、と。

だが、ミルコはそんなことを一切せず、このリング上に立ったのである。最初に断っておきたいのはこのことなのだ。

日頃は傲慢でわがままな男であるが、この日、出場した多くの男たちの中で、もっとも男らしかったのはミルコだったとハッキリ言える。

ところが、入場してきたミルコに対して、客席からはブーイングが起き、一方のヒーリングには大声援が沸き上がる。明らかに〝ミルコ強し〟を意識していたのだ。観客の心にはミルコの強さがざっくり刻み込まれていたのである。

改めて思うが、総合を始める前までのミルコは微妙な選手であった。ミルコ・タイガーというリングネームだった頃も、全然トラらしい雄叫びが上がらず、さらにクロコップに変えてみてもどこか地味。ところが藤田和之に勝ってからはK—1だろうと総合だろうと負けなしの男となり、そして、この日、『プライド』ファンは凶悪なる敵とミルコをみなし、ブーイングを送っている。強くなるとはこういうことなのだろう。

そしてゴングが鳴れば、ヒーリングの突進を全て跳ね返し、足をキャッチすればそのままマットに叩きつけて仁王立ちするミルコ。最初のみ警戒してヒーリングの周りを回っていたミルコだったが、ものの1分もしないうちにマットの中央を占拠し、彼が足を一歩踏み出せば、ヒーリングは後ずさって気付けばコーナーを背にしている状態。勝負はこの時点でもう着いていたと言っていい。

リングの上で相手を目の前にしながら、「ああ、俺は強い」と思っているミルコ。そして、その自信を観客にも痛いほど届かせることができる絶対性が人々の心に畏怖を生じさせる。

★第6試合（1R10分、2、3R5分）

○ M・クロコップ × H・ヒーリング ●

〈クロアチア/クロコップ・スクワッドジム〉〈アメリカ/ゴールデン・グローリー〉

（1R3分17秒、TKO勝ち）

※グラウンドのパンチ連打でレフェリーストップ

「私には大きな夢があります。

それは『プライド』とK−1の両方の王者になることです！」

▲セコンド陣と喜びを分かち合う。身内には優しいのかも
▶試合後、マイクを握ったミルコはK—1と『プライド』のチャンピオンになることを誓った

After the fight

ミルコのコメント

「気持ちいいね。キッチリと『プライド』ルールで勝てたんだからね。ヒーリングは心の強いファイターだったけどファーストコンタクトでボクを捕まえることができないと思ったよ。もし捕まっても脱出できる技術は身に付けていたから問題はなかったね。ヒョードルについては彼は今日、流血もして、同じ人間なんだと思ったよ。ベルトは必ず奪ってやるさ」

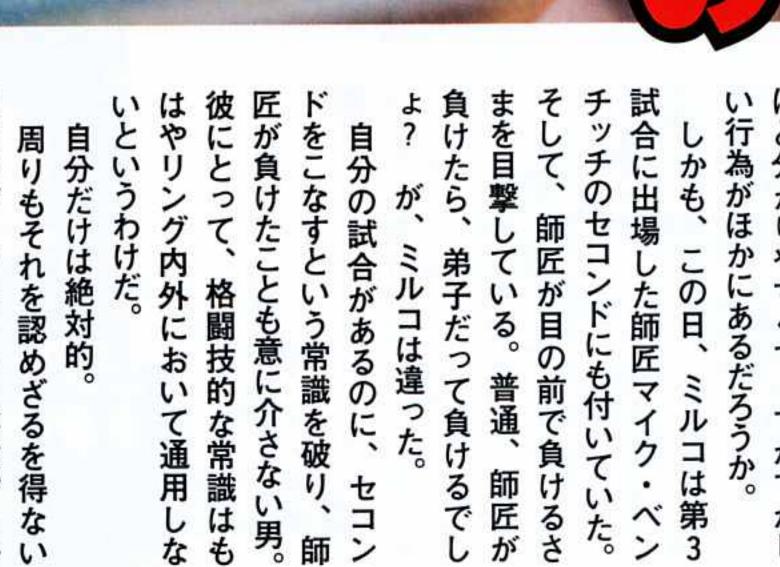
ヒーリングのコメント

「ガッカリだよ。ファンの声援が凄かった。だからこそガッカリしてるんだ。アバラにいいミドルがヒットしたよ。タックルでテイクダウンを狙ったけど、ミルコの動きが速かったんで立ち技でいくことにしたら捕まってしまったよ。最後にファンのみんなに応援してくれてありがとうと言いたい」

今、ミルコ・クロコップは間違いなく世界で一番強い男だ。ルールや相手など関係ない。彼にとっての試合とはリングに上がって、勝ってリングを降りること。これほど分かりやすくて、すがすがしい行為がほかにあるだろうか。

しかも、この日、ミルコは第3試合に出場した師匠マイク・ベンチッチのセコンドにも付いていた。そして、師匠が目の前で負けるさまを目撃している。普通、師匠が負けたら、弟子だって負けるでしょ？　が、ミルコは違った。

自分の試合があるのに、セコンドをこなすという常識を破り、師匠が負けたことも意に介さない男。彼にとって、格闘技的な常識はもはやリング内外において通用しないというわけだ。

自分だけは絶対的。

周りもそれを認めざるを得ないほどのパーフェクトな存在。ミルコはそういう男になったのである。

この日のメインではヒョードルが藤田のパンチを浴びてヒザをグラつかせ、目尻を切られた。それを目撃したミルコは俺なら勝てると踏んだだろう。時代はミルコの思うとおりに進んでいる。

今や、ミルコはどんなルールでも誰が相手でも勝てるという、ファイターとして最高の境地をただ一人歩んでいる。

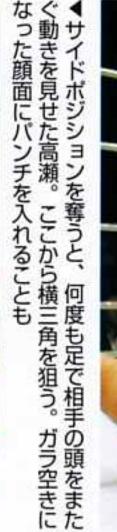
いったい、今のミルコに誰が勝てるだろうか？　この問いに答えはまず出せないと思う。それはとりもなおさずミルコが全ての格闘技の物差しになったということだ。

いつ何時誰にでも勝つ。それを実行できるミルコ・クロコップこそ男の中の男なのである。（ブチ）

PRIDE.26
6·8 横浜アリーナ
崖っぷちで爆発
高瀬大樹
5年ぶりのPRIDEで大勝利
ミドル級GP出場確定か
REBORN!

相手は超格上アンデウソン それでも攻める！ 吠える！

ハーフマウントを奪うと、気合いのこもった表情でアームロックを仕掛けていった高瀬。この時「折るぞ！」と叫んでいた

Ⓒ Essei Hara

▶練習を共にし、プロとしての薫陶を受けた桜庭のイメージカラー、オレンジのコスチュームで入場した高瀬

◀「打撃の練習をしっかりしてたから組み技で勝てた」。アンデウソンのパンチにもひるまずにタックル、そしてテイクダウン

◀サイドポジションを奪うと、何度も足で相手の頭をまたぐ動きを見せた高瀬。ここから横三角を狙う。ガラ空きになった顔面にパンチを入れることも

驚いた。ヒョードルが藤田のパンチでグラついたのにも驚いたし、ミルコのあまりの強さにも驚いた。コールマンVSフライが大凡戦になったのもビックリだ。

でも、この大会で何が一番驚いたかって、それは高瀬大樹の変貌ぶりである。まさにREBORN。リング上には生まれ変わった高瀬がいた。

これまでの高瀬のイメージといったら（あくまで個人的なものだが）〝ふてくされて見せる反抗的な笑い〟が似合うとでもいうか、とてもじゃないがポジティブなものではなかった。

高瀬に対する他の選手・関係者の評価は一様に高い。彼を知る者は誰もが「あの人の寝技は強い。うまい」と口を揃える。確かな能力。ハイレベルなテクニック。だが、それが結果として表れない。試合で観客に伝えることができない。『プライド3』でエマニュエル・ヤーブローを倒した一戦以後、高瀬はファンの記憶に残る名勝負を作れなかった（ケガなどもあったらしいが）。

『THE　BEST』ではジョイユ・デ・オリヴェイラに判定勝ちし、ニーノ・〝エルビス〟・シェンブリには敗れたとはいえ互角の寝技戦を展開した。たしかに高度な攻防なのだろう。だがそれを一般の観客に分かれとというほうが無理だ。だから余計、対戦相手へのクレームを観客に聞こえよがしに言ったり、変に入場に凝ったりというパフォーマンスが鼻に付く。

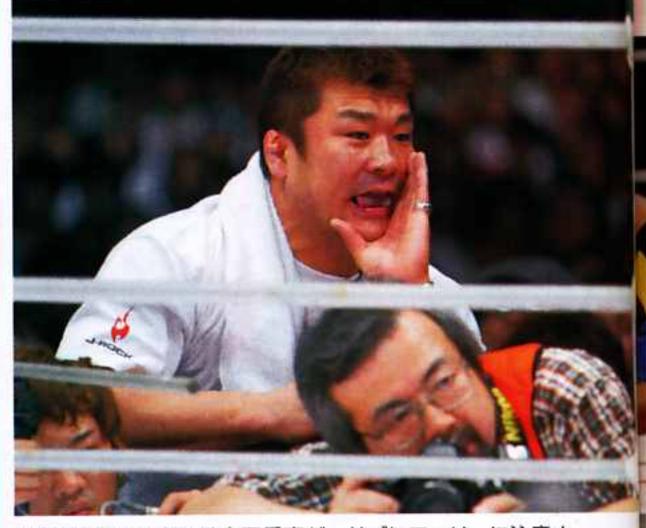
通の評価を言い訳にできてしまうこと。〝渋い脇役〟や〝影の実力者〟という妙に居心地の良さそ

▼マウントを取ろうと大きく動いた高瀬。その瞬間、アンデウソンもリバーサルを仕掛けたが、今度は高瀬がその動きに合わせて三角絞め！完璧、快心のフィニッシュだった

この試合、"ショッパかったらPRIDE即追放マッチ"だった！

"影の実力者"とはもう言わせない溢れる才能、ついに開花！

▲クモにも例えられるアンデウソンのリーチは脅威。予想外の距離からジャブが飛んでくる

▲下になるとフルネルソンで絞め上げ、容易に攻めさせないアンデウソン。高瀬も苦しそうな表情を見せていた

▲高瀬のセコンドには吉田秀彦が。サブレフェリーに注意されながらも、立ち上がって檄を飛ばしていた

うな立場。それがここ一番での甘さを生んだのかもしれない。技術だけの試合→「素人にゃ分かんねぇよ」→もっとマニアックな試合。そんな袋小路にハマっていたんじゃないか。

DSEも、本人が出場を熱望したにもかかわらず『プライド3』以降は高瀬の試合を組もうとしなかった。技術はあるかもしれないけど、ファンを喜ばせる試合はできないだろう、と。強くなるために貪欲で、実力に自信もある高瀬だけに傷付いたはずだ。悩みもしただろう。プライベートでもいろいろとあって、格闘技を続けられるかどうか、という時期もあったという。そしてどこかで、吹っ切れたのだ。

フリーとなったことや、吉田秀彦、桜庭和志との練習も高瀬にとって大きかった。2人の超一流に触れて、影響を受けないほうがおかしいというもの。

新しい環境を得て、5年ぶりの『プライド』出場。周囲からはこう言われたという。

「今度ダメな試合したら、もう2度と『プライド』には出られないと思えよ」

最後のチャンスだった。必死でものにするほかはない。今のオレは違う。絶対に変わってみせる。ファンも主催者も納得する試合を必ずしてやる。

相手はアンデウソン・シウバ。高瀬も「世界最強の1人」と認める強豪である。修斗では桜井"マッハ"速人に完勝してミドル級タイトルを獲得、『プライド』でもカーロス・ニュートンをヒザ一撃で失神させている。負けてはいけな

「ヒーローになってみせる！」

傷付き、悩んだ分だけ高瀬は〝プロ〟になった

同僚の惨敗に大激怒！ヴァンダレイ・シウバがGP1回戦で報復か？

▲完敗を喫して引き上げるアンデウソン。セコンドのヴァンダレイ・シウバは怒りの表情を隠さない

After the fight

高瀬のコメント

「相手は数少ない世界最強の1人だと思ってました。でも全然満足はしてないですね。50点くらい。アンデウソン選手が、実績に差があるのに試合を受けてくれたことに感謝して、彼が望むんだったら、もうちょっと彼と僕が実績を積んでから再戦したいと思います。ミドル級GPに出られるように、みなさんの力を貸してください」

アンデウソンのコメント

「全体的にいい試合だったと思う。相手のグラウンドが強かったね。自分も反省するところがいっぱいあるので、これからもっと練習して強くなりたいと思います。（相手を格下と思った？）そういう気持ちはなかったんですけど、今日は相手のほうが運が良かったということ。とにかく相手のグラウンドが素晴らしかった」

▲賞金プレートを受け取るとこんな表情も。高瀬らしい場面だった

▲「みなさんにもっといい試合が見せれるように、死ぬ気で練習します。そして、桜庭さんや吉田さんみたいなヒーローになってみせます！」。試合後の決意表明はとことん前向き。ミドル級GP出場にも名乗りを挙げた。「出られるように、みなさんお力を貸してください！……すいません、しつこくて」

▲高田統括本部長ともガッチリ握手。今回の高瀬の評価の上げっぷりには凄まじいものがある

★第2試合/（1R10分、2・3R5分）
○高瀬大樹×A・シウバ●
〈日本/フリー〉〈ブラジル/シュート・ボクセ・アカデミー〉
（1R8分33秒、三角絞め）

いどころか、つまらない試合をしてもアウトという立場の高瀬には、あまりにキツすぎる相手だ。

だが、高瀬はやった。これまでだったら無理せず引き込んでいたような場面（で、ズルズル判定へ）で鮮やかにタックルを決めた。長い手足を絡ませて膠着ブレイクを狙う相手に、速攻のハーフマウントを奪う。アームロック。パスガード。横三角。矢継ぎ早に仕掛ける。決して躊躇しない。試合が転がる。前に進む。万単位の歓声がリングを包む。これがホントに高瀬の試合か!?

トドメは三角絞め。自分の動きと相手の動き、その先の先まで読んだような動きは、どんなビギナーファンにも〝届いた〟ことだろう。それができるのをプロというのだ。

この試合で、高瀬は生まれ変わった。ミドル級GP出場も、この内容だったら太鼓判を押せる。アンデウソンのセコンドについたヴァンダレイ・シウバの怒りっぷりからして「じゃあ1回戦でやってみたら……」という期待まで抱かせるほど。まあ、入場テーマ曲にSMAPとか松浦亜弥をリミックスしてみたり、いくら桜庭を尊敬してるからってモンゴリアン・チョップを出したのはちょっとアレだが、もう今日は全然OK。

「もっといい試合が見せれるように、死ぬ気で練習します。そして、桜庭さんや吉田さんみたいなヒーローになってみせます！」

高瀬はマイクを握って、堂々とそう宣言した。ふてくされた薄笑いはもうない。その目は、照れずにまっすぐ前を見ている。（橋本）

『PRIDE.26』大会レポートはP93〜に続きます

アメリカから一時帰国してきた中西をキャッチした谷川K−1イベントプロデューサーがガッチリ握手。あの中西が遂にK−1に出る!

6月8日、アメリカでK−1出陣に備えトレーニングをしていた中西学が緊急帰国。9日の記者会見でK−1参戦が遂に正式発表された。新日本の選手としては初のK−1出撃はマット界でも前代未聞のビッグニュース。2003年上半期の主役となった男のワイルドな叫びを聞け!

撮影◎中島ミノル
聞き手◎小松魔裟夫

鼻が折れようが、眼窩底が折れようが、心が折れなきゃ闘えるんだって

▲6月8日、シリーズ出場のために一時帰国してきた中西を報道陣が囲み、成田会見と相成った

――すいません、帰国したばかりでお疲れのところを。

中西 いやいや、大丈夫ですよ。

――中西さんが、K―1に出場すると聞いて、いてもたってもいられずに来てしまいました。今、新日本がマット界の話題の中心になっている中で、中西選手はその主役かなっていうのは、連日のスポーツ紙面を見ていても分かるんですけど。

中西 はい、ありがとうございます。

――アメリカに行っている間に日本では凄いことになっているんですよ。で、5・2以降なんですけど、中西さんの周囲の環境がかなりガラッと変わったかなという感じがするんですね。

中西 そうですね。今まで踏み込まなかった部分に一歩踏み込んで、そしてやっぱり今まで避けてた、今まで怖かったものがありましたから。今まで痛い思いを避けていたものを、自分から飛び込んでいって受けて。それで、エンセン井上さんからいただいた折れない心っていうものを、自分がどれだけできるか分からなかったけど、試合をやってみれば、心は絶対に折れてない闘いをしてたはずなんですよ。

――ええ。それはファンはみんなそう思ったと思いますよ。

中西 勝てれば一番よかったんだけど。だけど、そういうものに飛び込む前までの俺だったら、最初にパンチもらって鼻がね……、はっきり言ってあの時もう折れてたんですよ。試合終わってから、整体の凄くいい先生がいて鼻の軟骨の位置をいい位置までもってきてもらったから、今こんなふうにキチンとなってるけど。はっきり言って鼻折れてたから、あの一発で。血だらけになってたし。あれで辞めてたかもしれない、それまでの飛び込む前までの俺だったら。だけど、こんなところで辞められないと。鼻が折れようが、眼窩底が折れようが、心が折れなきゃ闘えるんだって！　じゃなきゃ、こうやって飛び込んだ意味ないじゃんって。なんのためにやってるんだって。それは新しい世界に踏み込んで、新しい自分を作ることと、本来もってる自分の強さっていうものを、呼び覚ますこと。そして、俺しかできないことが絶対にあるわけじゃないですか。

――あります、あります。たくさん、あります。

中西 それがやっぱり新日本プロレスを引っ張っていくことになるから。それをしたかったし、俺しかできないと思うし。そういう形では、いちばん何が変わったかって言えば、うちの練習の中にバーリ・トゥードの練習を今まで以上に取り入れて、それで先輩後輩入り乱れてやっているんですよ。そういうしのぎ合いが出てきたから。それがシリーズの中でもぶつかり合い、しのぎ合いが続いているんですよ。

――巡業中もですか？

中西 巡業中もやってるし、試合でもやってますよ。中だけの刺激でやってますよ。このまま変にあぐらなんてかいてたら、取り残されちゃうって。べつに新日本が休んでたわけでもないんだけど、みんなが上に行っちゃうもんだから、自分たちは取り残されてるっていうことになっちゃうから。だから、みんな危機感出てきたよね。それと俺の試合がいい刺激になったし。まあ、一番の違いはね、何が違ったかっていうと谷川さんからK―1のオファーをもらったってことですよ。

――この前の藤田戦の時は、藤田さんが特別の存在だから、これをやるんだと。他の奴じゃ意味がないっていう言われ方をしたじゃないですか。

中西 そう意味がない。

――でも、今回K―1で用意された相手っていうのは、中西さんにとって、特別な存在でもなんでもないと思うんですよ。それでもK―1というまったく専門外の分野に足を踏み入れようという意志っていうのは、どっから出たんですか。

中西 う～ん、まずは谷川さんがそれだけ俺のことを評価してくれたからこそ呼んでくれたわけじゃないですか。どうでもいい人間は呼ばないわけでしょう？

――もちろん中西さんの価値を評価したからだと思います。

中西 それと、俺も一歩あの藤田戦で踏み出したから、もう一歩踏み出したい。それがまったくプロレスの他の団体とか、こないだ新日本プロレスでやった『アルティメット・クラッシュ』、ああいうようなバーリ・トゥードじゃなくて、もっと難しくて過酷でね。それで自分をもっと追い込めるもの。やっぱりそれはK―1しかないと思う。

――まったく未知の領域ですよね。

中西 まったく未知の領域ですね。「お前にいったい何ができるんだ」って言われたら、ほんとボコボコにされてサンドバッグになると思う。サンドバッグになってもおかしくないもん。

谷川さんに俺を評価してもらった。だからこっちも正々堂々とお受けしますと

——まあ、そういう可能性もあるかもしれませんけど……。

中西　だけどさ、サンドバッグになることが怖かったら、K—1は出ません。それも覚悟の上です。そんな1カ月やそこらで、K—1の選手と対等に闘えるなんて、到底思ってません。だけど99％向こうに試合をコントロールされるかもしんないけど、最後の1％はね。今まで俺はレスリングやってきた、プロレスもやってきた、掴んで投げた。99％違うわけじゃないですか。でも、その1％っていうのは、絶対共通するものがあるわけですよ、K—1でも。それはやっぱり折れない心だと思うんですよ。その折れない心を前面に出していきたいし、それでいくしかないじゃないですか。俺、チャレンジャーですから、まったくの。

——折れない心っていうのはどんな格闘技にも共通してる部分ですよね。

中西　だからそれを前面に出していって、引かない自分を見せたいし。それが挑戦者じゃないですか。勇猛果敢に。攻める練習しかしてないから。守ることをやるんじゃなしに、基本的なことで前に出ていく、それくらいしか1カ月でできないですよ。

——今度は相手うんぬんではなくて、自分の挑戦する姿をファンに見せたいというか……。

中西　ファンに見せたいっていうよりも、前回の藤田戦……藤田も凄いパンチ強かったけど、それよりも絶対パンチ力なんて爆発的にあるわけですよ、K—1の選手なんていったら。そいつらの中に入るっていうのは、もっと痛い思いをして、本当に大失神するかもしれない、KOされて。だけどそういう闘いをしないと、そういう痛みが分からないと、伝わらないことってあるじゃないですか。俺はそういうことを伝えていきたい。ファンの人にもそうだし、若いレスラー、同世代の奴にもそうだし。

——なるほど。やっぱり藤田戦を経てないと、ここまで踏み切れないっていうのはあったんですか。

中西　もちろんバーリ・トゥードなら、タックルができるアマチュアレスリングのベースがあるし、関節技もとりあえずやってますから。だけどまったくないじゃないですか、今度は。だから厳しいですよ。でも、それよりも、俺がやりたいからK—1に出られるわけじゃなくて、谷川さんに俺を評価してもらってこういうふうにオファーをもらえたわけじゃないですか。だからこっちも正々堂々とお受けしますと。

——評価してもらったっていうことで、これはもう男として受けなきゃいけないということですね。

中西　もちろんそれもありますし、一歩踏み出た藤田戦、そしてもう一歩出たK—1の試合っていうものをやりたいんですよ。それと、まあK—1の凄さっていうのも分かってるし。ただ、いま自分に一番足りないものは何かっていうことですよ。一番自分に何が足りないかっていうことですよ。

——それが分かったっていうことですか。

中西　それが必要だと思うから、K—1に出るんですよ。

——足りないものっていうのは、例えばどういうことなんですか。

中西　具体的に言えば、打撃に対する経験もそうだし、自分がもっと打撃を出していくっていうこともそうだし。あとは間合いとかもそうだし。そして、一番はK—1戦士と闘うっていうことですよ。やっぱり怖いですよ。

——中西さんでも怖いんですか？

中西　やっぱ怖いですよ。両手両足に爆弾持ってるような……爆弾っていうかミサイルかなんかつけてる奴と闘うようなもんですよ。

——自分の武器はグローブで封じられちゃってるわけですもんね。掴むっていう最大の武器が。ところで、相手の選手の情報っていうのは、全然入ってきてないんですか。

中西　入ってきてないです。

——TOAっていう選手なんですけど、実はTOAも相撲出身で、今回K—1デビュー戦なんですよ。言ってみれば、向こうも素人には違いないんですけどね。

中西　でも、立場としてはかけ離れてると思うよ。だって、彼はずっとその練習をしてるわけじゃない。

——いや、たぶんそんなにもしてないと思うんです。まだ間もないらしいんですけど。体格が192センチの138キロで。けっこう胸板厚かったですけどね。

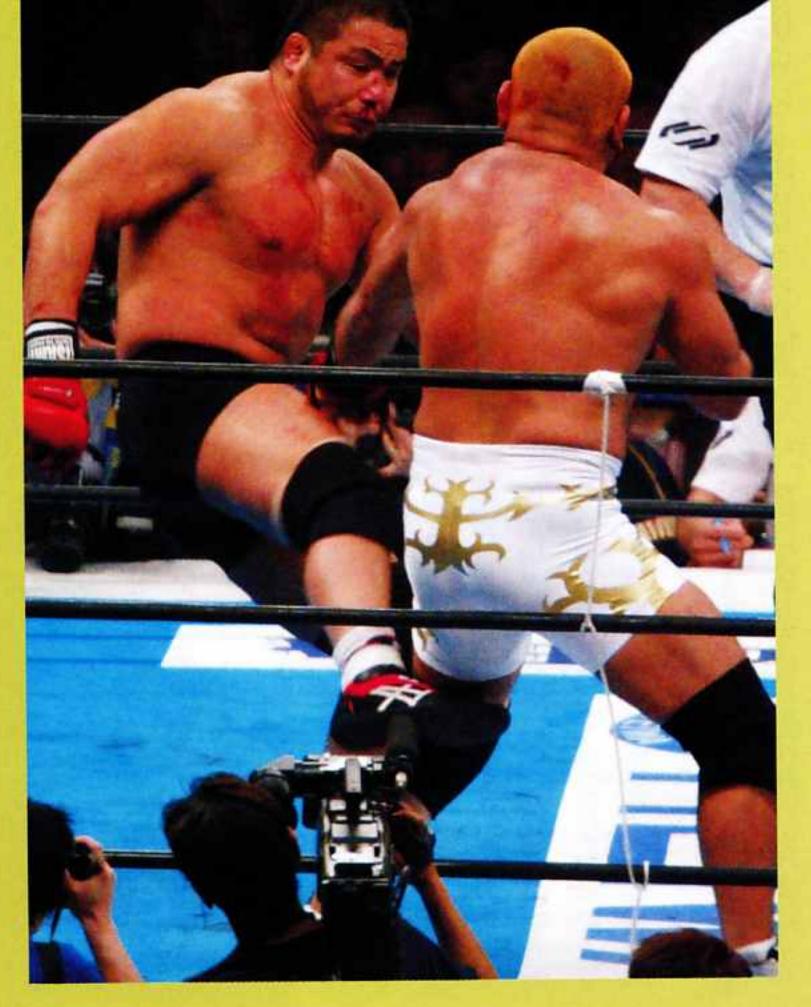
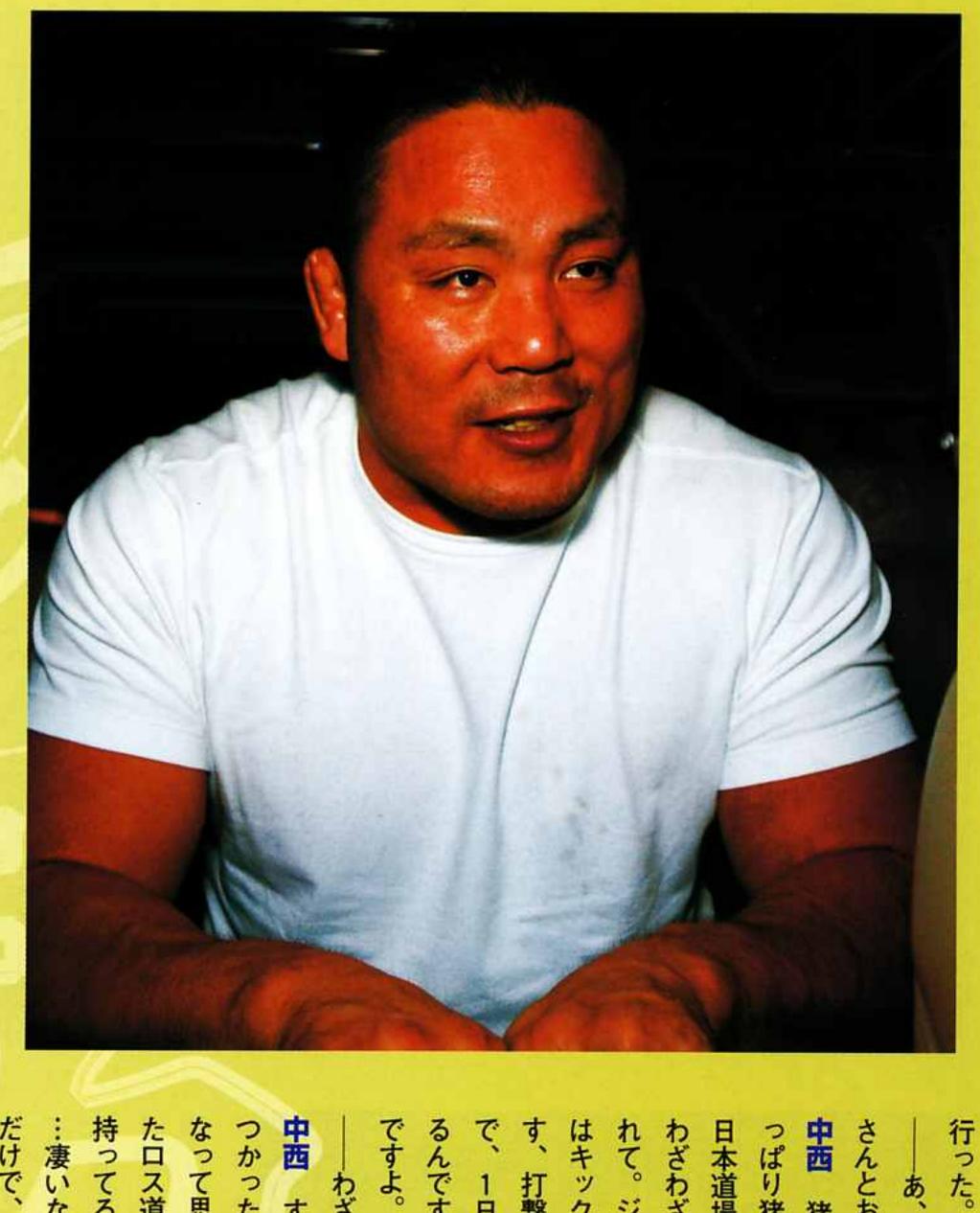
中西　俺は1週間ロスでやってきたっていうことだから、それで彼と比較するのは申し訳ないよ。凄くない選手をK—1のリングに上げるわけないじゃない。俺もたしかにK—1デビュー。同じデビューだけど、でも違うよ、全然。

——そうですかねぇ。

中西　全然違います。

——たぶん、狙いとしては日本の野獣とサモアの野獣っていう。格闘技の原点というか、そういう技術じゃなくて殴り合いを見せようっていうのが、K—1としてはあると思うんですよ。なので、技術的には2人ともそんなに高いものじゃないけど、持っているものの凄さっていうのを出させようっていう狙いがあると思うんですよね。それは肉体的なものでもあるし、折れない心でもあると思うんですけど。

中西　まあ、現時点で1週間しかやってない俺がそのことに関して、長く話すことはK—1に対して凄く失礼だと。それにね、これは俺にしかできないことをや

5・2で藤田と対戦した中西。ここで、エンセン仕込みの折れない心が培われた

チープすぎるんだよ、野獣とか野人っていうのは。じゃなくてワイルドですよ

るっていうモットーでやっているから。なんて言うかな、人は俺を称してさ、今言ったみたいに野獣だとか野生児だとか野人だとか言うけど、そういうちっぽけなもんじゃなくてさ。現代社会で考えられないような凄いことを、平気な顔してやってしまう。現実では考えられない、そういうワイルドさ。何をしでかすか分からない可能性。現代社会の中で人間が忘れてしまっているようなものを本来人間って持ってるんですよ。それを一番出せるのが俺なんですよ。そういう意味でのワイルドっていうものを出していきたいですよ。

――野人とワイルドって同じ意味にも聞こえるんですけどね（笑）。

中西　いや、この試合もそうだし、今後もそう。ちょっとちっぽけ過ぎるんだよね。チープすぎるんだよ、野獣とか野生児とか野人っていうのは。じゃなくてワイルドですよ。

――じゃなくてワイルド！

中西　ワイルドってなんなんだって言ったら、凄いことを平気でやってしまう、そういう可能性を持ってるってことですよ。でも、それはやっぱり俺にしかできないことだし、みんながみんな自分にしかできないものを出してほしい。

――それを引き出すにはK―1っていう刺激が必要っていうことですか？

中西　外の刺激は絶対必要。

――なるほど。刺激ですか。じゃあ、アメリカに行った理由っていうのは、とりあえず刺激となる総合格闘技の練習を続けようっていうことだったんですか？

中西　いや、もうズバリK―1のために行った。

――あ、そうなんですか。向こうで猪木さんとお話はされましたか？

中西　猪木さんはいないんですけど、やっぱり猪木さんが作ってくれたロスの新日本道場、そこに行って、シアトルからわざわざジョシュ・バーネットが来てくれて。ジョシュ・バーネットはもともとはキックボクシングからきた選手なんです、打撃の。だから僕にあった指導方法で、1日3回の練習を付き合ってくれてるんですよ。ずっと指導してくれてるんですよ。

――わざわざシアトルから。

中西　すっごいきつかった。すっごいきつかったけど、やっぱりジョシュは凄いなって思うのと、猪木さんが作ってくれたロス道場はすげえ。それと猪木さんが持ってる、信頼されてるコネクション……凄いなって。俺がロスに来るっていうだけで、ジョシュ・バーネットが来てくれるんだよね。何百人っていう生徒がいて、いくつもクラスを持ってて、指導員として、そしてまた現役っていう多忙な選手ですよ。その選手が来てくれるんですよ。しかも個人レッスンですよ。

――わざわざ中西さんのためにですよね。

中西　考えられないですよ。個人だったらいくら金かかんの？　って感じですよ（笑）、ホント。俺も生半可なことするつもりはないけど、それ以上にぶっ倒れるまでやりたいな毎日って、そういうふうに思いますよ。

――ぶっ倒れるまで。

中西　ぶっ倒れるまで彼と練習やりたい。そうしないと申し訳ない。普通にやるだけでも、彼は軽くやってるだけでも元打撃の選手だから鼻血も出ますよ、口も切れますよ。今も目の下とかも黒くなってますし（笑）。やっぱ凄いですよ。それがハンドレットパーセントの力じゃないんですから。軽くちょんちょんちょんと当ててるだけなのに。蹴りもやっぱり凄いっすよ。

――エンセンさんのジムであれだけキツイことやって、で、今度はまたジョシュとやるっていう。ここ何カ月間はキツイ道を辿っていますねぇ。

中西　じゃないと得られないものもあるし、じゃないと安心してみんなついてこれないんじゃないかな。死に物狂いでやってる奴にやっぱついてくるんじゃないかな。

――それが先ほど言われた、新日本を俺が引っ張っていかなければいけないっていう気持ちというか……。

中西　もちろん俺が新日本の代表だっていう気持ちがあるし。この前、ホテルオークラで猪木さんと2、30分話した時に、人生は挑戦だよって。いろんなところに踏み込む勇気だよって。そしてそれがいろんな人に賞賛されて、人を引きつけるんだと。一言もう「新日本プロレスはもうお前に任した」と。で、僕はいろんな言葉を並べるんじゃなくて「はい」ってひとこと言って、その答えがやっぱりK―1に挑戦するってことだし、ロス道場でぶっ倒れるまで練習するってことですよ。俺は口はうまくないから。

――行動で示すしかない、と。

中西　行動で、闘いで、リングの上で。猪木さんがやってきたように。

――今まで猪木さんとの接点ってそれほどなかったんじゃないですか。そういうふうに評価されたっていうのは、嬉しかったですか？

中西　まず、猪木さんと2人っきりで時間をとってしゃべれるなんていうのは、

「新日本プロレスはお前に任した」と。その答えがK－1に挑戦するってこと

本当にごくわずかな人間ですよ。しかもそれが2、30分なんていうのも考えられないことです。

——なるほど。中西さんは引っ張る立場だと思うんですけど、これからは自分のように他の選手も外にどんどん出ろって感じですか。

中西　いやぁ～、自分にしかできないことをやればそれでいいと思う。ただ、みんなが同じ方向性にいくのは俺は好きじゃない。

——それぞれ自分にあったものを見つけろっていうわけですか、自分にしかできないものを。

中西　俺なんて不器用だからさ、本当に体張るしかできないけど、逆に器用な奴は器用な奴にしかできない挑戦の仕方をしてほしい。みんな挑戦してほしい。

——これからは新日本は総出で挑戦していかなきゃいけないってことですね。

中西　うん。

——今まで新日本っていろんなところから挑戦を受けてた立場の団体じゃないですか。

中西　はい。

——それがやっぱり打って出ていくというふうに姿勢を変えなきゃいけないってことですかね。

中西　しかしながら、そういう姿勢が実れば、また挑戦してきますよ、うちにどんどん。本来の姿に戻ると思いますよ。

——それは楽しみですね。でも、初めて中西さんが自分を自分でプロデュースしたっていうように感じるんですよ、今回のK—1は。自分の意志で決めたっていうことで、そこが今回は重要かなって、思うんですけども。

中西　自信を持ってこれから、俺もそうだし、そしてうちの新日本プロレスの選手も、できることでいいから、自分で自分をプロデュースしていこうって。で、努力することがそれに繋がると思いますから。できることをやろうって。できないことはできないから。自分にしかできないことをやろうよ、やるなら。

——やっぱり5・2の藤田戦は自信になってますか？

中西　う～ん、自信にはもちろんなってる。一歩踏み込めたし。あのとき出したパンチがやっぱりお互いの闘いの中での一番の有効打だったし。実際あいつがもう少しでダウンまで、あと一発入れりゃなったと思うし。あそこでクリンチされたっていうのも、やっぱり……うん。1カ月って時間が短かったけど。今回だって短いんだけどね（笑）。

——短いですよねぇ（笑）。

中西　やっぱり万全にするにこしたことはないけれども、意味のある闘い、意義のある闘いをやりたいから。

——今、出ていかなきゃっていう時ですからね。タイミングですもんね、これは。

中西　自分に足りないものっていうのは、他の刺激で補わないといけないから。

——藤田戦とK—1に共通するのは折れない心っていうか。

中西　そうですね。

——それが今までやっぱりなかったってことですか？

中西　なかったです。ハッキリ言って。怖かったし、臆病だったし。うん。それと、やってみなきゃ分かんないことがいっぱいあるし。だから、それをバーリ・トゥード、K—1のそういうエッセンスを俺は取り入れて、これからもプロレスをしていきたいです。じゃないと21世紀の新しいプロレスはない！

——ということは、K—1が終わったあと何か自分で思い描いていることがあるんですね。

中西　思い描いていることっていうか、俺はプロレスラーですから。主戦場はバーリ・トゥードでもなければ、K—1でもないです。21世紀のプロレスの姿を作るがための挑戦なんですよ。

——バーリ・トゥードにもK—1にも踏み込んでいって、それで新しい21世紀のプロレスを作っていくと。

中西　そのための挑戦なんですよ。36ですけど、肉体は全然10代に負けない。「10代だよ、俺の肉体は」と思ってます。若い頃と全然体の衰えもないです。

——オオ～、素晴らしいですねぇ。

中西　ずっとずっと夢を追いかけていき

中西の対戦相手はTOA。TOAも打撃に関しては素人だが、その肉体の強さは計り知れない

新日本の上井渉外担当取締役と谷川イベントプロデューサーとのホットラインで中西のK—1出陣の話は進んだ

K-1 BEAST II 2003 全対戦カード

ビースト軍団VSジャパン軍団5対5マッチ

スーパーファイト

黒澤浩樹 VS X
〈黒澤道場〉

9・21 K-1 JAPAN GP 2003出場決定戦

天田ヒロミ（TENKA510） VS TSUYOSHI（ボスジム）
グレート草津（チーム・アンディ） VS 堀啓（チーム・ドラゴン）
大石亨（日進会館） VS ノブ・ハヤシ（ドージョー・チャクリキ）
富平辰文（SQUARE） VS 青柳雅英（アイアンアックス）

36歳ですけど、「10代だよ、俺の肉体は」と思ってます

たいし。その夢も今、具体的にこういうふうに口に出して言えるじゃないですか。若い時の夢なんていうのは、そんなに具体化してないけど、場数を踏んでどういうものか実際にやってて分かってくれば、だんだん形になっていくじゃないですか。そして今になって、藤田戦、そしてK－1とチャレンジしてきて、凄い自分で体を追い込む練習をしてきましたから。だから、全然体は衰えないしどんどんどんどん体は良くなってるはずです。そして今、もっともっと気持ちが入ってきてますし、そして心が強くなってるのも分かります。

――これから全盛期に向かっていくっていう感じですかね。

中西 そうですねぇ（笑）。あの～、気持ちは若いっすから、体も若いっすから。

――いやぁ～、ファンも期待してると思うので、本当に頑張ってください。やっぱり勝つところが見たいですからね。

中西 もちろん勝つために練習してるんですよ。ただ、このチャレンジっていうのは、絶対あとで生きてくるっていう確信があるから。その21世紀に繋がるプロレスっていうものを見据えてやってることですから。

――ただ、中西さんがこうやって踏み込んだことで、一気に新日本が再び栄光の時代に入るんじゃないかという気はするんですよね。

中西 本来の姿に戻したいんですよ。そして、さらに飛躍したいんです。それができるのが俺だと思うし、それについてきてくれるのが本当に熱い心を持った奴。折れない心っていうのは俺だけじゃないと思うから。それをもっと素直に出せるように。やっぱりそのためには、しのぎ合いをやらなきゃいけないから。今それをやってるんですよ、みんな。

――先程言われてた、真のワイルド、それと折れない心っていうのは共通するところですか。

中西 そうですね。やっぱり人間って生きていけば我慢しなきゃいけないこともあるし、バランスを取らなきゃいけないこともあるけど、ことリングに上がった時は、スペシャルでなきゃいけないんですよ。こういう現代社会では計り知れない凄いこと、そういう可能性を秘めてないとダメなんですよ。そしてそれを見せないとダメなんですよ。だから、この二つの言葉はそれに繋がりますよね。

――そういうのに一般社会の人って飢えてると思うんですよね。

中西 だから、みんなそれに感情移入してくれるんでしょうね。

――いやぁ～、本当にむちゃくちゃ楽しみですねぇ。一気に2003年の主役をかっさらってください。■

野人・中西学に襲いかかる恐怖のサモアン・ビースト

K−1にTOA(トーア)疾風怒濤の上陸!

6・29K－1ジャパンに新日本プロレスの中西学参戦という衝撃のニュースで、現在のマット界は一色だが、その対戦相手となるのがこの男、サモアンビースト・TOA（トーア）だ。3月30日に行われたK－1さいたま大会でK－1、『プライド』、『WRESTLE－1』への参戦を表明したTOAだが、その実力はいまだ未知数。しかし、192センチ、138キロという肉体を持ち、98年の世界相撲選手権準優勝という実績を考えれば、サップのような脅威的な存在になる可能性は十分にある。一杯食わせ者か、それともK－1新時代の怪物になるのか？　6月29日、その答えはTOA自身が出す！

角田師範も太鼓判

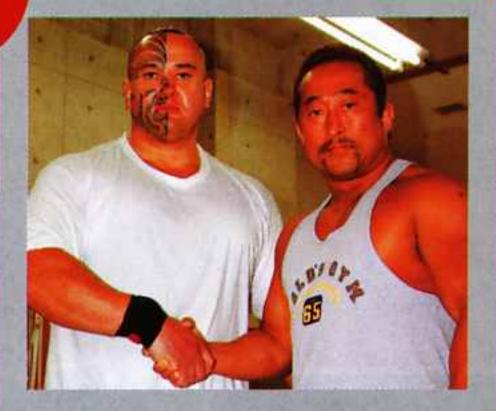
「TOAには怪物のポテンシャルがある！」

サモアン・ビースト、遂にベールを脱ぐ！
6・6TOA公開練習 in BCG

▶この丸太のような腕で思いっきりパンチをぶち込まれたら、中西といえどもひとたまりもない
▼ミット打ちのあとは宮本正明とスパーリング。相撲仕込みの突進力で、宮本に圧力を掛けていった

敵軍総大将・角田師範が熱血指導！

▲ジャパン軍の総大将・角田信朗師範も、TOAに技術指導。角田師範のことをリスペクトしているTOAの申し出により、この顔合わせが実現した。TOAは角田師範の指導により「技術に磨きが掛かった」とコメントした

噂のサモアの怪物TOAが遂にベールを脱いだ！　あの消火器大乱闘記者会見から2日後の6月6日、TOAが麻布十番のBCGで公開練習を行った。敵であるジャパン軍総大将・角田信朗師範が見守る中、パンチ、ローキック、飛びヒザ蹴り、そしてサップのスパーリングパートナーを務める宮本正明とのスパーリングを披露。192センチ、138キロの巨体から繰り出される、凄まじい打撃に集まった報道陣は一様に息を呑んだ。また、見守っていた角田師範も、TOAの潜在能力に惚れ込んだのか、リング上で熱血指導を始め、「ボクシングの動きはボブを初めて見た時よりも上」と高評価を下した。TOAがサップに造反し、敵軍の角田師範に教えを受けるという事態になり、ますます混沌としてきたK―1ジャパン。しかし、この日のTOAのパワーを見る限り、中西との野獣決戦は理屈抜きで楽しめる試合になるはずだ。■

角田競技統括プロデューサーのコメント

「（先日の乱闘騒ぎに関して）谷川プロデューサーのほうには厳重に抗議させていただきました。ああいうパフォーマンスに関しましては、全面的に肯定できません。僕はK−1をスポーツとして守っていくという姿勢を固持していきたい。（TOAに関して）勘のいい選手なんで。ボクシングの動きは初めてサップを見た時よりも良かった。僕がアドバイスできるとすれば、体の長所をもっと増幅させることぐらいです。相撲の強い選手だと聞いていたので、打撃は期待できないかなと思っていたんですけど、あれだけボクシングの動きを使いこなせるのは新鮮な驚きでした。怪物のポテンシャルを持っていると思います」

脅威の必殺技!?　飛びヒザ＆ローキック！

▶そんなムチャな！　サップもやらない飛びヒザ蹴りをTOAは披露してくれた

▶見てみい！　この凄まじいふくらはぎ！　この足から繰り出されるローキックの威力は想像を絶する

クール、ミステリアスそして消火器発射!

マオリ族最強のビースト TOA(トーア)とは何か?

これはマオリ族のあいさつ。鼻とおでこを擦り合わせるのだ

6・29K－1ジャパンで、ビースト軍団の大将として紹介されたTOAだが、いきなりプロデューサーのサップに造反。なんと、会見で消火器をぶっ放すという大暴挙に出た! 中西学の対戦相手ともなったTOAだが、いったい彼は何者なのか? 会見後、我らがターザン山本がTOAの謎に迫るべく緊急対談を行った。

撮影◎乾晋也

TOAは新しい時代を持ってくるだけでなく文化も持ってきます〈ジョーンズ〉

ターザン　TOAさん、僕がターザン山本ですっ！

TOA　………。

ターザン　都会生まれだから、映画の『ターザン』とは関係ないんですけど。でも、映画の『ターザン』は好きなんですよぉ。それで、僕はあなたのお国のニュージーランドに行ったことがないんですけど、僕がニュージーランドに行きたいと言ったら、どこに案内してくれます？

TOA　ターザンというなら、やはりジャングルだ。

ターザン　ニュージーランドにジャングルはあるんですか？

TOA　アフリカのようなジャングルはないが、生い繁った森ならある。

ターザン　ああ、氷河と森のイメージがあるんだよねぇ。ところで、僕は日本人なので宗教は仏教なんですけども、あなたのマオリ族にはどういう神様がおられるかを教えてください。山の神なのか、森の神なのか、太陽だとか月だとかいろいろありますけど。

TOAの先生のジョーンズ　仏教の祖先はマオリ族の祖先でもあるのです。我々の神は〝イサクチ〟と言います。

ターザン　じゃあ、仏教の仏陀とイサクチは共通だというわけ？

ジョーンズ　私たちの宗教の祖先は日本人と繋がっているんです。血筋的に。

ターザン　ああ、そう？　人間って、宗教で何を信じたら強くなれるか教えてください！

ジョーンズ　逆に質問をしますけど、ヤマモトサン自身の中に魂はありますか？

ターザン　もちろん、ありますよぉ。僕はいつも夢の中に自分が出て来るんです。

ジョーンズ　自分が死んだ時、体は地に戻りますけど、魂は最初に来た天に戻っていくんです。

ターザン　て、て、天？

ジョーンズ　信じられますか？（笑）。

ターザン　信じられないなぁ、僕は。

ジョーンズ　でも、自分の中に魂があると信じているのなら、きっとそうなります。我々マオリ族の中にもいろいろな神はいるのですが、魂を持っている〝イオテマトゥア〟という神は最高の地位にいます。部族の中で高貴な血筋の人間は、全員イオテマトゥアの教えを信じているんですよ。我々は自分が何かに迷っている時、断食をして、神の教えを受けます。

ターザン　ああ、そう？　僕みたいに都会にいると、闘争本能が激しくて、人との争いが多いわけですよ。一つ聞きたいのは、僕みたいに2回も離婚した人間はどうしたらいいのか、教えてください。

ジョーンズ　いつか、あなたも死んでしまうと思うんですけど、私が言ったことが本当だったら、魂は天に昇りますので、その時に最高の神イオテマトゥアにヤマモトサンが教えを受けてください。

ターザン　うむむむ。

ジョーンズ　TOAが私に習っているのも、神の教えなんです。

K－1では前代未聞の消火器乱闘！大暴走！TOA劇場！

▼ビースト軍団の大将としてTOAを紹介しようとするサップに対して、TOAはマイクで3・30のミルコ戦の敗北についてなじった

▶なんだ、こりゃぁ!?　なんとTOAは、消火器を持ち出してきたではないか!　こんな絵はK－1史上初だ!

新展開！ K-1ジャパン！
中西学vsTOAが実現！
6・29K-1BEAST II
たまアリ大会最新情報！

ムサシマルとアサショーリュー、2人と1日で闘ってもいい〈TOA〉

TOAの髪飾りは時には武器となるらしい

ターザン ああ、そう？ まあ、現実的な話になるんですけど、僕はボブ・サップと仲がいいんですよ。フレンドシップがあるわけ。でも、今日こうしてTOAさんとの出会いがあったわけなんだけども、僕はいったいどちらを応援したらいいんですか？

TOA ………。

ジョーンズ フフフ。サップにもTOAにもいい物は備わっていると思います。しかし、TOAは新時代の人間です。また、TOAは新しい時代を持ってくるだけではなく文化も持ってきます。そしてTOAが持ってくるマオリ族の文化だけではなく、日本の文化も振り返ってほしいんです。自分たちが大切にしている文化を自信に思わなければなりません。日本はどんどんアメリカナイズされてきてしまって、大切な文化を持っているにもかかわらず、それが消えかかっています。こんな状態が続いてしまうと、アメリカの51番目の州になってしまうでしょう。

ターザン まあ、僕なんかは映画でも西部劇とかミュージカルとか凄く好きなんだけど、現時点のアメリカというのは、グローバルスタンダードを押し付けてくるわけですね。でも、ボブ・サップなんかはアメリカ人の中でもいいように思えるんですよぉ。これはどう思います？

TOA ………。

ジョーンズ たしかに、サップはプラスの要素を持っているとは思います。アメリカの便利な物は我々もほしいです。しかし、日本が持っている文化の美しさというのは、単純に便利さだけで失ってはいけないモノです。TOAは自分が育った環境や文化を大事にしています。我々は今回、ただ闘いに来ているだけではありません。自分たちには信じていて伝えなければならないモノがあります。それがマオリ族の文化なんです。以前、ミスター・タニカワと打ち合わせをしている時に、「我々がここに来ているのは、女性と酒を飲んだりして、いい一時を過ごすためではありません」と言ったら、場がシーンとしてしまいました。

ターザン ワッハハハ、凄いねぇ！ 今まで格闘技は個人と個人の闘いだったけど、これは文化と文化の闘いになりますよぉ。ただ、僕はTOAさんのことを見たことも聞いたこともないんですよねぇ。まあ、試合を見るしかありませんよぉ。

ジョーンズ たぶん、TOAの試合を見たあとは、1カ月は眠れないと思います（笑）。

ターザン それはエキサイトするということ？ それとも危険だということ？

ジョーンズ 凶暴的な部分です。我々マオリ族の文化には、戦士は死ぬまで闘うという気質があります。TOAは皆さんの普段の生活と180度違うものをお見せできるでしょう。K—1にもありますけど、ベビーファイトのような幼稚なことはしません。

ターザン 幼稚なことですか（笑）。

ジョーンズ 真の闘いをお見せします！

ターザン なるほどねぇ。TOAさんは相撲をやっていたということだけど、あなたの相撲スピリットはどこにあるわけ？

TOA ………。相撲で土俵に上がる時は、闘うスピリットはもちろんだが、自分のマオリ族の文化を背負って上がるようにしている。

ターザン あなたの相撲は四つ相撲だったんですか？ それとも突っ張っていきました？

TOA 両方だな。相手を掴んで引き寄せる力もあったし、相手を突っ張ることもあった。

ターザン 相撲の張り手はどうですか？

TOA 決勝戦でやったことがある。

ターザン や、やったぁ!? 相手はカーッとなったでしょう？

TOA 相手が気に食わなかったからな。

ターザン 仕切りの時に睨み合いするでしょう？ あれは？

TOA 仕切りの時に頭にあるのは一つ。「俺かおまえか！」だけだ。

ターザン ああ、そう！ 1対1というのに、相撲の意味があると思うんですね。ところで、あなたの髪型と力士のちょんまげでは、どちらが美しいと思いますか？

TOA どちらも美しいと思う。両方ともキチンと意味があるからな。ヤマモトサンは、昔ちょんまげをしていたのか？

ターザン ぼ、僕はしてませんよぉ！

TOA 私のような髪型はどうだ？ ご先祖様はしていたけど。

ターザン 素敵ですよぉぉぉ！

ジョーンズ TOAの髪の毛に刺さっている物は、とても伝統的なものであり、マオリ族独特の物です。酋長的な地位にいないと、この髪型はできません。

▲一方のサップは、「ジョークじゃ済まない。6月29日、ヤツにキャンバスを背負わせてやる」と報復を宣言！ 6・29はTOAVS中西が決定しているが、この試合のあと、野獣3匹三つ巴の抗争に発展するのは必至だ！

▼会見終了後、ジャパン軍の総大将を務める角田競技統括プロデューサーは、「アングルという言葉は大嫌い。谷川プロデューサーにも厳重に抗議する」と苦虫を噛みつぶした顔でコメントした

▶消火器を持ってまさかと思いきや、サップ目掛けて消火器を発射！ 辺り一面に白煙が立ちこめた。このあと、TOAはサップに相撲仕込みのぶちかましまで食らわせた

「キラー・トーア・カマタ」という言葉は人を殺すという意味です〈ジョーンズ〉

白い羽根はアルバトロスという鳥の羽です。これは、髪飾りでもあり、時によっては武器になります。ただし、これはマオリ族の戦士の中でも、高貴な位にいないと着けられません。彼の祖先はみんな高い位の戦士でした。

ターザン ああ、そう？ 相撲の世界は今、グローバルスタンダードになって、オープンになっているんですけど、横綱はハワイの人（武蔵丸）とモンゴルの人（朝青龍）なんですね。それと闘ったら、どうなります？

TOA 全然問題ない。

ターザン 武蔵丸はデカイですよぉ。

TOA 横綱では日本人はいないのか？

ターザン いませんよぉ！ 武蔵丸と朝青龍の2人ですよ。

TOA それなら、そのムサシマルとアサショーリュー、2人と1日で闘ってもかまわない。

ターザン 1日でやっちゃうのぉ？

TOA 相撲の土俵でもアスファルトの公園でもな。

ターザン 勝算はあるんですか？

ジョーンズ フフフ。逆に、ムサシマルとアサショーリューのほうが疲れるんじゃないですか？

ターザン 朝青龍はすばしっこいと思うんですけどねぇ。だって、モンゴルの騎馬民族ですよぉ。

TOA さっき言ったように、それでも闘うのがウォリアー・スピリットだ。

ターザン あなたの闘い方は先手必勝なんですか？ それとも受けて立つんですか？

TOA どっちが先に動いたのか分からないウチに、勝負は終わっていると思うな。

ターザン 終わっているぅ？ レフェリーは困るじゃないですか？

TOA それはいい試合だと思わないか？

ターザン いやいや、もっと攻防があってほしいね。ところで、あなたのTOAという名前は、どんな意味があるの？

TOA 〝戦士〟という意味だ。

ジョーンズ 日本でいう〝武士〟みたいなものです。昔TOAと呼ばれた人たちにとって、闘いで後ろから刺されて死んでしまうことは、とても恥ずかしいことだったんです。その時代は、戦士になるか奴隷になるかという時代なので、戦士になることは重要なことだったんです。また、戦士というのは強いだけではなく、自分の家族を守る、弱い者を守るという価値観が大事でした。

ターザン ああ、そう？ じゃあ、なぜあなたはTOAという名前を付けられたんですか？

TOA ………。

ジョーンズ 彼は相撲やボクシング、アメリカでのパワーリフティングを達成してきたことによって、TOAと呼ばれるようになったのと、あとは彼の体型です。

ターザン 分かったぁぁぁ！ TOAの謎が解けましたよぉぉぉ！ キラー・トーア・カマタですよぉぉぉ！

TOA ………。

ターザン 昔、キラー・トーア・カマタというプロレスラーがいたんですよぉ。

ジョーンズ キラー・トーア・カマタという意味は、人を殺すという意味です。カマタというのは、人を表しています。

ターザン いや、これは面白い！ 僕はいつも先行投資するからねぇ。だいたい、僕が目を付けた人は、全部上に上がっていきますよぉ。僕は辺境から来た人が好きなんです。野性味とパワーを感じるんですよぉぉぉ！

ジョーンズ TOAは今、ニュージーランドのジムで練習しています。ジムは7000人が住んでいる所にありますけど、隣町が44キロ離れています。そのジムは納屋を改造したもので、壁際には藁が積んであるような所です。やはり自分たちがそういう所で練習してきたということを振り返るのはいいことです。なんせ、1週間前にやっと、キックミットが手に入ったばかりですからね（笑）。

ターザン じゃあ、相撲なんかもそこで練習してきたんですか？

TOA 相撲の練習は全然していない。

ターザン ええ!? ムチャだねぇ。じゃあ、天然で強いんかぁ。

ジョーンズ ヤマモトサンは、TOAがボブ・サップと闘うなら、K―1、『プライド』、『WRESTLE―1』のどれがいいですか？

ターザン そりゃ、3つともやってほしいですよぉぉぉ！ とにかく、僕は新しいスターを求めているんです。新しいスターと新しいスタイルと新しいキャラを求めているんですよぉ。

ジョーンズ その3つのイベントでTOAがお見せしますよ。

ターザン それは面白い！

TOA ………。

ジョーンズ どうせなら3つと言わずに、4つ目の闘いをやってみせましょうか？

ターザン 4つ目？

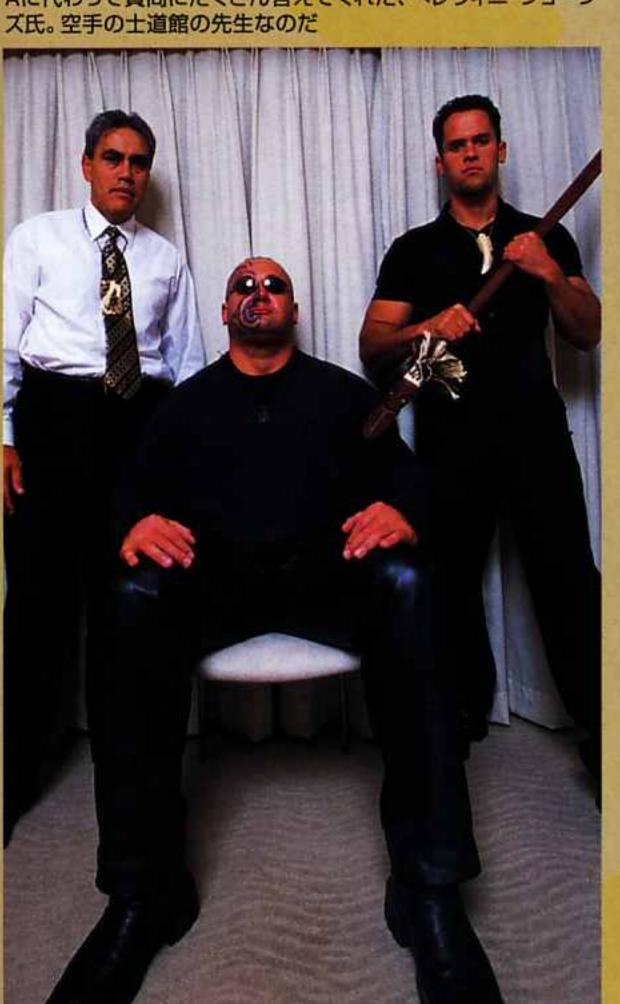
ジョーンズ なんだと思います？ それは裏庭で闘うことです（笑）。

ターザン ああ、なるほど！ まあ、とにかくサップは感情を表に出すけど、TOAさんは分からないと。その不気味さが一番の魅力だね。日本の言葉で「沈黙が一番怖い」というのがあるんですよぉ。

ジョーンズ プロモーションとしていいんじゃないですか？ ところで、我々の部族の中には長老がいるんですけど、その方にヤマモトサンは似ていますね。

ターザン それは嬉しい！ 僕が人生の中で一番大切にしているのは、偶然と奇跡ですよぉ。僕からもあなたたちに言葉を贈りますよぉ。人生で一番重要なのは、言語なんです。「言葉は言霊」。言葉は魂なんですよ。

ジョーンズ 私もいま分かりました。あなたはマオリの人に違いありません！

TOA ………。■

▼右で槍を持っているのが、ドックという青年で、会見の時にTOAを先導しながら踊っていた人物。左の人物が、しゃべらないTOAに代わって質問にたくさん答えてくれた、ヘレウィニ・ジョーンズ氏。空手の士道館の先生なのだ

アンディの過剰な精神性 それを受け継ぐには……

スイス大会の約1週間前、石井館長が突然、保釈された。

最近の私にとっても、K―1にとってもこの出来事は何よりも大きい。

この4カ月間、K―1は石井館長不在の中で行われてきた。表面的には常に平静を装ってきたが、やはり大黒柱を失った現実は大きい。私はこの4カ月間、とにかく必死にひとつ一つのイベントを成功させようとしてきたが、やってみて改めて実感したのは、石井館長の偉大さだけだった。

これはお世辞でもなんでもない。石井館長とは長い付き合いなので、時の経過とともにいろんな感情を持ったことがあるが、今回の事件で改めて絆が深くなった気がするし、石井館長がいかに優れたプロデューサーであるかを感じることができたのは一番の収穫だった。

久々に会った石井館長は、本当に心の修行をされてきたなという感じだった。もしかしたら、今の石井館長が私は一番好きかもしれない。

そういったエネルギーを再び感じながら、私がやるべきことはただ一つ。この10年間で築き上げたK―1を守りつつ、いろんな問題を解決し、全てをリセットすることだ。K―1の新体制を真の意味で確立するのは、これからだろう。

そんな石井館長と私が最初にやったことは、アンディ・フグのお墓参りだった。本当は仕事のことをたくさん相談したかったのだが、石井館長のことを気遣って、なるべくゆっくりしてもらおうと、アンディのお墓がある京都の大徳寺に向かった。

それはちょうど、私がスイスに行く4日前のこと。アンディの母国スイスで3年ぶりにK―1を開く直前に、こうしてお墓参りができたことは、なんか運命的ですらあった。仕事の話は、スイスから帰ってきてからだ。

アンディのお墓には偶然にも、小さなかえるの置物が置いてあった。最初、私はそれに気が付かなかったのだが、石井館長が墓石に水をかけると、それがピョコンと飛び跳ねるように動いた。こういうところが、石井館長の不思議なところである。

（アンディ！　石井館長が帰ってきたよ。そして、もうすぐスイスで再びK―1がある。どうか成功するように、見守ってください……）

私はそう願いながら手を合わせ、石井館長とは別れて、一足先に東京に帰った。それから3日後、私は3年ぶりにスイスに旅立ったのである。

正直言って、ここ最近はすっかりアンディのことを忘れていた。しかし、

谷川貞治のK-1スイス大会総評

「アンディ・フグ」の道、険し。石井館長の壁、これもまた高し。

K-1 WORLD GP in BASEL

実際にスイスに来ると、アンディとのいろんな想い出が甦ってくる。

今、K―1は世界中でイベントを開催しているが、そのきっかけを作ったのはこのスイス大会だった。

ジャパニーズ・ドリームを掴んだアンディは、スイス国内では逆輸入のヒーローとして人気を高めた。3年前まで、スイスではアンディという一人のスーパースターが試合をするだけで、1万人以上の観客が集まり、国営放送では50％以上の視聴率を常に弾き出していた。〝日本発〟を目標に掲げたK―1が、世界に飛び出していく自信を深めたのが、なんと言ってもこのスイス大会である。また、今でもアンディがいる頃のスイス大会以上に、成功している海外のイベントはない。

しかも、アンディが出現したおかげで、アンディ亡き後にも、スイスではアンディを目指すファイターが現れてきた。ビヨン・ブレギー、アゼム・マクスタイ、ジャビット・バイラミ、ピーター・マイストロビッチ……そういったスイスのファイターで、誰が第2のアンディになれるのか？

そして〝アンディ・メモリアル〟と題されたこの大会では、スイスでアンディと闘ったマイク・ベルナルドやステファン・レコといった、アンディと馴染みの深いファイターが顔を揃えた。

しかし、結論から言うと、この大会でアンディの後継者は出なかった。アンディがなぜヒーローだったかと言うと、その人気の秘密は、過剰な精神性にある。30歳からのプロ転向。小さな体。日本という慣れない環境と、慣れないルール。そういった多くのハンディを強烈なスピリットで乗り越えて、アンディは人々に生き様を見せてきた。

角田信朗・競技統括プロデューサーがよく言うのだが、スピリットは「何度も限界値を越えることによって熟成される

トーナメント決勝はジェレル・ヴェネチアンVSビヨン・ブレギー。奇しくもボスジム同士の対戦となった。1回戦で足を負傷していたブレギーはヴェネチアンのローキックで何度もダウンするが、地元の意地、それにアンディの魂を見せるかのように立ち上がり、最後までテンカウントを聞かなかった

もの」である。アンディの後継者を感じなかったということは、その過剰な精神性をリング上から感じなかったからだ。大器のビヨン・ブレギーも、ミルコ・クロコップに勝ったジャビット・バイラミも、あまりに心が優しすぎる。一人の人間としてはそれでいいのだが、それではファイターは務まらない。それはマイク・ベルナルドにしても同様である。

大会が終わって、私はう〜んと唸ってしまった。

やはり興行は奥が深い。決してメンバー的にも悪くなく、演出面でも定評のある現地プロモーターのトーマス・キャッスル氏が大会を開いていながら、イマイチ盛り上がらない大会だった。KOが一つも出なかった大会も、K―1を10年間見てきて初めてのことである。

どこかにスキがあったのだろうか。KOが出なかったのは、中途半端にいつも止めようとする外国人審判のレフェリングに問題があった。また、大きなミスはないのに、細かなミスが多かったのも〝どんより〟した原因だろう。どうせコケるなら、興行は思いっきりコケたほうがいいのだ。

このメンバーならなんとかなるだろう。このプロモーターならなんとかしてくれるだろう。そんな気持ちが興行をダメにする。興行で一番大切なのは、主催者の過剰なサービス精神と、ファイターの過剰なファイティング・スピリットである。その環境を作れなかったことに、私は深く反省してしまった。

石井館長があれだけカリカリしながら、いつも動き回っていた意味がよく分かる。「まあ、このくらいでいいだろう」が一番よくないのだ。

スイス大会が終わって一番感じたことは、そんなアンディと石井館長の不在だった。「アンディ・フグ」への道は険しく、石井館長の壁も、また高い――。■

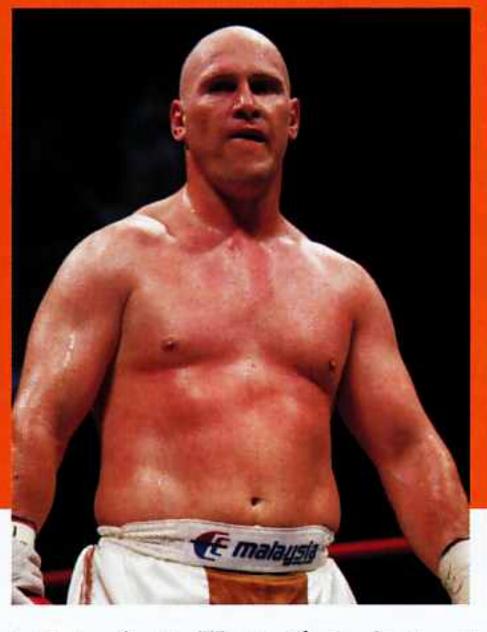
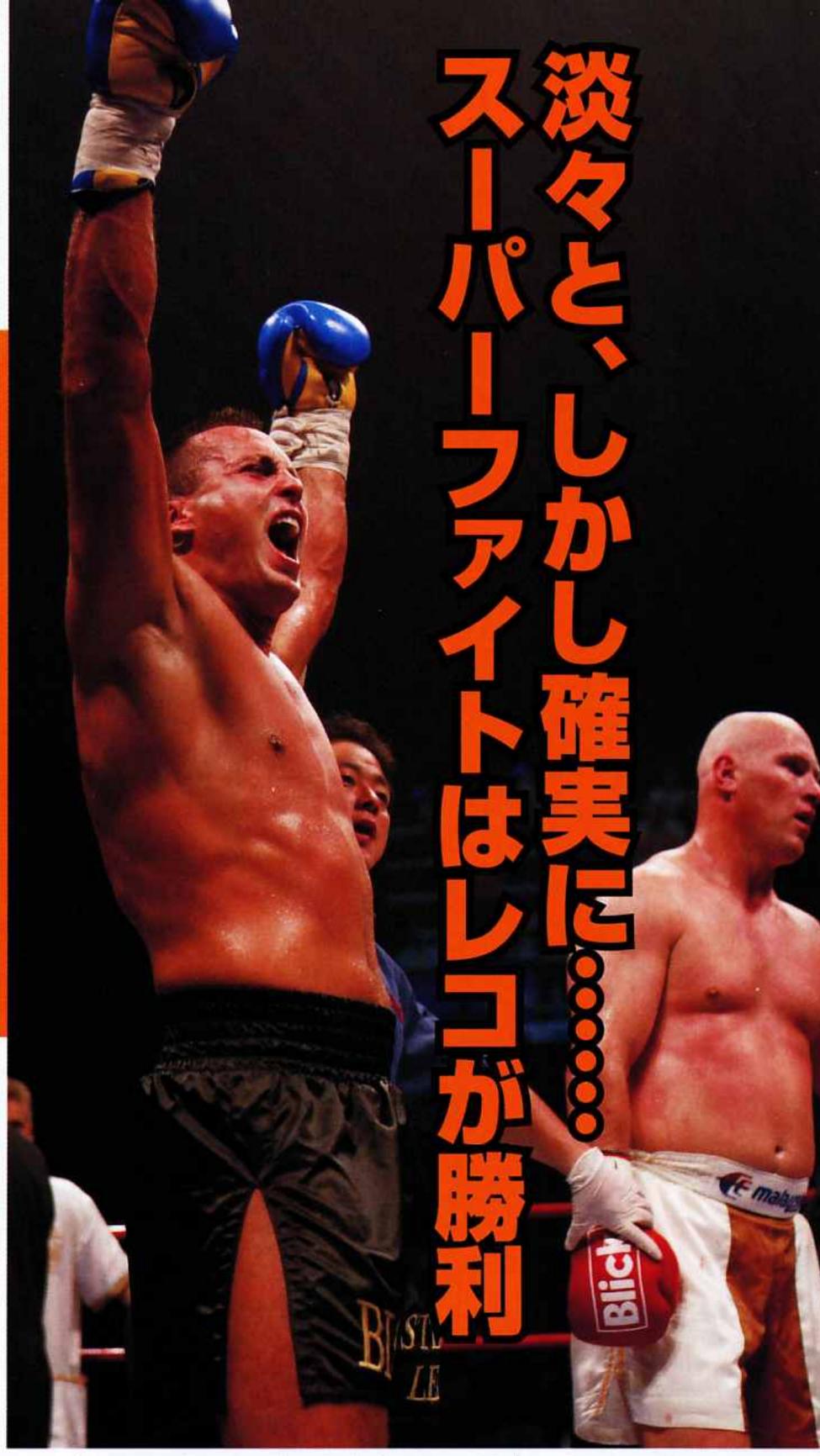
淡々と、しかし確実に……スーパーファイトはレコが勝利

▼序盤からローを効果的にヒットさせてベルの出鼻をくじき、ペースを握ったレコ

▼ジャブを起点にしたパンチも速い。手数ではレコが完全に上回っていた

◀相変わらず重たいベルのパンチだが、レコはこれをボディワークやブロッキングでうまくディフェンスしていた

▶敗れたベルの、この悔しそうな顔！　かつてのライバル、アンディのため、そして何より自分自身のために、どうしても勝ちたい試合だったろう

とりたてて大きな山場があった試合ではなかった。ダウンシーンも見ることはできなかった。ただ淡々と、レコが攻めた試合。でも確実にレコの実力者ぶりは伝わってきた。1Rからローキックがキレイに決まる。途中からカットし始めたベルナルドだったが、その頃にはしっかりダメージを刻み込まれてしまっていた。パンチでもレコが優勢。一発の威力はともかくスピード、回転、コンビネーションではっきりと差が付いた。ベルナルドも、いかにも重そうなパンチで前に出るのだが、もうちょっとのところでレコに前進を寸断されてしまう（あるいは、ローキックのダメージが踏み込みに影響を与えていたのかもしれない）。好不調の問題ではなく、今は間違いなくレコのほうが実力が上。そう感じさせる試合内容だったと言ってもいい。今のレコの充実ぶりを見るにつけ、今年のグランプリでは何やら大仕事をやってのけるかもしれない。それも、あくまで淡々と。■

▲アンディとスイスで闘ったことがある選手同士、ステファン"ブリッツ"レコとマイク・ベルナルドのスーパーファイトはレコが判定で勝利。ベル云々というより、レコの実力者ぶりが目立った一戦だった

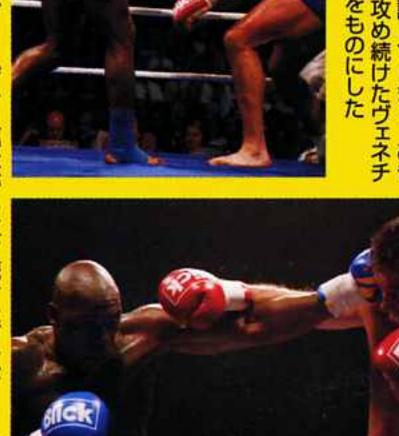
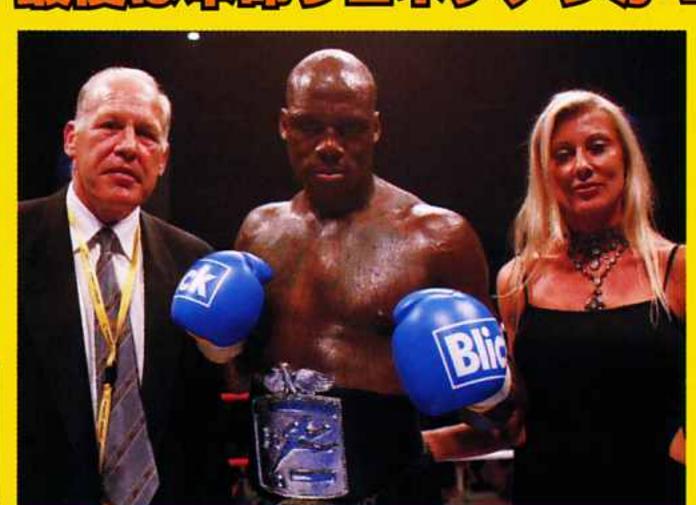
波乱続きのトーナメントも、最後は本命ヴェネチアンがV

《K-1ワールドGPヨーロッパ地域予選》

- ビヨン・ブレギー　スイス
- ドノバン・ラブ　南アフリカ
- アゼム・マクスタイ　スイス
- ラリー・リンドウォール　スウェーデン
- ゲーリー・ターナー　イギリス
- ハッサン・クズジュラル　スイス
- ジャビット・バイラミ　スイス
- ユルゲン・クルト　スウェーデン
- ジェレル・ヴェネチアン　オランダ
- ピーター・マイストロビッチ　スイス

※1回戦を勝ったリンドウォールが負傷により棄権。リザーブマッチ勝者のターナーが準決勝進出

▶〈決勝戦〉脚に深刻なダメージを負いながら立ち続けたブレギーと、情け容赦なしにローを蹴り続けたヴェネチアン。両者の執念が見えた試合だった。出場予定だったレミー・ボンヤスキーが欠場、準決勝に勝ち上がったラリー・リンドウォールもケガで棄権してリザーバーが繰り上がるなど波乱含みだったトーナメントも終わってみれば本命の優勝に

▼〈準決勝〉アンディの愛弟子ジャビット・バイラミもヴェネチアンの軍門に下った。1Rにパンチ連打でダウンを奪ったバイラミだったが、その後に猛反撃を許してしまう。あきらめずにパンチとローで攻め続けたヴェネチアンが、延長の末に判定をものにした

▲見事に優勝を果たしたジェレル・ヴェネチアンには、かつてアンディ・フグが巻いていたWKAヨーロッパ・タイトルのベルトがイロナ未亡人とポール・イングラムWKA代表から贈呈された

フランス『KARATE・BUSHIDO』誌提携
SRS DX
スペシャル・リング・ガイド
No.96 6・26号

CONTENTS

※入稿の都合上、目次の内容と異なることがございます。ご了承願います。

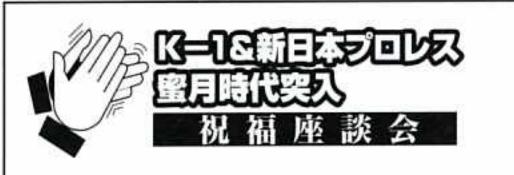
K−1&
新日本プロレス
蜜月時代突入
祝福座談会

キング・オブ・スポーツ大復活！
野人よ、馬鹿へ突っ走って
黄金時代を作れ!!

出席者◎谷川貞治・K―1イベントプロデューサー
（上井さんのハニー）
ターザン山本（キャラクターの大権化）
小松TOA（本誌〝消火器〟編集部員）
司会◎柳沢忠之（本誌〝チャップマン〟御目付役）

©Essei Hara

だってK－1ジャパンは キワモノ的なイメージがあるでしょ

山本　おいっ！　谷川ぁ。俺は驚きも驚き、大驚きですよぉ。『東スポ』やプロレス専門誌に「中西学、K－1参戦！」って出てて。いったい誰と闘うんだぁ？

谷川　もうこの号が出る頃には既報になってると思いますけど、TOAですよ。あのサモア人の選手。K－1ジャパンが面白くなってきたと思いません？

山本　凄いことだよぉ、それは。

谷川　まさに上井（文彦＝新日本渉外担当取締役）さんと僕の友情が実を結んだ結果ですね。

――んあ～！

山本　でも、今はこの業界で上井さんが一番アグレッシブだよねぇ。

谷川　ホントに僕は最近会った人の中では群を抜いて大好きな人ですよねえ。とにかく、6月の株主総会で取締役を降ろされないことだけを祈りますよお。

山本　上井さんは新日本の功労者だから大丈夫ですよぉ。

谷川　万が一、新日本の取締役を降ろされるようなことがあったら、ぜひともK－1に迎えたいほどの人ですよ。僕はもう「生涯の友」だと思ってますから。今日も会って、さっきまでお話ししてたんですよお。

――ダハハハハッ！

小松　そういえば、この前も『ワールドプロレスリング』中継で、鈴木みのると絡んでましたね。

山本　ええーっ！　あの上井さんがぁ？

小松　「鈴木さん、次々とウチの選手を送り込みますから」って。で、鈴木が「全部潰しますよ！」って言ったら、上井さんが「潰し合いでいきましょう！」って。

谷川　いいなぁ、上井さん。

――新日本の中の〝一人WWE〟だな（笑）。それを真顔でできるんだから、今の新日本プロレスの中でも貴重な人材だよな。

山本　長州時代は冷遇されてたのになぁ。

谷川　今や「新日本」といえば「上井さん」ですよ。ということで、K－1は面白くなってます。中量級も面白くなりましたしね。チケットが凄く売れてるんですよ。

山本　K－1の中量級は今の格闘技界で一番面白いですよぉ。

谷川　ありがとうございます。

――ホントに山本さんの言葉か？（笑）。

山本　俺は断言するけど、今はK－1中量級とジョシカクの時代ですよぉ。

――んあ～！

山本　やっぱり立ち技は本格派を見せないとダメよぉ。それしか伝わらないもん。今年の『ワールドMAX』のメンバーは選りすぐりだもんな。あれでシェイン・チャップマンが出てたら完璧ですよぉ。

谷川　チャップマンは去年出てたんですよ。

山本　あれは〝潰し屋〟だからねぇ、試合には勝てないけど。

谷川　へえ～、山本さんはチャップマンが好きなんですか。

――なんか、山本さんがキックボクシングを語ってるだけで笑えるな（笑）。

山本　あれで、チャップマンが出てたら100点満点の大会ですよぉ。

谷川　でも、マイク・ザンビディスっていうのはチャップマンが出たトーナメントで優勝している選手なんですよ。

山本　あ、そう？　でも、日本では断然チャップマンのほうが有名ですよぉ。

谷川　そ、そ、そうなんですかあ？　僕は知らなかったなあ。

――ぷぷぷぷっ！

小松　社長（＝柳沢の呼び名）は知ってましたか？　チャップマン。

――ズバリ言って、触ったこともねえです（笑）。

山本　だって、チャップマンはシュートボクシングの大会で、アンディ・サワーを潰した男だよぉ。

――あ、サワーも触ったことねえです。

谷川　でも去年、アルバート・クラウスがチャップマンに勝ってるんですよ。で、そのクラウスをKOして、チャップマンが出たトーナメントでも優勝しているのがザンビディスなんですよ。

山本　だってそのゾンビなんとかっていう選手、誰も知らないもん。それは専門家が陥りやすい落とし穴なんですよぉ。

谷川　いやいや、そっちの大会のほうがテレビ中継されたんですよ。

小松　今年の3月にやった『K－1ワールドMAX』ですよ。

山本　俺、知らないもん、それ。

――ダハハッ！　でも、シュートボクシングこそ普通は知らないですよ（笑）。

山本　とにかくキックは本格路線でいくべきですよぉ。だって今やK－1ジャパンのほうはキワモノ的なイメージがあるでしょ。

――「キックは本格路線で」って言ってる山本さんがキワモノだと思うけど（笑）。

谷川　一応、本格路線は8チャンネル（フジテレビ）と6チャンネル（TBS）で。

――ダハハハハッ！

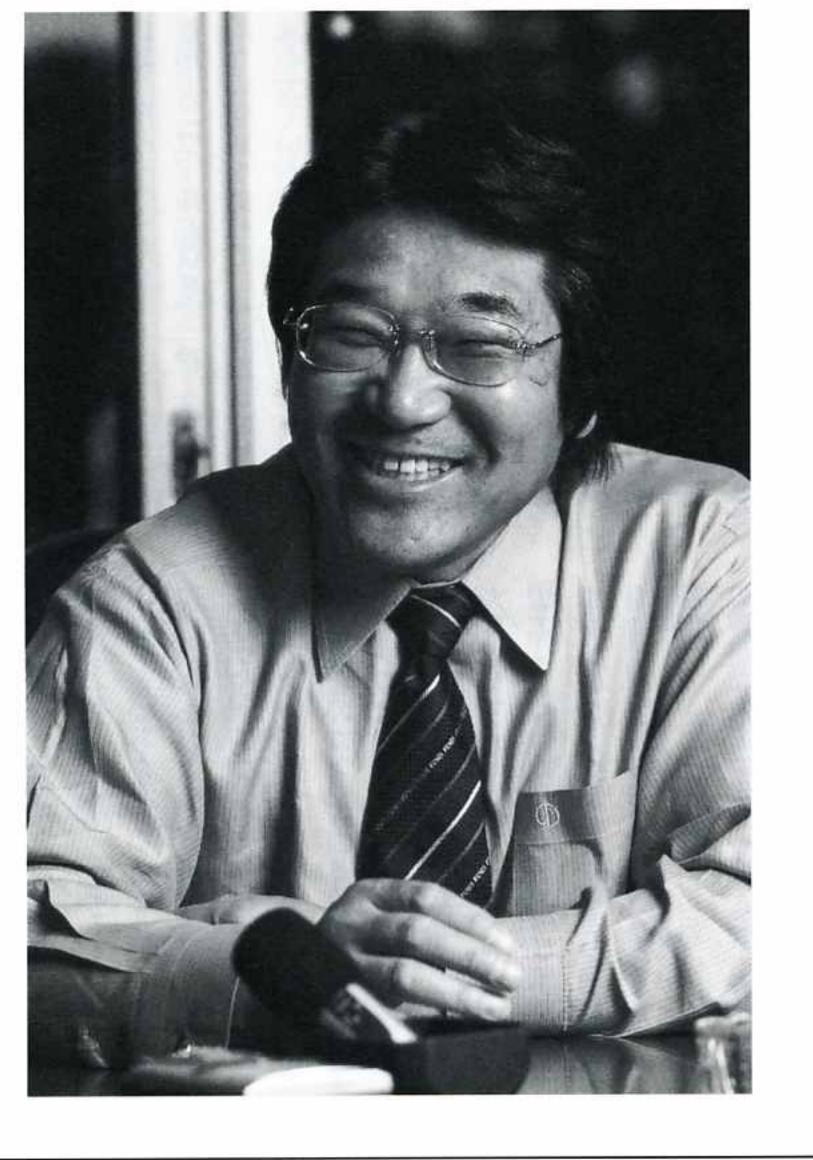
谷川　で、4チャンネル（日本テレビ）はですね……。

――キワモノ路線？（笑）。

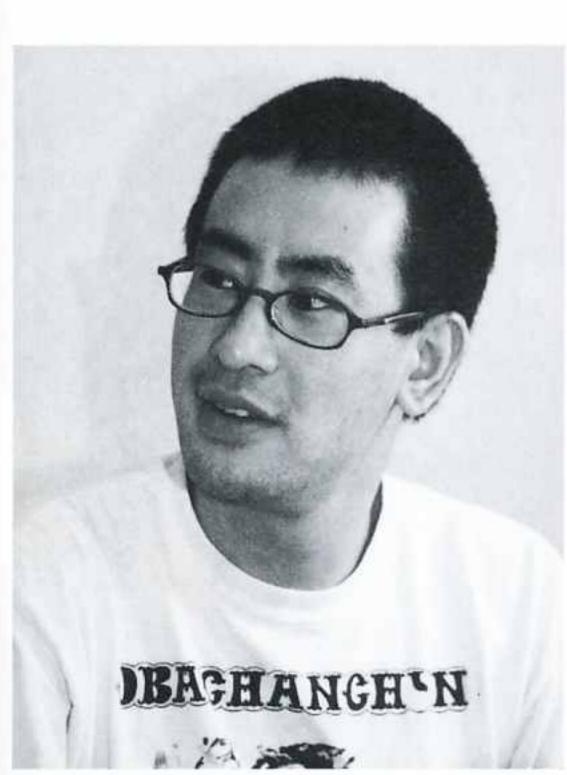
谷川　いやいや、そんなことはないけど。

山本　でも、あのメンバーが揃ったら魔裟斗は優勝できないよなぁ。

谷川　ホーストが『ワールドGP』で優勝するより難しいと思いますよお。

――サムゴー・ギャットモンテープっていうのは、山本さんがイチオシの選手だよね？

山本　あの選手は凄いですよぉ。だって、小林聡が破壊されたからねぇ。

ということは、ジャパンは"大衆演劇"みたいなもんだよなぁ

谷川　あ、山本さん。今日は前フリを忘れてますよ。
山本　うーん………。
小松　何もないんですか?
山本　K—1のフランス大会行きを目前にして、旅行用のフランス語会話の本を買ったくらいかなぁ。
——ぷぷぷぷっ!
山本　じつは俺、一つしかフランス語を知らないんだよねぇ。
小松　なんですか?　その一つって。
山本　プランタン（＝春）ですよぉ。
谷川　………で?
山本　それだけですよぉ。
——はい、今日の前フリ終了（笑）。で、今日はなんの話?
小松　やっぱりK—1ですね、今日は。
山本　まあ、あの中量級の大会を見ても、最近のマット界の中では〝一等星の輝き〟だよねぇ。みんな、ああいう本物を求めてるわけですよぉ。今は完全な自由競争の世界でしょ。つまり、世の中は客とか消費者が好きなものを選ぶ時代なわけですよぉ。ところが我がプロレスもファンが団体に対して選択権がある時代なのに、団体はま〜ったく気付いてないわけですよぉ。お客が求めてるニーズを分析して、いかにそれを提供していくかということでジャッジメントされるわけなんだからぁ。俺、今日骨法整体に行ったんだけど、ビックリしましたよぉ。
小松　また新たに、堀辺先生が何かを完成させたとか?
山本　いや、骨法整体をやってもらったんだけど、凄く丁寧に時間をかけてキッチリと整体してくれるんですよぉ。
小松　ちゃんと山本さんのニーズをリサーチしていたとか……?
山本　あれだけみっちりとやられたら、他の整体とかマッサージとかに行けなくなるもんなぁ。そう考えると、今は新日本も全日本もハッキリ言って、地方の興行は入ってないんだよなぁ。だいたい地方に公共事業しか仕事がない時代で、娯楽に5000円とか7000円のチケットを買って来るお客がいると思うほうがおめでたいですよぉ。そんな時代に、昔ながらの地方サーキットをすること自体が時代遅れなんだよねぇ。そういう形から考えると、興行はもう都会でしか生き残れない。で、格闘技だって都会のビッグマッチでしか生き残れないことになってるわけですよぉ。
谷川　ふんふんふん。
——スターバックス・コーヒーも、あの国土の広いアメリカに次いで、日本の店舗数が世界第2位だっていうからね。
小松　店舗ごとに、サービスを差別化できないでしょうからね。
山本　とにかく、いかに本腰を入れて客のニーズをリサーチするかですよぉ。
谷川　まあ、K—1は現在3つのテレビ局で展開してるじゃないですか。だから、プロデューサー的に言えば、それぞれまったく違うものにしないとダメですからね。
山本　そうそうそう。
谷川　『ワールドGP』シリーズは世界的な価値観を見せて、中量級は本格派の求心力でいかに見せるか。で、ジャパンはいわゆる………。
——いわゆる?（笑）。
谷川　……誰もが考えない〝奇抜なアイデア〟を打ち出すというか。
山本　パンドラの箱みたいなもんですよぉ。
谷川　今回はK—1が3週連続であるんですよ。6・29にジャパンがあって、7・5に中量級、7・13にワールドGP福岡大会。
山本　俺は断然、中量級派支持ですよぉ!
——今までは一番遠かったのに（笑）。
谷川　でも、3つとも同じK—1には見えないと思いますよ。それはまた、放送する局の違いにもよるんですよ。中量級が本格派というのは、やっぱりTBSがやってるからなんですね。TBSはドキュメンタリー・タッチで人物を追っていくのが得意じゃないですか。
山本　俺はまさか、あんな身体の小さい選手たちに求心力があるとは思わなかったけどねぇ。
——だからTBSに合ってるんですよ。等身大のものに、いかに幻想を持たせるかっていう手法を取るじゃないですか。そういう意味ではGPシリーズのほうはプロレス的なんですよね。普通の人じゃできないっていうものだから。そこにヘビー級と中量級の差がハッキリとありますからね。
山本　ということは、ジャパンは〝大衆演劇〟みたいなもんだよなぁ。
——いや、『ジャパン』はコンセプトが固まってないだけなんですよ。元々のジャパン大会のコンセプトはある意味で崩壊していて、これからは日テレに対してK—1が何を提供していくのかっていうのが課題ですからね。
山本　『ジャパン』から這い上がって、世界にステップアップしていくという幻想は、もう誰も抱いてないからなぁ。
谷川　でも、そこで分からないのが人々の評価なんですよ。だから僕も楽しみなんですけどね。ただ『ワールドGP』は普通の人ではないけれども、やっぱり本物の世界じゃないですか。ホーストやアーツが勝つ、この間なんかも地味ではあるけどステファン・レコが勝つ世界じゃないですか。やっぱりレベルが凄く高いんですね。で、「レベルが高い」のと「面白い」というのは全然違って、じつはそこが『ジャパン』のミソなんですよね。
山本　まず、プロには「強い」ということ以外に「キャラ」が必要なんだよねぇ。キャラクターがあるかどうかというのは、

本当に商品価値を決めるポイントなわけですよぉ。

谷川　そうですねえ。

山本　逆に言えば、キャラがあればそんなに強くなくても売れるという。勝つにしても負けるにしても、技術なのかキャラなのかが問われるわけだよねぇ。で、今の市場の原理ではキャラが優先されてるわけですよぉ。プロとは「技術を背景にしたキャラである」という。分かりやすい言い方をすると、キャラのあるヤツが技術を身に付けたら、その技術を使いたがるでしょ。たとえばボブ・サップが昨年の猪木祭で高山に腕ひしぎ十字固めで勝つとか。あるいはボブチャンチンが寝技をやるとかね。またはゲーリー・グッドリッジがK—1のリングで立ち技の技術で忠実に闘ったりとかね。つまり、技術を優先させるんだよねぇ。それが一番ダメだ、と。あくまでもキャラをプライオリティにして「技術はそれに付随するものなり」なんですよぉ!

谷川　でも、『ジャパン』はそういう意味で本当に思い切ったことをできるんですよ。中西学VSTOAはGPシリーズでは絶対にできないですけど、ジャパンだったら成り立つカードなんだと思いますよぉ。

山本　成り立つんですよぉ!

谷川　K—1ファイターから比べたら、お互いにどこまでやれるかは分からないですけど、際立ってキャラの勝負になって面白いと思いますよねえ。

山本　そう、言ってみればあれはキャラキャラの対決ですよぉ。

——キャラキャラって(笑)。

谷川　そのキャラキャラの一番いい例が、猪木BOM—BA—YEですからね。K—1ファイターVSプロレスラーっていう、その中には強いノゲイラとかが入る余地がなかったわけですからね。やっぱり安田忠夫VSジェロム・レ・バンナだって、完全なキャラキャラでしたもんね。

山本　それをハッキリと棲み分けをさせて売るべきですよぉ。で、見る側もスイッチを入れ替えて見るべきなんですよぉ。

谷川　やっぱり『ワールドGP』シリーズで未知の強豪を集めたいと思うんですけど、絶対に無理があるんですよね。アーツとかホーストにいきなり勝つ選手を

そう、言ってみればあれは キャラキャラの対決ですよぉ

探すのは難しいですからね。でも、『ジャパン』ならそれができる、そういう魅力が凄くあるんですよ。今回なんかも、TOAだけじゃなく、凄くいいキャラが揃ってますから。今回、スイス大会をやって感じたんですけど、あの大会が弱いのはやっぱりキャラが足りないんですよ。

山本　ハッキリ言って、キャラがゼロもゼロ、大ゼロでしたよぉ!

谷川　決して技術的に劣るとか、そういうことは思わないんですけどね。優勝したジェレル・ベネチアンとか、ミルコに勝ってるジャビット・バイラミとかがいても、いかんせんキャラがないんですよ。そこを凄く感じますよね。そういう意味でこれからの『ワールドGP』は凄く難しいなというか、課題がよく分かりましたけどね。

山本　でも、『ワールド』は勝手にはいじれないもの。そういう意味ではボブ・サップぐらいだろう。

谷川　サップみたいな存在をいかに作れるかというのが『ワールドGP』の勝負なんですけどね。でも、そういう意味ではそこでも『ジャパン』が必要なんですよね。だってサップも最初に出たのは『ジャパン』ですからね。中迫戦の反則暴走から火がついたというか。テレビでは「キッカケはフジテレビ」って流れてますけど、K—1の場合は「キッカケは日テレ」なんですよお。

——ダハハハハッ!

谷川　だって、サップだけじゃなくて、藤田VSミルコ戦も最初は日テレだったんですから。たぶん、あそこは思いきって使えるという土壌があるんですよ。

山本　そういう意味でいえば、『プライド』なんかに比べると対応性というか自在性があるよなぁ。

谷川　逆に対応性を持たせないと、もたないですよね。

——まあ、「技術」と「キャラ」っていう話でいえば、松井秀喜は今、その死角の中にハマッてるよね。スタインブレナー・オーナーが「私が獲得したパワー・ヒッターはこの男じゃない」って言ったりね(笑)。技術じゃなくて、やっぱりキャラなんだってことでね。

谷川　やっぱり、みんな数字とか結果とか、イチロー的なものを求めるんだろうね。

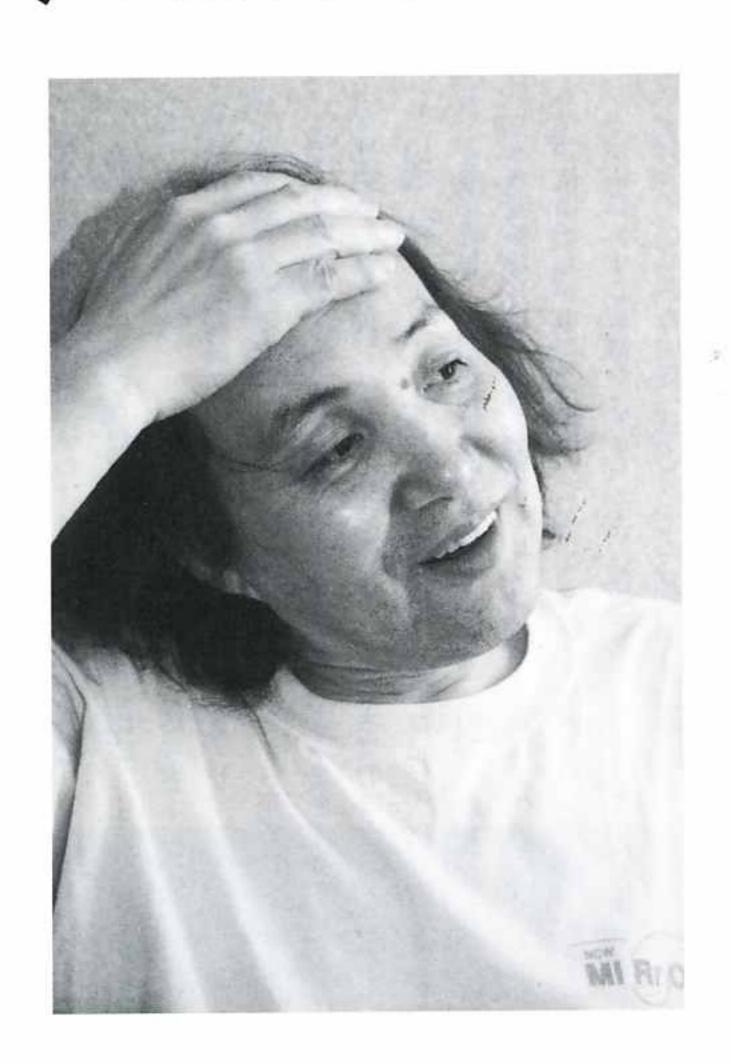
山本　キャラを成り立たせるためには、数字を残さなきゃいけないというのは、グローバル・スタンダードの鉄則なんですよぉ。だから、松井というキャラはあるんだけど、もし数字を残さなかったら、そのキャラが崩壊するんですよぉ。

谷川　でも、そこを意識するがあまり、「私が獲ったパワー・ヒッターじゃない」ってことになっちゃうわけじゃないですか。だから、そういう意味ではボブ・サップと松井はまったく一緒ですよね。

——そういう意味では、松井がこのままホームランを全然打たずに、イチローみたいにヒットを重ねていったとしても、評価はされないよね。

山本　まったく評価されませんよぉ!

——逆に言えば、今の日本の野球なんて「阪神」というキャラクターと「星野監督」というキャラクターだけでしょ。

山本　万年B・Cクラスの関西のローカル球団と、執念の男というキャラですよぉ。あとは戦後を支えてきたジャイアンツという、この3つしかキャラはないですよぉ。ほかに語るべきものがないもんねぇ。でも、イチローはメジャーリーグとはなんであるかを完璧に分析し、戦略を練ってるわけですよぉ。で、松井はそ

中西がK−1に出ることを大プッシュしなきゃいかんなぁ

れほど研究して行ってるわけじゃないからねぇ。そこは予習と復習の差が歴然としてあるよなぁ。

谷川 そこで重要なのは、松井がどっちを選択するかですよね。イチロー側にシフトするのか、あくまで潔くホームランを狙っていくか。

山本 俺が大リーグを見てて一番ビックリするのは、みんな技術的なフォームなんか関係なしに打ってるわけでしょ。松井にはそれがまったくないもんなぁ。いかにフォームが崩れようと、力で強引に持っていくみたいな。ひとり一人、自己流で打つみたいな、あれがない限り松井はダメだと思うよぉ。常に自分のバッティング・フォームは崩さないなんて、そんな綺麗事が通用する世界じゃないですよぉ。ましてや、メジャーの中で最も厳しいヤンキースだよぉ。もう、俺の中から松井というキャラが消えつつあるよぉ。

——日本にいた時だってキャラはなかったじゃないですか（笑）。

山本 でも、2番バッターになったら終わりだよなぁ。だって、2番バッターってプロレスでいったら木戸修とかドン荒川の役割だよぉ。

——空振り三振して「ピヨピヨ」でもやるくらいハジケりゃいいけどね（笑）。

山本 というか……、あーっ！

小松 どうしたんですか？

山本 大事な前フリを忘れてたよぉ。

小松 じゃあ、ここで強引に中フリということで……。

山本 俺、最近ビックリしたのは映画の『マトリックス・リローデッド』なんですよぉ。あんな面白い映画は見たことなかったよぉ！ 俺は第1作目を見てないんだけど、メチャクチャ面白かったんですよぉ。

小松 何がそんなに面白いんですか？

山本 主人公の名前がネオで、相手の女の子がトリニティというんだよぉ。ボブ・サップの愛猫「トリニティ」はあそこから来てたんですよぉ。

——まあ、今や日本ではボブ・サップのネコのほうがメジャーになってますけどね。

山本 まぁ『マトリックス——』の面白さは具体的にはいろいろあるんだけど、ストロング金剛やモーリス・スミスにそっくりなヤツが出てくるんですよぉ。

——で？

山本 それだけですよぉ。

——んあ〜！

山本 ハッキリ言って、ストーリーはまったく分からなかったんだけど、香港のカンフー映画みたいに「ヒャー！」「ヒュンヒュンッ！」「ズババン〜ッ！」という感じで面白いんですよぉ。どれが敵か味方かも分からんし、何が起こってるのかも分からんけど、面白いんですよぉ。

——問答無用で（笑）。

山本 問答なんてできませんよぉ、物語が分からんのだからぁ。

——でも、50億円もかけて撮影用の高速道路を作っちゃたりとかね。

山本 もうハッキリ言いますよぉ！ あれを見たら、もうプロレスなんか見られないよぉ。オールすべてぜ〜んぶが面白いんだからぁ。

——まあ、エンターテインメントのレベルが違いますからね。

山本 「ここまで来たか！」と思いますよぉ。もう映画どころか、プロレスまでも『マトリックス——』にやられちゃいますよぉ。格闘技にたとえれば、技術をまったく知らなくても楽しめるみたいなもんですよぉ。

谷川 そういうものには勝てないですよね。というか、説明する時点でエンターテインメントとしてダメですからね。

——いいエンターテインメントっていうのは、議論の余地がないものだからね。

山本 で、一気に観客をスクリーンに引きずり込むんですよぉ。

——日本にはそういうエンターテインメントってないですからね。

谷川 円谷プロで止まってるもんなぁ。

——それは議論の余地がないんじゃなくて、議論の必要ない世界ね（笑）。で、プロレスは「議論ができる世界だからいいんだ」っていう時点で止まってますからね。そこから数十年、一歩も動いてねえんです（笑）。

谷川 うーん……………。

山本 モグはなんかないんかぁ？ 今日は話が全然盛り上がってないじゃねえか。

小松 うーん……、ないですねえ。

谷川 盛り上がらないですねえ、今日は。まあ、ここだけの話、座談会が盛り上がらなくても僕にはあんまり関係ないんですけどね。

——んあ〜！

山本 まあ、俺としては『ジャパン』に出る中西と、中量級の二つを推すしかないよぉ。とにかく中西がK—1に出ることを俺が大プッシュしなきゃいかんなぁ。

谷川 僕は今の新日本は、凄く面白いと思うんですよ。

——「こんなに面白かったのか！」って

『マトリックス リローデッド』丸の内ルーブル＋丸の内プラゼールほか全国松竹・東急系にて超拡大公開中！

思うくらいにね（笑）。

山本　まあ、今まで「打・投・極」の闘いでは「総合」対「打撃」が面白かったわけだけど、それは『プライド』VSＫ―１であったり、Ｋ―１VSプロレスとかあったけど、その構図が「打撃」VS「新日本」みたいになってきたなぁ。

小松　は………？

山本　「打撃」が何と闘うかというのに興味があったんだけど、中西が入ってきたら見方が変わるもんなぁ。今までは「新日本」が何かと闘うという図式だったけど、これからは逆で、まず「何か」が先にありきで、それに新日本がぶつかっていくという図式に変わるんじゃないかと予感させますよぉ。

――格闘技はある意味でリセットしなければいけないタイミングなんだけど、そのリセットの〝戦略的な部分〟は今回の中西の参戦みたいなことですからね。まあ、その戦略的な部分は決定的な答えになっちゃうから、ハッキリとは言わないけれど（笑）。とにかく技術云々よりも気持ちの闘いに、もう一度戻さないとガチンコっていうのはミもフタもない世界ですからね。

山本　技術の闘いだけだと、やる前に結果が見えちゃうからなぁ。格闘技っていうのは、やる前にある程度は結果と答えが見えてるんですよぉ。そういう意味では格闘技のほうが八百長なんですよぉ。

――もちろん「勝負論」って大切なんだけど、それって本当にミもフタもない世界なんですよ。たとえば、５・２の中邑VSノルキヤなんていい試合だったじゃないですか（笑）。でも、その「勝負論」に期待していた人はほとんどいないでしょ（笑）。

山本　なるほどなぁ。

――「勝負論」の先に何があるのか？　何を提示できるのか？　そこにヒントがありますよね。オレはそこに格闘技の原点があると思うんだけど。

山本　なるほどなぁ。ということは、中西VSＴＯＡはまさしく〝原始格闘技〟みたいなもんだなぁ。

――まさに原始格闘技ですよ。できるものなら恐竜の骨でも持たせたいくらいでね。サダハルンバが解説席で笑い出さないことだけを祈りたいですね（笑）。

谷川　いやぁ、Ｋ―１中継の解説史上でこんなにワクワクする試合は初めてだよね。

――まさに「技術じゃなくて、キャラなんだ！」っていう試合になるでしょう。だから、技術がキャラになっていくっていうイチロー的なものはそれはそれでいいんですけど、それは格闘技ではたとえば吉田秀彦で、あの勝ち方をし続けるしかないでしょう。それが必ずやキャラとして立つようになりますからね。

山本　とにかく今回の『Ｋ―１ジャパン』は中西が重要なキーマンだなぁ。

谷川　でも、バーリ・トゥードに続いてＫ―１にまで出てくるんですから、「馬鹿力もここまできたか」って感じじゃないですか。

――いまだかつて、新日本からＫ―１に出てきた選手っていないですからね（笑）。

谷川　ベースはレスリングの選手ですよ。で、ＴＯＡのベースって知ってます？　山本さん。

山本　いや、知らんよぉ。

谷川　相撲なんですよ。唯一の格闘技の実績が世界アマチュア相撲選手権準優勝なんですよ。

――レスラーと相撲取りがグローブを着けて殴り合うんですよ（笑）。

谷川　これまでのＫ―１の中でも最も「大いなる実験」となる試合ですね。

――で、またその「キッカケは日テレ」で（笑）。『Ｋ―１ジャパン』でやった実験的な藤田VSミルコが格闘技界の中心になって、今回また日テレが実験をやるわけですよ（笑）。日テレが新日本をどう料理するのかっていう。

谷川　なんか、新日本の中にもＫ―１をやりたい選手がいるらしいんですよ。

山本　あ、そう。

谷川　まあ、僕の〝生涯の友〟の上井さん曰くですけどね。「すいません●●●●がＫ―１をやりたくてしょうがないらしいんですけど、天田ヒロミ選手とぶつけてもらえませんか？」って。

――ダハハハッ！

谷川　「いやいやいや、上井さん、それはちょっと待ってください」って（笑）。

――それはいい話だなぁ（笑）

谷川　●●も「Ｋ―１に出たい」って言ってるらしいですしね。

山本　あちゃ〜！

谷川　そういう意味で、今後を占う意味でも中西選手には凄く期待してますよ。

山本　いやぁ、中西はこれしかないですよぉ。いまさらプロレスに回帰するわけにもいかんもんねぇ。

――中西がＫ―１のリングに上がって、どれだけのことをやるか、そこがポイントなんですよ。もう、ホントにとことん「愛すべき馬鹿」になってほしいですよね。

谷川　そこで他の新日本の選手たちや藤田選手とかが嫉妬するくらいにね。

山本　永田なんかノアに行ってる場合じゃないですよぉ！

――まあ、中西ってイメージ的には一番Ｋ―１のリングに上がらないと思われてる選手ですからね。でも、その中西にみんな先を越されてるわけですから。

谷川　Ｋ―１プロデューサーの立場としては不適切な発言かもしれないけど、僕は中西選手が勝って、リング上でぜひ上井さんと抱き合ってほしいなぁ。

小松　バンナに勝った安田に祝福のビンタをした猪木さんみたいに。

――それはやりすぎ（笑）。でも、中西が勝ったら新日本のテーマ曲を流してほしいね

ますますプロレスに回帰するわけにもいかんもんねぇ

（笑）。

谷川　それはぜひともイベントプロデューサー権限で。特別にその試合だけ、ケロちゃんにリングアナをやってもらおうかなあ。

――それもやりすぎ（笑）。

山本　中西の試合はメインなん？

谷川　いや、セミファイナルを予定してるんですけど。

山本　で、メインは何？

谷川　武蔵VSステファン・レコです。

――ぷぷぷぷっ！

谷川　僕が今でも格闘技マスコミの立場だったら、中西選手を2003年上半期の主役にしますね。ぜひともブレイクしてほしいなあ。

――でも、よくよく考えるとK―1と新日本って合うんだよなあ。

谷川　そう、絶対に合う。だけど、プロレスと総合っていうのは同種だから合わないんだよね。

〈※ここで谷川イベントプロデューサーの携帯電話が鳴る〉

谷川　ああ、どうもどうも、お元気ですかあ、上井さんっ！

――んあ〜！

谷川　今ちょうど、中西選手の話で盛り上がってます！

――「お元気ですかあ」って、さっきまで会ってたって言ったのに（笑）。

〈※しばらく打ち合わせの電話が続く〉

谷川　上井さんからでしたあ。

――で、いったいなんのお話？（笑）。

谷川　いやあ、意見交換というか、世間話のホットライン。

――んあ〜！（笑）。

山本　まあ、新日本が5・2でバーリ・トゥードをやったということは、彼らはあの路線をやらざるを得ない、と。もう一つの武器というか付加価値として、それを片一方の車輪にするということになると、必然的に格闘技とリンクすることになるんだよねぇ。リンクせざるを得ないし、リンクさせる理由ができたんですよぉ、完璧に。

――そういうことです。

山本　で、ここで重要なのは、中西は5・2で藤田に大恥をかかされたんだけど、次に「どの面を下げて出てくるんだ？」となるんだよねぇ。そこで「この面」を下げてやってきたのがK―1参戦となると、これはプロレス的な大逆転ドラマになるんですよぉ。

――そう。5・2の藤田戦が終わった後で「もう二度とガチンコには出られないだろう」と思われていたのが、いきなりK―1に出るっていう凄さですからね。

山本　つまり、これこそが間接的ではあるけれども、正真正銘の藤田へのリベンジになるわけですよぉ。優秀なプロレスファンというのは、そういうことを敏感に読み取るからなぁ。だから、非常に面白いんだよねぇ、今回のことは。そういう意味で、俺はプロレスファンに新日本・王政復古の大号令をかけますよぉ！

谷川　僕も親友の上井さんには頑張ってもらいたいから、ぜひとも新日本には頑張ってもらいたいなあ。

――本当に冷静に考えて、あり得ないことが起こったと考えなきゃいけないよね。

山本　何か久々に新日本がとてつもなく大きなことをやるというイメージがあるよなぁ。このムーブメントは絶対に大事にしなきゃいかんよぉ。

――とにかく、上井さんが「今、凄いものを手にしている」っていうことに気付いているかどうかだろうね。まさに新日本が「業界の“ど真ん中”を突っ走る」かどうかのターニング・ポイントだからね（笑）。

小松　そういう意味では凄いですね、上井さんの存在は。6月29日は「V―VA！　上井さん!!」「ブラボー！　新日本!!」って叫びたいですねえ（笑）。

谷川　生涯の友と思うだけに、僕と同じで「濡れ手に砂金」タイプだと思うんだけどねえ……、上井さんは。

――んあ〜！（笑）。■

これはプロレス的な大逆転ドラマになるんですよぉ

6/12THU～6/26THU
CALENDAR

日付	予定
6/12 THU	★『SRS・DX』96号発売日
6/13 FRI	
6/14 SAT	
6/15 SUN	■R.I.S.E./ゴールドジムサウス東京ANNEX (16:30～) ⬅p49 ■MA日本キック連盟/東京・ディファ有明（16:30～）⬅p49
6/16 MON	
6/17 TUE	
6/18 WED	
6/19 THU	
6/20 FRI	■全日本キック連盟/東京・後楽園ホール（18:30～）⬅p48
6/21 SAT	◆全日本キック　後楽園ホール大会/チケット発売⬅p48
6/22 SUN	■新日本キック協会/東京・ディファ有明（16:00～）⬅p48 ■PANCRASE/大阪・梅田ステラホール（16:00～）⬅p46
6/23 MON	
6/24 TUE	
6/25 WED	■DEEP/東京・後楽園ホール（18:30～）⬅p47 ■女子ボクシング協会/東京・六本木velfarre（18:00～）⬅p50
6/26 THU	★『SRS・DX』97号発売日

GUIDE & TICKET
大会ガイド&チケット情報

U-STYLE

PRO WRESTHLING U-STYLE
6月29日（日）大阪・梅田ステラホール

◆開場/16:00 試合開始/17:00 ◆入場料/VIP席（最前列）SOLD OUT SRS席8,000円 アリーナA席6,000円 アリーナB席5,000円 ※当日券は全席種500円増し ◆チケット発売/発売中 ◆チケット発売所/チケットぴあ、ローソンチケット、eプラス、ハイブリッドスポーツプラザ大阪☎06-6649-8530、バディ・スラム☎06-6645-1378、エース☎06-6636-5468、フィットネスショップ難波店☎06-6214-7951、U-FILE CAMPオフィシャルサイト http://www.u-filecamp.com、DEEP事務局 ◆会場アクセス/JR大阪駅、阪急電鉄梅田駅より徒歩9分 ◆お問い合わせ/DEEP事務局☎052-339-0303

決定対戦カード

田村潔司 vs 冨宅飛駈
（U-FILE CAMP.com）（パンクラス大阪）

坂田亘 vs 伊藤博之
（EVOLUTION）（フリー）

三島☆ド根性ノ助 vs 佐々木恭介
（総合格闘技道場コブラ会）（U-FILE CAMP.com）

大久保一樹 vs 原学
（U-FILE CAMP.com）（格闘探偵団バトラーツ）

藤井克久 vs 吉田智彦
（UFO）（U-FILE CAMP.com）

越後隆 vs 木村直生
（U-FILE CAMP.com）（EVOLUTION）

パンクラス

PANCRASE 2003 HYBRID TOUR
6月22日（日）大阪・梅田ステラホール

◆開場/15:00 試合開始/16:00 ◆入場料/SS席8,500円 A席6,500円 B席5,000円 ※当日券は一律500円増し ◆チケット発売/発売中 ◆チケット発売所/P'sLAB大阪☎06-6649-8530、チケットぴあ☎0570-02-9999（Pコード：594-040）、ローソンチケット☎0570-00-0405（Lコード：51481）、eプラス、バディ・スラム☎06-6645-1378、エース☎06-6636-5468、フィットネスショップ難波店☎06-6214-7951、神戸住吉・富万☎078-811-6222、リングソウル☎078-333-6690 ◆会場アクセス/JR大阪駅、阪急電鉄梅田駅より徒歩9分 ◆お問い合わせ/パンクラス☎03-5792-0815 公式ホームページ http://www.pancrase.co.jp/

決定対戦カード

〈稲垣克臣 引退試合〉
稲垣克臣 vs 國奥麒樹真
（パンクラス大阪）（パンクラスism）

佐々木有生 vs 渡辺大介
（パンクラスGRABAKA）（パンクラスism）

北岡悟 vs 星野勇二
（パンクラスism）（和術慧舟會GODS）

長谷川秀彦 vs 佐藤光留
（SKアブソリュート）（パンクラスism）

前田吉朗 vs 佐藤伸哉
（P'sLAB大阪 稲垣組）（P'sLAB東京）

武重賢司 vs 渡辺智史
（パンクラス大阪）（総合格闘技道場コブラ会）

K-1 JAPANシリーズ

K-1 BEAST Ⅱ 2003
6月29日（日）さいたまスーパーアリーナ

◆開場/14:00 試合開始/15:00 ◆入場料/SRS席20,000円 スタンドS席12,000円 スタンドA席6,000円 ◆チケット発売/発売中 ◆チケット発売所/チケットぴあ☎0570-02-9999、ローソンチケット☎0570-5802-0903（Lコード：32488）、CNプレイガイド☎03-5802-9999、キョードー東京☎03-3498-9999、eプラス ◆会場アクセス/JR京浜東北線・宇都宮線・高崎線さいたま新都心駅より徒歩2分。JR埼京線北与野駅より徒歩7分 ◆チケットに関するお問い合わせ/キョードー東京☎03-3498-9999 ◆大会に関するお問い合わせ/K-1事務局☎03-3796-2977

決定対戦カード

TOA vs 中西学
（ニュージーランド/ザ・トアシェッドオボティキ）（新日本プロレス）

武蔵 vs ステファン"ブリッツ"レコ
（正道会館）（ドイツ/ゴールデン・グローリー）

藤本祐介 vs バタービーン
（MONSTER FACTORY）（アメリカ）

子安慎悟 vs アゼム・マクスタイ
（正道会館）（スイス/ウィング・タイジム）

中迫剛 vs ピーター・アーツ
（ZEBRA244）（オランダ/メジロジム）

天田ヒロミ vs TSUYOSHI
（TENAKA510）（オランダ/ボスジム）

大石亨 vs ノブ・ハヤシ
（日進会館）（ドージョー・チャクリキ）

グレート草津 vs 堀啓
（チーム・アンディ）（チームドラゴン）

富平辰文 vs 青柳雅英
（SQUARE）（アイアンアックス）

PANCRASE 2003 HYBRID TOUR
7月27日（日）東京・後楽園ホール

◆DAY TIME：開場12:30 試合開始/13:00 NIGHT TIME：開場/17:30 試合開始/18:00 ◆入場料/SS席12,000円 A席9,000円 B席6,500円 C席5,000円 D席4,000円 立見3,500円 ※DAY TIME、NIGHT TIMEは同一料金 ※当日券は一律500円増し ◆チケット発売/発売中 ◆チケット発売所/チケットぴあ☎0570-02-9999（Pコード：594-040）、ローソンチケット☎0570-00-0403（Lコード：38691）、CNプレイガイド、eプラス、後楽園ホール、書泉ブックマート、大山アメリカン、レッスル渋谷店、レッスル池袋店、ビデオショップ・チャンピオン、水道橋・マニア館、アイドール新宿店、ファイター、フィットネスショップ水道橋、チケット&トラベルT-1、格闘技・プロレス図書館 闘道館☎03-3512-2080、FIGHT COMPANY☎03-3325-5047、SSSアカデミー水道橋☎03-5212-7920、イサミ尚武堂☎03-5214-6487、渋谷TOKYO文庫TOWER 6F☎03-5784-4900、ゴールドジム☎03-3645-9434、パンクラスオフィシャルサイト http://www.pancrase.co.jp ◆会場アクセス/JR総武線・都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分 ◆お問い合わせ/パンクラス☎03-5792-0815

決定対戦カード

～DAY TIME～
〈ヘビー級キング・オブ・パンクラシストタイトルマッチ〉
髙橋義生 vs 小澤強
（パンクラスism）（禅道会）

K-1 ワールドシリーズ

K-1 WORLD GP 2003 in 福岡
7月13日（日）マリンメッセ福岡

◆開場/13:30 試合開始/15:00
◆入場料/SRS席22,000円 RS席15,000円 S席10,000円 A席6,000円
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ☎092-708-9966（Pコード：594-720）、ローソンチケット☎0570-00-0907（Lコード：84267）、eプラス
◆会場アクセス/天神、博多駅から車で10分
◆チケットに関するお問い合わせ/キョードー西日本☎092-714-0159
◆大会に関するお問い合わせ/K-1事務局☎03-3796-2977

K-1 ワールドMAX

K-1 WORLD MAX 2003 世界一決定トーナメント
7月5日（土）さいたまスーパーアリーナ

◆開場/15:00 試合開始/16:00
◆入場料/SRS席20,000円 SS席12,000円 魔裟斗応援シート（SS席・特典付）12,000円 武田幸三応援シート（SS・特典付）12,000円 S席6,000円 ※応援シートは、キョードー東京、K-1 i-modeオフィシャルサイトのみで発売
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ☎0570-02-9999、ローソンチケット☎0570-5802-0903（Lコード：32487）、CNプレイガイド☎03-5802-9999、キョードー東京☎03-3498-9999、eプラス
◆会場アクセス/JR京浜東北線・宇都宮線・高崎線さいたま新都心駅より徒歩2分。JR埼京線北与野駅より徒歩7分
◆チケットに関するお問い合わせ/キョードー東京☎03-3498-9999
◆大会に関するお問い合わせ/K-1事務局☎03-3796-2977

決定対戦カード

魔裟斗（シルバーウルフ）
マイク・ザンビディス（ギリシャ/メガジム）
サムゴー・ギャットモンテーブ（タイ）
マルシオ・カノレッティ（ブラジル/シッチマスターロニー）
武田幸三（治政館）
ドゥエイン・ラドウィック（アメリカ/3-Dマーシャルアーツ）
アルバート・クラウス（オランダ/ブーリーズジム）
アンディー・サワー（オランダ/リンホージム）

～ワンマッチ～
安廣一哉 vs ヴィチェスラブ・ネステロフ
（正道会館）（極真会館）

DEEP

DEEP 10th IMPACT
6月25日（水） 東京・後楽園ホール

◆開場/17:30 試合開始/18:30 フューチャーファイト開始/18:00 ◆入場料/VIP席（最前列・パンフレット付）20,000円 RS席12,000円 A席10,000円 B席7,000円 C席5,000円 ※当日は全席種500円増し ◆チケット発売/発売中 ◆チケット発売所/チケットぴあ、ローソンチケット、eプラス、CNプレイガイド、後楽園ホール、書泉ブックマート、大山アメリカン、レッスル渋谷店、レッスル池袋店、ビデオショップチャンピオン、プロレスマニア館、ファイター、フィットネスショップ水道橋、チケット&トラベルT-1☎03-5275-2778、デポマート☎03-3515-6507、TOKYO文庫タワー☎03-5784-4900、BATTLE PLACE☎03-3881-7770、格闘技プロショップイサミ、パンクラス☎03-5792-0815、DEEP事務局☎052-339-0303 ◆会場アクセス/JR総武線・都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分 ◆お問い合わせ/DEEP事務局☎052-339-0303

決定対戦カード

桜井"マッハ"速人 vs デイブ・メネー
（マッハ道場） （アメリカ/ミネソタ・マーシャルアーツ・アカデミー）

朝日昇 vs TAISHO
（東京イエローマンズ） （バルボーザ&NBJC）

MAX宮沢 vs 鬼木貴典
（荒武者総合格闘術） （Team ROKEN）

入江秀忠 vs 藤沼弘秀
（キングダム・エルガイツ） （荒武者総合格闘術）

大久保一樹 vs 小野瀬哲也
（U-FILE.CAMP.com） （ストライプル）

一宮章一 vs クラフターM
（フリー） （フリー）

DEEP 11th IMPACT in OSAKA
7月13日（日） グランキューブ大阪

◆開場/14:30 試合開始/16:00 フューチャーファイト開始/15:00 ◆入場料/SRS席15,000円 RS席10,000円 スタンドA席7,000円 スタンドB席5,000円 ※当日は全席種500円増し ◆チケット発売/発売中 ◆チケット発売中/チケットぴあ（Pコード：594-750）、ローソンチケット（Lコード：53172）、eプラス、ハイブリッドスポーツプラザ大阪☎06-6649-8530、バディ・スラム☎06-6645-1378、エース☎06-6636-5468、フィットネスショップ難波店☎06-6214-7951 ◆会場アクセス/JR大阪環状線・阪神電鉄福島駅、JR東西線新福島駅、大阪市営地下鉄中央線・千日前線阿波座駅より徒歩10分 ◆お問い合わせ/DEEP事務局☎052-339-0303

決定対戦カード

三島☆ド根性ノ助 vs 今成正和
（総合格闘技道場コブラ会） （Team ROKEN）

〜グラップリングタッグマッチ〜

須田匡臣 門馬秀貴
（CLUB J） vs （A-3）
X X

辻結花 vs アンナ・ミッシェル・ダンテス
（総合格闘技闘魂羅） （ノヴァ・ウニオン）

長南亮 vs 久松勇二
（U-FILE CAMP.com） （TIGER PLACE）

光岡映二 vs X
（RJW/central）

池本誠知 vs 佐々木恭介
（ライルーツコナン） （U-FILE CAMP.com）

伊藤博之 vs 奥山哮司
（フリー） （CMA京都成蹊館）

亀田雅史 vs 深見智之
（総合格闘技道場コブラ会） （CMA京都成蹊館）

プロフェッショナル修斗公式戦
8月10日（日） 神奈川・横浜文化体育館

◆詳細未定 ◆会場アクセス/JR京浜東北線・根岸線関内駅南口より徒歩3分、市営地下鉄伊勢佐木長者町駅より徒歩3分 ◆お問い合わせ/サステイン☎03-5725-7338

決定対戦カード

〈ISC世界ウェルター級チャンピオンシップ〉

五味隆典 vs ヨアキム・ハンセン
（木口道場レスリング教室） （ノルウェー/チーム・スカンジナビア）

〈ISC世界ライト級チャンピオンシップ〉

アレッシャンドリ・フランカ・ノゲイラ vs ステファン・パーリング
（ブラジル/ワールド・ファイト・センター） （アメリカ/ジーザス・イズ・ロード）

〈ISC世界フェザー級チャンピオンシップ〉

大石真丈 vs 松根良太
（K'z FACTORY） （パレストラ松戸）

Result!

『プロフェッショナル修斗公式戦』
5月30日（金）東京・北沢タウンホール

第6試合
○川尻達也（1R TKO）タクミ×
（総合格闘技TOPS） （パレストラ大阪）

第5試合
○帯谷信弘（判定 3-0）橋本平馬×
（GUTSMAN・修斗道場） （パレストラ東京）

第4試合
○大場隆光（2R TKO）中山徹×
（和術慧舟會長崎道場） （インプレス）

第3試合
○春崎武裕（判定3-0）タイガー石井×
（直心会格闘技道場） （パレストラ吉祥寺）

第2試合
○鶴見一生（2R TKO）豊島孝尚×
（RJW G2） （総合格闘技STF）

第1試合
○リオン武（判定3-0）碓氷早矢手×
（シューティングジム横浜） （RJWセントラル）

○天突頑丈（1R TKO）飛田拓人×
（PUREBRED大宮） （インプレス）

▲川尻が3年越しのリベンジを果たした

SMACK GIRL

SMACK GIRL Third Season-V
7月6日（日） 東京・六本木velfarre

◆開場/11:30 第1部開始/12:00 第2部開始/13:30 ◆入場料/VIP指定席20,000円 SRS席9,500円 RS席7,500円 スタンディング3,500円 ※当日はVIP指定席以外は500円増し ◆チケット発売/発売中 ◆チケット発売所/チケットぴあ、後楽園ホール、渋谷TOKYO文庫TOWER 6F ◆会場アクセス/営団地下鉄日比谷線・都営地下鉄大江戸線六本木駅より徒歩3分 ◆お問い合わせ/スマックガール実行委員会☎03-5545-4766

修斗

プロフェッショナル修斗公式戦
6月27日（金） 広島サンプラザ

◆開場/17:30 試合開始18:30 ◆入場料/SRS席10,000円 RS席8,000円 1階S席5,000円 2階パノラマ席5,000円 2階B席3,000円 ◆チケット発売/発売中 ◆チケット発売所/チケットぴあ ◆会場アクセス/JR山陽本線新井口駅より徒歩5分 ◆お問い合わせ/サステイン☎03-5725-7388

決定対戦カード

池本誠知 vs 菊池昭
（ライルーツ・コナン） （K'z FACTORY）

朴光哲 vs 冨樫健一郎
（K'z FACTORY） （パレストラ広島）

〈新人王トーナメント・ミドル級2回戦〉

原弘文 vs 伊藤忍
（TEAM JUNFAN修斗道場） （パレストラ東京）

〈新人王トーナメント・クルーザー級1回戦〉

ザ・グレート浪花 vs 三上MD洋祐
（総合格闘技夢想戦術） （総斗會三村道場）

〈新人王トーナメント・ライト級2回戦〉

小林正俊 vs 藤岡正義
（K'z FACTORY） （シューティングジム大阪）

藤田善弘 vs 田中寛之
（パレストラ広島） （直心会格闘技道場）

WILD宇佐美 vs 溝口なおすけ
（フリー） （誠流会）

出場予定選手

佐藤ルミナ
（K'z FACTORY）

プロフェッショナル修斗公式戦
7月13日（日） 東京・後楽園ホール

◆開場/17:00 試合開始/18:00 ◆入場料/RS席10,000円 SS席8,000円 S席6,000円 A席4,000円 ◆チケット発売/発売中 ◆チケット発売所/チケットぴあ、ローソンチケット、CNプレイガイド、書泉ブックマート、大盛堂書店、フィットネスショップ水道橋店、後楽園ホール、KEEL CAFE☎03-5725-7338、チケット&トラベルT-1☎03-5275-2778、e-ticket：http://www.eticket.net/ ◆会場アクセス/JR総武線・都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分 ◆お問い合わせ/サステイン☎03-5725-7338

決定対戦カード

マーシオ・クロマド vs 村浜天晴
（ブラジル/RFT） （WILD PHOENIX）

植松直哉 vs 風田陣
（K'z FACTORY） （ピロクテクス新潟）

小松寛 vs アリタノ・バルボーザ
（総合格闘技道場コブラ会） （ブラジル/RFT）

〈新人王トーナメント・ライト級2回戦〉

日沖発 vs 高谷裕之
（ALIVE） （格闘結社田中塾）

〈新人王トーナメント・フェザー級2回戦〉

外薗昌敏 vs きんぞ〜
（総合格闘技道場コブラ会） （ピロクテクス新潟）

キックボクシング

新日本キックボクシング協会

勇者達の挑戦 Part Ⅳ
6月22日（日）東京・ディファ有明

◆開場/15:30　試合開始/16:00　◆入場料/RS席10,000円、A席7,000円、B席5,000円、立見3,000円　◆チケット発売/発売中　◆チケット発売所/チケットぴあ、尚武会ジム、尚武会ホームページ http://jkick.com/shoubukai/　◆会場アクセス/新交通ゆりかもめ有明駅より徒歩10分、臨海副都心線国際展示場駅より徒歩5分、品川駅東口から都バスで有明テニスの森下車・徒歩3分　◆お問い合わせ/尚武会☎0426-51-5184

決定対戦カード

建石智成 vs ジョン
（尚武会）（市原）

鈴木敦 vs トゥンソンノーイ・シンポンローハー
（尚武会）（タイ）

中川タカシ vs 正木和也
（トーエル）（藤本）

阿佐美義文 vs HIROKAZU
（治政館）（誠真）

高杉茂男 vs 昇平
（伊原）（宇都宮尾田）

兼子忠司 vs 乙幡耕一郎
（伊原）（尚武会）

阿部道人 vs 金狼正巳
（治政館）（尚武会）

MAGNUM 2
7月26日（土）東京・後楽園ホール

◆開場/17:00　試合開始/17:15　◆入場料/SRS席20,000円 RS席15,000円　S席10,000円　A席7,000円　B席5,000円 立見3,000円（当日のみ）　◆チケット発売/発売中　◆チケット発売所/チケットぴあ、後楽園ホール、伊原道場　◆会場アクセス/JR総武線・都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分　◆お問い合わせ/伊原道場☎03-3461-4258

決定対戦カード

〈泰国ラジャダムナンスタジアムウェルター級タイトルマッチ〉
チャーンヴィット・ギャットトーボーウボン vs 米田克盛
（タイ）（トーエル）

石井宏樹 vs タイ国強豪選手
（藤本）

菊地剛介 vs 鈴木敦
（伊原）（尚武会）

松本哉朗 vs タイ国強豪選手
（藤本）

加村健一 vs トゥンソンノーイ・シットローハー
（伊原）（タイ）

深津飛成 vs スダッチ
（伊原）（ホワイトタイガー）

朴龍 vs 高修満
（市原）（伊原）

小原祥寛 vs 小林ひろし
（藤本）（治政館）

全日本キックボクシング連盟

DEAD HEAT
6月20日（金）東京・後楽園ホール

◆開場/17:00　試合開始/18:30（17:30フレッシュマンファイト開始）　◆入場料/RS席10,000円　S席7,000円　A席5,000円　B席3,000円　※当日は全席種1,000円増し　◆チケット発売/発売中　◆チケット発売所/チケットぴあ、後楽園ホール、全日本キックボクシング連盟　◆会場アクセス/JR総武線・都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分　◆お問い合わせ/全日本キックボクシング連盟☎03-3365-1171　http://www.aj-kick.com

決定対戦カード

佐藤嘉洋 vs クリス・ファン・ベンローイ
（名古屋J・Kファクトリー）（オランダ）

前田尚紀 vs 浦林幹
（藤原ジム）（AJパブリックジム）

〈全日本バンタム級王座決定トーナメント準決勝〉
YUTAKA vs 藤原あらし
（月心会）（S.V.G.）

〈全日本バンタム級王座決定トーナメント準決勝〉
割澤誠 vs 平谷法之
（AJパブリックジム）（空修会館）

サトルヴァシコバ vs ラスカル・タカ
（勇心館）（月心会）

関博司 vs 吉本光志
（名古屋J・Kファクトリー）（AJパブリックジム）

山本元気 vs 阿部圭祐
（REX JAPAN）（はまっこムエタイジム）

KICK OUT
7月20日（日）東京・後楽園ホール

◆開場/17:00　試合開始/18:30（17:30フレッシュマンファイト開始）　◆入場料/RS席10,000円　S席7,000円　A席5,000円　※当日は全席種1,000円増し　◆チケット発売/先行発売：6.20後楽園大会グッズ売場にて　一般発売：6月21日（土）　◆チケット発売所/チケットぴあ、後楽園ホール、全日本キックボクシング連盟　◆会場アクセス/JR総武線・都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分　◆お問い合わせ/全日本キックボクシング連盟☎03-3365-1171　http://www.aj-kick.com

出場予定選手

サムゴー・ギャットモンテープ
（タイ）

新田明臣
（S.V.G.）

Result!

海外遠征試合結果！

『thai & kickbox SUPER LEAGUE』
5月10日（土）オーストラリア・ウィーン

×清水貴彦（5R判定0-3）ファディ・メルザ○
（超越塾）（オーストリア）

『JAPANESE ATTACK！～Night of the SAMURAI』
5月31日（土）イタリア・モデナ

〈WPKC世界ムエタイ・Sライト級タイトルマッチ〉
×金沢久幸（5R判定負け）ロベルト・バッシリ○
（TEAM-1）（イタリア）

×山内裕太郎（3RTKO）エマニュエル・ガファロ○
（AJパブリックジム）（イタリア）

総合格闘技&ノールール系

Result!

club DEEP 3rd.Challenge
5月25（日）名古屋・Club OZON

濱村健（CMA京都成蹊館）
木村仁要（誠ジム）

スエ・ザ・セントーン三村（AJCC）
シンイチロフ（NBJC）

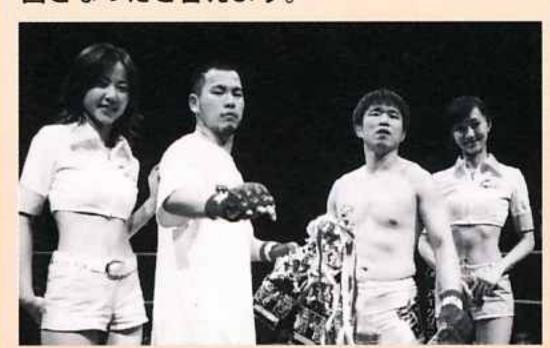
稲吉啓太（四王塾）
木戸地正樹（巽鍛練所）

永井智章（直心会名古屋ファイトクラブ）
藤沢輝生（直心会名古屋ファイトクラブ）

大野敏彦（エスファイブ）
井村允伸（エスファイブ）

前島栄喜（巽鍛練所）
南出裕崇（巽鍛練所）

サモハン竜太（総合格闘技道場コブラ会）
一休☆品川（総合格闘技道場コブラ会）

7チームが参加したタッグトーナメントは、全6試合のうち5試合が一本勝ちで決着という白熱した展開となった。DEEPでのタッグマッチというと、どことなくエキシビジョン的なものを感じさせる試合がこれまで多かったが、この日はどの選手も積極的に一本勝ちを狙いにいったのが、大会を大成功に導く要因となったと言えよう。

▲抜群のチームワークで優勝した濱村、木村組

～ワンマッチ～

第10試合
○魚住敦志（1R TKO）兼定力×
（EVOLUTION）（巽鍛練所）

第9試合
○倉橋達也（1R KO）藤井敏也×
（筋肉海綿隊）（剛道館）

第6試合
○山岡愛子（判定3-0）松本裕美×
（ALIVE小牧）（PUREBRED京都）

第5試合
○宮田卓郎（1R3分41秒、腕ひしぎ十字固め）長迫大樹×
（NBJC）（CMA京都成蹊館）

第1試合
△河合隆一（時間切れドロー）滝西基元△
（NBJC）（CMA京都成蹊館）

キックボクシング

MA日本キックボクシング連盟

第6回梶原一騎杯『キックガッツ2003』
6月15日（日）東京・ディファ有明

◆開場/16:00 試合開始/16:30 ◆入場料/SRS席15,000円、RS席10,000円、S席7,000円、A席5,000円、立見3,000円（当日のみ） ◆チケット発売/発売中 ◆チケット発売/チケットぴあ、連盟加盟ジム ◆会場アクセス/新交通ゆりかもめ有明駅より徒歩10分、臨海副都心線国際展示場駅より徒歩5分、品川駅東口から都バスで有明テニスの森下車・徒歩3分 ◆お問い合わせ/山木ジム☎03-3485-7060

決定対戦カード

〈UKF世界ジュニアミドル級タイトルマッチ〉
スティーブ・ホワイトvsディビッド
（米国） （真樹ジム沖縄）
〈MA日本ライト級タイトルマッチ〉
木村允vs中村玄志
（土浦） （山木）
〈MA日本フライ級タイトルマッチ〉
森岡卓司vs辻直樹
（武勇会） （山木）
〈MA日本フェザー級王座次期挑戦者決定戦〉
ラビット関vs小林秀紀
（山木） （マイウェイ）
ランボー豊栄vs白須康二
（東金） （花澤）
ナミイルvs井出本高司
（谷山） （八街）

MAキック松山大会 vol.4
7月27日（日）アイテムえひめ

◆開場/15:30 試合開始/16:30
◆入場料/特別リングサイド12,000円 リングサイド5,000円（当日6,000円） 自由席3,500円（当日4,000円）
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/ネバーギブアップ☎089-921-7132
◆会場アクセス/JR松山駅より車で約15分
◆お問い合わせ/武勇会☎089-921-7909

決定対戦カード

森岡タカシvs森田晃允
（武勇会） （士道館）
アトム山田vsルートシラー・チェムペッtゥア
（武勇会） （タイ）
吉岡篤史vsチバ・ケイジ。
（武勇会） （kakumei）
吉岡雅史vs奥山光次
（武勇会） （マイウェイ）

R.I.S.E.プロモーション

R.I.S.E. third
6月15日（日）ゴールドジムサウス東京ANNEX

◆開場/16:00 試合開始/16:30 ◆入場料/RS指定席4,000円 指定席3,000円 立見2,000円 ※当日は全席種500円増し ◆チケット発売/発売中 ◆チケット発売所/チケットぴあ ◆会場アクセス/JR京浜東北線大森駅山王西口前 ◆お問い合わせ/RISEプロモーション☎0422-21-0616

決定対戦カード

望月竜介vs濱崎一輝
（U.W.F.スネークピットジャパン） （シルバーアックス）
阿部勝vs水野章二
（クロスポイント） （湘南格闘クラブ）
AKAMINEvs沼尻紀夫
（ターゲット） （フリー）
林徹vs田中龍星
（クロスポイント） （チームドラゴン）
宮本健太郎vs松田恵里也
（モンスターファクトリー） （チームドラゴン）
中島正樹vs卯月昇龍
（STBS） （チームドラゴン）

J-NETWORK

duel in mid summer
7月21日（月・祝）東京・六本木velfarre

◆開場/12:30 試合開始（予定）/12:45 ◆入場料/RS席10,000円、S席7,000円、A席6,000円、入場券4,000円 ※入場券は当日500円増し。それ以外の席種は当日1,000円増し ◆チケット発売/発売中 ◆チケット発売所/チケットぴあ、J-NETWORK各ジム ◆会場アクセス/営団地下鉄日比谷線・都営地下鉄大江戸線六本木駅より徒歩3分 ◆お問い合わせ/J-NETWORK☎03-3419-0536

決定対戦カード

〈スーパーライト級タイトルマッチ〉
喜入衆vs蔵満誠
（アクティブJ） （JMTC）
〈初代ウェルター級王座決定戦〉
黒田英雄vsSHIN
（BRAVES） （アクティブJ）
西山誠人vsゲーンペット・パンムイタイ
（ソーチタラダ） （タイ）

ニュージャパンキックボクシング連盟

VORTEX V ～旋風～
7月6日（日）東京・後楽園ホール

◆開場/17:00 試合開始/17:15
◆入場料/SRS席12,000円 RS席10,000円 特別指定席7,000円 指定A席5,000円 指定B席4,000円 指定C席3,000円 当日立見3,000円
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、ローソンチケット、後楽園ホール
◆会場アクセス/JR総武線・都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/ニュージャパンキックボクシング連盟☎043-202-1161

決定対戦カード

桜井洋平vsタイ国強豪選手
（岩瀬）
〈NKBライト級タイトルマッチ〉
笛吹丈太郎vsソムチャーイ高津
（大和） （OGUNI）
〈NKBバンタム級王座決定戦〉
藤原国崇vs童子丸
（拳之会） （キング）
HIROSHIvsX
（サシブラバー・J）
馳大輔vs外山繁幸
（JK国際） （上州松井）
清水カーvs山本雅美
（OGUNI） （北流会君津）
大川眞人vs河原塚武
（大和） （町田金子）

シュートボクシング協会

"S" of The World vol.4
7月4日（金）大阪府立体育会館 第2競技場

◆開場/17:00 試合開始/17:30
◆入場料/SRS席12,000円 RS席10,000円 SS席7,000円 S席6,000円 A席5,000円 B席4,000円
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、ローソンチケット、CNプレイガイド、シュートボクシング協会☎03-3483-1212
◆会場アクセス/地下鉄なんば駅5番出口より徒歩5分
◆お問い合わせ/シュートボクシング協会☎03-3843-1212、大阪ジム☎06-6382-2863

決定対戦カード

後藤龍治vsジョン・ウェイン
（STEALTH） （オーストラリア/ブンチュウジム）
〈SB日本S・フェザー級タイトルマッチ〉
及川知浩vs松浦知希
（龍生塾） （吹雪ジム）
瀧口隼人vs長井英樹
（大阪ジム） （内田塾）
三原日出男vs市政貴文
（シーザージム） （大阪ジム）
関本浩vs千北大輔
（寝屋川ジム） （内田塾）

空手

正道会館

第5回ウェイト制オープントーナメント全日本空手道選手権大会2003
9月7日（日）大阪府立体育会館

◆開場/9:00 試合開始/10:00 ◆入場料/2,500円（全席自由） ◆会場アクセス/JR・近鉄・南海難波駅、地下鉄なんば駅より徒歩5分 ◆お問い合わせ/正道会館総本部事務局☎06-6357-1654

空手道禅道会

リアルファイティング空手道選手権予選大会
6月29日（日）長野・駒ケ根市武道館

◆開場/12:30 ◆入場料/700円（当日1,000円） ◆お問い合わせ/日本武道空手道連盟事務局☎0265-24-9688

バーリトゥード2003 オープントーナメント リアルファイティング空手道選手権大会
10月5日（日）長野・ビッグハット

◆試合開始/未定 ◆入場料/1,500円（当日1,800円） ※中学生以下無料 ◆会場アクセス/JR長野駅よりバスで『ビッグハット前』下車、徒歩5分 ◆お問い合わせ/日本武道空手道連盟 長野事務所☎026-293-6944

その他

新撰組プロモーション

新・格闘技の祭典

7月13日（日）東京・ディファ有明

◆開場/16:00　◆試合開始/18:00　◆入場料/VIP席20,000円　SRS席15,000円　RS席10,000円　A席8,000円　B席6,000円　C席5,000円　◆チケット発売/発売中　◆チケット発売所/チケットぴあ他　◆会場アクセス/新交通ゆりかもめ有明駅より徒歩10分、臨海副都心線国際展示場駅より徒歩5分、品川駅東口から都バスで有明テニスの森下車・徒歩3分　◆お問い合わせ/新撰組プロモーション☎0424-21-2711

決定対戦カード

〈ワールド士道館ルール・トーナメント〉

マグナム酒井（士道館）
ジェリー・モリス（オランダ）
X（ドイツ代表）
リチャード・トラメル（アメリカ）

〜空手ワンマッチ〜
横山伸吾vs X
（士道館）
神谷友和vs X
（士道館）（正道会館所属選手予定）

〜キックワンマッチ〜
水町浩vs X
（士道館）
佐藤堅一vs井上哲
（士道館）（山木ジム）

〜総合ワンマッチ〜
シューニー・カーターvs窪田幸生
（US士道館）（パンクラスism）

R.I.S.E

アマチュアR.I.S.E.ワンマッチ大会

6月15日（日）ゴールドジムサウス東京ANNEX

◆会場アクセス/JR京浜東北線大森駅山王西口前
◆お問い合わせ/RISEプロモーション☎0422-21-0616

日本女子ボクシング協会

FIGHTING ANGEL pt.1

6月25日（水）東京・六本木velfarre

◆開場/17:30　試合開始/18:00　◆入場料/VIP指定席30,000円　SRS指定席20,000円　スタンディング5,000円　◆チケット発売/発売中　◆チケット発売所/チケットぴあ　◆会場アクセス/営団地下鉄日比谷線・都営地下鉄大江戸線六本木駅より徒歩3分　◆お問い合わせ/日本女子ボクシング協会☎03-3485-4446

決定対戦カード

ライカvsジェリー・フェレス
（山木）（アメリカ）
八島有美vsジーナ・レザース
（Fギャラクシー）（アメリカ）

〈初代バンタム級王座決定戦〉
菊川未紀vsマーベラス
（桶狭間）（SPEED）

〈ミニフライ級王座決定戦〉
袖岡裕子vsジプシー・タエコ
（SPEED）（山木）
鬼鞍幸子vs渡邊久江
（横浜）（TEAM LIMIT）
ミサコ山崎vs柴田早千予
（岩井）（白龍）

アマチュア修斗

アマチュア

第4回全九州アマチュア修斗オープントーナメント

6月29日（日）アクシオン福岡 多目的アリーナ

◆試合開始/10:30
◆会場アクセス/博多駅交通センター14番のりばからバスでアクシオン福岡前下車
◆お問い合わせ/日本修斗協会アマチュア普及委員会☎03-5984-3209

第4回北海道アマチュア修斗オープントーナメント

7月6日（日）セントラルウェルネスクラブ札幌店

◆試合開始/10:30
◆会場アクセス/地下鉄東西線西14丁目より徒歩5分
◆お問い合わせ/日本修斗協会アマチュア普及委員会☎03-5984-3209

第2回東北アマチュア修斗オープントーナメント

8月3日（日）宮城・青葉体育館 柔道場

◆試合開始/14:30
◆会場アクセス/JR仙山線北仙台より徒歩8分。市営地下鉄北仙台より徒歩5分
◆お問い合わせ/日本修斗協会アマチュア普及委員会☎03-5984-3209

空手道禅道会

第4回エクスチェンジトーナメント

6月15日（日）神奈川・相模原市立総合体育館 柔道場

◆試合開始/14:30
◆会場アクセス/JR相模原駅、小田急線相模大野駅からバス。『総合体育館前』下車より徒歩1分
◆お問い合わせ/空手道禅道会横浜事務局☎045-591-1813

梶原一騎十七回忌にあの大会が復活！注目は"世界一過酷"なトーナメント

士道館が新たに設立した興行会社『新撰組プロモーション』が、故・梶原一騎氏の十七回忌に『新・格闘技の祭典』を開催する。キック、総合などのワンマッチに加え、注目は『ワールド士道館ルール』のトーナメント。これはアメリカの士道館で行われているルールで、1、2Rが空手、3、4Rがキック、5Rからが総合（決着が付くまで無制限）という過酷なルール。5月31日に行われた会見には闘龍門ジャパンの岡村社長（士道館の西日本本部長でもある）も出席し、「今回は闘龍門の社長としてでなく、個人として参入させていただきます。チャラチャラしたものでなく、ゴングより太鼓が似合う漢（おとこ）の大会で、これから飛躍的に伸びると思う」とコメント。華やかなエンターテインメントとはひと味違う"漢の闘い"がスタートだ！

主要チケット発売所一覧

チケットぴあ
☎03-5237-9999
ローソンチケット
☎03-3569-9900
CNプレイガイド
☎03-5802-9999
オデッセー
☎03-3408-0331
渋谷東急文化チケットセンター
☎03-3406-1513
レッスル渋谷店
☎03-3464-0078
レッスル池袋店
☎03-3989-0056

K－1事務局
〒150-0001東京都渋谷区神宮前2-18-22S＆T神宮前ビル3F
☎03-3796-2977
修斗
※各興行のプロモーターに問い合わせ

ワールドパンクラスクリエイト
〒106-0047東京都港区南麻布4-2-25 2F
☎03-5792-0815

プロ団体連絡リスト

K－1事務局
〒150-0001東京都渋谷区神宮前2-18-22S＆T神宮前ビル3F
☎03-3796-2977
修斗
※各興行のプロモーターに問い合わせ

ワールドパンクラスクリエイト
〒106-0047東京都港区南麻布4-2-25 2F
☎03-5792-0815
高田道場
〒142-0062東京都品川区小山3-6-6ワールドパレス武蔵小山1F＆B1
☎03-5749-5030
UFO
〒108-0071東京都港区白金台3-19-5OK白金台ビル7F
☎03-5447-2121
ドリームステージエンターテインメント
〒107-0061港区北青山3-12-9花茂ビル3F
☎03-5464-1531

S.W.A 掣圏道・ワールド・アソシエーション
〒150-0021東京都昭島市大神町1-2-22
☎042-544-6979
マーシャルアーツ日本キックボクシング連盟
〒400-0046山梨県甲府市下石田2-19-17
☎055-228-2326
全日本キックボクシング連盟
〒169-0074東京都新宿区北新宿1-6-21
☎03-3365-1171
日本キックボクシング連盟
〒124-0023東京都葛飾区東新小岩5-2-7江戸屋ビル4F
☎03-3691-4536
新日本キックボクシング協会
〒150-0034東京都渋谷区代官山町7-8
☎03-3780-1350
ニュージャパンキックボクシング連盟
〒260-0016　千葉県千葉市中央区栄町39-3　トーワビル1F
☎043-202-1161

J－NETWORK
〒154-0024東京都世田谷区三軒茶屋2-14-12三元ビル5F
☎03-3419-0536
K－U（キック・ユニオン）
〒195-0834東京都八王子市東浅川町8-1
☎0426-66-9541
シュートボクシング協会
〒111-0033東京都台東区花川戸2-2-8ワコー花川戸ハイツ1・2F
☎03-3843-1212
極真会館総本部道場（松井派）
〒171-0021東京都豊島区西池袋2-38-1
☎03-5992-9200

バックナンバー インフォメーション

《3・27&4・10&4・24 90号》

●特集/春のK-1 完全ガイド！ 3・30 K-1 WORLD GP さいたま大会&4・6 K-1 BEAST 山形大会をサダハルンバ谷川・K-1イベントプロデューサーに聞けぇぇぇ！
●直前情報/3・16 PRIDE.25 ニーノ"エルビス"シェンブリ、ダン・ヘンダーソンインタビュー
●特集/5・2新日本のＶＴマッチ開催は是か非か！？　島田裕二×ターザン山本対談、井上義啓元週刊ファイト編集長インタビュー
●大会詳報/K-1 WORLD MAX　魔裟斗V2！　魔裟斗vs武田 水面下の闘い
●大会レポート/3・4 DEEP マッハ、2・28 UFC41、全日本ライト級トーナメント
●SRS・DXの注目！/2・25 TBSサイボーグ魂女子格闘技大会 水野裕子ほか

《5・8 93号》

●特集/新生PRIDE誕生　継続とはリセットすることなり、高田延彦インタビュー、ヴァンダレイ・シウバ×ターザン山本対談
●総力取材/5・2 新日本プロレスＶＴ戦 開催の波紋　金沢"GK"克彦×ターザン山本対談、中西学、謙吾インタビュー
●SRS・DXの注目！/K-1 WORLD GP0ラスベガス大会直前情報、ミルコ・クロコップインタビュー、5・5 DEEP後楽園大会最終情報、大道塾・東孝塾長インタビュー、小林聡インタビュー

●大会詳報/4・6 K-1 BEAST 山形大会 武蔵vsゲーリー・グッドリッジほか

●seriesジョシカク/吉住絹子、4・2 SMACK GIRL、4・6 女子レスリング

《4・24 臨時増刊号 91号》

●完全速報/3・16 PRIDE.25 桜庭和志vsニーノ"エルビス"シェンブリ、エメリヤーエンコ・ヒョードルvsアントニオ"ホドリゴ"ノゲイラ ほか全試合熱血レポート
●観戦ガイド/3・30 K-1 WORLD GP さいたま大会の歩き方&編集部完全予想
●インタビュー特集/菊田早苗、近藤有己、佐々木有生、魔裟斗、武田幸三
●SRS・DXの注目！/SAPP STATION、原宿にオープン！
●スペシャル対談/倉田保昭×松井章圭、シーザー武志×ターザン山本
●大会レポート/3・8 ZST Zepp Tokyo大会、3・9 ニュージャパンキック後楽園大会、3・14 女子ボクシング TOKYO FMホール大会
●seriesジョシカク/しなしさとこ、ジョシカクTOPICS

《5・29 94号》

●特集/5・2新日本プロレス·東京ドーム大会『ULTIMATE CRASH』徹底分析！　中邑真輔&LYOTOインタビュー
●大会詳報/K-1 WORLD GP 2003 in ラスベガス　角田信朗インタビュー、USA予選トーナメント、浅草キッドのK-1裏ベガス トーク

●GW大会特集/5・5 DEEP 後楽園大会、4・25 UFC42、4・29 全日本柔道選手権、5・4 修斗後楽園大会、
●SRS・DXの注目/スペシャルインタビュー☆長谷川京子　シリーズ禅☆横井宏考、尾崎社長インタビュー、5・23 全日本キック最終情報
●seriesジョシカク/エリカ・モントーヤ、5・7 SMACK GIRL ほか

《5・8 臨時増刊号 92号》

●完全速報/3・30 K-1 WORLD GP in さいたま ミルコ・クロコップvsボブ・サップ、セフォーvsベレ・リード、ホーストvsジェファーソン・シウバ、アーツvsレコ、ボンヤスキーvsブレギーほか全試合レポート
●直前情報/4・6 K-1 BEAST山形大会 ジャパン勢に直撃インタビュー
●SRS・DXの注目！/髙阪剛インタビュー
●勝者進化論・PRIDE馬鹿変/ヒョードル、ニーノ、ランペイジ、小路晃
●大会レポート/3・18 修斗後楽園大会、3・23 コンバットレスリング、3・30 アブダビコンバット日本予選、3・23 新日本キック後楽園大会
●seriesジョシカク/羽柴まゆみ、3・29 ARKADIA白馬大会& GFC-02

《6・12 95号》

●最新情報/6・8 PRIDE.26見どころ徹底ガイド/高瀬大樹インタビュー
●特集/決定版◎初夏のK-1情報/5・30 K-1スイス大会、6・14 K-1パリ大会、6・29 K-1ジャパンさいたま大会、7・5 K-1 MAXさいたま大会
●徹底検証/大変革！？　5・2以降の新日本プロレス　金沢"GK"克彦×ターザン山本、上井文彦×ターザン山本 対談
●SRS・DXの注目/DEEP最新情報◎ターザン山本&朝日昇、変人同盟結成、藤沼弘秀インタビュー/美濃輪育久インタビュー/極真ウェイト制プレビュー
●大会詳報/5・18 パンクラス横浜大会、5・23 全日本キック ライト級トーナメント
●seriesジョシカク/坂本奈緒子、5・22 女子格闘技『Gals』ほか

バックナンバーに関するお問い合わせは……
扶桑社 販売企画部　☎03-5403-8859まで
※編集部では受け付けておりませんのでご注意ください。

※バックナンバーはSRS・DX直営ショップ「グレート・アントニオ」でも扱っています。ただし、完売した号もありますので、予めご確認ください。　グレート・アントニオ☎03-3219-9550

浅草キッドの底抜けアントンハイセル

◎浅草キッドHP『キッドリターン』
http://www.asakusakid.com

K―1興行ラッシュを徹底分析 TOAダンサーズのギャラも判明!?

博士 さぁ格闘技界も下半期に突入だ!
玉袋 しかしK―1の大会ラッシュは凄いですよ!
博士 まずはアンディの三回忌興行となったスイス大会。
玉袋 もう三回忌ですか、早いもんですね～。俺たちもスイスに行って線香を一本あげてきましたよ。
博士 スイスに行ってないよ! スケジュールの都合だったから仕方ないだろ! おまえがいつもこのコーナーで海外の大会に行けないってぼやくから、フジテレビのプロデューサーの方が「いつも行けなくてすいません」ってマネージャーに言ってきたっていうんだから、余計な気を遣わすな!
玉袋 しかしスイスは永世中立国なのになんで闘いなんてするんですか! これは国家が揺らいでる証拠ですよ。
博士 スイスは2002年に、国民投票で国連にも入っただろ!
玉袋 スイスの「永世中立国」なんて、将棋の「中原永世十段」以上に看板に偽りありですよ!
博士 なんで林葉直子と不倫してた中原さんが出てくんだよ! スイスは国民皆兵の完全徴兵制の国だから、男はみんな軍事訓練を受けてる。格闘熱は高くても不思議ではない。
玉袋 なるほど、国民皆ヴォルク・ハンという、とてつもなく危険な国だったんですね!
博士 べつにスイスの男が全員、殺人コマンドサンボをマスターしているわけじゃないよ!
玉袋 でもスイスは物価が高いからファイトマネーも相当高いでしょうから、谷川プロデューサーは大変だったでしょうね。
博士 余計な心配しなくていいよ!
玉袋 報酬はやはり、スイス銀行神田錦町支店に振り込みですかね?
博士 ゴルゴ13じゃねーって! しかもローデスの近くにスイス銀行の支店があるか!
玉袋 聞いた噂によると、報酬は4000万円にのぼったらしいですよ。
博士 それは石井元館長の保釈金だろ! バカヤロー!
玉袋 だけど今回はアンディの地元スイスで開催だからアンディの一門会だったわけですよね。
博士 一門会って落語の会じゃないんだよ! でも、アンディの弟子が多数出場した。
玉袋 アンディ・トラフグ、アンディ・サバフグ、アンディ・ショウサイフグ。
博士 だから、芸人じゃないんだから、そんなリングネームなわけないだろ! ぜひとも弟子に勝ってほしかったが優勝はジェレル・ヴェネチアンだった。
玉袋 ヴェネチアンはジャビット君を倒したんですよね? これは原巨人としては痛い負けですよ。
博士 だからジャビット君って呼ぶなよ! 期待のスイス人選手のビヨン・ブレギーもヴェネチアンに負けた。
玉袋 ヴェネチアンはそのまま傭兵となって世界中で戦争してきてもらいましょう。
博士 スイスだからって勝手に傭兵にするな! ヴェネチアンは『Dynamite!』にも出場した便利な選手だから、これからも『プライド』にもやってきそうだからおもしろい選手だよ。
玉袋 スーパーファイトのベルナルドVSレコはねぇ……。
博士 せっかくアンディの遺志を継ぐって言われたベルナルドで、今回は再浮上のチャンスだったのに逃してしまったな。
玉袋 一部の心ないファンは言ってますよ。「マクドナルドのハンバーガーより安くなったベルナルド」。
博士 それおまえがこのまえ居酒屋で言ってたセリフだよ!! 6・29にはさいたまで、ジャパン大会もある。ビースト軍団の総帥・サップも日本に51日ぶりで帰ってきた。
玉袋 右目の黒い眼帯に加えて、今度は口に白いマスクもしてたね。
博士 なんで、SARSになって帰ってきてんだよ! まだ、右目の周りは黒ずんだままだった。
玉袋 W―1でグレート・ムタから受けた毒霧の染料がまだ落ちないんですか?
博士 そのせいでいまだに黒いわけじゃねーよ! しかも染料とか言うな!
玉袋 マイケル・ジャクソンに美白方法を教えてもらったらいいのに。
博士 人種変わっちまうだろ! サップ曰く「右目は100%大丈夫」らしいからひと安心だ。
玉袋 良かったよ目が良くなって。「おすぎとビースト」になってたらシャレにならなかったよ。
博士 十分シャレになってないよ! ピーコさんに失礼だろ!
玉袋 もし目が治らなかったら、うちの師匠の映画『座頭市』に出てもらいましょう。
博士 だから治るって言ってんだろ!
玉袋 そんな、ジャパン軍VSビースト軍の文字どおり〝目玉〟はなんと言ってもTOAですよ!
博士 このTOAとこのまえ絡んだんだけど、まぁ喋らないんだよ!
玉袋 きっと韓国の女の子だからまだ日本語がよく分からないんですよ。
博士 あれのどこが韓国の女の子なんだよ! BoAじゃなくてTOAだろうが!
玉袋 テレビにあがってるのか、怒ってるのか分からないから怖いんですよ! それにあのマオリのダンスチームが無気味ですよ。あいつらはどういう契約で来てるんだろう?
博士 べつに彼らの契約条項なんて気にしなくていいだろ!
玉袋 たぶんギャラはグロスで、ダンス1回につきいくらってことじゃなく、拘束日数×ギャラじゃないですか?
博士 おまえ、フィリピンパブのマネージャーかよ! やかましいよ!
玉袋 あのダンスチームの中にZOOのメンバーがいるって噂ですよ。
博士 いねぇよ! そして6・14フランス大会。バンナの相手は意外な選手だったな。
玉袋 中国の胡錦濤国家主席ですよ!
博士 そりゃこのまえフランスで行われていたエビアンサミットの話だろ! 初参戦のヴィタリ・オフラメンコだ。
玉袋 TOAのダンスチームに続いてフランスではフラメンコダンサーですか。
博士 違うだろ! 7・5K―1MAXにはなんと武田だけじゃなく、タイの英雄サムゴー参戦も決定した!
玉袋 サムゴーは俺たちもタイに取材まで行きましたからね。
博士 サムゴーははせキョーファンでジムにははせキョーの写真まで飾ってあるんだよな。
玉袋 階級が違って不利だろうけど、サムゴーならやってくれそうですよ。
博士 魔裟斗は毎回大変な仕事量だよな。
玉袋 うまくいけば2回戦で魔裟斗VSサムゴーが実現ですからね。
博士 まさに夢のカードだ!
玉袋 本人も出たがってましたからね。谷川将軍! 頑張ってますネェ。
博士 「本当、ぼく頑張ってるでしょ～」って声が聞こえてくるよ!
玉袋 応援している武田選手ですけど、このまえの試合で頭割られちゃったでしょ? 大丈夫ですかね?
博士 伊原会長だもん、有無を言わさず出場だよ!
玉袋 そこが武田選手のいいところですよ!
博士 武田選手には今度こそ優勝を掴んでほしい。そして現時点で結果が出てない『プライド26』だが。
玉袋 セミのミルコVSヒーリング、メインの藤田VSヒョードルとありますが、本当のメインは鳥越祭りを楽しむ会ですよ!
博士 そりゃ『プライド』当日の前に行われる百瀬さんのイベントだろ! でも、ある意味おまえのボケも正しいから突っ込みづらいだろ!
玉袋 俺も茨城県霞ヶ浦斎場でのビッグマッチを仕切りましたからね。
博士 そりゃ5月の末に死んだおまえの親父の葬式だろ!
玉袋 フレッド・ブラッシーの試合を見て興奮のあまり……。
博士 ウソつけ! そのブラッシーも死んじゃったよ!
玉袋 親父の葬式で、僕が喪主ですから挨拶したんですけど、第一声「元気ですかーッ!」って言ったらシ～ンとしてましたよ。
博士 葬式だから当たり前だよ!
玉袋 今後は喪主・バーネットとして新日本プロレスを背負っていこうと思ってます。
博士 それはジョシュ・バーネット! でも、前号の上井さんのインタビューは面白かった。
玉袋 上井さんには誌面を使って俺たちのサムライの番組「浅草キッドの海賊男」に出演を願いたい!
博士 サムライと新日本プロレスの関係を超えて出演してほしいね。■

魔裟斗、武田は生き残れるのか!?

7・5K－1ワールドMAXに最高、最強の外国勢が来襲！

前号でもお伝えしたが、7・5K－1ワールドMAXの出場選手がとんでもないことになっている。前年王者クラウスはもちろん、そのクラウスをKOしたザンビディス、ムエタイ最高峰を極めたサムゴー、そしてシュートボクシング『S－cup』王者サワーと、これ以上ない中量級最高、最強の顔ぶれ。こんなメンツに囲まれて、魔裟斗と武田は果たして生き残れるのか？

文◎橋本宗洋
撮影◎山口比佐夫

意外!? 武田は「K―1はやりやすい」

魔裟斗に漂う悲愴感

とてつもなく凄いメンバーが揃った、このトーナメント組み合わせを見ていると、どうしても"矛盾"という言葉の由来を思い浮かべてしまう。どんな盾も貫く矛と、どんな矛も通さない盾。じゃあお互いをぶつけてみたらどうなる？　そんなものホントにあるのか？　というわけだ。

今回のK―1ワールドMAXは、まさにそんな世界にも思えるのだ。誰と闘ってもノックアウトしそうなファイターと、誰と試合しても負けが想像できない選手をぶつけたら……。故事と違うのは、答えが必ず出ることだ。

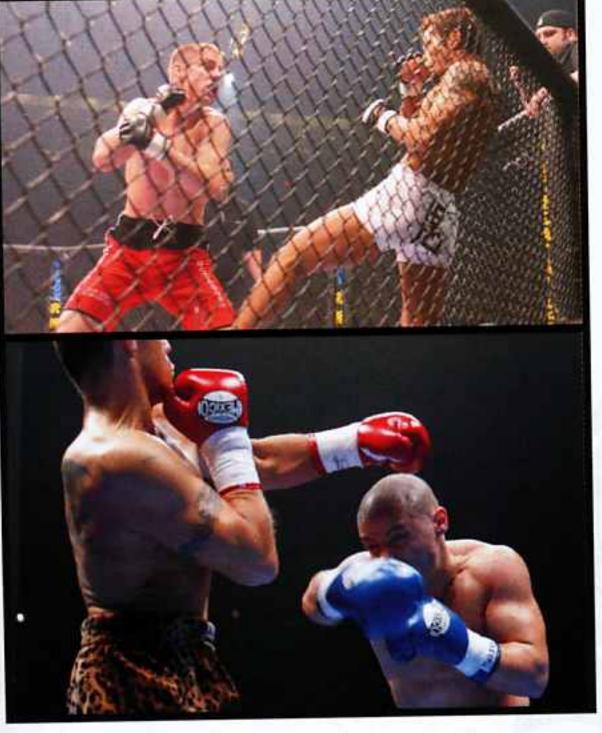
5月26日に行われた記者会見で、谷川貞治イベントプロデューサーは「自分で言うのもなんですが、メンバー的には自信があります」と語り、一方、角田信朗競技統括プロデューサーは「日本人初のK―1タイトル獲得という期待が、顔ぶれを見たら即座に不安に変わってしまいました」とコメントした。それだけ凄いメンバーが揃い、またその分"魔裟斗や武田は本当に生き残れるのか？"という不安もつきまとう、ということ。もちろん、魔裟斗と武田も世界有数の強豪ではあるのだが……。

魔裟斗の1回戦の相手はマイク・ザンビディス。今年3月、ワンマッチでアルバート・クラウスをワンパンチKOしてのけた豪腕だ。地元・オーストラリアではスタン・ザ・マンの後継者と目されており、クロールのようなフォームで振り抜くパンチはスタンそっくりに見える。ただし、豪快さだけがウリの"一発屋"では決してない。オーストラリアでのザンビディスの試合を見たある選手は、その意外なしたたかさをこう語る。

「魔裟斗選手が分析してるように出入りが速いし、自分のフォームのクセも知ってますよ。相手が自分をどう攻略してくるか、分かった上で闘ってる」

K-1 WORLD MAX 2003

ザンビディス戦をクリアしたとしても、準決勝でまた難関。ブラジル予選優勝者で、現地のプロモーターも太鼓判を押すマルシオ・カノレッティと、タイの英雄サムゴー・ギャットモンテープのいずれかが魔裟斗を待ち受けている。ブラジルというと柔術のイメージが強いが、フランシスコ・フィリォを筆頭にした極真勢、ヴァンダレイ・シウバのいるシュートボクセを忘れてはいけない。カノレッティは、そんな"打撃大国"の中量級トップファイターなのだ。

そしてサムゴー。500年の歴史を誇るムエタイ、その頂点を極めた男だ。本来の階級はJrライト級と体格的には不利だが、一度でもこの男のミドルキックを見たことがあれば「サムゴーには体格差なんてハンデにもならないんじゃないか」と思えるだろう。小林聡、金沢久幸を蹴り潰した衝撃は、それほどまでに凄まじかった。

武田の道のりも険しい。1回戦ではドウエイン・ラドウィックと対戦。昨年の1回戦で魔裟斗に敗れているラドウィックだが、今年に入って前UFC王者のジエンス・パルヴァーをKO、さらに須藤元気にも判定勝利と総合格闘技の分野で評価を急上昇させているのだ。実力もさることながら、その"自信"が恐い。

もう一つの枠で対戦するのは前年王者・クラウスと初参戦のアンディ・サワーである。K―1MAX王者とシュートボクシングS―cup王者の究極の対決。まして両者はかつての同門、いわば遺恨対決なだけに熾烈な闘いになるのは間違いない。魔裟斗は決勝戦での対戦相手を武田ではなく「この2人の勝ったほう」と読んでいる。

「今回勝つには運も大事。みんな実力的には差がないから」と魔裟斗は言う。それが素直な心境なのだろう。最近「好きなのはホースト。勝ったヤツが正しいんですよ」という発言をしたのも、この大会で勝つことの難しさ、そしてそれでも勝たなければいけないんだという己に課した悲愴なまでの決意の現れだろう。

「今回負けて『また来年頑張ります』とは言えない。"次"はない」（魔裟斗）

一方の武田も「前回負けてるんで結果が重要。崖っぷちだと思ってます」と語る。だが同時に「K―1ルールはやりやすい」とも。ヒジなし、パンチ主体のK―1で"最高のポテンシャルが出せれば"という思いがあるはずだ。それは我々見る側にとっても同じである。

いずれ劣らぬ強度を持った矛と盾が8名。7月5日、さいたまスーパーアリーナで"矛盾"は解かれる。■

《K-1 WORLD MAX2003～世界一決定トーナメント～》

日本代表
魔裟斗
〈日本／シルバーウルフ〉

オセアニア代表
マイク・ザンビディス
〈ギリシャ／メガジム〉

アジア代表
サムゴー・ギャットモンテープ〈タイ〉

南米大陸代表
マルシオ・カノレッティ
〈ブラジル／シッチマスターロニー〉

主催者推薦
武田幸三
〈日本／治政館〉

北米大陸代表
ドゥエイン・ラドウィック
〈アメリカ／3ーDマーシャルアーツ〉

ディフェンディング王者
アルバート・クラウス
〈オランダ／ブーリーズジム〉

ヨーロッパ・ロシア代表
アンディ・サワー
〈オランダ／リンホージム〉

《賞金》
優勝：1000万円
準優勝：200万円
3位：75万円
KO賞：30万円

《スーパーファイト》
安廣一哉VSヴィアチェスラヴ・ネステロフ
〈日本／正道会館〉〈ロシア／極真会館〉

魔裟斗 said...

「もし今回負けることがあれば“また来年”とは言えない」

「去年あずけたベルトを今年は取り返したいと思ってます。K－1で日本人でチャンピオンになれるのはオレだけだと思ってるんで。今年こそはやります。決勝の相手は誰でもいいです。ボクが一番になれれば、相手は関係ないです。今回もボクシングに力を入れて練習してます。まあでも手だけになんないようにしますけどね。（去年に比べて成長したのは）パンチだけではないですね。リングに上がってる時の精神状態も冷静だし。今年負けて『また来年頑張ります』とは言えないですからね。今年は勝負です。誰と当たっても強いと思ってるんで、気は抜けないなと思ってます。今回勝つには運も必要なんじゃないですか。みんな実力的には差がないと思うんで」

武田 said...

「これまでの選手生活で初めて自分で“出る”と決めた大会」

「自分の身上であるＫＯを狙いつつ、一番上を目指したいと思います。この前の試合でムエタイは難しいなと再認識して。次は自分としてはやりやすいＫ－１ルールで、苦手意識はないんで大丈夫だと思います。（前回の反省点は？）パンチの数が少なかったですね。今回はパンチの練習を多くしていきたいです。前回負けてますし、５月もファンの期待に応える試合ができなかったんで、初心に戻ってというか自制してというか、取材とかお断りすることが出てくるかもしれません。今回は自分に選択権があって、先生から『出るか出ないかは自分で決めろ』と。自分から試合に出たいって言ったのは今回が初めてです。自分で言ったからには頑張りたいと思います」

…の脅威は
…の2人！

サムゴー 無敵伝説

もはや同階級に敵なし！ 戦慄のミドルが中量級をも席巻する

ついに、あのサムゴーがK—1にやってくる。タイで最高ランクのファイトマネーを稼ぐというムエタイのベスト・オブ・ザ・ベスト。最も層が厚いJrフェザー～ライト級のベルトを獲得した男。人呼んで"ルンピニーの帝王"がK—ワールド1MAXのリングで闘おうというのだ。

サムゴーのベストウェイトは約60キロといったところ。今回まったく減量なしで臨んだとしても65キロくらいだろう。他の選手たちはジャスト70キロ。それも70キロ代中盤～後半から落としてくるのだ。そもそも体重が軽くなればなるほど1キロの重みも増す（100キロから5キロ痩せるのと、50キロから5キロ痩せるのどっちが難しい？）。中量級における5キロは、おそらく重量級の20キロにも相当するだろう。言ってみればサムゴーのK—1MAX出場は、桜庭がヒョードルと闘うようなもの。

タイでも同階級では強すぎて相手が見つからず、常にウェイトハンデ戦で闘っているサムゴーでも、70キロはキツすぎる。だが、それでもやはり期待してしまうのがサムゴーなのである。

昨年のK—1MAXに出場したガオランは首相撲を得意とするテクニシャンタイプだったが、サムゴーは徹底的にKOを狙うスタイル。K—1にはうってつけだろう。昨年9月6日、全日本キックのリングで行われた小林聡戦。3R開始前にセコンドの「次のラウンドで絶対に倒してこい！」という檄を受けたサムゴーは、キッチリと3度のダウンを奪ってコーナーに帰ってきた。タイ人じゃない相手をKOできなかったら恥。それがムエタイ王者のプライドなのかもしれない。

戦前、小林はサムゴーについてこう語っていた。

「たとえばタイの雑誌で写真だけ見てても、サムゴーは雰囲気が違うんですよ。言ってみれば獣。そういう匂いがある」

日本の"野良犬"は、タイの獣に蹂躙された。小林がどれだけ懸命に立ち向かっていっても、左のミドルキックで蹴り潰されてしまう。蹴られ続けるうちに、小林のガードの右腕はブラブラと垂れ下がった状態に。ドクターの診断は"重度の打撲"だった。サムゴーVS小林戦の1週間ほど前には『Dynamite!』のノゲイラVSボブ・サップ戦もあったのだが、強さのインパクトではノゲイラもサップもサムゴーも同格に思えた。

よくムエタイの蹴りはムチのしなやかさに例えられるが、サムゴーの場合は違う。今年2月7日に対戦した金沢久幸の言葉を借りるとこうなる。

「あの蹴りは…鉄パイプでぶん殴られたような衝撃でした」

策士として知られる金沢だが、サムゴーのミドルにはどんな策も通用しなかった。最後は鮮やかなカウンターのヒジでKO。もはやタメ息も出ない。

ムエタイはポイント重視？ 倒し合いをしないからつまらない？ なるほど、それは一面の真実だろう。だがその頂点には、このサムゴーがいるのだ。敵の肉体を破壊し尽くす蹴りを持つ男が。

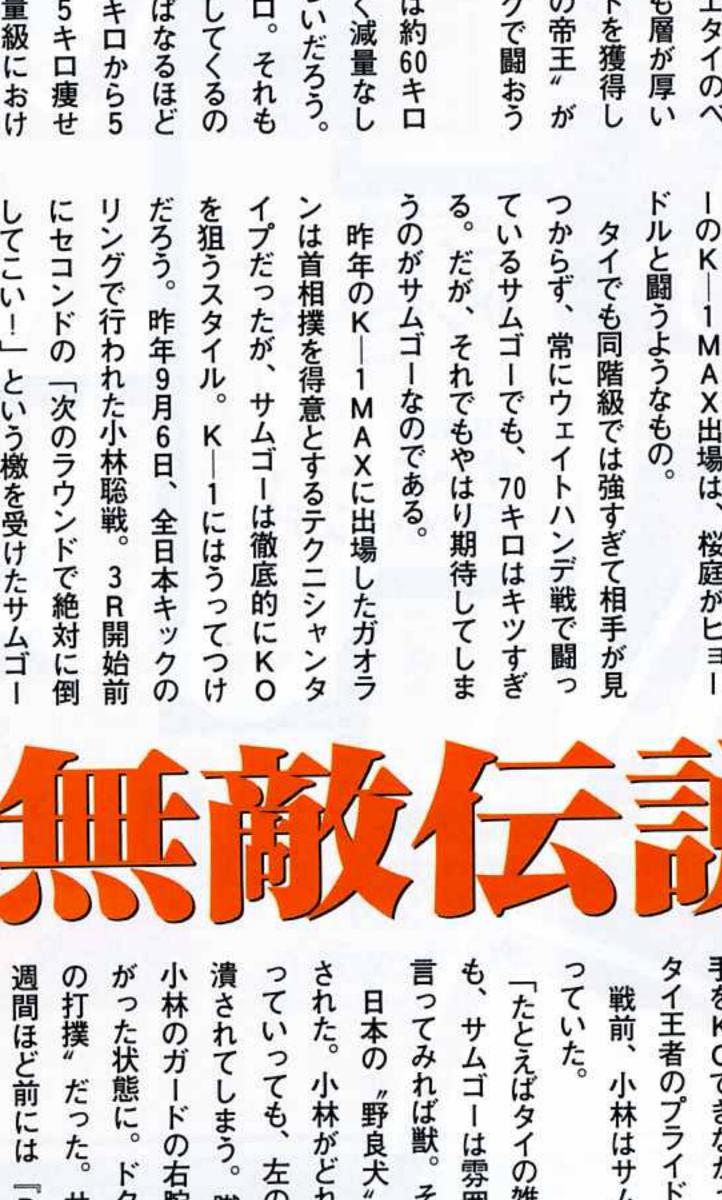
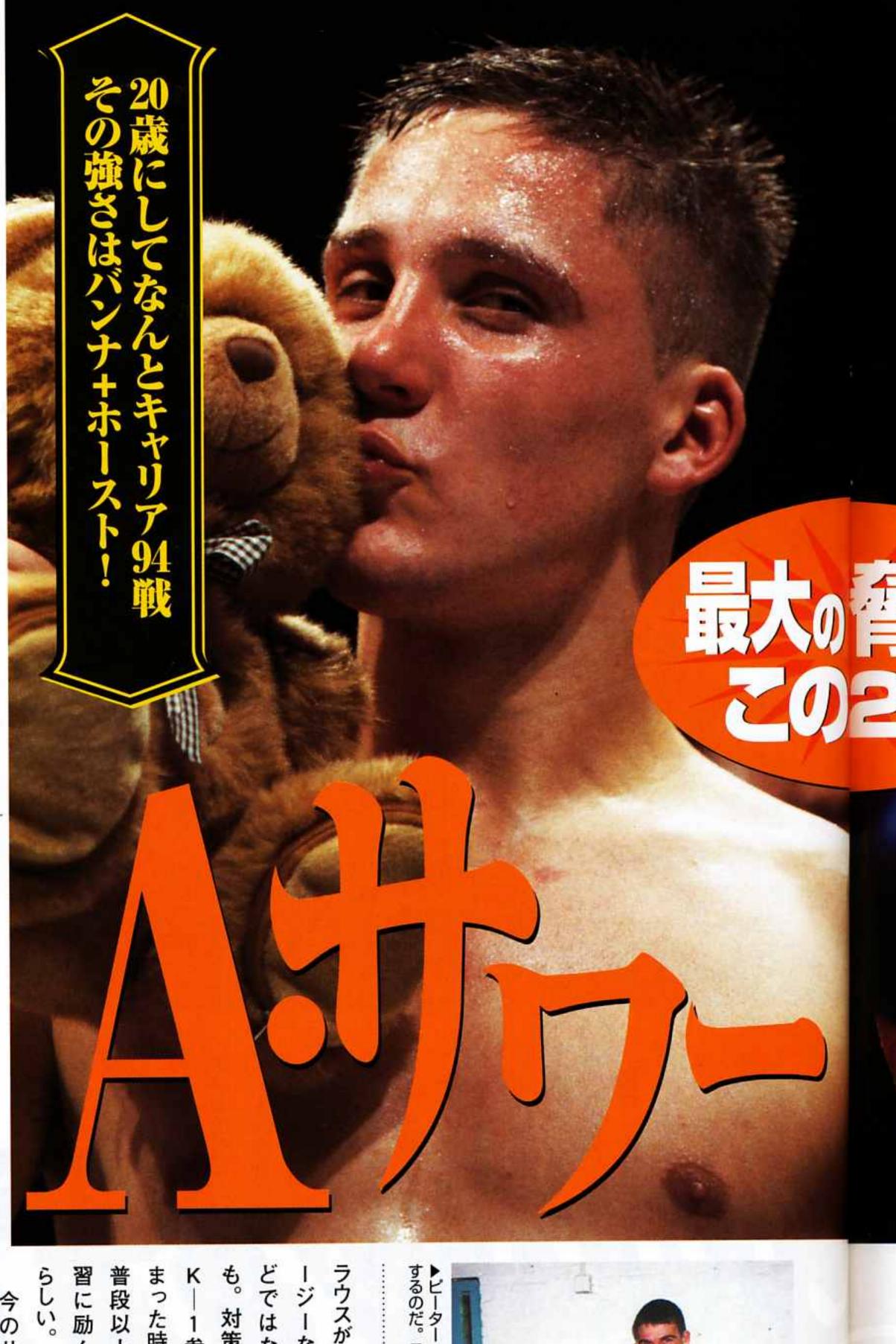
サムゴーは特に変わった練習をしているわけではないという。ただ、少年時代からひたすらサンドバッグを蹴り込んできた。今回の闘い、たしかに体格差は大きい。だが所詮は"肉体"だ。サムゴーには長い時間をかけて磨き、練り上げた左足という"兇器"がある。

しかもこの男、2週間後の7月20日には全日本キックに登場することが既に決定。これは"70キロのトーナメントくらい無傷で勝てるに決まってる"という無言のアピールなのだろうか。■

◀この蹴りはどうだ！ サムゴーが繰り出す左の蹴りに、日本が誇るライト級戦士・小林聡も金沢久幸もブッ潰された

最強伝説 A・サワー

20歳にしてなんとキャリア94戦 その強さはバンナ+ホースト!

最大の脅威 この2

〝クラウスより強いらしい〟

そんな噂が聞こえてきたのは、昨年初夏のことだった。その噂を証明するかのように、アンディ・サワーはシュートボクシングのワンデイ・トーナメント『S―cup』（7月7日）で優勝を果たす。『S―cup』で土井広之を倒し、その後も後藤龍治、緒形健一を下してSBトップ3を総ナメにしたサワー。たしかに強い。こりゃクラウスとやっても勝っちゃいそうだよな……。

サワーとクラウスは同じリンホージムに所属する親友だった。そこに亀裂が入ったきっかけは、昨年のK―1ワールドMAX。ケガで出場を断念したサワーの代わりに出て優勝したのがクラウスだったのだ。そしてクラウスは、名声を得た直後にジムを離脱してしまう。今大会出場にあたって、シュートボクシング協会経由で届いたサワーからのメッセージ。そこにはこんな言葉が記されていた。

「ちょっと有名になったからって（クラウスは）世話になった会長やみんなを裏切ってジムを辞めて出ていったんだ。人間として尊敬されなければ本当の意味での強者にはなれない。勝ってそれを証明するよ」

因縁の対決は、1回戦でいきなり実現する。かつて練習を共にしただけに、サワーと彼のブレーンはクラウスの長所も短所も知り尽くしている。もちろん、クラウスが決してイージーな相手などではないことも。対策は充分。K―1参戦が決まった時点から、普段以上の猛練習に励んでいるらしい。

今のサワーは〝シュートボクサー〟。SB代表としてK―1に乗り込む。「ボクが優勝したら、オガタもドイもゴトウもリングに上がってほしい。K―1をSB勢で占拠してやろう」。自分の代わりにK―1王者になったクラウスに対し、決してメジャーとは言えないSBから叩き上げてきたという意地。クラウスへの、そしてK―1への恩讐が、サワーの実力にさらに拍車をかけるだろう。

中量級最強に最も近い男。サワーをそう形容しても、決して大げさではない。キックボクシングを始めたのは6歳の時。試合は7歳から経験している。現在は20歳（まだ大学生なのだ）だが、戦績はなんと94戦である。なおかつ、負けたのはたったの2度でしかない。

キャリアがあるだけに、サワーの闘いぶり、その強さは〝若さ〟や〝勢い〟だけでない。一発の威力はAプラス。前に出る圧力も中量級の域を超えている。

なおかつ、サワーには四肢をフルに使ったコンビネーションという武器がある。蹴りのイメージがほとんどないクラウスに対して、サワーが有利だと思えるのはこの点だ。オランダ伝統の対角線攻撃。上下左右、どこからでも攻め放題というわけだ。

ひとたびサワーが攻撃に出れば、相手にできることといったらカメになって顔面の防御を固めるくらい。だが、その状態になった時こそ、サワーの最も得意とする大砲が火を吹くのだ。レバーブロー。アゴやテンプルと並ぶ急所・肝臓を射抜かれ、対戦相手は地獄の苦しみに悶絶しながらマットを這うことになる。

殴ってよし蹴ってよし、しかもオールレンジ。つまりバンナのパワーとホーストのテクニック。サワー出場は今大会の前評判を大いに盛り上げている。だが大会後はどうなるか分からない。クラウスも武田も魔裟斗も撃沈、K―1MAXが草木一本生えない焼け野原になってしまう可能性は否定できないのだ。■

▶ピーター・アーツとの2ショット。この少年が、数年後に世界有数の強豪に成長するのだ。この時点でもう闘いに身を投じていたわけだが

行って来ます。

パリは燃えているか？

6・14 K—1 WORLD GP パリ大会
——ターザン山本

私は6・14K—1パリ大会を取材することになったが、正直に言ってしまうと試合よりも、パリという街に行くことのほうが、私の中では本命になっている。だからと言って旅行気分という意味ではない。取材は取材である。もちろん仕事として行くのだ。仕事とは私はプレッシャーのことだと考えている。

それはどういうプレッシャーかというと結果と成果を出さなければならないという重圧のことである。それを出さないことには、仕事をしたことにはならない。

私の仕事は取材をして原稿を書くことである。その時、私はいつもこう思う。「もしかして取材しても何もないかもしれない……」という不安である。この不安との闘いに勝つことが、すなわち私にとっての仕事なのだ。

取材のたびに不安を感じる一方、私は「現場には必ず何かがある！」と信じている。ないほうがおかしいのだ。そうでないと〝現場主義〟という言葉も、効力を失ってしまう。

何もないかもしれない。いや、必ず何かがあるはずだ。

取材とはこの二つの心の葛藤のことである。だから我々の仕事は面白いのだ。要はハプニングとサプライズが、どれだけあるかなのだ。それはもう、自分の力でどうにかなるものではなく、運を天に任せるしかない。

こういう時は〝自力〟よりも〝他力〟である。なんとかなるさ。どうにかなるさ。なるようにしかならない。そう、腹をくくることが大事なのだ。

ポジティブな意味での行き当たりばったり主義。私はその考えでずっとこの仕事をやってきた。それでわりと成功してきたのだから不思議である。

そうなると〝引きの強さ〟が必要になってくる。つまり「オレがパリに行くのだから、何もないはずがない！」という絶対的自信のことである。ターザン山本が行く所、ドラマあり。

もし、ドラマが起きなかったらその時は私が私でなくなってしまうのだ。以上が私が6・14K—1のパリ大会を取材する意気込みと言っておこう。

そして大会のカードを見渡してみるとこれがべつになんともない内容。まず、フランス人ファイターで当地のヒーローでもあるジェロム・レ・バンナは、まだ負傷した腕が完治していない状態。

これではいい試合は期待できない。スーパーファイトのもう一つアーネスト・ホースト対マーティン・ホルムの試合もまあまあのカードといったレベルの話。

あとはK—1WORLD GPの予選トーナメントである。このカードを見た限りでは、パリ大会に行く必然はあまりあるとは言えない。

ファンの人たちには6月15日の日曜日、フジテレビ系列で午前0時15分から1時45分の放送を、見てもらったらそれでいいと私はそう思っている。

こういう時、テレビは実に便利な媒体である。私がやるべきことはテレビでは伝えることのできない情報である。

パリ大会を現地で見られなかった人たちのために、私が彼らの代わりになって見たこと、感じたこと、思ったこと、気が付いたことを全部、報告したい。

それが私の任務でもある。空間を変えるというのは、重要な意味がある。知らない土地へ行く。それって風景が変わること。風景が変わると感性が反応する。

狙いはずばりそこだ。特に相手は今回パリなのだ。私が小さい頃からあこがれの街。映画では何度も見てきたが、この目で、実際には見たことのない街。

もう、行く前から私のテンションは上がりっぱなしだ。ああ、できることなら好きな女性と一緒に行けたら、どんなに良かったことか？ こういうのって公私混同したいよなあ。

私は〝旅行記〟を書きたいと前々から思っていた。どこかそんな私の夢をかなえてくれる出版社はないのか？ 面白いものを書いてみせる。私だったらそんなことは朝飯前なのだが……。

私は都会が好きだ。都会にはどんな人間でも受け入れてくれる寛容さがある。これが素晴らしい。もし、それがなかったら都会とは言えない。

都会は裸一貫、何も財産を持たないものが集まってくる世界。俺もお前もいわば最初は一文無し。そこからヨーイドンでスタートを切っていったい、何ができるのか？ その実験の場でもある。

武器はただ一つ。腕と頭と知恵。才能しか頼りにならない世界。それだけがルールになっている空間。だから都会にはそういう自由がいっぱいある。

果たしてニューヨークと並ぶ世界の二大都市、パリとはどんな街なのか？ なぜ、パリは芸術の都と言われるのか？

そこからなぜ多くの芸術家が生まれたのか？ その謎を解きたい。昨年に見た映画で私が気に入っているものに『ムーラン・ルージュ』がある。ニコール・キッドマンが出ていたミュージカル。

もう、このCDを何回、聴いたことだろうか？ 現実のムーラン・ルージュは映画とはまるで違うはずだ。ああいったフィクションを作らせるところに都会の魅力、パリの魅力がある。

もちろん、ムーラン・ルージュには行ってみたい。また大ヒット映画『アメリ』の舞台になった街。それには興味ない。『アメリ』は私には関係ない。

©日刊スポーツ

ターザン山本、パリに行ってきます!

6·14 K-1 WORLD GP2003 パリ大会直前情報!

むかし、むかしルネ・クレマン監督の映画『パリは燃えているか?』というのがあった。ドイツに占領されたパリが解放される話。この『パリは燃えているか?』というタイトルは、そのまま今回の私のパリ取材のテーマになる。

第二次世界大戦の時のパリと、今のパリは状況が違う。レジスタンス運動をしてドイツに抵抗していたパリの街は、たしかに何かが燃えていたはずである。

人間は外圧によって自由を奪われるとそれに立ち向かっていく。敵というのは明確であるほうがいいのだ。しかし、今の時代は何が敵なのか分からない。ということは自分がなんであるかも、分かりにくい時代になっているのだ。

もともと都会に出てくること自体がもうデラシネなのだ。デラシネとは根無し草という意味である。ただ、都会で生きる人は少なからずなんらかの目的なり野望なり野心を持っている。

それがデラシネたちのアイデンティティ(自己同一性)でもあるのだ。だがパリは野望や野心とは無縁な形で、ささやかな自由を楽しんでいる人たちがいる。

彼らはそういう形でパリを好きになって居着いているのだ。文明とは都会のことである。都市国家が誕生した時、この地球上に文明が生まれたのだ。

文明の"文"は文字つまり言葉のことである。"明"は明かりのこと。すなわち夜に光りを与えることをいう。私の都会の定義は①地下鉄があること②昼と夜の二つの世界があること③都会にしか恋愛はないこと。以上がその結論だ。

そんなもろもろのことを頭に入れて私はパリに行く。K—1パリ大会を取材する。試合はもしかすると主な目的にならないかもしれない。そのほうが面白い記事を書けるという見方もできる。最後に言いたいことは、目覚めよ、パリだ。都会は目覚めるしか道はないのだ。■

6・14K-1パリ大会全対戦カード

☆スーパーファイト1

アーネスト・ホースト〈オランダ/ボスジム〉 VS マーティン・ホルム〈スウェーデン/ヴァレンテュナ ボクシング キャンプ〉

☆スーパーファイト2

ジェロム・レ・バンナ〈フランス/ボーアボエル&トサジム〉 VS ヴィタリ・オフラメンコ〈ベラルーシ/チヌックジム〉

☆リザーブファイト

ラニ・ベルバーチ〈フランス/ボーアボエル&トサジム〉 VS マーク・デ・ウィット〈ベルギー/チーム マソアーズ オランダジム〉

☆K-1ヨーロッパ・ロシア大陸地域予選

- アレクセイ・イグナショフ〈ベラルーシ/チヌックジム〉
- パヴェル・マイヤー〈チェコ/ハヌマンジムプラハ〉
- トニー・グレゴリー〈フランス/イヴリーキックボクシングジム〉
- アレクサンダー・ウスティノフ〈ロシア/シブタイ〉
- シリル・アビディ〈フランス/チャレンジ ボクシング マルセイユ〉
- アジス・カトゥー〈ベルギー/センタージム〉
- ペレ・リード〈イギリス/セントトーマスジム〉
- ハリッド・"ディ・ファウスト"〈ドイツ/ゴールデン・グローリー〉

立ち技最激戦区・中量級カギはSBが握る！

"裏・最強男"チャップマン、緒形健一を蹂躙!!

撮影◎中島ミノル

今年に入ってSB連続参戦中のチャップマン。高い上背、長い手足を利した豪快な攻めが持ち味で、こんな飛びヒザまで使いこなす。今回は緒形健一に圧勝

★第8試合/メインイベント（3分5R）

○**S・チャップマン**
〈ニュージーランド/フィリップラムリーガージム〉

（5R判定3-0）

●**緒形健一**
〈日本/シーザージム〉

※採点…50-41、50-41、50-42。緒形は2Rに左ストレートと顔面への右ヒザ蹴りで、3Rに右ストレートで、4Rにも右ストレートでダウン

いや〜、7・5K―1ワールドMAXの出場メンバーは凄いもんだ。特にサムゴーとアンディ・サワーを出したのは大ヒット。で、谷川P曰く「（サワーのSB代表としての出場は）どういうことかというと、来年の日本人トーナメントにシュートボクシングが出てくれるってことなんですよ。緒形選手や土井選手が」。

今のSBは数ある立ち技系団体を見渡しても、中量級が最も充実している。緒形健一、土井広之、後藤龍治の日本人に加え、外国勢ではS―cup王者サワーにダニエル・ドーソン、ジョン・ウェイン、さらにはシュート・ボクセや元リングス勢ともパイプがあって……と、今後の中量級のカギを握るのはSBだと言ってもいいような状況。

そんなSBで、いや世界の中量級戦線で"裏・最強"的なポジションにいるのが、本誌座談会でターザン山本さん大推薦のシェイン・チャップマン。実はこの男、K―1MAX優勝候補のサワー、クラウス双方と因縁浅からぬ関係にあるのだ。

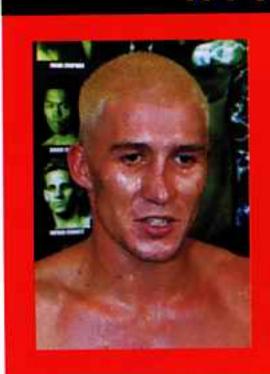
クラウスとは昨年のK―1MAXで対戦。判定で敗れはしたが、ほとんど互角の打ち合いを展開。

緒形から計4度のダウンを奪ったチャップマンだが、あえてKOせず、じわじわといたぶり続けた

パンチが強い、キックが危ない、おまけにこの男、反則上等!

▼最初のダウンは左のストレート。攻めに転じようとした緒形に、これ以上ない形のカウンターで決まった

▲緒形をさんざん苦しめたのが左右のミドル、ハイ。この体格でムエタイベースなのだからやっかいだ。緒形は心臓の横あたりの骨を負傷してしまう

After the fight

チャップマンのコメント

「勝ててとても嬉しいよ。オガタはタフなファイターで、敬意を表したい。自分がもっと強ければKOできたんだけどね。セコンドからも"ゆっくりいけ"って指示があったんだ。あとはゴトウだね。みんなリスペクトしてるけど、リングの上では別。日本で勝って名を上げていきたいと思ってる」

▶宍戸大樹(シーザージム)と加藤督朗(PHOENIX)の一戦は延長2回、計7Rにもおよぶ消耗戦に。タイスタイルの加藤がミドル、ヒザで押せば、宍戸も体格差をかいくぐってのパンチ、ローで反撃してと一進一退。どちらに転んでもおかしくない内容だったが、僅差で宍戸の勝利となった(再延長判定2－1)

◀重量級期待の新星ネイサン・コーベット(豪州・ブンチュウジム)は伊賀弘治(龍生塾)をまったく寄せつけずKO勝ち。パンチ、蹴り全てで圧倒し、最後は右ストレートであっけなくフィニッシュとなった(2R0分57秒)

▲試合後のチャップマンは「ドイもオガタも倒した。あとは誰だ? ゴトウ、出てこい!」と対戦要求。後藤龍治も即座にOKした。が、後藤は7・4大阪大会でジョン・ウェインとの対戦が決まっており、あまりにもきつい2連戦となる

▼SBの威信を賭けた緒形の闘いに、本部席のシーザー武志会長もコーナーに付いて檄を飛ばす

▲何度倒れても勝負を捨てなかった緒形。渾身の右ストレートでチャップマンをたじろがせる場面もあったが……

撮影◎

「ありゃチャップマンの勝ちだろ」という声も多い。またサワーとは今年4月に闘って、なんと度重なる金的攻撃で反則負けとなっている。だがこれも「金的は最初のヒザだけであとはボディ効かしてたよ」という意見がある。

中量級2大王者と〟あとはジャッジの判断次第〟という勝負を繰り広げたチャップマン。この日の緒形健一戦でも、その実力をイヤというほど見せつけた。〟SBが外国人天国? なんだそりゃ!〟という緒形の意地を、圧倒的な力量で跳ね返す。

チャップマンのベースは〟タイボクシング〟。タイでの修行や試合経験も豊富だ。欧米人の体格とパワーで、ムエタイのねちっこい攻撃を仕掛けてくるんだからたまらない。リングの逆サイドまで弾き飛ばすようなパンチ、ミドル。上半身ごとひねり倒すような首相撲。闘っていてウンザリするタイプだろう。緒形が反撃を見せるや、すかさず展開をスローダウンさせるしたたかさもある。

さらに、反則をも辞さない勝負への過剰な執念(サワー戦では裏目に出たが)。この試合でもレフェリーのブラインドをついて頭突きや金的蹴りを出していたようだ。もちろん、緒形がアピールしても〟なんのこと?〟とトボけるだけ。サワーやクラウスとはひと味もふた味も違う、正統派の強さだけじゃないアクがあるのだ。

〟こういう輩はもう呼ばない〟んじゃなく、呼び続けていつかブッ倒してやろうという興行の持っていき方。その無鉄砲な懐の深さも、SBらしくていい。

(橋本)

今回は大人のオンナ！　ストライプルの茂木康子は選手としても日本トップクラスだが、最近は女子柔術の普及にも積極的に取り組んでいる。いわばおねえさん的な立場なわけだが、実は過去のスポーツ歴ゼロ。そんな彼女が人生を捧げる柔術の奥深さとは？

女子柔術を引っ張る“おねえさん”

茂木康子

撮影◎丸山剛史
文◎橋本宗洋

「年齢のことは……気にしてます(笑)。相応の役割を果たさなきゃなって」

「こういうふうになるなんて、全然思ってなかったですねぇ」と茂木康子は言う。たしかに、ニコラス・ケイジの映画（特にロマンス系）が好きで、ブランキー・ジェット・シティのライブに欠かさず通う20代女子と“レオジーニョ”やら“デラヒーバ”の世界はあまりにも遠いというもの。それが「まさか柔術の試合しにアメリカまで行くようになるなんて（笑)」。

まあ、K－1のファンになるまでなら話は分かる。が、武蔵が好きで、高田馬場の正道会館に見学に友達と行ったことから人生がちょっと変わった。

「そこで柔術クラス(ストライプルの前身)を見て“こっちのほうが痛くなさそうだし”って入会したんですよ」

最初は、あんまり通わなかった。でも、とりあえず出てみた試合で敗退。そこから一気に火が付く。

「もう悔しくってしょうがないんですよ。それからは毎日練習に行きました」

学生時代、運動部の経験はほんのちょっとだけ。50メートル走のタイムは「男子の平均の倍くらい」。それでも柔術はうまくなった。強くなれた。

「自分が新しい技を覚えたり、強くなっていくのが凄く楽しいです。柔術って、練習したらした分だけ強くなれるんですよ。その代わり練習はもの凄くしました」

気が付けば、ニコラス・ケイジもベンジーも隅に追いやって柔術が生活の中心に。

「仕事も変えました。経理なんですけど、間違いなく残業がない会社を選ぶようにして」

仕事が終わったら即、練習。ランニングやウェイトトレーニングも欠かさない。そして今や、紫帯を締める日本でもトップクラスの女子柔術家になった。女子で紫帯の選手は少なく、大会でトーナメントが組まれることはほとんどないという（多くがワンマッチ＝決勝）。

また、茂木といえば『Gals』や『Gl-um』などプロ大会の常連でもある。7月には『SMACK GIRL』のグラップリング・トーナメントにも出場予定。

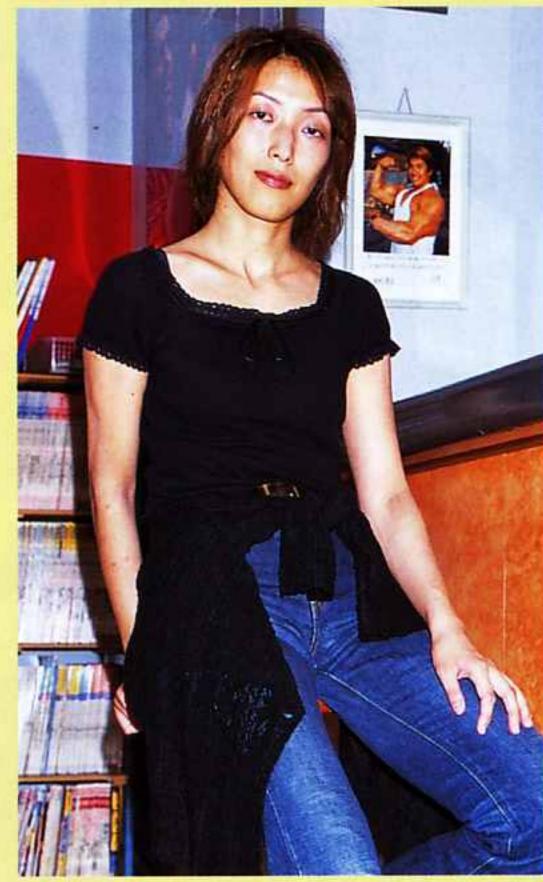
「まだ女子の柔術は競技人口も少ないですし、ちょっとでも普及のお手伝いになればなって感じなんですけど」

やっぱりキャリア的に、女子柔術を引っ張っていく立場になるわけだ。失礼ながら年齢的にも。

「歳のことは……やっぱり気にしますね（笑)。選手としてもそうですけど、立場というか役割として果たすことがあるような。女の子だけの練習会も開いてるんですよ。けっこうたくさん集まってくれて」

女子格闘家には、男子に比べて自分の“ジャンル”に自覚と愛情を持っている人が多い。観客動員よりも視聴率よりも、ホントはそれが一番大事なことだ。 ■

▲身長が高くて手足も長い。このスタイルの良さも大きな武器になっている。「筋肉は全然ない」そうだが

▼その実力は早川光由も認めるところ。ちなみに得意技の“噛み付き”とはパスガードの一種なので勘違いしないように

PROFILE

茂木康子（もぎ・やすこ）

★所属/ストライプル
★生年月日/1969年1月27日
★出身地/東京都練馬区
★身長/166センチ
★体重/51キロ
★血液型/A型
★戦績/2003年パンアメリカン大会準優勝（紫帯以上プルーマ級）
★得意技/三角絞め、噛み付き（パスガード）

て、敵前逃亡？

WINDYの相手が来なかった……

試合2日前に急きょ、対戦相手が変更に。それでも慌てることなく、いつもとなんら変わらない強さを見せつけたWINDY智美。試合後も表情を緩めることはなかった

★第5試合/メインイベント（5分2R）
○WINDY智美×真（まこと）●
〈全日本キック/AJパブリックジム〉〈峯心会〉
（2R1分58秒、KO勝ち）
※顔面への右ヒザ蹴り

撮影◎丸山剛史

え、そんなバカな！
楽しみにしていたWINDYの相手が、日本に来なかった。ハワイの選手でスター・アームストロングという。それはないよな。

〝逃げた〟と言うしかない。敵前逃亡というやつだ。ほかに理由があったとしても、私はそれは認めない。試合直前になって対戦相手が、一方的にWINDYとの試合をキャンセルしたからだ。

これはあってはならないこと。なぜならメインの試合に対する期待感が、台無しになってしまったからだ。ジョシカクはこういうことに対して、もっと責任感を持ってほしい。ジャンルとしてまだ生まれたばかりという事情もあるだろうが、それに甘えていたら信用を勝ち取るという闘いに負けたことになるからだ。

今回のことで一つのことが分かった。外国人の女性選手は試合に対する取り組み方が、ある部分で合理的かつ打算的ということである。要するに「割に合わない」ことは、やろうとしないのだ。

それは私がジョシカクに求めているものとは違う。ジョシカクの魅力は男だったら頭で計算して「これは割に合わないな」と思ったら絶対にやらないことを、彼女たちは平気でそれに向かっていく。

私はそこの部分にあこがれと尊敬の念を抱いているのだ。格闘技の試合ってわりと選手のせこい感情とか計算が見え隠れしている。

私がファイターだったらたぶん私もそうなってしまうだろう。それが分かっているだけに、なおさらそのことに対して潜在的な嫌悪感をずっと抱いてきた。

SMACK GIRL Third Season-Ⅳ
6.4★六本木velfarre

因縁の対決は羽柴が激勝！ナナチャンチン引退説を否定

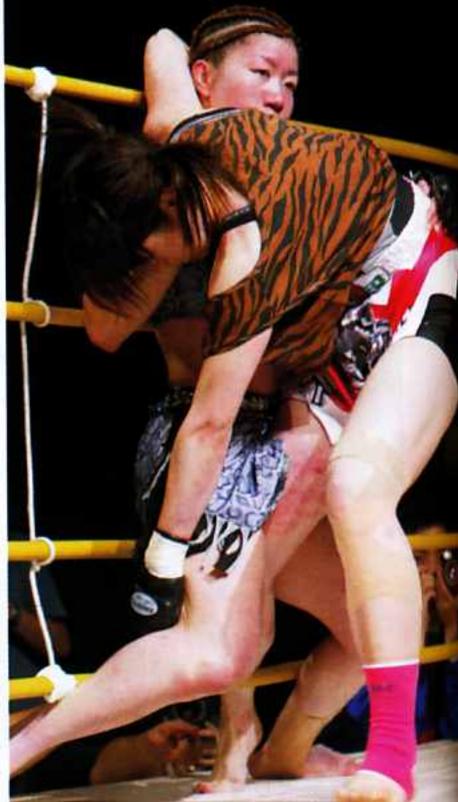
▲第0試合として行われた羽柴まゆみ（bcgizm.com）VSナナチャンチン（チーム南部）。前大会で「なんとかチャンチン」呼ばわりされたナナチャンチンが羽柴を路上で襲撃するなど因縁の対決だった。試合はなんと、グラウンドでの顔面パンチという反則を犯した上にボディへの踏み付け連打というエゲツない攻撃で羽柴がKO勝利（1R0分58秒）。"負けたら引退マッチ"とのことだったが、ナナチャンチンは「デビュー戦のコに胸を貸してあげたんだからいいじゃん」と引退を否定

▲休憩明け、ナナチャンチンのカタキ討ちに名乗りを上げたのが坂口一美。羽柴もOKを出したが、坂口に向かっての第一声は「どちら様ですか？」

最恐。
躊躇なしに顔面ヒザ蹴り！女子総合史上、最も凄惨なフィニッシュが

▶差し合いからのヒザが確実にダメージを与える。そしてバランスを崩させ、離れ際に顔面へのヒザ！ 当たった瞬間〝バキッ〟というイヤな音が響いた。倒れた真（まこと）は完全失神でしばらく立ち上がれず

▶組み技に勝機を見い出したい真だったが、WINDYは微動だにしなかった。それにしてもWINDY、目が恐い！

▶WINDYとは何かと因縁深いターザンが試合後に祝福。「ムチャな勝ち方するねぇ、そっちは！」

▲キックパンツで登場した相手に対し、「キックでは私が一番」という意地が爆発。序盤からあらゆる打撃で攻めまくったWINDY。真は攻撃らしい攻撃をさせてもらうことができなかった

After the fight

WINDYのコメント 勝

「いつもどおりですね、怒りはないです。相手が変わっても自分の闘い方が変わるわけではないんで。相手はガードがしっかりしてたんで、崩していこうかなと。キックパンツで上がってこられたら、こっちも意地があるんで。次は7月の全日本キックです。キックでも総合でも、両方でトップを目指したいです」

自己嫌悪と考えてもらってもいい。ジョシカクの選手にはそういうせこい計算や打算的な感情がない。私がジョシカクを好きになったのはこの一点に尽きる。

もし、スター・アームストロングがWINDYとの試合で〝逃げた〟としたら、彼女はジョシカクの世界をけがした。〝けがす〟とは「穢す」であり「汚す」でもある。きたない、よごす、きずつけるという意味のことである。

おそらく対戦相手に敵前逃亡されたWINDYの怒りもそこにあったと思う。まったく私からすると「ふざけるな！」である。

もしかすると外国人の女性選手に〝ジョシカクイズム〟を期待するのは無理な話かも。そういえばセミに登場したベッタ・ヨンもヒザ蹴りをお腹に一発食らったらそれで戦意を喪失して、試合自体を自分から放棄してしまった。

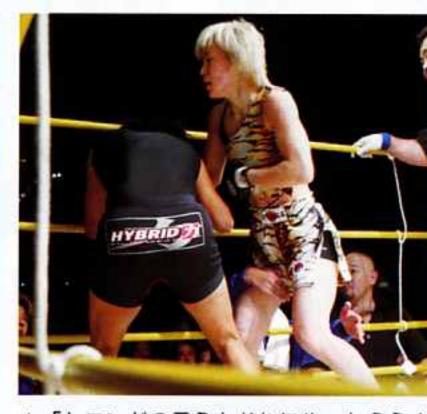
この二つの出来事はジョシカクに水を差してくれた。失うものがあると分かっていても、決してそれを恐れない。そういう生き方を私は見たいのだ。藪下めぐみと試合をした坂本奈緒子は、実力の違いであっさり秒殺され敗れた。

その瞬間、彼女の目に一筋の涙が……。あれがこの日の興行の隠れたMVPだった。ジョシカクにはそういう人間の真実がある。

もう一つのMVPが急きょ代打出場して、WINDYと試合をした真（まこと）選手。打たれても常に前へ前へと出ていった。そして最後にアゴにヒザ蹴りを食らってマットに大の字に。彼女も坂本選手同様にデビュー戦だった。ジョシカク、最高！（ターザン山本）

渡邊久江、連続KO勝利！試合後の涙のワケは……

▶落ち着いた表情でマイクを握った渡邊だったが、リングサイドで感涙にむせぶ母親を見ると思わず……。かつてない〝勝った選手本人がもらい泣き〟という場面となった

▲〈第4試合〉初の国際戦を迎えた渡邊久江（TEAM L-M-T）。相手のベッタ・ヨン（HMC）は事前の情報が皆無、しかも計量で3キロオーバーとあってナーバスになってもおかしくない状況だったが、いつも以上にリラックスして試合に臨み、前回に続いてKO勝利となった

▲「セコンドの言うとおりにやったらうまくいった」というヒザ蹴りでダメージを与え、最後は右ストレート一閃！　倒れたヨンはギブアップ状態でレフェリーにKOを宣告された（1R2分33秒）

前代未聞の公開兄妹ゲンカ！

▲エキシビジョンとして行われた石原美和子VS中村珠美の禅道会リアルファイティングルールマッチ。石原の強烈なマウントパンチ（顔面あり）に観客は戦慄！

◀▲『Gals』でプロ本格復帰を果たした吉住絹代（XXX）は生涯のライバルである兄・武美とエキシビジョンマッチ。お互い流れるようなサブミッションの攻防を見せつつ、武美は毒霧（水）や思いっきりのビンタも駆使して兄の威厳を保ったのだった

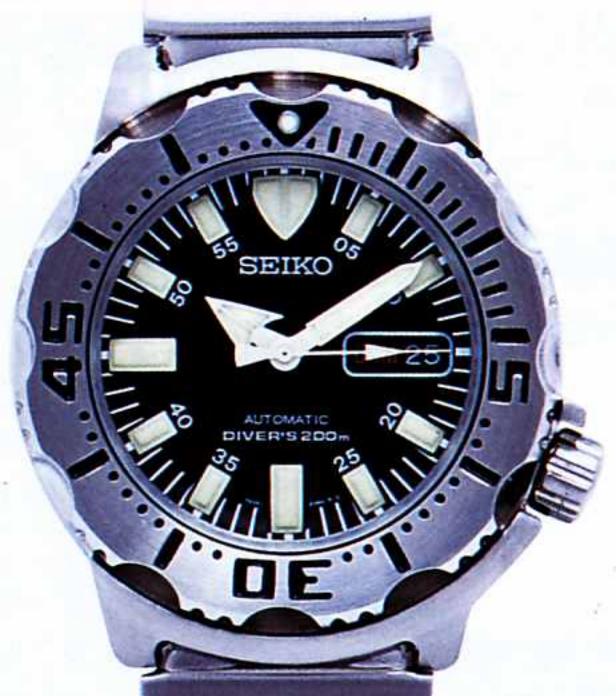
謎のマスクウーマンがデビュー！顔以外は見せまくり！

▼3月の『アルカディア』でデビューした葛西むつ美（パレストラ八王子）は立っても寝てもアグレッシブな動きで杉本由美子（禅道会）を圧倒。腕十字で一本勝ちを収め、デビュー2連勝となった（1R4分9秒）

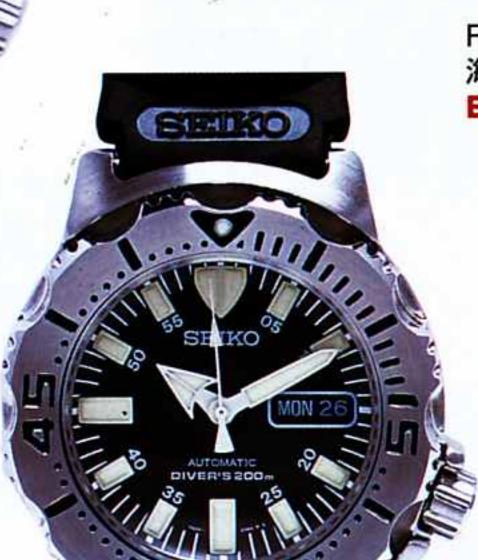
▲前号で紹介した期待の新人・元『生ゴン』ギャルの坂本奈緒子（フリー）。『スマック』デビュー戦はなんと薮下めぐみ（SOD女子格闘技道場）との対戦に。キャリア＆体格差をどう克服するかが注目されたが、ゴング直後の飛び蹴りで主導権を奪われ、大外刈りからの腕十字で秒殺となってしまった（1R0分23秒）。『紙プロ』誌上で「プロ意識が足りないコが多い」と苦言を呈していた薮下だが、デビュー戦の相手にまったく遊びのない勝ち方って「プロ意識」としてどうなの？

▶所属も身長も体重もまるで不明の15（いちご）が初参戦。照井和瑛（フリー）と対戦し、胸チラ＆アンスコ見せ放題（でも顔は隠してる）の闘いっぷりで会場は異様な熱気となった。が、試合はキャリアで勝る照井が1R3分1秒、フロントチョークで一本勝ち

diver's watch

AUTOMATIC　200M&100M Water resist

Ref-SKX779Kメタル
海外参考価格US$400（¥52,000）
BOLTEX価格¥35,000

Ref-SKX009K2メタル
海外参考価格US$300（¥38,400）
BOLTEX価格¥28,000

Ref-SKX031K2
海外参考価格US$230（¥29,000）
BOLTEX価格¥19,800

Ref-SKX779K3ウレタン
海外参考価格US$380（¥46,000）
BOLTEX価格¥32,000

Ref-SKX007Kウレタン
海外参考価格US$280（¥35,800）
BOLTEX価格¥25,000

Ref-SKX033K2
海外参考価格US$230（¥29,000）
BOLTEX価格¥19,800

世界のSEIKO逆輸入モデル誌上通販
最新無料カタログ進呈キャンペーン実施中!!

PERPETUAL CALENDAR
Ref-SLT005
海外参考価格US$500（¥64,000）
BOLTEX価格¥38,000

PERPETUAL CALENDAR
Ref-SLL001
海外参考価格US$480（¥58,000）
BOLTEX価格¥32,000

CHRONOGRAPH ALARM
Ref-SDWE23
海外参考価格US$500（¥64,000）
BOLTEX価格¥32,000

Ref-SKS201P1
海外参考価格US$230（¥29,000）
BOLTEX価格¥14,800

PERPETUAL CALENDAR &chronograph　Quartz Move

お問い合わせ、お申し込みはTEL・FAX・E-mail・ハガキで下記までお願いします。

TEL：03-3427-5492
(AM10：00～PM9：00)
FAX：03-3427-6880　24hour OK!
E-mail：boltex@nifty.com　24hour OK!

申込方法：FAX・E-メール、ハガキでのお申し込みは必要事項を全て記載の上お送り下さい。
必要事項：商品番号（Ref）、数量、お支払い方法、氏名（フリガナ）、年齢、ご住所、電話番号。
お支払い方法：1.代金引換　（ヤマト便）
2.銀行振込　あさひ銀行銀座支店（普）1077295　ボルテックス
（銀行振込の場合は入金確認後、商品を発送いたします）
3.佐川急便e-Collect 各種クレジットカードをご使用になれます。
商品の価格は消費税別、送料は別途¥800です。未使用に限り8日以内返品可。

商品は全て輸入品の為お届けに2～3週間程度かかる場合がございます。商品の数に限りがございますので、品切れの際はご容赦願ます。2003年2月28日現在の価格です。価格は予告なく変更することがあります。
その他多数セイコー逆輸入モデルを取り揃えておりますのでお気軽にお問い合わせください。無料カタログ御請求下さい。全ての商品に1年間保証付きです。

お問い合わせ先：〒156-0044東京都世田谷区赤堤1-16-7　ボルテックス 通販事業部　TEL：03-3427-5492

番組インフォメーション

6/13,6/20の見どころ

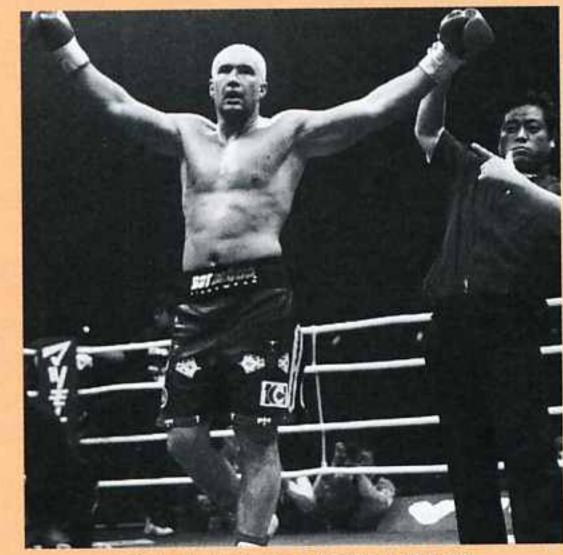
情報提供◎『SRS』アシスタントプロデューサー・金井由紀子

地域によって放送日時が異なります。また、この番組インフォメーションは6月5日現在のものです。
都合により内容が変更になることもございますのでご了承ください。

バトルサイボーグが帰ってくる！

6/13 『K-1パリ大会 直前情報！』

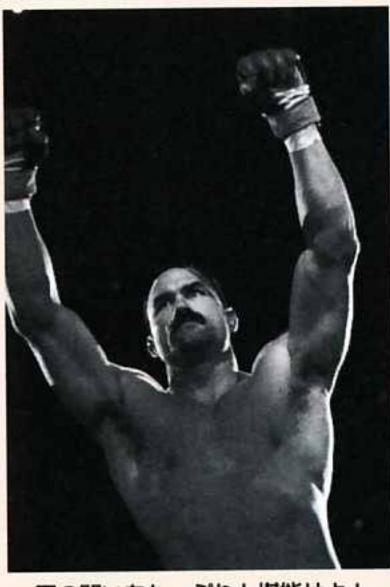
6月13日（金）26:10～26:40

スイス大会が終わったばかりだというのに、早くもパリ大会が行われます！ パリ大会では、“バトルサイボーグ”ジェロム・レ・バンナの復帰戦が決定！ もちろんスイス大会に続きパリでも、10.11『K-1 WORLD GP 開幕戦』の出場権を賭けた熱きトーナメントが開催されるぞ！ SRSでは直前情報としてジェロムやトーナメントに出場する選手たちの近況や最新インタビューをお伝えする予定です！ 「最近、ボブ・サップばかり……」なんておっしゃるアナタ！ ジェロムの近況を見て、目を覚ましてくださ～い！

GPに向けて、完全復活となるか!?

熱き闘いをそのままお届け！

6/20 『PRIDE26 速報！』

6月20日（金）26:10～26:40

6月8日（日）に行われた『PRIDE.26 REBORN』の模様をオンエア！ ミルコ・クロコップVSヒース・ヒーリング、エメリヤーエンコ・ヒョードルVS藤田和之など、格闘技ファン必見のカードが目白押しとなっただけに、ホント見どころいっぱいです！ もちろん、我らが男塾塾長のドン・フライも出場。マーク・コールマンとの“男の勝負”はいったいどうなる!? なお、放送内容は大会後に決まるので、どの試合がオンエアされるかは見てからのお楽しみ！ 福袋を開ける気持ちで、ぜひSRSをご覧ください！

男の闘いをたっぷりと堪能せよ！

必見！

『K-1 WORLD GP 2003 inパリ』
6月15日（日）24:15～25:45（全国ネット）

『プライド26』
6月22日（日）24:15～25:15
（フジテレビ系列にて ※一部地域を除く）
※東海テレビ6月14日（土）13:25～14:40
（関東とは内容が異なります）

フジテレビ系列の番組から CS721

6/15（日）5:00～9:30
『K-1 WORLD GP 2003 inパリ』
（生中継）

SRSホームページのアドレスはこちら
http://www.fujitv.co.jp/

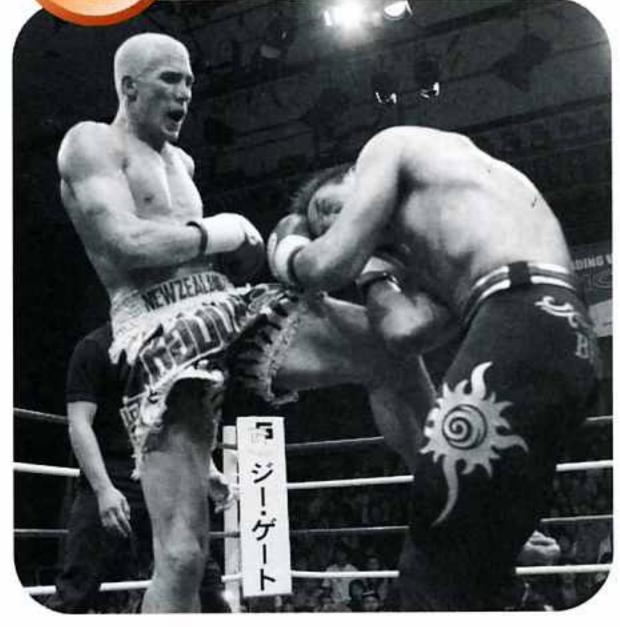
SRSホームページでは、詳しい放送日程や最新・格闘技情報、『ロケ現場潜入日記』など内容満載です。また、人気コーナー『SRS FIGHT CLUB』では皆さんからの原稿を募集中です。あなたが書いたエッセイや観戦記、その他マニア情報、プチ情報などで作るコーナーです。あなたの熱い魂の叫びを書いて、どしどしお寄せくださ～い！

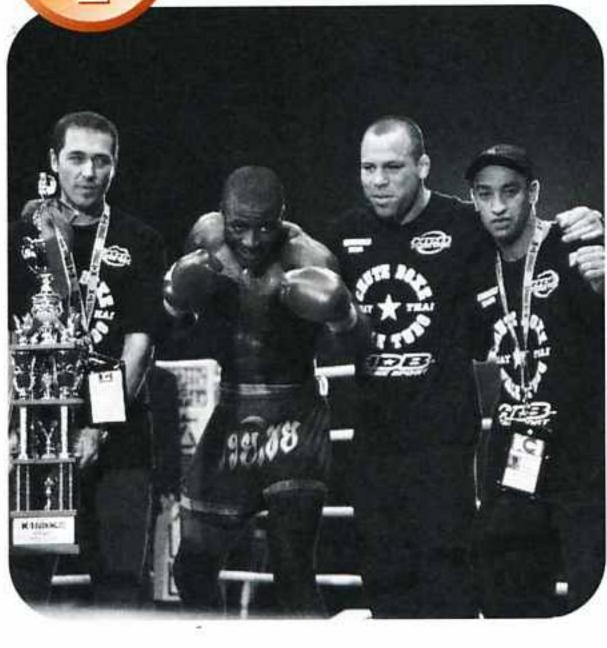
TV

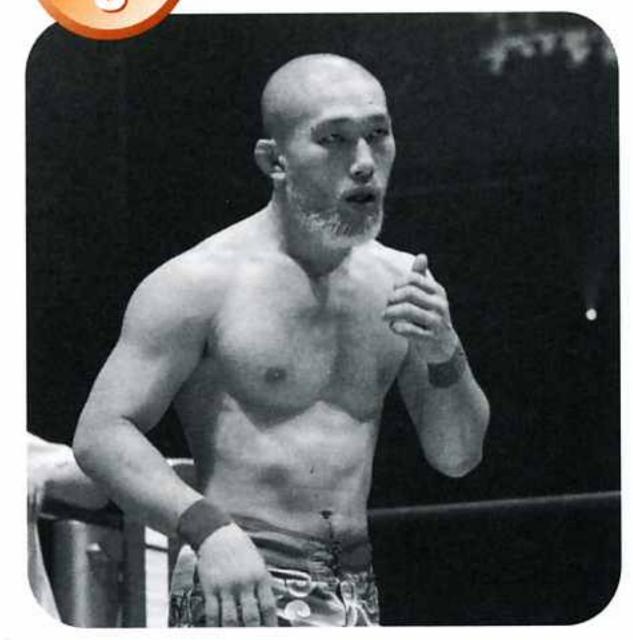
日付	チャンネル	番組名	時間	内容・見所
6/12（木）	Jスカイスポーツ3	シュートボクシング2003	12：30～14：30	➲Pick UP①
	FIGHTING TV SAMURAI!	格闘侍！	20：00～20：30	総合から空手、キックまで格闘技界の最新情報満載！　再放送6/13・25：00～、14・11・00～、16・10：00～、17・15：00～
	FIGHTING TV SAMURAI!	PRIDE王	20：30～21：00	東海テレビ『PRIDE王』と同内容。再放送6/14・11：30～、16・10：30～、17・15：30～
	GAORA	週刊格闘 JAM!	21：52～22：00	K-1、PRIDEなどの格闘技イベント最新情報「Featuring event」や旬の格闘家を紹介する「Featuring Fighter」などをぎっしり詰め込んだ300秒番組。再放送6/14・17：22～、15・12：52～、16・16：52～
	スカイA	ワールドプロレスリング　不滅の闘魂伝説	22：15～23：45	1970年代以降の新日本プロレス格闘技全盛期を振り返る。79.9.6NWF認定ヘビー級選手権アントニオ猪木&藤波辰巳vsタイガー・ジェットシン&マサ斉藤戦ほか。再放送6/23・19：30～
6/13（金）	Jスカイスポーツ3	SHOOT 3/60	15：00～16：00	15分のショートドキュメンタリー3本で構成する“60分3本勝負”の格闘技専門スポーツドキュメンタリー番組。再放送6/14・6：00～、17・9：00～
	スポーツ・アイ ESPN	PRIDE REVIVAL	22：00～23：00	これまでの『PRIDE』シリーズを毎月1大会ずつ放送。『PRIDE.GP』#8、イゴール・ボブチャンチンVS桜庭和志、マーク・コールマンVS藤田和之ほか。再放送6/18・24：30～
	スカイA	ワールドプロレスリング　不滅の闘魂伝説	22：15～23：45	6/12を参照。79.9.28アントニオ猪木vsマスクドスーパースター戦ほか。再放送6/24・19：30～
	FIGHTING TV SAMURAI!	キックの星	23：00～24：00 26：30～27：30	キックボクシングフリークにお送りするキック専門番組。キック界の最新情報や試合速報、選手のゲスト出演など、まさにキック版『生でGONG×2！』MCは大江慎、片岡未来。　再放送6/14・10：00～、16・9：00～、18・13：00～
	BSフジ	PRIDE REVIVAL	24：00～25：00	スポーツ・アイ ESPNと同内容。『PRIDE8』#2
	フジテレビ	SRS	26：15～26：45	➲P69
6/14（土）	BS朝日	ワールドプロレスリング　完全版	15：30～17：53	5.30高松市体育館で開催の『ベスト・オブ・ザ・スーパージュニアX』。金本浩二VSタイガーマスク、杉浦貴VS獣神サンダー・ライガーほか
	スカイA	パンクラスハイブリッドアワー	18：00～20：00	➲Pick UP②
	テレビ朝日	ワールドプロレスリング	25：40～26：40	放送休止。ご注意ください
	GAORA	角田信朗チャンネル～魂のもと～	27：00～28：00	「愛と涙と感動の浪花男」K-1戦士・角田信朗を応援していく番組。格闘技界そしてタレントとしても活躍する角田信朗の素顔に迫る
6/15（日）	日本テレビ	プロレスリング・ノア中継	25：25～25：55	6.6日本武道館大会。
6/16（月）	Jスカイスポーツ2	シュートボクシング2003	18：00～20：00	6/12のJスカイスポーツ3を参照。再放送6/18・26：00～
	FIGHTING TV SAMURAI!	パンクラスハイブリッドアワー	22：00～24：00	5.18横浜文化体育館で開催の『PANCRASE 2003 HYBRID TOUR』。菊田早苗VS近藤有己ほか。再放送6/17・19：00～、22・15：00～、25・14：00～
	Jスカイスポーツ3	ワールドファイティング	22：00～24：00	02.11.8『MECA ワールドバーリ・トゥード7』。再放送6/17・7：00～
	FIGHTING TV SAMURAI!	パンクラスハイブリッドアワー	25：00～27：00	6.7ディファ有明大会。再放送6/17・13：00～、21・27：00～、25・10：00～
6/17（火）	東海テレビ	PRIDE王	24：40～25：10	6.8『プライド26』特集（前編）
	フジテレビ	WWEスマックダウン	25：28～26：28	アメリカから『Smack Down』の最新映像をお届け。出演：ガレッジセールほか
6/18（水）	FIGHTING TV SAMURAI!	試合中継　DEEP	14：00～16：00	5.25に名古屋club OZONで開催の『club DEEP 3rd Challenge』
	GAORA	角田信朗チャンネル～魂のもと～	21：00～22：00	6/14を参照。再放送6/22・19：00～、23・18：00～
	FIGHTING TV SAMURAI!	PRIDE王	23：00～23：30	6/12を参照。再放送6/19・20：30～、21・11：30～、23・10：30～、24・15：30～
	フジテレビ	すぽると	23：50～24：30	毎回、格闘技界の旬な話題を取り上げる
6/19（木）	FIGHTING TV SAMURAI!	格闘侍！	20：00～20：30	6/12を参照。再放送6/21・11：00～、23・10：00～、24・15：00～
	GAORA	週刊格闘 JAM!	21：52～22：00	6/12を参照。再放送6/20・19：22～、21・13：52～、22・12：22～
6/20（金）	FIGHTING TV SAMURAI!	試合中継（再）　パンクラス	14：00～16：00	2.16大阪グランキューブで開催の『PANCRASE 2003 HYBRID TOUR』。美濃輪育久VSヒカルド・アルメイダ、郷野聡寛VSチェール・シェノンほか
	スポーツ・アイ ESPN	PRIDE REVIVAL	22：00～23：00	6/13を参照。『PRIDE.GP』#9、イゴール・ボブチャンチンVSマーク・コールマンほか。再放送6/25・24：30～
	FIGHTING TV SAMURAI!	キックの星	23：00～24：00	6/13を参照。再放送6/21・10：00～、23・9：00～、25・13：00～
	BSフジ	PRIDE REVIVAL	24：00～25：00	スポーツ・アイ ESPNと同内容。『PRIDE8』#3
	Jスカイスポーツ2	SHOOT 3/60	26：00～27：00	6/13のJスカイスポーツ3を参照。再放送6/21・22：00～、22・17：55～、23・27：00～
	フジテレビ	SRS	26：15～26：45	➲P69
6/21（土）	BS朝日	ワールドプロレスリング　完全版	15：30～17：53	G2 UNDER-30特集
	テレビ朝日	ワールドプロレスリング	25：40～26：40	6.10大阪府立体育会館。6.13日本武道館大会
6/22（日）	Jスカイスポーツ1	シュートボクシング2003	13：00～15：00	6/12のJスカイスポーツ3を参照。再放送6/26・18：00～
	日本テレビ	プロレスリング・ノア中継	25：55～26：25	6.8後楽園ホール大会。選手会興行
6/23（月）	FIGHTING TV SAMURAI!	試合中継（再）　DEEP	14：00～16：00	02.12.8ディファ有明で開催の『DEEP2001 7th IMAPACT』。須田匡臣VS長南亮、滑川康二VS石川雄規ほか
	FIGHTING TV SAMURAI!	試合中継（再）　プロ修斗	16：00～18：00	3.18後楽園ホールで開催の『プロフェッショナル修斗公式戦』。松根良太VS今泉堅太郎、ビトー・“シャオリン”・ヒベイロVS雷暗暴ほか
	Jスカイスポーツ2	ワールドファイティング	19：00～21：00	6/16のJスカイスポーツ3を参照。再放送6/25・26：00～
	FIGHTING TV SAMURAI!	試合中継　ZST	22：00～24：00	➲Pick UP③
	スカイA	格闘Xパンクラス　スペシャル	22：15～24：15	パンクラス所属選手の紹介やバラエティー企画盛りだくさんの『格闘Xパンクラス』をまとめて放送
6/24（火）	東海テレビ	PRIDE王	24：40～25：10	6.8『プライド26』特集（後編）
	フジテレビ	WWEスマックダウン	25：28～26：28	6/17を参照
6/25（水）	GAORA	北斗旗全日本空道体力別選手権大会	10：00～12：00	5.11に宮城県スポーツセンターで開催の大道塾『2003オープントーナメント北斗旗全日本体力別選手権大会』
	パーフェクトチョイスCh.117	DEEP 10th IMPACT in KORAKUEN HALL	18：30～	6.26後楽園ホール大会を完全生中継。詳しくは『DEEP 10th IMPACT』PPV情報にて
	FIGHTING TV SAMURAI!	PRIDE王	23：00～23：30	6/12を参照。再放送6/26・20：30～
	フジテレビ	すぽると	23：50～24：30	6/18を参照
	スカイA	パンクラスハイブリッドアワー	24：15～26：15	4.12後楽園ホールで開催の『PANCRASE 2003 HYBRID TOUR』。ヒカルド・アルメイダVS佐々木有生ほか
6/26（木）	スポーツ・アイ ESPN	PRIDE REVIVAL	16：00～19：00	6/13を参照。『PRIDE.GP』#1～3。00.1.30『PRIDE GP 2000 開幕戦』
	FIGHTING TV SAMURAI!	格闘侍！	20：00～20：30	6/12を参照
	GAORA	週刊格闘 JAM!	21：52～22：00	6/12を参照
	スカイA	パンクラスハイブリッドアワー	24：15～26：15	5.18横浜文化体育館大会

ON THE AIR 6/12～6/26

格闘技番組ガイド TV&RADIO

Pick Up 1 『ショートボクシング2003』
Jスカイスポーツ3
6月12日（木）/12:30～14:30

6.1後楽園ホールで行われた『"S" of the World vol.3』の模様を放送！「外国人天国？ なんだそりゃ！」と怒りに燃える緒形健一が、メインでその外国人トップ集団の一角であるチャップマンと激突！ しかし、"暴君"チャップマンの勢いはもう誰にも止められないのか!? その恐るべき刃が、緒形に容赦なく襲いかかる！ 他にも、宍戸大樹が"和製ムエタイ戦士"加藤督朗と計7Rにわたる死闘を演じるなど、こちらも要注目だ！

Pick Up 2 『パンクラスハイブリッドアワー』
スカイA
6月14日（土）/18:00～20:00

6.7ディファ有明で行われた『PANCRASE 2003 HYBRID TOUR』の模様をオンエア！ ヴァンダレイ・シウバ、アンデウソン・シウバら世界のトップファイターを擁するシュート・ボクセ・アカデミーが、遂にパンクラスマット初上陸！ シュート・ボクセから刺客として送り込まれたのは、昨年4月にK-1で子安慎悟から3度のダウンを奪い圧勝したニルソン・デ・カストロ。果たして、対戦相手であるKEI山宮は、この強豪をどう迎え撃つのか!? 要チェックだ！

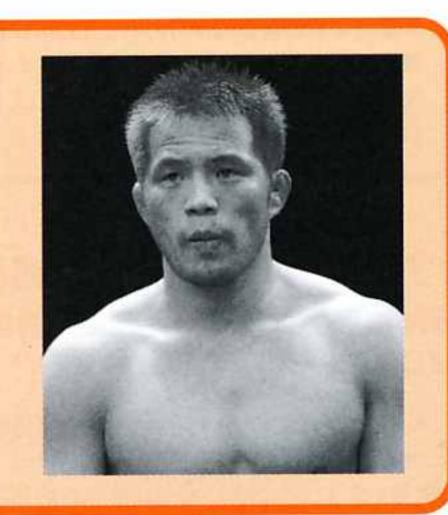
Pick Up 3 『試合中継 ZST』
FIGHTING TV SAMURAI！
6月23日（月）/22:00～24:00

6.1Zepp Tokyoで行われた『ZST3』の模様を2時間にわたってオンエア！ 初のメインを務めた"足関十段"今成正和が、ダニー・バッテンを相手に見事な秒殺劇を演じるなど、一本勝ちやKO勝ちのラッシュとなったこの大会。ルール改定により、判定決着が廃止（時間切れの場合、ドロー）、試合もよりアグレッシブに！ さらに総合格闘技界で初の6人タッグマッチが行われるなど、他の総合格闘技団体とは一線を画した面白さを楽しめるぞ！ 必見だ！

『DEEP 10th IMPACT』PPV情報！

パーフェクトチョイス CH.117

6月25日（水）18:30～試合終了までの完全生中継！
視聴料金：1,500円/番組
※18:00より事前カウントダウン番組（ノースクランブル放送）あり

◆お問い合わせはスカイパーフェクTV！ カスタマーセンター☎0570-039-888（受付時間10:00～20:00）

◆再放送スケジュール
6/25（水）24:00～（Ch.117）
6/26（木）20:30～（Ch.117）
6/27（金）19:30～（Ch.117）
6/28（土）18:00～（Ch.117）
6/29（日）22:00～（Ch.117）

※BS、CS放送は加入しないと視聴できません。加入のお申し込みに関するお問い合わせは下記までご連絡ください。

■スカイパーフェクTV！
☎0570-039-888
（10：00～20：00）

■GAORA
〔スカイパーフェクTV！〕
☎0570-000-302
（月～金10：00～18：00）

■フジテレビ721＆739
〔スカイパーフェクTV！〕
☎03-5500-8888
（10：00～18：00 土日祝除く）

■WOWOW
☎0570-008-080
（9：00～20：00）

■スポーツ・アイ-ESPN
〔スカイパーフェクTV！〕
☎03-5474-3344
（月～金10：00～18：00）

■FIGHTING TV SAMURAI！
〔スカイパーフェクTV！〕
☎0570-039-888／03-5351-4055
（16：00～21：00）

■Jスカイスポーツ
〔スカイパーフェクTV！〕
☎03-5500-3488
（9：30～18：00）

■スカイ・A
〔スカイパーフェクTV！〕
☎06-6452-1161
（月～金10：00～18：00）

VIDEO & DVD
注目作品＆NEWリリース情報

〈新作紹介❶〉 It's HOT!

『DEEP 8th IMPACT in KORAKUENHALL』

発売：東芝EMI
DVD3,800円（税別）/発売中

マッハ、DEEP初見参！

3.4後楽園ホールで行われた『DEEP 8th IMPACT in KORAKUENHALL』を完全収録！　この大会がDEEP初参戦となった桜井“マッハ”速人は、いきなりDEEPミドル級王者である上山龍紀と激突。日本ミドル級最高峰のカードと呼ぶにふさわしい熱戦が、後楽園ホールに詰め掛けたファンを興奮の渦に巻き込む！　他にも、ブラジリアン・トップチーム所属の強豪であるファビオ・メロに対し、圧倒的な強さを見せつけた三島☆ド根性ノ助の一戦や、“リングスVSパンクラス”因縁の対抗戦とも言われた滑川康仁VS渋谷修身の激闘など見どころ満載！　会場に行けなかった人には映像から伝わってくるライブさながらの臨場感を、会場に行ったファンには再びあの感動をぜひ味わってもらいたい。

〈新作紹介❷〉 It's HOT!

『中井祐樹 柔術バイブル2』

発売：クエスト
DVD5,600円（税別）/6月20日（金）発売

待望の続編が遂に登場！

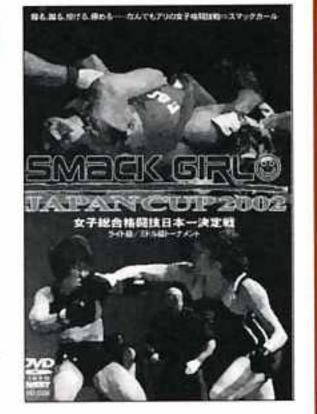
老若男女が、自分のレベルや志向に合わせて取り組むことができ、現在凄い勢いで“やる格闘技”のファンを増やし続けているブラジリアン柔術。日本人として初の柔術黒帯を取得し、日本のブラジリアン柔術界のパイオニアとして絶大な信頼を受けている中井祐樹が、自らの卓越した柔術テクニックとこれまで培ってきた理念を混じえながら、分かりやすく解説しているぞ！　さらに特典映像として、柔術の様々な要素を中井本人が語ったスペシャルインタビューや、自らの解説付きで過去に行われた柔術エキシビションマッチ3試合（VS中山巧、VS三島☆ド根性ノ助、VS鶴屋 浩）を収録！　技術ビデオとして記録的なセールスとなった前作以上に第2弾も充実した内容だ！

〈新作紹介❸〉 It's HOT!

『SAMCK GIRL JAPAN CUP 2002』

発売：クエスト
DVD5,600円（税別）/発売中

日本人最強の女はスマックが決める！

昨年10月から約3カ月にわたって、ライト級とミドル級の2階級で争われた『スマックガール』のジャパンカップトーナメント。6選手参加のライト級ではしなしさとこ、8選手参加のミドル級では辻結花と、大本命の2人が激戦を勝ち抜き優勝を果たした。この作品ではトーナメント全試合を収録した本編に加え、おまけ映像として11.9ディファ有明大会、グラップリング1Dayトーナメントや、久保田有希の復帰戦が行われた12.29TFMホールのトーナメント以外の試合も収録！　世界で唯一の女子総合格闘技団体として、今注目を集めている『スマックガール』。「スマックガールって何？」と思う人や、これからファンになろうと思っている人は、これを見れば全てが分かるぞ！

RENTAL RANKING（5/1～5/31調べ）

1. 『具志堅用高 ボクシング教室 基本編』 日本スポーツ出版社
2. 『沢村忠 キックボクシング教室 実践編』 日本スポーツ出版社
3. 『高阪剛のバーリトゥード必勝法』 クエスト
4. 『エディ・タウンゼント 王者への必殺パンチ』 クエスト
5. 『BEST SELECTION OF THE CONTENDERS』 クエスト

『具志堅用高 ボクシング教室 基本編』
強くなりたきゃこれを見ろ！

構想10年！　日本人最多の世界タイトル13度連続防衛記録を持つ“カンムリワシ”具志堅用高が全情熱を注ぎ込んだこの作品は、まさにボクシング教則ビデオの決定版！　基本編の他に中級編・実践編もあるので、こちらも要チェックだ！

『フィットネスショップ格闘技　水道橋店』

東京都千代田区三崎町3-6-13寺本ビル2F
☎03-3265-4646

ランキングにご協力いただいている格闘技ショップ『フィットネスショップ水道橋』では、6月22日（日）に『小笠原和彦 空手セミナー』、6月29日（日）に『須藤元気 サイン会』を開催します！　定員になり次第締め切りとなるので、参加希望者はお早めにお申し込みください！　詳しいお問い合わせは上記まで！

SELL RANKING（5/1～5/31調べ）

1. 『平直行 リアルファイト柔術』 クエスト/5,600円（税別）
2. 『修斗 2002 BEST vol.2』 クエスト/5,600円（税別）
3. 『プロフェッショナル柔術 GI-02』 クエスト/5,600円（税別）
4. 『中井祐樹　柔術バイブル』 クエスト/5,600円（税別）
5. 『ノヴァ・ウニオン・バーリトゥード 上巻』 クエスト/5,600円（税別）

1位
『平直行 リアルファイト柔術』
これはまさに“目からウロコ”だ！

打撃・組技・総合とあらゆる競技にチャレンジし、それぞれの場で数々の実績と功績を残してきた平直行が、従来の技術紹介作品とは異なる柔術の本質的な闘い方と考え方を明らかにした画期的な作品がコレだ！　リアルファイトの真髄ここにあり！

※表示価格は全て税別価格

GOODS
最新&売れスジグッズをご紹介！

〈新作紹介❶〉 It's HOT!

『週刊ファイトTシャツ』
グレート・アントニオ&新大阪新聞社/3,500円（税別）

僕たちのバイブルがTシャツに！

僕たちの幼少時代からのバイブル『週刊ファイト』のTシャツが遂に登場！　ハッキリ言うて、ファイト初期ロゴを横にしたデザインは、プロレス者のBさんもビックリするでしょうな。　言うちゃ悪いけど、これを着ればキミも業界通になれますよ！　（カラー：白、黒）

〈新作紹介❷〉 It's HOT!

『海賊男 Tシャツ』
グレート・アントニオ&サムライTV/3,500円（税別）

浅草キッドファンの皆さんへ！

けっして、もうすぐ海のシーズンだからということで作ったわけではありません！　これはサムライTVで放送されている浅草キッドの人気コーナー『海賊男』をモチーフにしたTシャツです。これを着て、どこでも好きなところに、乱入してちょ！（カラー：白、グレー）

グレート・アントニオ
スタッフ　臂武史

「5月初旬、東京ダイナマイトのハチミツ二郎さんが『ファスティング・ダイエット』に挑戦！　その結果を現在、ファスティング日記としてグレート・アントニオHPで公開中です！　ハチミツ二郎さんのファスティング日記が読めるのは、グレアンHPだけ！！」

グレート・アントニオ
東京都千代田区神田錦町3-14-12神田NSビル1F
☎03-3219-9550
通信販売受付　☎03-3295-4450 or 0570-007800
HPアドレス http://www.great-antonio.jp
営業時間/11:00～20:00（月曜定休）
通信販売受付/10:00～18:00（月～土曜）

GOODS RANKING

1. 『ファスティング・ダイエット』
杏林予防医学研究所/18,000円（税別）
2. 『復刻 MUTO Tシャツ』
グレート・アントニオ/4,000円（税別）
3. 『グレート・アントニオ猪木 Tシャツ type.B』
グレート・アントニオ/4,000円（税別）
4. 『グレート・アントニオ猪木 Tシャツ type.A』
グレート・アントニオ/4,000円（税別）
5. 『グレート・アントニオ猪木 Tシャツ type.C』
グレート・アントニオ/4,000円（税別）

『ファスティング・ダイエット』
連勝街道爆進中！

今年の阪神タイガースに勝るとも劣らない勢いで、今売れに売れまくっている『ファスティング・ダイエット』。もはやこの勢いは、誰にも止めることはできない！　『ファスティング・ダイエット』オフィシャルMOOK本もオススメ！

INFORMATION
飛び込み情報

吉田秀彦が柔道教室『VIVA JUDO！』を開催！

昨年の暮れ以来、総合格闘技の試合からすっかり遠ざかっている柔道家・吉田秀彦が6月29日（日）、東京・世田谷区の講道学舎柔道場で柔道教室を開催する。プロ転向当時から「柔道人口の拡大のために、自分のできることをやっていきたい」と語っていた吉田は、今までも自らの道場をつくって子供たちを中心に指導を行ったり、トークショー、サイン会など、時間が許す限り精力的な活動を行ってきているが、今回の柔道教室は、柔道がどんなものかまったく知らない子供や、興味はあるけど触れる場所がないという子供を対象に、柔道を身近に感じてもらいたい、という目的で開催する。

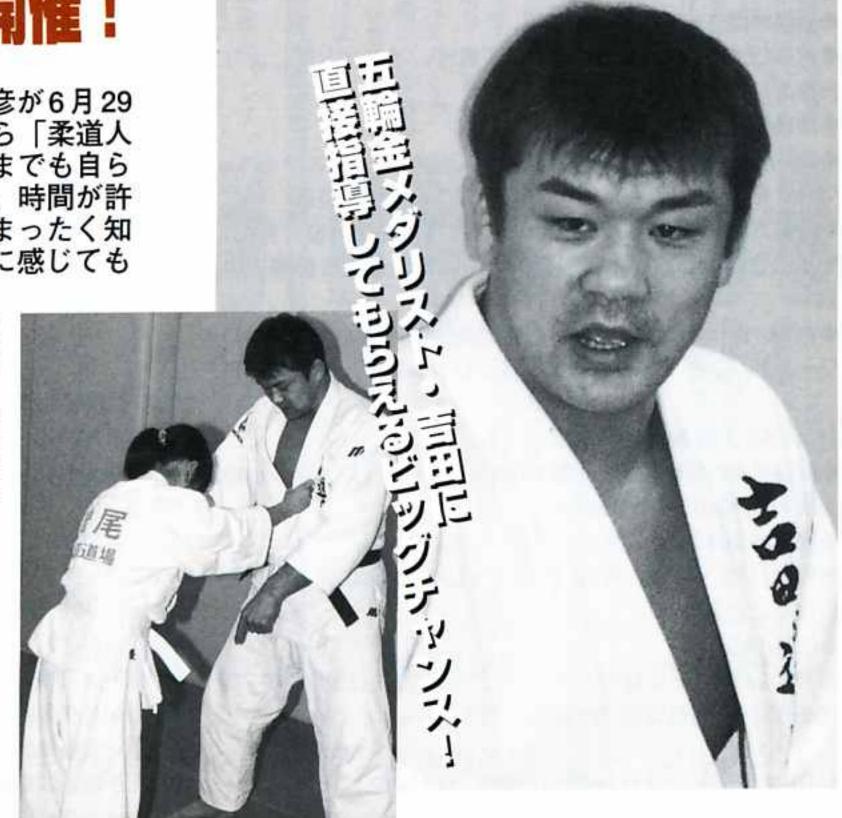
ジェイ・ロック（吉田の所属会社）では、今後も柔道教室『VIVA JUDO！』を2カ月に1回くらいのペースで定期的に開催していくほか、吉田杯柔道大会や柔道合宿なども計画中とか。

とりあえず、会費は無料だし、柔道衣も貸してくれるし、「参加目的は"思い出作り"でも全然OK！」ということなので、興味のある小学生はぜひ参加してみてはいかが！？　小学生のお子様をお持ちのお父さん、お母さんは、ぜひお子様を参加させてみよう！

五輪金メダリスト・吉田に直接指導してもらえるビッグチャンス！

柔道教室『VIVA JUDO！』実施概要

■開催日時／2003年6月29日（日）13:00～16:00
■対象／小学生1年生～6年生の柔道初心者
■定員／100名
■会費／無料
■柔道衣／レンタルにて無料貸し出し
■場所／（財）日本柔道育英学会 講道学舎柔道場
住所：東京都世田谷区駒沢3-27-9
最寄り駅：田園都市線 桜新町 徒歩7分
※車での来場は不可
■申し込み／J-ROCK（ジェイ・ロック）
tel.03-3414-9000、fax.03-3414-4455
担当：日浦、宮本、丹
（当日の緊急連絡先090-1541-3667）

Et cetra

ターザンが広島で大炎上しますよぉぉ！

6月20日（金）、広島・クラブクアトロにおいてトークイベント『格闘技"裏話"世界一決定戦』を開催！　ゲストには、我らがターザン山本とUWFインターのフロントとして団体を陰で支えてきた鈴木健氏が出演。UWFインターにまつわる思い出話やエピソード、鈴木氏の著書『UWFインターの真実』に書けなかった部分等が聞ける貴重なイベントということで、広島の格闘技ファンは必見だ！

◆日時/6月20日（金）　開場/19:00　開始/20:00
◆場所/広島パルコ 本館10F クラブクアトロ
◆入場料/2,500円（当日3,000円）　※1ドリンク付き
◆チケット発売所/チケットぴあ、グルーヴィン本店☎082-264-0990、がんこ屋☎0848-25-4111、COOL HAND☎082-542-7679、Equal☎082-249-1770、Routine☎082-544-4427
◆お問い合わせ/クラブクアトロ☎082-542-2280

手ぶらで気軽にトレーニング！

BCGでは、ビジター用のワンデイコースを新設！　料金は上下トレーニングウェア、シューズ、タオルのレンタルが付いてナントたったの1,000円！　もちろんクラス講習の参加もOK！　前田憲作、高瀬大樹など豪華講師陣のレッスンを受けることができるぞ！　このおトクなチャンスを見逃すな！
※ウェアの数には限りがあるので、事前にBCGまで連絡すること。また、ワンデイコースの最大利用時間は3時間まで

◆お問い合わせ/BCG☎03-3560-7911
オフィシャルホームページ　http://www.bcgizm.com/

パンクラスからお知らせ3連発！

【フロントスタッフ緊急募集！】
◆仕事内容/経理・総務
◆採用人員/若干名
◆勤務地/東京都港区南麻布4-2-25　最寄り駅/営団地下鉄日比谷線『広尾』駅
◆勤務時間/11:00～20:00
◆休日/土曜日、日曜日、祝祭日（興行、イベント等により出勤あり）
◆待遇/当社規定による
◆条件/①.18歳以上の人、②.即勤務可能な人、③.エクセル、ワードを使える人優遇、④.TKCシステム経験者優遇
◆応募方法/履歴書（顔写真貼付）、職務経歴書（書式自由）を下記住所へ郵送。※書類審査合格の人には後日詳細を通知
◆お問い合わせ/〒106-0047東京都港区南麻布4-2-25　（株）ワールドパンクラスクリエイト『フロントスタッフ募集』係

【P's LAB大阪 整骨院オープン！】
◆所在地/大阪市浪速区大国1-5-4　MKビル1階（P's LAB大阪1階）☎06-6649-5055
◆受付時間/16:30～20:30
◆休診日/水・日曜、祝日（他、P's LAB大阪に伴い、休みになることあり）
◆院長/角田芳則
※P's LAB大阪会員特典として、会員の人は初診料一律800円！　2回目以降は一律300円！

【ハイブリッドレスリング山田道場　HP開設！】
昨年10月に第3のパンクラス認可ジムとなったハイブリッドレスリング山田道場が、オフィシャルホームページを開設！　団体概要、入会方法、大会リポートなど各種コンテンツも充実しているので、ぜひアクセスしてみよう！
HPアドレス　http://www11.plala.or.jp/yamadadojo/

戸塚初の本格格闘技ジムがオープン！

6月15日（日）、修斗協会加盟ジムでもあるクロスワンジム湘南が、横浜市戸塚に新たなる格闘技発信基地を作るべく、クロスワンジム戸塚をオープンするぞ！　同ジムでは、キックボクシング、グラップリング、柔術を学ぶことができ、キック部門ではゲスト講師として、土屋ジョーやムエタイの元ランカー選手等が指導予定。本格的に格闘技を始めようと思っている人はもちろん、健康維持のため体力づくりに励もうと思っている人は、この機会にぜひ！　※6月30日まで入会の人は、入会金無料！（メールにて予約可）

◆所在地/横浜市戸塚区戸塚町121-1　鹿鳴館ビル4F（JR・市営地下鉄『戸塚』駅より徒歩4分
◆オープン時間/月～土曜日：16:00～22:00　日曜日：13:00～17:00
◆お問い合わせ/クロスワンジム戸塚☎045-866-1711
メールアドレス：furuya@yhb.att.ne.jp

大会出場者をビッシビシ募集するぞ！

【正道会館 第5回ウェイト制オープントーナメント 全日本空手道選手権大会】
◆日時/9月7日（日）　試合開始/10:00
◆場所/大阪府立体育会館 第1競技場（JR・近鉄・南海難波駅、地下鉄なんば駅より徒歩5分）
◆募集階級/軽量級（70kg以下）、中量級（80kg以下）、軽重量級（90kg以下）、重量級（90kg超）
◆参加費/10,000円
◆応募方法/下記のお問い合わせ先まで300円分の切手を同封し、参加申込書を請求
◆締め切り/7月26日（土）必着
◆お問い合わせ/〒530-0034大阪市北区錦町3-1　正道会館総本部 ウェイト制全日本大会運営事務局☎06-6357-1654

【正道会館 西日本新人戦空手道選手権大会】
◆日時/8月10日（日）　試合開始/10:00
◆場所/大阪市中央体育館 地下3階 柔道場（地下鉄中央線『朝潮橋』駅2番出口より徒歩3分
◆募集クラス/スピリットカラテA、Bクラス、女子クラス、グローブカラテクラス、マスターズクラス
◆参加費/正道会館選手/5,000円　他流派選手/6,000円　※傷害保険料込み
◆応募方法/下記のお問い合わせ先まで300円分の切手を同封し、参加申込書を請求
◆締め切り/7月26日（土）必着
◆お問い合わせ/〒530-0034大阪市北区錦町3-1　正道会館総本部 新人戦大会運営事務局☎06-6357-1654

【第73回新空手道交流大会】
◆日時/7月21日（月.・祝）　試合開始12:00
◆募集階級/K-2トーナメント：軽量級（60kg以下）、軽中量級（65kg以下）、中量級（70kg以下）、重量級（75kg以下）。スーパーワンマッチ、K-2、K-3、K-4ワンマッチ
◆参加費/K-2トーナメント9,000円　スーパーワンマッチ6,000円　K-2、K-3、K-4ワンマッチ6,000円　※大会パンフレット、傷害保険料込み
◆応募方法/下記のお問い合わせ先まで参加申込書を請求
◆締め切り/7月4日（金）当日消印有効
◆お問い合わせ/〒101-0065東京都千代田区西神田2-8-7　全日本新空手道連盟☎03-3239-4994
公式ホームページ　http://www.shinkarate.net/

『第22回アマチュアシュートボクシング関東大会 結果』

5月25日（日）、『第22回アマチュアシュートボクシング関東大会』が神奈川県立体育センターで行われた。成績は以下のとおり。

軽量級トーナメント
優勝　奥村真司（シーザージム）
準優勝　畠山悟史（シーザージム）
3位　脇田誠（風吹ジム）

中量級トーナメント
優勝　五味慎一郎（湘南ジム）
準優勝　高橋勇気（シーザージム）
3位　山内和人（風吹ジム）

重量級トーナメント
優勝　アレキサンダー・R・ロバーツ（空柔拳会館）
準優勝　太田義昭（シーザージム）
3位　鈴木雅史（風吹ジム）

女子リーグ戦
優勝　雨澤弘美（平沼健康クラブ）
準優勝　堀木洋美（フリー）
3位　市原美登里（フリー）

シーザー賞
五味慎一郎（湘南ジム）

敢闘賞
太田義昭（シーザージム）

ジョニー大倉も参戦！『第5回オープントーナメント2003 中部日本新人空手道選手権大会 結果』

5月18日（日）、『第5回オープントーナメント2003 中部日本新人空手道選手権大会』が愛知・岡崎中央総合公園 総合体育館で行われた。この大会では、俳優のジョニー大倉氏が壮年重量級の部に出場。ガッツある試合で、見事3位入賞を果たした。各階級の優勝者は以下のとおり。

高校生 軽・中量級
優勝　大石俊輔
（二道流 太田道場）

高校生 重量級
優勝　横井健太
（七州会 東海支部）

女子 軽・中量級
優勝　高野由佳子
（真樹道場 本部）

女子 重量級
優勝　大石綾乃
（二道流　太田道場）

一般初級 軽・中量級
優勝　増田光紀
（真樹道場 千葉支部）

一般初級 重量級
優勝　佐藤哲也
（真樹道場 本部）

一般中級 軽・中量級
優勝　奥村洋平
（拳流会館 本部）

一般中級 重量級
優勝　森島克公
（総闘館 本部）

壮年 軽・中量級
優勝　及川次雄
（真樹道場 本部）

壮年 重量級
優勝　栗田豊
（フリー）

▲これぞ男の闘いだ！

宇月田麻裕の 北斗占い®

Mahiro Utsukita

6/12～6/25

★北斗占いとは★

古来インドの「北斗七星の信仰」が中国に伝来し、陰陽五行説と結合。そして、日本密教の1つとして発展していった。平安時代以降は、北斗七星の中の1つの星を、自分の守護星として、除災招福を祈願したものである。
この「北斗七星の信仰」を、宇月田麻裕が「北斗占い」として蘇らせた。
絶好調の星には、吉兆星が輝き、不調の星には凶兆星が現れる。

北斗本命星早見表（ホクトホンミョウジョウ）

貪狼星	巨門星	禄存星	文曲星	廉貞星	武曲星	破軍星
	1959	1958	1957	1956	1955	1954
1960	1961	1962	1963	1964	1965	1966
	1971	1970	1969	1968	1967	1978
1972	1973	1974	1975	1976	1977	
1984	1983	1982	1981	1980	1979	
	1985	1986	1987	1988	1989	1990
1996	1995	1994	1993	1992	1991	

★あなたの生まれ年で、本命星が分かります。
例）1972年生まれの人は貪狼星　※節分前の生まれの人は、前年の星になります

貪狼（タンロウ）……社交家タイプ。現実的で、交友関係の幅広く、交際の達人
巨門（キョモン）……研究家タイプ。話術に優れ、研究熱心に取り組みます
禄存（ロクゾン）……経済家タイプ。悠長な雰囲気を醸し出し、経済観念に優れています
文曲（モンゴク）……芸術家タイプ。あなたが奏でる芸術的センスは、全てを魅了します
廉貞（レンテイ）……聡明な自信家タイプ。聡明なうえに実行力が伴い、勝負強いです
武曲（ブコク）……権威タイプ。情熱的で、権威を好み、リーダーシップを取っていけます
破軍（ハグン）……個性派タイプ。自立心、独立心があり、劇的な人生を歩みます

貪狼星

全体運
スランプに陥り、自分を見失いがち。こんな時は、信頼できる友人のアドバイスを素直に受け入れるとグッド。その結果、あなたを取り巻く環境や自分自身を変えていくことができ、これからの大きな飛躍のきっかけになるハズ。

恋愛運
そろそろ本気の恋をしてみたら？　傷付くのを恐れていたら、その先の幸せを手に入れることはムリ。仮に成就しなくても、経験から得るものはあるハズ。

勝負運
コツコツ努力したことが好結果になりそう。

健康運
集中力がない時なのでケガに注意して。

金運
趣味にのめり込み過ぎてムダ使いする暗示。

★ラッキーカラー★ イエロー
★ラッキーアイテム★ フルーツ
★ラッキースポット★ チケットショップ

巨門星

全体運
運気は好調！　開放的な気分になれ、あなたを中心に職場での輪が広がりそう。また、家族とのコミュニケーションも良好なので、父の日には父親と格闘技観戦に出掛けてみては？　ふたりの距離が近くなり、いい関係が築ける予感。

恋愛運
噂話に気を付けて。単に女性と立ち話をしていただけで、浮気を疑われるなんてことも。彼女と一緒にいる時間を増やすことで、トラブルを避けよう。

勝負運
南の方角の神社に参拝すると勝負運UP。

健康運
ストレッチはペアでするほうが効果あり。

金運
後輩におごると後で見返りがありそう。

★ラッキーカラー★ オレンジ
★ラッキーアイテム★ デジタルカメラ
★ラッキースポット★ イタリアンレストラン

禄存星

全体運
変化を求めて転職や引越しをしたくなるけど、今は焦らずに様子を見ていこう。強引に進めるとトラブルが起きる暗示。計画は先延ばしにして、まずはリサーチに専念。「果報は寝て待て」で、かえって良い情報をゲットできるハズ。

恋愛運
彼女に秘密がバレて、別れの危機が訪れそう。素直に謝れば、やり直せる望みあり。フリーは、意中の人に恋人の影が。アプローチは少し待つのがベター。

勝負運
冷静な態度で臨めば大敗は避けられそう。

健康運
ヒザの関節が痛みがち。よく筋肉をほぐして。

金運
小銭を募金すると、後半金運がUPしそう。

★ラッキーカラー★ シルバー
★ラッキーアイテム★ キシリトールガム
★ラッキースポット★ お菓子屋

文曲星

全体運
アナタらしいキャラを発揮することが、成功のカギになる時。少数意見でも良いと思ったことは、どんどん提案して実践していこう。すると、周囲の注目を浴び、協力者が現れる予感。新しい情報ツールを使いこなすとさらに運気UP！

恋愛運
フリーは、アプローチにひと工夫をするとカップリング率UP。「頼れる男」を演出してみては？　カップルは、インドアスポーツをすると新鮮な気分に。

勝負運
個人よりチームで闘う勝負にツキあり。

健康運
栄養バランス飲料を活用すると快調に。

金運
洋服の買物で掘り出し物が見つかりそう。

★ラッキーカラー★ レッド
★ラッキーアイテム★ ワイン
★ラッキースポット★ ジーンズショップ

廉貞星

全体運
アナタの中で、変化が起き始める暗示。それは良い兆候なので、興味が湧いたことがあったなら、徹底的に探求してみよう。きっと、新たな方向性が見えてくるハズ。また、これを機に交際範囲を広げると、刺激的な出来事がありそう。

恋愛運
恋愛は梅雨模様。デートをしていても心の底から楽しめず、そんな自分自身にイライラが募ることも。これを機に、恋人との関係を見直してみては？

勝負運
自信がない時は、一流選手の哲学を参考に。

健康運
過労気味。疲れたら10分でも休息をしよう。

金運
マネー情報誌を読むと、投資のヒントあり。

★ラッキーカラー★ ブルー
★ラッキーアイテム★ ネクタイ
★ラッキースポット★ カウンターバー

武曲星

全体運
凶兆星が居座っています。何かと壁にぶつかり、成績は伸び悩み気味。でも、初心に戻り謙虚な姿勢で、上司や先輩から学ぶ気持ちを持てたなら、スランプ脱出は近そう。スーツやウェアを新調して、気合いを入れ直すのも効果あり。

恋愛運
あなたが鈍感なせいで、恋のチャンスを見逃しているみたい。最近よく会話をする女性から、何かサインが出ていると感じたら、アプローチしてみるべき。

勝負運
イヤな予感がしたら、重要な勝負は避けて。

健康運
体調が悪い時は、無理せずに早めの就寝を。

金運
トラブルの暗示。特に友人の借金に注意。

★ラッキーカラー★ グレー
★ラッキーアイテム★ 折り畳み傘
★ラッキースポット★ ボーリング場

破軍星

全体運
吉兆星が輝いています。梅雨空を吹き飛ばすくらいヤル気がみなぎり、戦闘モードで仕事や格闘技に打ち込める時。つねに「思い立ったら即行動」を心掛けていこう。そうすれば、いつもより高い目標でもなんなくクリアできるハズ。

恋愛運
カップルは、彼女の優しい気配りに、幸せを実感できる瞬間がありそう。フリーは、合コンで年上の女性がいたら即アプローチ。正攻法で迫るのがカギに。

勝負運
新しい戦法を試すと大勝利の予感。

健康運
早朝のジョギングで体力をUPさせよう。

金運
得意先からラッキー情報がもらえそう。

★ラッキーカラー★ グリーン
★ラッキーアイテム★ ミニバン
★ラッキースポット★ ゲームセンター

宇月田麻裕プロフィール
ハッピネスファクトリー代表。読売新聞連載、TBSテレビ「ワンダフル」出演など、新聞・雑誌・テレビなどで活躍中。NTT・Vポータル TEL.0570-0033-03「テレフオンナンバー占い」、「アジアン占術物語http://www.nifty.com/asian/、鑑定&占いスクール開講。著書「もっともわかりやすい宿曜占星術」（説話社）好調発売中。
URL:http://www.happiness-f.com　mail order@happiness-f.com

グレート・アントニオ PRESENTS 第4回

元気があれば何でもできる!

ヤマダ元気塾

予防医学講座

山田豊文 TOYOFUMI YAMADA 文

90分間走り続けるサッカー、200キロを超える巨漢同士がぶつかり合う相撲、あるいは極限まで体を絞ってリングに上がるボクシング…。

競技内容によって体形やエネルギーの出し方は異なりますが、どのスポーツの選手も日々のトレーニングと栄養管理でベストの体調を目指していることに変わりはありません。

スポーツ選手はそうでない人に比べてかなり激しい運動をする競技が多いため、最も体のミネラルアンバランスを生じやすい職業のひとつであると言えます。

私は日本人のミネラル不足の食生活をずっと以前から指摘していました。

それは、私と縁が深いプロ野球界や高校野球の選手においても例外ではありません。

以前にも書かせていただきましたが、当時の西鉄ライオンズ（現・西武ライオンズ）で活躍しておられた稲尾和久さんは、平気で連日登板をこなしていました。それに比べて今のプロ野球の投手は、肩やヒジを容易に故障しているのが目立ちます。

甲子園で活躍していた高校球児も、プロ入りした途端になんらかの故障を抱えているケースが非常に多いように思います。

また、持久力がなくイライラ感を訴える選手も多いようです。

しかし、ミネラルバランスを考慮した食事を実践すれば簡単に治るようなことが多いのです。

かなり改善されてきてはいるものの、日本のスポーツ選手の間では今なおカロリー中心主義が根強く残り、肉をとればエネルギーになるといった「間違いだらけの栄養学」が残念ながら浸透しているようです。

例えば、プロ野球界でヒジや肩の炎症、肉離れなどが多いのは、マグネシウムの不足と大いに関係があります。

筋肉を収縮させると細胞中にナトリウムが入り、筋肉を緩めるとナトリウムが出ていくメカニズムが働きますが、このナトリウムを外にくみ出す重要なポンプの役割を果たすのがマグネシウムです。

もしマグネシウムが不足すると、筋肉の硬直を引き起こしてしまうことになるのです。

また、細胞を修復したり、増殖させるミネラルとして亜鉛があります。

投手が投げた日は腕の毛細血管がズタズタに切れ、細胞も壊れています。これを修復させる機能を持つのが亜鉛なのです。

スポーツ選手に限らず、35歳から40歳という時期は代謝能力が衰え始め、体へのダメージがだんだん強くなってくる年齢です。

その一方で、アメリカのメジャーリーグでは、30代後半の選手がバリバリと活躍しています。

ノーラン・ライアンに学ぶ コンディショニングへの意識。

この背景には、アメリカでは体調だけでなくメンタル面でもコンディショニングを行ったり、個人で専門分野ごとにさまざまなスタッフを雇うような選手が多いことも挙げられます。

その代表的な選手が、45歳で150キロを投げたノーラン・ライアン投手です。

彼の場合、ミネラルの摂取だけでなく、タンパク質、脂肪、炭水化物の『黄金比率』にまで細心の注意を払っていました。

まず試合前日、ライアン投手は肉類、つまりタンパク質をとりませんでした。

タンパク質は筋肉など体を作る材料になりますが、エネルギーに変わるスピードは遅いのです。そのため、体にも脳にも素早くエネルギーになる複合炭水化物（でんぷん）を主にとりました。

試合後も肉は1週間に1度だけ、と決めていたと言います。

なぜなら高タンパク高脂肪は、体の中のカルシウムを消耗させたり、吸収を低下させたりするからです。

さらにライアン投手は、3度の食事で摂取しきれないミネラルをサプリメントで計画的に摂取して補っていたとのことです。

バランスの取れたミネラル摂取があってこそ、必要な糖、タンパク質、脂肪の代謝もうまくいきます。

私はほとんど毎年、プロ野球のキャンプ地におうかがいして講演会をさせてもらっています。平成9年には上田監督のご厚意で、落合選手がおられた日本ハムファイターズ、平成13年には王監督率いる福岡ダイエーホークス、平成14年には原監督率いる東京読売ジャイアンツ、そして今年は梨田監督からも声をかけていただき、大阪近鉄バファローズのキャンプを訪れました。

日本でも多くのプロスポーツ選手に、ノーラン・ライアン投手並み、もしくはそれ以上にコンディショニングへの意識を強く持ってもらいたいと思いますし、そのために私の知識や経験を通じて少しでも貢献できればと思っています。■

栄養比率の理想ピラミッド

水
食物繊維 乳酸菌
ビタミン
ミネラル
炭水化物 60%
たんぱく質 15%
脂肪 25%

微量栄養素なくしてピラミッドは完成し得ない。

プロフィール

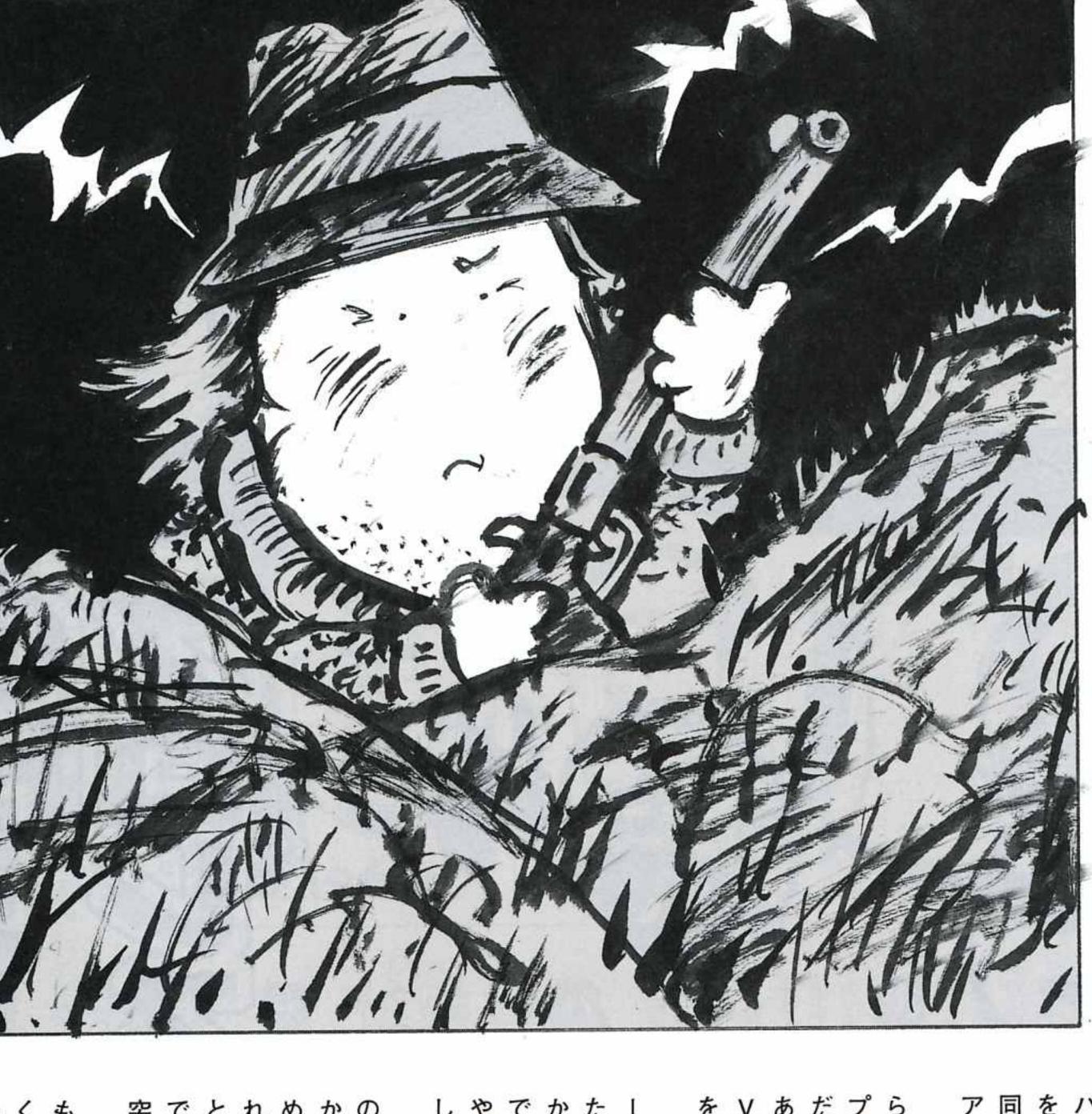
杏林予防医学研究所所長
医学（分子栄養学）博士

1949年生まれ。ガンの治療法として米国ではよく知られるゲルソン療法など、野菜ジュースを使った体質改善に早くから着目。その効果について研究を重ね、予防医学理論に基づいた独自のジュース断食法「ファスティング」を確立。単なるダイエットとは一線を画した美容や健康管理の手段として、多くの著名人やスポーツ選手から絶大なる信頼を得ている。分かりやすく明快な指導が人気で、読売ジャイアンツの宮崎キャンプでの講演や「おもいッきりテレビ」への出演など、各方面で活躍。また、アントニオ猪木氏、長嶋茂雄氏、メジャーの新庄剛志選手や読売巨人軍の原辰徳監督、工藤公康投手、広島東洋カープの前田智徳選手など、数多くのプロスポーツ選手の栄養指導も積極的におこなっている。

イラストレーション＝松本晴夫

ザッツ・ムチャリブレ ㉘

山本隆司

自分をごまかすことは人生が八百長だ

「改心はしないがカミングアウトはする。カミングアウトはしても決して〝げろ〟や〝白状〟はしない。それが私の生き方だ。なぜなら新たな〝共犯関係〟を構築するためだ。だからカミングアウトとは、私にとってアジテーションと同じなのだ。そこに本がある限り、そこに活字がある限り、私はレジスタンス（反抗と抵抗）あるいはパルチザン（遊撃隊・ゲリラ隊）をやり続ける。ご協力ありがとう。同志のいない人生は、まったくプアでしかない」

この文章は6月6日、芸文社から発売されたムック本『格闘技VSプロレス　誰がいちばん強いんだ！』の編集後記に書いたものである。この本で私はSUPERVISOR（スーパーバイザー）をやったのだ。

表紙を開いてめくった最初のページに私はあるメッセージをこめたコピーを載せている。それは何かというと『八百長に感動なし！』である。ちょっと危険で誤解されやすい言葉だが、今はそれを言うしかないと思っている。

プロレスが八百長と言っているのではない。私の言い分は一つしかない。見る側、つまり観客が求めている期待感や緊張感に応えられないものは、プロレスであろうと格闘技であろうと、全て八百長であると。私はこの考えを選手に突きつけたいのだ。

ガチンコ、セメント、シュートも試合がつまらなかったり、面白くなかったら右に同じなのだ。だから「誰がいちばん強いんだ？」という言い方は「お前ら自分に対して嘘をつくんじゃないぞ。そして俺たちにも嘘をつくなよ！」という意味である。お前らとはもちろん君たち自身のことだ。

選手たちに言いたいのは、ボクらはほかのために使えたかもしれない自分の時間を、わざわざ君たちの試合を見るために会場に足を運んでいることである。

人間というのはそのコミュニケーションの中にしか真実はないのだ。よって私は本を買ってくれる読者に対しては、いつ、なん時でもガチンコでいく。くだらない文章を書いたり、どうでもいいような本を作ったら、それは読者に対して八百長をしたことと同じことになるのだ。八百長という言葉はそういう使い方をすべきだ。

ここで初めて「八百長に感動なし！」という言葉が、生きてくるというわけである。要するに八百長とは生き方とレベルの二つが問われているのだ。

生き方がしょっぱいもの、レベルがしょっぱいものは、全て私は八百長と呼ぶ。それは私と他者との関係における最も基本的条件なのだ。そういった意味で今、マット界には大カミングアウト時代が到来したと思っている。

もう、何もごまかしがきかなくなった。政治、経済、文化、教育などそれはどんなジャンルにも言えることだ。そのための解決方法は「自分で自分をごまかすな！」これに尽きる。人は何より先にまず自分をごまかそうとする。

それがしょっぱいと言うのだ。諸悪の根源というか人生が八百長と言うのだ。冒頭で紹介したムック本は、マット界に放たれた〝黙示録〟だと思って読んでほしい。■

はみ出し ターザン情報 ターザン山本の「一揆塾」塾生募集中――大好評の「一揆塾」は、現在、毎週木曜日の19:30～21:00、場所は水道橋の闘道館で開講中。お問い合わせは☎03-3512-2080

スリー、ツー、ワン、ゼ〜ロワン！

あぶもぐ 名古屋場所 3日目

ABNORMAL★MOGUTAN

親方◎小松モグタン

OH！ギャルさんのプロレスラー大図鑑！

（ＯＨ！　ギャル・ブクロでオール109・？歳）

千代大海関、アイドルと4連泊おめでとうラ！
めでたいニュースで梅雨を吹き飛ばせ！
いくぞ～、スリー、ツー、ワン、ゼ～ロワン！

（上杉太郎・神奈川県横浜市・？歳）

（小川徹・埼玉県八潮市・17歳）

（中川雅博・埼玉県坂戸市・25歳）

（たかちん・神奈川県茅ヶ崎市・21歳）

「埼玉」

（文秀貴也・？・？歳）
◆いっぱい送ってくれていたのですが、ようやく取り上げることができました。ズバリ言って、忘れていました。スマン！

ターザン山本VS朝日昇の対談が面白かった。朝日選手のことはよく知らないけど、ターザンがまともな人に見えた。ターザンとGKの対談はつまらねぇからやめてケロ。ミルコVSヒーリングは超楽しみだぜ！　どっちも好きだけど、ミルコ応援するよ。でもヒーリング勝つよなってか、有利だよね。横アリ行くぜ～～。藤田VSヒョードルじゃあ、PPVでよかったけど、ミルコ出るんじゃ行くしかねぇべ！
（岡村悟史・神奈川県足柄上郡・22歳）
◆ターザンがまともに見えるなら、あんたはもうまともじゃねぇ！

プロレスはレスラーの感情を競い合うものである」というターザンの定義に痺れました。それにしても95号はターザンの対談が連発で、体が弱っている私としては受け止めるのが「正直しんどい」感じですよぉぉぉ。
（春名義行・兵庫県明石市・36歳）
◆本人も95号は「出すぎた！」と言ってましたけど、たしかに体の弱っている人には、あの顔はしんどすぎるかぁ。

実はターザン山本氏が本誌に露出しすぎであることをあまり快く思っていなかったのですが、今号のGKと上井さんの対談は大変面白く、ホントに少しだけですが、山本氏に好感を持ってしまいました。
（高原伸文・東京都江戸川区・37歳）
◆あんまり好感を持ちすぎないでください。不快に思われているぐらいが、ターザンにとっても程良く心地よい状態だと思います。

パンクラスと『プライド』の記事がスッゴク良かった。特にパンクラス好きの私にとっては……。パンクラスについての特集を組んでほしいです。特にGRABAKAジムの！お願いします。
（山口沙織・京都府京都市・13歳）
◆13歳の女の子がGRABAKAファンとは！世の中変わりすぎたなぁ。

『プライド26　REBORN』徹底見どころガイドが面白かった。6月8日が待ち遠しい。早く試合を見たいという気持ちをより掻き立てられた。
（今田一法・東京都大田区・30歳）
◆お坊さんからのおハガキです。お坊さんまで『プライド』を見たくなる気持ちに掻き立てられたのなら、このページは成功かな？

『プライド26　REBORN』徹底見どころガイドは1試合ずつのコメントが細かく出ていて面白い。髙田さんのコメント付きでよりGOODでした。
（飯田吉久・神奈川県横浜市・30歳）
◆髙田本部長の「ところがどっこい」が最高でした。ところで、骨法の「ジャパボク」の写真の感想は？

エメリヤーエンコ・ヒョードルをはじめとするロシア、東ヨーロッパの格闘技事情をもっと知りたいと思います。おそらくブラジリアンや黒人選手より強い人がかなりいると思いますので、プロ・アマ（オリンピック）など含めて取り上げてください。
（井上佳典・兵庫県三原郡・34歳）
◆強いヤツはかなりいるよ！　一度自分で行ってみるのが、一番いいんじゃないでしょうか？

ケツの穴が小さい三沢にターザン山本は怒らないのか!?　戦争だ！　戦争を仕掛けろ！
（青戸渉・鳥取県米子市・28歳）
◆もう、方舟問題を蒸し返すな！

ターザンも大好き！熟女からのお便り！

花戸忍VS大月晴明・再戦お願いします!!　次はヒジ・ヒザありのワンマッチで!!　大月君！はマットに這わせてあげるからね、大月君は素晴らしい選手だと思うけど、私は忍のファンだから。あと、野良犬はまだ引退するのは早い!!　そうそう、5月23日後楽園ホールの全日本キックでターザンさんをお見かけしました。声は掛けられませんでした……。
（米光ゆかり・東京都練馬区・33歳）
◆山本さんを見かけたら、声を掛けてあげてください。女性に話しかけられるのが、本当にお好きな方ですから。

★作品募集

『あぶもぐ』では、読者の皆さんからのお便りをお待ちしております。相撲関係オンリーと言いたいところですが、べつになんの作品でも結構！　質問もOK！　強烈なぶちかましをお待ちしております。

あて先

〒101-0054
東京都千代田区神田錦町
3-14-12神田NSビル8F
SRS・DX編集部『あぶもぐ』係

X　オイ、なんでもまたターザン山本がガンガン、本を出し始めたぞ。あのオッサンはホントにトシをとらないなあ。

Y　もう、57歳だろう？　あと3年したら還暦（60歳）だぞ。それなのに若い人としか付き合おうとしないのだから、ぜいたくだよな。何を考えているんだよ？

Z　知ってる？　このところ着るものが一段と派手で目立っている。あれなんかどうみても変だよ、異常だよ。

X　でも、いいんじゃないの。トシをとればとるほど逆に、お洒落にしろというのは、一つの鉄則でもあるからな。

Z　それよりさあ、ジョシカクのしなしさとこさんのホームページ見た？

X　え、何かあったの？

Z　それがさあ、しなしさんとターザン山本のツーショットの写真が、ドカーンと大きく載っているんだよな。

X　へえ、そうなの？　そういえば6月4日、ヴェルファーレで行われた『スマックガール』の会場で、何やらしなしさんがターザンと若いお相撲さんの写真を撮っていたよ。

Z　ウン、それもホームページにちゃんと載っているよ。それより驚いたのはたぶん冗談だと思うけど、しなしさんが「ターザンさんのお嫁さんになりたい」と書いていることだよ。

X　まさか、そんなバカな？

Y　そうだよな。ジョークだよ、ジョーク！　ジョークに決まっているじゃないか？

X　心配なのはさあ、あの親父、あれを見てその気になるんじゃないかと思ってさあ。これ、やばいよ、ホント！

Z　そうだよな、最近のターザンは人妻好きとか、熟女ビデオマニアとか、何かと変だよなあ。

X　あれって一種の〝老人ボケ〟じゃないのか？　そんな気がするよ。

Z　現実問題として考えてみろよ。ターザンとしなしさんの年の差は〝30〟だよ、30。それにしてもしなしさんってどういうつもりなんだろう？

Y　そんなもの、分かるはずがない。彼女はそういう人かも。あのターザンがからかわれているところが面白いよな。

Z　そういう意味で言うと、ジョシカク恐るべしだな。

X　なんでもターザンはジョシカクの本を作っているんだろ？

Z　そうみたいだよ。また、例によって一番乗りしようという腹なんだよ。

Y　売れるのかねえ？

X　さあ、どうだろう？　話題にはなるかもね。でも、女のコのことだし、あとが怖いよ。

Y　どういうこと？

X　だからさあ、いろいろジェラシーとかあるじゃない？

Z　そうか、そうか、そういうことか？

Y　ジョシカクってターザンの個人的趣味でやってるの？

Z　それに近いものはあるね。結局さあ男子プロレスがつまらないので、そこに逃げ込んだんじゃないの？

X　ジョシカクはターザンの駆け込み寺かあ。それなら分かるよ。ジョシカクのことはそのへんにして、話を最初に戻すとターザンが、あのテリー伊藤とプロレス＆格闘技に関する〝対談本〟を6月の中頃過ぎに出すそうだよ。

Y　どこ、どこの出版社？

X　徳間書店という噂だよ。

Z　ああ、あの新間寿さんや自殺した元FMWの社長だった荒井晶一さんの本を出したところか。それでどんな内容なんだ？

X　本のタイトルは『格闘技心中』ということだそうだよ。

Y　なんだよ、それ？　変なの？

X　変だと思うだろ？

Y　おかしいよ。

X　格闘技がプロレスより人気があって上だから、オレたち格闘技と運命を共にしちゃおうぜという意味なのかなあ。

Y　べつに深い意味はないんじゃないの？

Z　オレもそう思うな。最近の出版社は何も考えていないところが多いからさあ。

Y　でも、テリー伊藤の知名度は高いから、ターザンの本としては一番、売れちゃったりして。

Z　ああ、それはあるかもね。

X　それよりオレがここで言いたかったのは、その本の中でなんでもターザンとテリー伊藤が組んで、マット界に新団体を作るという話があることなんだよ。

Y　え、何をするの？

頭の斬れる人
こと自体、マット界もいよいよ終末にき

最終回プロレス版 覆面裏座談会

もう、みんな力ミングアウトしろ! どうせ、何やってもダメなんだから……

Z ちょっと話が飛躍しすぎじゃないのか? 飛びすぎるよ。

X でも、本人たちは大マジメということみたいだよ。

Y そう言われると早くその『格闘技心中』とやらの本を見てみたいよ。

X そう、思うだろう?

Z たしかに今、プロレス団体はどこも四苦八苦でアップ、アップ状態。ジリ貧を通り越して沈没寸前の船みたいなところがある。これはさあ、今までのプロレスが終わったということだよ。

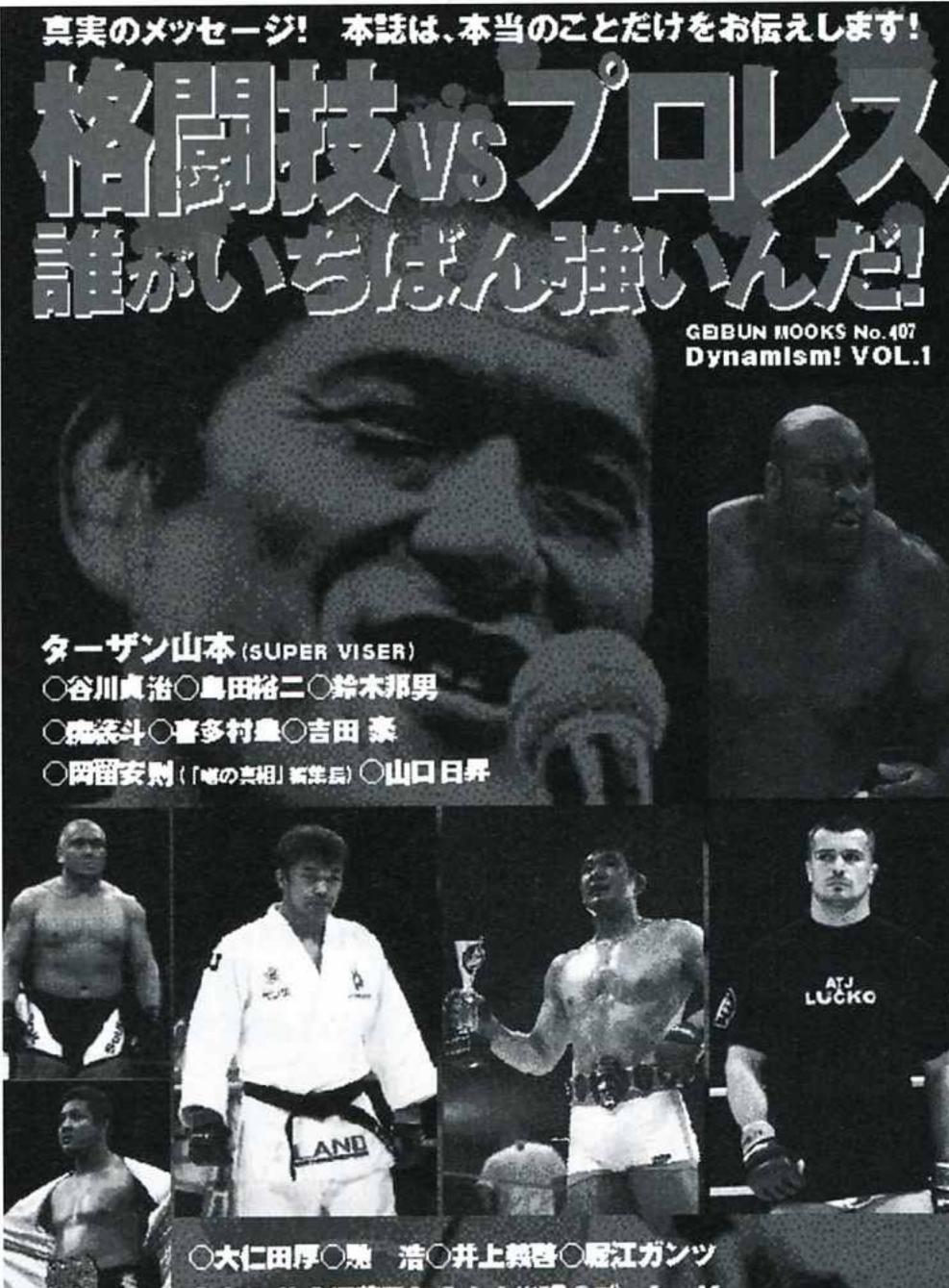
X 終わりがあると始まりがある。その理屈で言うと新たなチャンスが出てきたという見方もたしかにできる。

Z なんせ、テリー伊藤という人は先を読むのがうまいからなあ。ビジネスにならないことはしない人だし、なんらかの勝算があってのことなのかなあ。

Y プロレス界って少し発想を変えたらそれこそすぐに成功すると思う。だって今まで何もまともなビジネスを、やったことがない世界だし。

X ウン、それは言える。まあ、ひどいもんだよ。丼勘定とかいう以前のレベルだとオレは思うな。テリーさんみたいに頭の斬れる人が、本当を言うとマット界に入ってきたほうがいいんだよ。

▼ターザン山本の最新刊は、芸文社から発売されたこの本。バラエティに富んだメンツのインタビューが満載だ

Z そうだ、そうだ。そのとおりだ。お客やファンのニーズがどこにあるのか、それをとりあえず分かってるもんなあ。

X それってビジネスの原点だろう。それが今までプロレス団体には、ずっとなかったんだから。

Y もう、そろそろレスラーやファイター出身者以外の人が、マット界を動かすようになってもいいはずだ。

X その時代にきたと思うよ。テリーさんだったらどうやったらテレビが付くのか? どうすればマスコミが飛び付くのか、分かってるしさあ。

Z でも、なぜ、そこにターザンが絡んでいるんだよ。あの男は団体をやる柄でもないし器(うつわ)でもない。

Y 遊び人だし(笑)。

X 欲ボケだし(笑)。

Z いずれにしてもそんな話が出てくること自体、マット界もいよいよ終末にきたのかもよ。

Y とっくの昔に終末はきているよ。新日本プロレスのリングに〝えべっさん〟が出ているんだしさあ。あんなこと20年前だったら絶対に考えられなかった。

Z えべっさんねえ、いいんじゃないのかなあ。地方ではいいと思うよ。

Y あの中西がK―1ジャパンのリングに上がる時代なんだから、オレたちはもう、何が起こってもびっくりしなくなったよ。

Z そういうわけでもう、この裏座談会も意味がなくなったからやめようか?

Y そうだな、潮時かもな。

X 谷川編集長の『プロデューサー日記』がなくなった時、一緒にオレたちもやめるべきだったかも。

Y 遅きに失したかも。

Z 今からでも遅くはない。今回でこの裏座談会はフィニッシュにしよう、いいな、いいだろう?

Y 賛成・異議なし。

X オレも異議なし。

Z ターザン山本といったら芸文社から『格闘技VSプロレス誰がいちばん強いんだ!』という本も6月6日に出たよな。

X あれは、どうなんだ? 谷川編集長と『紙のプロレス』の山口編集長もインタビューを受けていた。

Y あれ一応、目を通しておく価値はある。でも、オレたちの命も短かったなあ。

X さよならだけが人生さ……。■

シーザー武志の 侍の掟!!

第1回

rule of the S

聞き手◎中村カタブツ君
撮影◎丸山剛史

お前の人生一刀両断!

チンケな悩みを打ち、蹴り、投げる!

――今号からシーザー会長の人生相談が始まるわけですが、第1回は特別編として、会長の壮絶な人生をお聞きしたいなと思ってます。

シーザー　父親はもともと細川家という武士の家系の出なんだけど、母親と籍が入ってなかったんだよ。

――そうだったんですか!?

シーザー　それでも、父親と一緒に住んでたのは良かったけどね。でも、小学校4年の時に母親が出て行っちゃった。というのも親父は一級鳶で腕は良かったんだよ。でも、ケガしてから仕事もしないでブラブラするようになって母親が朝から晩までほとんど寝ないで働いてた。もう限界だったんだろうなぁ。で、親父のほうもある日、「おい、米の炊き方はこうやってやるんだ。洗濯はこうやってやる。分かったか? それで俺は明日から労災病院に行くからおまえ一人で学校に行け」って言うんだよ。

――いきなり一人で生きていけと。

シーザー　「えーっ!」だよね(笑)。だから、落ちてる鉄を拾って売ったりしてね。とりあえず、火事があったらその現場に行って鉄線を集めて持っていくんだけど、中に石を入れて重くしたり、子供ながらの小細工とかしてた(笑)。

男・シーザーの容赦なき壮絶人生相談!

――生きてく知恵ですね(笑)。

シーザー　そうそう。その頃に生き抜く何かを覚えたね。ただ、そうは言っても、「俺、このまま死んじゃうんじゃないか」って思うじゃない?

――いや、絶対に死にますね。

シーザー　だから、お袋を頼って大阪に行ったんだよ。そしたらお袋が一緒になってた人がまた凄くてねぇ、体中に刺青が入ってるんだよ(笑)。

――ホント試練の連続ですね(笑)。

シーザー　村田組っていう土建屋で、まあヤクザだね。で、その義理の親父が「父ちゃんって呼べよ」って言うの。だけど、俺も可愛くなくて、「おまえなんか父ちゃんじゃねえよ」って反抗してたから、バッコンバッコン殴られて、お袋もバカバカ殴られる。そんな生活だから、とうとうお袋は「おまえ、母ちゃんと一緒に死ぬか?」って言ってきてね。あの時の目は本当に怖かったなぁ。だけどその時に、面白いもんで子供なんだね、「母ちゃん、死んだらテレビも見れんしさ、飯も食えんから死ぬのやめようよ」って言ったんだよなぁ(笑)。

――そんな小学5年生。本当に壮絶です。

シーザー　だから、俺はその時に腹をく

くったんだと思うよ。「母ちゃん、俺頑張るからね、母ちゃんに苦労かけんように俺絶対いい男になって頑張るから」って。それから今まで〝最後には刺し違えてやる〟と思ってやってきたからね。

―その後、中学、高校では喧嘩に明け暮れ、相当有名な存在になったということですが。

シーザー　いや、俺は喧嘩はしたことないよ。迫力はあったと思うけど。

―いや、元リングスの前田日明さんを筆頭にいろんな方が証言してるんですけど（笑）。

シーザー　シバキ上げたことはあったよ。だけど、喧嘩じゃない（笑）。

―つまり一方的だったと（笑）。でも、日本刀持った相手とかいたんですよね。

シーザー　いや、あんなものは脅しで本当に使ったりしないよ。中学生にそんな根性ない。たとえモメても俺が出て行けばなんとかなったからね。たぶん、周りから乗せられたんだと思う。いいように利用されていたっていうかね（笑）。

―会長の喧嘩話（学校帰りに梅田周辺に行って生意気な奴らを懲らしめるのが〝仕事〟だったとか、19歳の時にはヤクザの喧嘩にも参加して日本刀で斬り合ってる相手に拳を叩き込んでKOしたとか怖い話が満載）はたくさんあるんですが、ページもないことなんで、その辺の話はのちのち紹介することにして、キックとの出会いを聞かせてください。

シーザー　その頃、学校を退学になってヤクザになろうと思ってたんだよ。そしたら、たまたまテレビでキックを見て、「やる」って決めて西尾ジムってところに入ったんだよね。で、そこの会長がいい人で、当時、付き合ってた女の子が家出してきて、「住むとこない」って言うから「会長の娘として預かってくれませんか」って言ったら引き受けてくれたんだよ。俺が保護観察になった時も会長が

二人目の親父がまた凄くてねぇ、体中に刺青が入ってるんだ（笑）

預かってくれたりね、タイにだって行かせてくれてね、普通、保護観察だったら行けないでしょ？　だから、見込んでくれたと思うよ（笑）。

―ただ、残念なことにジムが潰れちゃったんですよね。

シーザー　それで俺、歌手になろうと思ってね。間寛平とか月亭八方とかと一緒に歌ってた時期もあったんだよ（笑）。

―本当に面白い人生ですね（笑）。だって、その前には手配師もやってたんですよね。

シーザー　あの時は2回、本気で命を狙われたよ。西成で人を集める時もヘタ打つと暴動になって襲われるしさ、面白かったわ（笑）。

―「面白かったわ」って（笑）。その後、シュートボクシングを創設したわけですが、これまでの人生を振り返って心に残ることってなんですか。

シーザー　やっぱりお袋だよ。ずっと一緒にいてやれなくて、最期も一緒じゃなかった。だからそれが一番悔しいよね。お袋は魚の行商して俺たちを育ててくれたんだけど、朝1時に市場に行って、帰ってきて仮眠して6時に起きて暗くなるまで魚を売ってたんだよ。それぐらい一生懸命育ててくれた。俺、今の子がダメなのって親に一生懸命さがないんじゃないかと思う。学校任せで、何かあったら学校の責任でしょ？　そうじゃねぇだろ、お前が育てんのが当たり前だろって。

―でも、本人の責任もあるでしょ？

シーザー　あるよ。でも、子供って親の背中を見て育つものであってね。最初の親父にしても、やっぱり凄いなって思ってたから。昔、台風で窓のすぐ下まで水が来て大木が流されて来たんだよ。そしたら一人で水の中に入って行って、その大木を手でグワ〜って引っ張って来るわけ。「この人凄い人だ」って思ったよ。

―いざとなったら盾になる。

シーザー　男親っていうのはそういうもんでしょ？　だから、男親がね、女の役目をする必要はない。野球でもそうでしょ？　ピッチャーがあったりキャッチャーがあったりいろんなのがあるわけよ。攻める奴がいたり、止める奴がいたり。そこで人生とはこういう風に振り分けられてるんだなって、それは感じたね。でも、その役目をしない人間が多いでしょ？

―親だけでなく、子供も子供の役目ってあると思いますね。

シーザー　結局、能書きばっかりだからね。格闘技だって、やりもしないで、ああじゃねぇ、こうじゃねぇとか言って、お前らやってみろよって。やってみればやっぱり心の強い人間が勝つって分かるから。同時に思いやりがどれだけ大切かって身体で分かるんだよな。

―次号からそんな会長の男道で読者からの相談をズバズバ斬ってください！■

どうだ、この壮絶な人生！　善と悪とが渾然一体だからこそ、会長の言葉には真実があり、コクがある。こんなシーザー会長に君たちの悩みをぶつけてみたくないか？　恋の悩みからイジメ問題、嫁舅問題に親にも言えない性癖まであらゆる苦悩をシュートしてくれるはず！

〈あて先〉

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-14-12　神田NSビル8F
（株）ローデス　SRS・DX編集部
「シャイな悩みにそれシュート」係

編集後記

▼次号予告を見よ！　次号はK―1パリ大会を特集する予定。しかし、ここにいたっては、もはやそれどころではない。山本さんの道中が劇画にでもなるというのか？　K―1パリ大会と言えど、主役はやはり山本さんなのか？　などと妄想する最中、小松さんが『ひとり旅これで十分フランス語会話』なる本を山本さんにプレゼントしている微笑ましい姿を発見し、ひとりニヤけたのだった。（野尻）

▼最近、六本木に行く機会が増えてきた。とは言っても、その大半は取材なわけで……。今まで、僕の中で六本木のイメージとして浮かぶのが、アマンド、外国人、クラブぐらいというのもどうかと思うが、まあそれぐらい縁のなかった場所なのだ。でも、これからは夜の六本木を自由に闊歩できる大人に、一歩でも近づきたいものだ。ちなみにまだ一歩も進んでいませんので、あしからず。（佐藤）

▼突然のことだが、パリに出張することになってしまった。物心がついてから海外に行くのは初めてなので、緊張することこの上ない。しかも、主な任務がターザン山本さんのお世話係である。これはとんでもないことを任されてしまった。そんな緊張している自分に中村カタブツさんが柔らかいオッパイのおもちゃをくれた。これを揉んでいると少しは気分が落ち着く。ありがとう、変態親父！（小松）

▼ターザン山本さんのジョシカク好きが大変なことになっている。なにしろ6・4スマック観戦後の第一声が「こんな興奮するもの他にないよぉ！」だもの。で、こないだはこんなことを聞かれた。「橋本ぉ、おまえジョシカクの選手で誰が一番好きなん？」。……なんか、修学旅行の夜みたいな。57歳にして中学生気質＆童貞感覚をキープ。これがバイタリティというものなのか。見習いたい。（橋本）

▼小4の娘の授業で、生き物の飼育をやるため、小動物か虫を学校に持ってこいという宿題が出された。さて、どうしたものか？　と考えていると、娘は庭のキンカンの木からアゲハ蝶の幼虫を見つけてきた。体長わずか1センチ。大人になると見えなくなるモノが子供には見える。ボクも子供の頃は虫やカエルをよく捕まえたものだ。最近は、娘の虫カゴをのぞくのがボクの楽しみのひとつだ。（林）

▼ミスを認めない。ミスを許さない。ミスを恥じろ。これは阪神タイガースの星野監督のプロ哲学なのだ。そこにはミス＝死という発想がある。ミスしても命に別状はないと思っている人間は、生き方がド素人、ドしょっぱいと言っておこう。お前はもう何十回、何百回死んでいるんだよ。あと星野監督は叱るという日本人的美徳を持っていることだ。阪神〝快進撃〟の秘密はその二つにある。（山本）

SRS・DX
2003年6・26 No.96

発行・発売　株式会社扶桑社
〒105-8070
東京都港区海岸1-15-1
販売部　☎03-5403-8859

協力　フジテレビジョン
フジテレビ出版

編集　株式会社ローデス
〒101-0054
東京都千代田区神田錦町3-14-12
神田NSビル8F
編集部　☎03-3295-4445

発行人　満賀主水

編集人　谷川貞治

DESIGNER　梅村あゆみ
岩村唯是
水町由美子
su・plex
溝口真穂
小林普夫
2in1
ナール企画
NORTON
野尻雅友

極真を離脱し、究極の空手を追求！
地上最強のカラテ家・数見肇
『目指すは〃人間兇器〃です！』
極真会館を、そして
極真館を離脱した数見肇が
日本空手道・数見道場を創設した。
競技ではない空手、本来の空手とは何かを
追求し始めた数見の心意気を聞け！
聞き手◎中村カタブツ君　撮影◎中島ミノル

——あれ？　数見さん、なんか顔が若返ってませんか？

数見　そうですか（笑）。

——一時本当に悩んでいる顔してましたもん。

数見　頭が少し薄くなってたんですよ。最近やっと戻って来たんですけど（笑）。

——今回の一連の離脱問題が大変だったのが非常によく分かります（笑）。ただ、数見さんの場合は不満があったというより、やりたいことがあったから極真の看板を外したわけですからね。

数見　だから、今はこれまでやったことのないような稽古をしたりして、その中で新たな発見があるのが楽しいですね。

——空手を深めたいって言ってましたけど、それは本来の強さを目指すってことでいいですか？

数見　そうですね。やっぱりなんだかんだ言っても自分が強くなりたいなって。だから最近あれですよ、自分が一番初めに空手を始めた時の気持ちに戻ってますね、中学の時の強くなりたいっていう。

——中学生時代（笑）。数見さんって今、いくつでしたっけ？

数見　32歳です。

——凄くいいですね。日本の極真の中で頂点を極めた男が初心に戻る、中学時代に戻れるって素晴らしいことですよ。自動車飛びとかやりません？（笑）。

数見　ちっちゃい車が通ったりすると、これだったら飛び越えられるかなって考えたことあるんですよ（笑）。

——やりましょうよ！

数見　いやぁ、見るだけでいいです。でも、あれですよ、映画の『地上最強のカラテ』を最近ちょっと見てるんですけど、やっぱり凄いですよね、あの頃は。エネルギーがヒシヒシと伝わってきて。

——総裁に言われればなんでもできると思い込めるキ●ガイ集団（笑）。あれが、気持ちいいですよね。あれがあるからビンビン来るんですよね、僕ら。

数見　はい（笑）。

——「牛の足をローキックで折ってきたまえ、キミ！」って総裁に言われたことなかったですか？

数見　自分は言われたことないです。

——じゃあやりましょうよ、言われなくてやるのがさらにいいですからね。ふざけるなって顔しないでくださいね（笑）。

数見　いやいや。でも、自分は『空手バカ一代』を見て、極真空手を始めたんで、映画とか見るとその頃を思い出すんですよね。自分を奮い立たせるんです。

——どの場面が一番奮い立ちます？

数見　芦原師範とか大山茂師範とか高弟の方々の姿と、試し割りやってるシーンとかにシビれちゃいますね（笑）。

——そういう世界をまた復活させましょうよ。男の夢ですからね、無茶って。

数見　ああ（微笑）。

——だって瓦割りひとつとっても普通に考えれば無茶じゃないですか。それが見慣れていくからエスカレートしていっただけの話であって、普通に考えれば、あれだけでも十分にバカだと思うんですよ。何をしてるんだって話じゃないですか。でも、空手の原点ってやっぱりそこで、だからこそ、その部分を突き詰めてほしいですね。

数見　超人追求の夢は本当にありますし、今、空手始めた時の気持ちが蘇って来てるんで、凄くいい感じです（微笑）。

空手で優勝しても、人生においてはまだまだ弱いなって思ったんです

——数見さんのやろうとしてることってホント正しいんですよね。強くなりたいっていうもの凄くシンプルな発想だから。

数見　世界大会が終わってから、ずっと強さとはなんだろうかって考えたんですよね。それで人生を強く生きるっていうのが本当に強いっていうか、空手でチャンピオンになっても、人生においてはまだまだ弱いなって思ったんですよ。いろんなことがあって。

——そのいろんなことって言うのが組織のしがらみであり、人間関係であり、そういう中で自分を貫くにはどうすべきかと。

数見　そうですね。

——何も考えないようにしていけば、チャンピオンだと言われるだろうし、道場をもっと大きくできたかもしれないし。そういう道もあったじゃないですか。

数見　いや、それはちょっと虚しいですね、僕にとっては。

——でも、だからこそ、「数見は大丈夫か？」という声も出てくるわけですよ。夢ばっか追って何をしてるんだっていう。

数見　でも、それがないとやってる意味がないような気もしますし。

——実際問題、メシはどうやって食っていくんですか、道場だけでやっていけるのかって心配になってくるんですよ。

数見　今、自分の生徒は800人いますから、贅沢しなければやっていけます。だから好きなことをやってメシが食えるのは本当に幸せです。

——数見さんって今の若者にない純粋さ

◀道衣には数見道場の文字。マークには「クールであれ」を意味する青と、「情熱」を意味する赤が使われている。70センチを超える太腿周り。人間兇器を目指す数見の手足には歴戦の闘いで刻まれた傷跡が残る。男の勲章だ!

が本当にありますね、嬉しくなります（笑）。で、具体的に強くなるってことですが、刃物を持った相手にも勝てるようにならないといけないとか、そういうことをやっぱり考えるわけですか？

数見 やっぱり考えますよね。でも考えたらキリないですよね？

――銃持って来たらどうしようとかね。

数見 だったら、イラクとかアフガンに行けって感じですよね（笑）。

――実はそう思いました（笑）。

数見 だから、それはないですけど。本当にさっきも言いましたけど、自分が空手始めた時の、単純に強くなりたいっていうような気持ちをずっと忘れてたんで、今、気持ちが新鮮と言うかですね。

――今やってる顔面や寝技も新鮮な驚きがあると。

数見 あります。そういうのは全部やりたいですね。やっぱり世の中には本当に凄い人っていっぱいいますよね。こんな強い人がいる、こんな世界があるんだって知っただけで、もっと頑張んなくちゃいけないなって。

――ただ、僕が望むのは沖縄に行って空手の源流に触れてほしいですよね。沖縄の古武道のある師範は自分の息子の誕生日プレゼントに一枚ずつ本物の手裏剣をあげてて、息子が30歳過ぎてもまだやってるみたいなんですよ、そういう気の狂った世界に行ってほしいですね（笑）。

数見 ハハハ！ 元々そういうのに興味あるんで、いずれはやってみたいですけどね。

――空手って凄く奥が深いと思うんですよ。でも、今はほとんどキックみたいになってて、貫手も使わないし、手刀すら使わないじゃないですか。そういうのをもう一回ちゃんと数見さんには掘り起こしてほしいなというのがあるんですけど。

数見 はい。

――僕思うんですよ、数見さんって極真の看板降ろした時点で、空手の看板背負ったんだって。

数見 ああ、はい。だからやらなくていいものは何もないってことですよね。今はまぁレスリングだったり顔面だったりっていうのはやったことのない部分ですから。

――やっといたほうがいいですよね。

数見 だから今まであまりにも技の突き詰め方が甘かったなと。突き方一つとってもこれでいいのかなっていう。

――中高一本拳とか、喉輪だってなんだってあるんですよね、空手って。

数見 要は人間兇器ですよね。

――そう！ 倉本（成春）先生にしても手足の先端をメッチャクチャ鍛えてるじゃないですか。

数見 そうですよね。僕は最初、倉本先生と出会ってから空手に対する捉え方っていうのは変わりました。ただ実行に移せてないんですけどね。

――いや、これからでしょう、まだ若いんだから、あと10年は大丈夫ですよ。

数見 本当ですか？

――だって倉本先生は50いくつでしょ？ でも、化け物みたいに強いじゃないですか。

数見 そうですね。今、やってる総合の練習にしても、要は空手のためにやってるわけであって、ただその空手っていうのはどういうものなのかなっていうことすらまだ分かんない状態で……。

――別のことをやり始めたら自信をなくすのは当然だし、一時的に弱くなったように感じるのも当たり前だと思いますよ。ただ、そういうのをキチンと咀嚼すれば凄く強くなると思います。

数見 昔の価値観をある程度捨てて、コテンパンにやられて、ショックを受けたりして作り上げていくっていうことですね。だから僕の中では新しく道場を立ち上げてですね、ちょうど今が産みの苦しみと言うか、そういう時期だと思ってるんですよ、自分の中で。

――では、そういうショックをこれからも受けていく覚悟はあるんですね。

数見 そうですね。そこから逃げていくんじゃなくて、現実をちゃんと受け入れて、どうしたらいいかっていうのを考えていこうと思ってます。

――で、完成したら、『Dynamite!』に出ましょうよ（笑）。

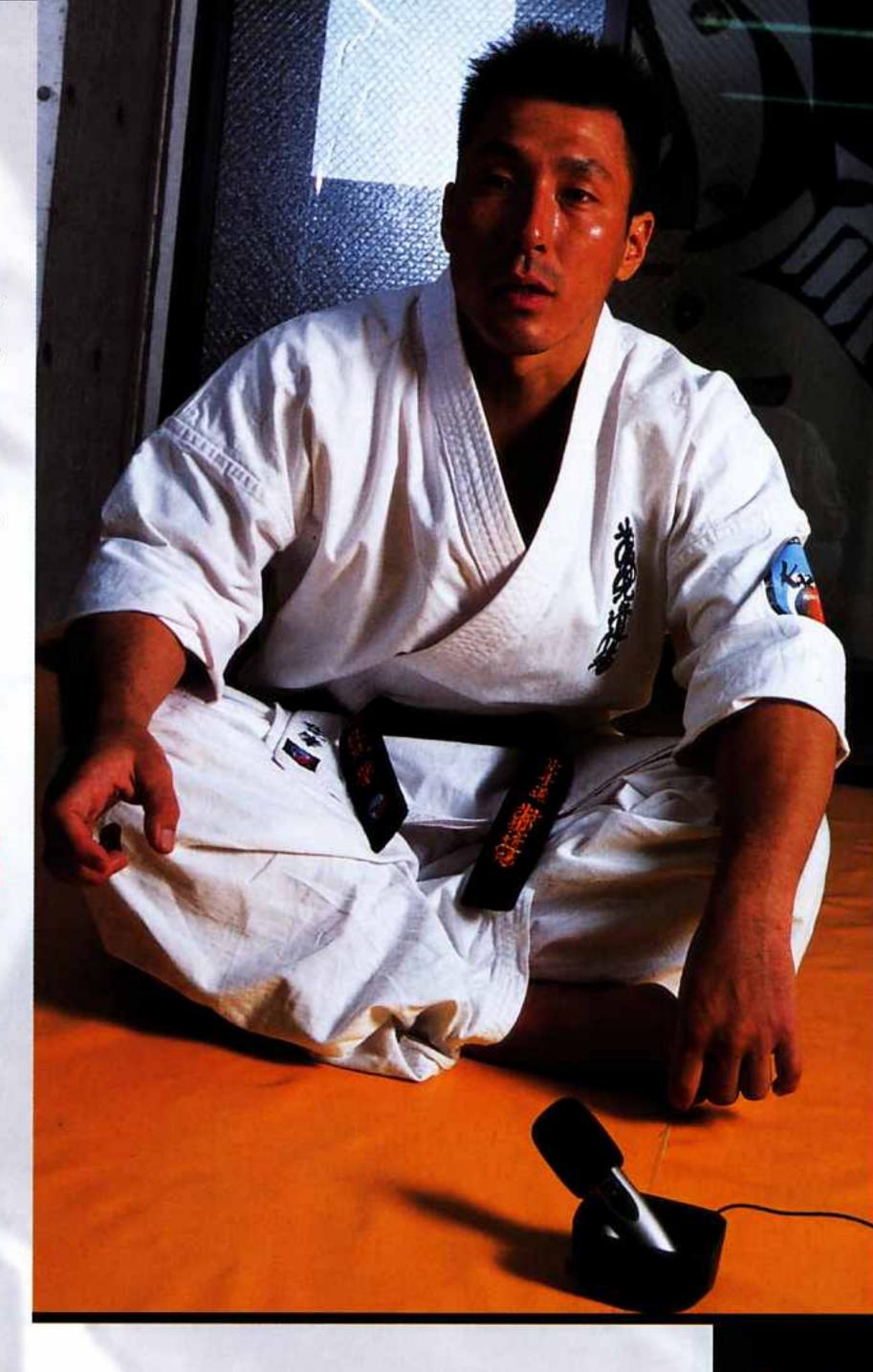
数見 いやぁ（笑）。でも、まぁ、この先そういう気持ちが起こるかもしれないですけどね。道場の中だけでやってても自己満足でしかないですから。胡座（あぐら）をかいてたらダメですから。

――話を聞いてると、必然的にこうなる以外に道はなかったんですね。

数見 そうですね（微笑）。

――やっぱり間違っていないんですよ、数見さんは。芯があるし、やることの筋

試合に関してはそういう気持ちが起こったら出るかもしれないです

が通ってますしね。ところで、数見道場自体の稽古内容とか指導法については変えていくんですか。

数見 指導は指導なんですけど、自分の側から言えば、お互いに研究するっていうスタンスでやってますんで。……こういうふうにやったけど、こっちのほうがいいかなぁとかそんな感じですよ。

——「ごめん、昨日はこう言ったけどさぁ」って感じですか（笑）。

数見 そう。でも、言い方があって、「こっちのほうがもっといいと思うよ」っていう教え方です（笑）。

——「もっといいの見付けたよ」と。大人の空手を身に付けましたね（笑）。審査会のメニューは変わります？

数見 基本的なことしかやらないですね。でも、その基本がみんなできてないんですよ。

——基本って、基本稽古ですか。

数見 いや、基本稽古っていうのじゃなくて、なんて言うんですか、その人のバランスであったりだとか、技の出し方であったりとか、そういう根本的なことを見る。心掛けるのは、ひとり一人ちゃんと目が届くような審査会ですね。当然ですけど。

——あ〜、何かその審査会凄く大変そうな気がするな（笑）。

数見 生徒のための審査会ですから（笑）。

——組手のルールとかは？

数見 これから除々に変えていきますけども、とりあえずは今までと同じような形になります。

——試合とかはどうしていきます？

数見 試合は当分の間は受け入れてくれるところがあれば、ですね。指導員クラスですけど、今年中にはどこかに出ると思います。

——数見さんには、組織はある程度任せられる人が出て来たら任せて、自分の修行に専念してほしいんですよね。

自分の理想像は人生を逞しく生きる、自信に満ち溢れた人間兇器

数見 そうですね。

——世界各国を回って武者修行をしてもらってもいいし、空手の源流を求めて沖縄に行って突き詰めてもらうとかもいいし、そういうものを何かやってほしいなぁというのが凄くありますね。

数見 今はまだちょっとそこまで気持ちが落ち着いてないんで。とにかくなんでもかんでも手探り状態なんですよ（笑）。

——その辺無鉄砲ですよね。

数見 そうですね。今まであんまりこぢんまり過ぎてたんで。

——いや、こぢんまりはしてないですよ。逆に無茶ばっかりだったじゃないですか、スネが折れてるのに試合に出たりとか。

数見 いやもう、ガタガタですよ、身体（笑）。だから、自分の身体を見つめるっていうことも、一つの稽古だと思うし。あまりにも無頓着だったんで。

——無頓着でしたよね。

数見 もっとケアしとけば良かったなって今になって思いますよね。

——なんだか、落ち着いてるように見えて無茶で無頓着。でも、純粋だから、どんなものが出て来るか分からない魅力がありますね。

数見 僕自身もよく分かんないんですよ（笑）。なんて言うんですかね、追求心っていうのはなくさないようにしていきたいですし、これからどういう方向に向かっていけばいいのかなっていうのもキチっと考えないといけないんですけど。でも自分でやりたいことができるっていう楽しみもありますし。

——やっぱり失ってほしくないのは空手を追求することですよね。さっきも言ったように空手の看板を背負ったと僕は思ってるんで。それでは最後に数見さんの理想像を聞かせてください。

数見 う〜ん、そうですね。とにかく、人生を強くたくましく生きていく。自信に満ち溢れていて、そして人間兇器。

——「そして人間兇器」（笑）。最高に面白い人ですね。

数見 本当に子供みたいですけど、こんな感じなんですよ（微笑）。■

数見道場連絡先

中延道場
品川区中延4-6-16 B1F CHAMBERS TOKYO内 ☎03-5751-7833

都立大道場
目黒区中根2-14-1 こうき館1F ☎03-5731-1028

溝の口道場
川崎市高津区溝の口2-15-1 第一マルテイビル3F ☎044-812-3369

川崎東道場
川崎市川崎区大島5-10-6 岩崎ビル2F ☎044-246-3639

新丸子道場
川崎区中原区新丸子2-909-5 サンルピナス1F ☎044-411-9521

元パンク、柔術家なのに殴り好き、夢は障害者介護？の刺青獣

プロキャリア3戦ながら大抜擢を受け、朝日昇と対戦することになったTAISHOだが、この男、聞けば聞くほど変わった経歴&思想の持ち主。やっぱりDEEPに出る選手だけあるなと納得の格闘人生を聞くべし！

聞き手◎橋本宗洋
撮影◎佐伯 繁

6・25DEEPで朝日昇と対戦！ TAISHOって何者？

—まずは格闘技を始めたきっかけからお聞きしたいんですけども。

TAISHO もともとパンクバンドをやってたんですけど、耳が悪くなっちゃって（笑）。真剣にやってはいたんですけど行き詰まってもいいたんで「これは違うことやるチャンスだ」ってバイクで日本一周しようとしたんですよ。そしたらいきなり車にはねられちゃって。そのリハビリで通ったスポーツセンターで、たまたま柔術をやってるグループがあったんです。

—ちょっと待ってくださいね（笑）。いきなり変化に富みすぎてるんですけど、まずはパンクバンドだったと。

TAISHO ボクが高校生の時、名古屋ってパンクブームだったんですよ。『クラウン』ってバンドで。王冠じゃなくってピエロのほうですね。夏でも皮ジャン着てました（笑）。

—で、耳が悪くなっちゃったと。

TAISHO 家の中で、ライブハウスで使うような大きいアンプをガンガン鳴らしてたんですけどね（笑）。

—で、日本一周？

TAISHO 変わったこと考えるの好きなんですよね。ところが……。

—車にはねられて、リハビリ中に柔術に出会ったと。はぁ～。

TAISHO ただ、しばらくしてそのグループは生徒も少なくなっちゃって。今度は山田スポーツっていうところでサンボとか打撃をやり始めたんですよ。そこで伸びたっていう感じで。その後、最初のスポーツセンターで新しく柔術のアカデミーを立ち上げようってことになって。それが今の名古屋ブラジリアン柔術クラブ（NBJC）ですね。

—そこでやっと落ち着いたというか。

TAISHO でも、そこでは自分が教える立場になっちゃったんですよ。楽しいんだけど強くなることからは離れていっちゃって。それで……。

—まだ動きがある（笑）。

TAISHO 車屋さんに車あずけてたら盗まれちゃって。

—また話がズレてきますね（笑）。

TAISHO で、弁償ってことでいい車もらえたんで、それを売り飛ばしてブラジルに修行に行ったんですよ。バルボーザ柔術ってとこに。

—そういう展開になるわけですか。

TAISHO なんか、いつでもタイミ

6.25DEEPで大抜擢! TAISHOって何者?

朝日さんとは記者会見の前から携帯のメールで挑発しあってました

ングいいんですよね。

――車にひかれたり盗まれたり（笑）。

TAISHO　DEEPに出ることになったのも、名古屋が地元で佐伯代表とつながりがあったからで。周りの人のおかげっていうか、タイミングと勢いでここまでできちゃった感じなんですよ（笑）。

――でも、タイミングと勢いで朝日戦までできちゃったら凄いですよ。

TAISHO　あんまり、誰が相手とか意識しないほうなんですけどね。今回は強い相手ですし、みんながうらやむようなカードだから「オイシイかな」って考えてたんですけど、結局、闘うのは自分ですからね。相手に合わせてたら自分が崩れちゃうんで。こういう大きな試合に自分が抜擢されたってことは凄く嬉しいですけどね。贅沢を言えば、常に自分より強い人とやっていきたいですし。

――というのは？

TAISHO　ケチョンケチョンに負けるかもっていう試合をしていきたいですね。そこで逆転できるような自分を作っていきたいんですよね。受けて立つ立場っていうのも、そこまでになればいいですけど、まだ自分より強い人なんてたくさんいますから。

――得意な闘い方っていうのはどんな感じですか？

TAISHO　殴ることですね。寝技は疲れますし。

――柔術家なのに（笑）。

TAISHO　柔術家だから組み技だけっていうイメージはないんですよね。相手が殴ってきたら殴ればいいし、寝技できたら寝技で対抗すればいいし。要は自分のやってきたことを信じて、持ってる技を全部出せばいいんじゃないかと思うんですよ。で、自分は殴るのが得意で、それで勝ってきてるんで。今度の試合でも右ストレートから突っ込むだけです。分かってても食らうような打撃を見せたいですね。

――そこは強気で。

TAISHO　今のボクのウリは、一発当たれば倒せるってとこだとも思うんで。まぁポテンシャルの問題もあるんですけど、できるだけ限界まで（笑）。

――今回の試合に関してですけど、記者会見で舌戦もありましたよね。「沈んだ朝日は昇らない」みたいな。

TAISHO　もともと、向こうから挑発するようなメールがきたんで。

――メールがきた？

TAISHO　朝日さんのマネージメントをした原さんは前から知ってたんですよ。で、原さんから「朝日は100%で叩き壊してやるって言ってたよ」ってメールがきて。「だったら負けとれん！」と思ってメール返して（笑）。それをまた原さんが朝日選手に転送しちゃったんですよ（笑）。そしたらまた「そんなこと言ってたら死にますよ」ってきて。こっちは「いつも死ぬ気でやってますよ！」って（笑）。

――史上初でしょうね（笑）。

▶今回、撮影は名古屋が地元で謙吾やチャバリータASARIの写真集も手がけている佐伯繁氏に依頼した

TAISHO　ケイタイのメールで舌戦ですからね（笑）。必死で親指動かしましたよ（笑）。で、まあ「裏でやってても仕方ないから会見で」と。

――それでエスカレートして、あげくにマネージャー同士が乱闘してしまったという（笑）。

TAISHO　あれはボクはノータッチですよ。もうカンベンしてほしいですよ。「闘う本人をもうちょっと目立たせてくれよ」って（笑）。

――なんか、さすがDEEPっていうかねぇ（笑）。ところで、そのタトゥーはなんの絵柄ですか？

TAISHO　これはタコですね。

――なんでまたタコ？

TAISHO　実家がタコ焼き屋なんですよ（笑）。

――そういう理由なんですか（笑）。

TAISHO　なんかフェチ的に好きっていうか。あと食べるのも好きですし、外国だと強そうなイメージもあるんですよね。悪魔っていうか死を司る神っていう。そういういろんな部分を含めて（笑）。

――生活に差し支えとかはないですか？

TAISHO　そんなことないですね。逆にこのおかげで出会えた人もいるし。後悔するんだったら最初っからしなきゃいいだけですもんねぇ。多少の不便があるなんて最初から分かってるんだし。

――仕事っていうのは何を？

TAISHO　こないだ結婚したんで、ちょっと嫁さんに助けてもらって。格闘技でいけるとこまでいきたいんで、練習に支障がない範囲で花屋のバイトを。

――花屋！（笑）。パンクにタコ焼き屋に花屋って、意外な単語が出るな～。

TAISHO　一応、建築現場系の資格は全部持ってるんですけどね。あと介護士の資格。ホームヘルパーとガイドヘルパーっていう。将来的には障害者の介護のほうに進みたいんですよ。

――また意外な単語が（笑）。

TAISHO　ブラジルだと、スラムの人たちにタダで柔術を教えてあげたりとか“人のために”っていう活動をしてる人もいるんですよ。ボク自身もブラジルで、片方のヒザから下がない人に三角絞めで負けたことありますし。そういうことも柔術だったらできるんですよね。ボクが有名になって、周りの人にも柔術が知れ渡るようになったら、障害がある人にボランティアで護身術を教えたりしたいですね。

――凄いな～。

TAISHO　意外とこういう感じなんですよ（笑）。

――じゃあ今度の試合は奇人VSマトモな人ということで（笑）。

TAISHO　リングに上がったらまた変わると思いますけどね（笑）。■

PROFILE

TAISHO
本名：岩間朝美（いわま・ともみ）
1977年2月7日、愛知県名古屋市出身。164センチ、69キロ。チーム・バルボーザ・ジャパン所属。柔術ではパンアメリカン大会3位（紫帯ペナ級）、ヒクソン・グレイシー杯優勝（青帯レーヴィ級）などの成績を残し、総合ではDEEPでフューチャーファイトから叩き上げた（2戦2勝）実力派。プロ戦績はVT2戦2勝、グラップリング1戦1敗。趣味はサーフィンなど“横ノリ系”全般。

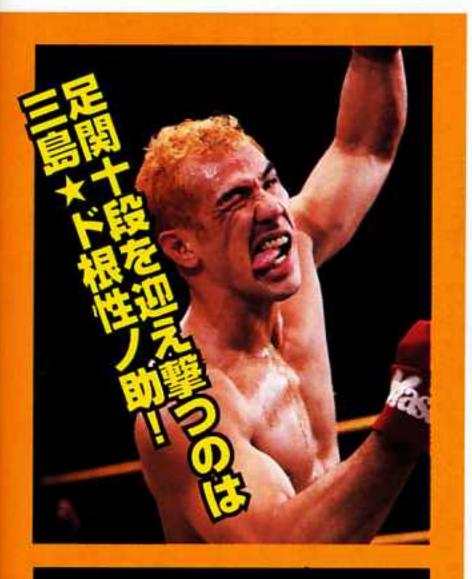
THE BATTLE FIELD
ZST3 6·1★ Zepp Tokyo

3回目の興行で初のメインを務めた今成は、ダニー・バッテンに見事に快勝！ こんな個性的な動きをする選手が豊富におり、普通のバーリ・トゥードとは違った楽しみ方ができるのが、ZSTの魅力だ

ZSTといえば、足関十段！ でもフィニッシュは腕ひしぎ！
今成、7・13DEEP三島戦決定！

撮影◎丸山剛史

▼本戦前のジェネシスバウトになんと格闘技通信の前編集長、朝岡秀樹氏が登場！ ストライプルの佐藤直登と対戦し、時間切れのドロー。様になっているのが凄い！

7·13DEEP大阪大会決定カード

★第8試合/メインイベント
三島☆ド根性ノ助 VS 今成正和
（総合格闘技道場コブラ会） （TEAM ROKEN）

★第7試合/グラップリングタッグマッチ
須田匡昇&X VS 門馬秀貴&X
（CLUB J） （A-3）

★第6試合
辻結花 VS アンナ・ミッシェル・ダンテス
（総合格闘技 闇愚羅） （ブラジル／ノヴァ・ウニオン）

★第5試合
長南亮 VS 久松勇二
（U-FILE CAMP.com） （TIGER PLACE）

★第4試合
光岡映二 VS X
（RJW/Central）

★第3試合
池本誠知 VS 佐々木恭介
（ライルーツコナン） （U-FILE CAMP.com）

★第2試合
伊藤博之 VS 奥山哮司
（フリー） （CMA京都成蹊館）

★第1試合
亀田雅史 VS 深見智之
（フリー） （CMA京都成蹊館）

その他の試合結果

★第4試合（タッグマッチ20分3本勝負）
○小谷直之〈RODEO STYLE〉 小谷ヒロキ〈SHOOTO GYM K'z FACTORY〉 （2-0） リッチ・クレメンティ〈チーム・エクストリーム〉 ジェフ・カラン〈チーム・エクストリーム〉●
※1本目……○小谷ヒロキ（3分51秒、アキレス腱固め）ジェフ・カラ●
2本目……○小谷直之（9分45秒、ヒールホールド）リッチ・クレメンティ●

★第3試合（1・2R5分、3R3分）
○レミギウス・モリカビュチス〈リングス・リトアニア〉（1R1分45秒、KO勝ち）所英男〈チームPOD〉●

★第2試合（1・2R5分、3R3分）
△大河内貴之〈パレストラ東京〉（時間切れドロー）花井岳文〈養正館〉△

★第1試合（フェザー級6人タッグマッチ）
△矢野卓見〈烏合会〉 梅木繁之〈SKアブソリュート〉 代官山剣Z〈TEAM ROKEN〉 （1-1、時間切れドロー） 五木田勝〈木口ワークアウトスタジオ〉 小林悟郎〈U-FILE CAMP.com〉 松藤裕晴〈和術慧舟會千葉支部西道場〉△
※○梅木（9分18秒、TKO）五木田●
○小林（1R11分5秒、フロントチョーク）代官山●

▲ZSTは日本人選手に関節技の得意な選手が多いが、もう一つリトアニア勢を忘れてはいけない。先頃、リトアニア大会で今成と大乱闘を巻き起こしたモリカビュチスは、所をヒザ蹴りでKO。ZSTでは2試合続けてヒザ蹴りでの勝利である

★第5試合（1・2R5分、3R3分）
○ 今成正和 〈TEAM ROKEN〉 × D・バッテン 〈リングス・UK〉 ●
（1R43秒、腕ひしぎ十字固め）

▲◀三角絞めから腕ひしぎに移行して、43秒での一本勝ち。足関ではなかったが独特の動きをする今成が7・13DEEPに出陣し、あのド根性ノ助と対戦することが決定。これは楽しみだ

ZSTは足関天国か？ 旗揚げから第3回目にしてようやく独特の色が出てきたZST。何しろ、ここの常連メンバーには、いわゆる正統派と言われる人間がいないのだ。みんな、でんぐり返って、足関狙うヤツばっかり！ へそ曲がりの集合体なのだ。しかも、そんな連中がうまくKOKルールを活用するのだから、普通のバーリ・トゥードとは一線を画した、独特の試合が楽しめる。

第1試合で行われた総合格闘技史上初となる6人タッグマッチでは、破壊王ばりの〝ツバメ返し〟で流血するなど、意外なハチャメチャさまである。

選手もハチャメチャな選手が多ければ、パンフレットまでもが異色。今をときめく新日本プロレスの上井さんの原稿が掲載されていたり、選手のキャッチフレーズに「馬の弟子」と付けるなど、意外な楽しみ方ができるのだ。

ところで、今回メインを務めたのは〝足関十段〟の異名を取る今成。この足関ばかり狙う総合格闘技の異端派がメインを張ってしまうのだから、ZSTの独特さが分かるというものだろう。まあ、今回は足関ではなく腕ひしぎで勝ってしまったものの、「足関見たければ、ZSTに来い！」である。

さて、この今成だが、7・13DEEP大阪大会での三島☆ド根性ノ助戦が決定。極めの強い三島と〝足関十段〟の一戦は好勝負必至。ここで〝足関十段〟の魅力を存分に見せつければ、11月の賞金500万円トーナメントにも弾みがつくのだが……。果たして、結果はいかに？ （小松）

PRIDE.26
6・8 横浜アリーナ

髙田道場の大物ルーキー、ニーノを破る金星デビュー

「オレ、世界最強になるからね」

浜中和宏、破格の登場!

©Essei Hara

PRIDE外国人天国なんて許さん

この男が日本の救世主になる

これは快挙である。浜中和宏はこれがデビュー戦なのである。つまり未経験ということだ。そりゃ、スパーリングで実戦に近いことはやってきただろうが、やはりそれは実戦ではない。やることなすこと、全ては初めて試すことだ。そんな男が日本の大エース・桜庭和志を破った男ニーノ・シェンブリに勝ってしまった。しかも、この浜中、桜庭とは同じ髙田道場の兄弟弟子ときている。兄貴分の仇を討って、弟分が見事に首を取ってきたことになる。いや、あまりにも素晴らしい。

ニーノは決してフロックで桜庭に勝ったわけじゃない。寝技のスペシャリストだ。まるでタコかイカじゃないのかというくらいに体が柔らかい。相手に飛びついて引き倒すと、下からクネクネと足を伸ばし、絡みつかせて、あらゆる角度から執拗にオモプラッタ、それから関節技を狙ってくる。さらに桜庭をヒザで倒したように、打撃系の技も成長めざましい。初陣の相手に選ぶとしたら、いささか荷が重すぎるのではなかろうか。誰だってそう考えていたはずだ。

むろん、浜中には立派なアマチュア実績がある。レスリング王国・青森に生まれ、名門・光星学院高校から日本体育大学へ。その間に残した成績は、世界学生代表予選優勝、インカレ準優勝、全日本選抜3位、韓国KBS杯準優勝、全日本社会人選手権準優勝……。経歴を履歴書に書き写すのも大変だ。ついでに来年のアテネ五輪代表の座も射程圏内であった。それだけのレスリングのベースがあって、さらに「とにかく気が強い」

一瞬のピンチもなんのその 攻めまくる！ 殴りまくる！

▶ニーノの左ストレート。途中から鼻と口から血を噴いていた浜中だったが、ひるむことはなかった

▶ニーノの攻撃は、驚異的な体の柔らかさを利したこのオモプラッター辺倒。桜庭との練習の成果で、浜中はうまく対応していた

▲後半になると、浜中はパワフルな連打で一方的に攻めまくる。大変な新星が出てきたものだ

▶1R、ニーノの強烈なヒザ蹴りが炸裂。浜中は大きくふらついて、あわや桜庭の二の舞になるところだった

終始引き込んでからの攻撃を狙う寝技師ニーノに対し、浜中はともかく攻め続けた。2R以降はほぼ一方的な展開に

というその気質を周囲が知っていたからこそ、実現できたマッチメイクだった。

　最初は動きが固かったし、ニーノのうまさ、強さ、それから柔術スタイルそのものにも戸惑った。パンチ、キックと間合いをおかずに攻められた。それから、まるで抱っこをねだる子供のように飛びつかれ、そのまま引き込まれる。なんとか外してイノキ・アリ状態になってからも、寝転がったニーノに、まるで鞠を突くように左右の足で体を蹴り飛ばされた。

　そうこうするうちに5分も経った頃だろうか。スタンドからニーノのヒザ蹴りが、顔面にまともに命中する。桜庭がやられたのとまったく同じだ。浜中は倒れ込み、鼻から血が噴き出した。ダメージはあった。体が左右に揺れる。ああ、兄に続いて弟分も同じ運命か……。しかし、浜中はここを乗り切るのだ。この時点で新人に託した髙田道場の打倒ニーノの宿願は、半分実った。

　その後もしつこく打撃を引き金に、引き込み、オモプラッタを狙ってくるニーノに、浜中は食らいついていく。そのパンチがだんだんと当たるようになっていく。

　2Rに入るとその流れは、はっきりと浜中に傾いた。パンチが再三ヒットする。桜庭が「とにかく力が強いから、一発で倒せる」と評する浜中のパンチだ。食らうたびにニーノの動作が一瞬怪しくなってしまう。

　3Rは浜中の一方的なペースだ。ニーノの引き込みはいかにも弱々しい。思惑もはかなく崩れ落ちて、なんとなく時間稼ぎのエスケープ

初陣で桜庭和志の敵討ち本懐
これはタダゴトじやない！

▶にっくきニーノに敵討ち、全てお前に任せたぞ。リングサイドから懸命の声援を送る桜庭

敗者ニーノは傷だらけ。「ハマナカのパンチは強かった」

▲浜中に殴られ続けると、ニーノは弱気な表情を見せ始めた。顔にはいくつものアザができ、試合後、時間が経つとさらにひどいものに（コメント写真を見よ！）

▲「これからもガンガン練習して、世界最強の男になるからね！みんな見てて!!」。デビュー戦を飾った男はとにかく勇ましい

After the fight

浜中のコメント

勝

「これからもどんどん練習して、世界最強のレスラーになるために頑張っていきたいと思います。(1Rに食ったヒザは)憶えています。素晴らしいヒザでした。危ない場面もけっこうありました。最初はビビッていたけど、一回もらってから吹っ切れました。とにかく強い選手と試合がしたい。グランプリにも出場したいです」

ニーノのコメント

負

「自分にとってはもう一つの試合でした。一生懸命闘いましたが、結果的に相手が勝ちました。(浜中は)思ったより強くていい選手でした。パンチが強かった。今も凄くダメージが残っています。リングに上がってみないと何が起こるか分からないと実感しました。もっと練習して、また日本に戻っていい試合をしたいと思います」

▶ニーノはいつものプレスリー・スタイルで。しかし、なんだか頼りないよな、この男

▶先輩・桜庭にあやかってサクマシーン・マスクで登場した浜中。テーマ曲もイントロ部分に高田、桜庭の曲を使っていた

★第1試合（1R10分、2、3R5分）

○浜中和宏 × N・"エルビス"・シェンブリ●

〈日本/髙田道場〉〈ブラジル/グレイシー・バッハ・アカデミー〉

（3R判定3-0）

※3R、両者に膠着を誘発する行為でイエローカード1

の気配さえ見える。浜中の攻めはあくまでも一本気。立ってパンチ、寝てパンチ。『レスリング発想』そのままに、とにかく上になって、ガシガシと拳を打ち当てる。横浜アリーナはニーノがゴロリと仰向けになるたびにブーイング、浜中の攻めに合わせて「ハマナカ」コールで満たされていった。

判定は聞くまでもない。両者の顔を見比べて一目瞭然だ。その色白の肌に鼻からの鮮血は目立ってしまうが、浜中の顔そのものはきれいなまんま。ニーノのほうは紅いミミズ腫れが、顔面のあちらこちらにできていた。

浜中にとって見事な勝利である。どこまでも柔術にこだわる手練れに、最初はペースを見失いながら、最後まで自分の形を貫き通し、流れを奪い返した。圧勝と言ったって構わない。ただ、今後はどうやっていくのだろう。レスリング主体に、あとはパンチでゴリゴリ攻めていく。そういうスタイルが圧倒的パワーを誇る欧米勢にどこまで通じるか分からない。本誌編集スタッフはこんなことを言っていた。「サッカーで言えば、高さでアフリカに、パワーでオランダに対抗するようなもんじゃないのか」。実はサッカーについて徹底して不勉強な私には、この喩え、ニュアンスしか分からないが、まずは思ったとおりのことなのだろう。

「世界最強になる」。試合後のマイク・パフォーマンスで宣言した浜中は、純真無垢な情熱を、いかに総合格闘フィールドで発想を広げられるかに向けてほしい。そうすれば、この男、たしかに世界最強になるかもしれない。（宮崎）

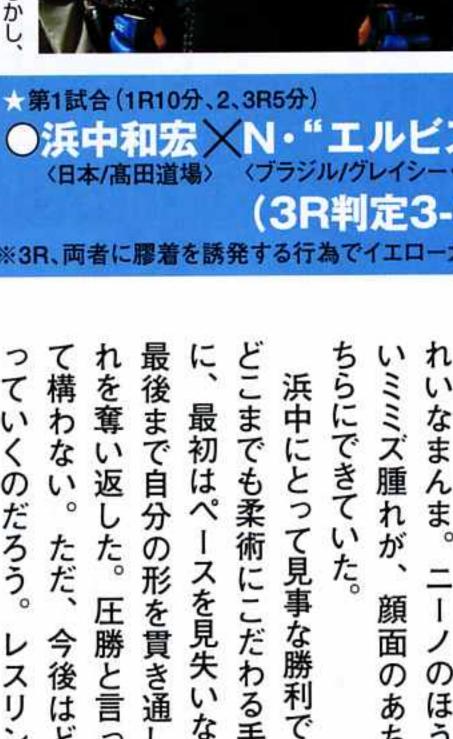
懐かしき匂い漂う試合スタイル コールマンVSフライは……

賞味期限切れだった!?

タックルでテイクダウンし殴るというスタイルは、進化し続ける『プライド』のリングでは取り残されてしまった感があった

38歳VS37歳

コールマン　フライ

熟年の味は存分に出したのだが……

©Essei Hara

▲3R終盤、マウントを奪取し攻め込んだコールマンだが、フライを仕留めるほどの決定打は出せなかった

▶まだまだ精力抜群のコールマンは、こんないかしたレスリングテクニックも披露してくれた

これぞ男の意地の張り合い　口のふさぎっこ！

▶▲コールマンが上からフライの口をふさいでスタミナを奪おうとすれば、フライも下から口をふさごうとする。親父同士の意地の張り合いだ

1996年7月の『UFC10』で、マーク・コールマンがドン・フライを破ってから、およそ7年。〝因縁の対決〟と言われる、全米注目の好カードが舞台を『プライド』に移して行われた。

7年前の因縁を差し引いても、総合格闘技に復帰してから名勝負を連発しているフライと、『WRESTLE―1』でいまだ精力絶倫を思わせる動きを見せたコールマンの対決である。共にビッグネームとなったことで、『プライド』らしいゴージャス感に溢れており、7年前の焼き直しではなく、新しく進化したフライVSコールマンを見せてくるものと、期待は高まっていたはずなのだ。

ところが、この2人がファンに見せたのは、あまりにも進化していない、グラウンド&パウンドの試合だった。殴り合いにいこうとするフライをタックルでテイクダウンし、コツコツと殴りつけていくコールマン。このワンパターンな展開が、3Rの20分間続いたのだ。アメリカのスター2人に恐れながら申し上げれば、「誠にもって失礼ではございますが、退屈でした」と言うしかない。

もちろん、2人とも精一杯闘っているのは、ラウンドを重ねる毎にヘロヘロになっていく姿を見れば一目瞭然。ただ、あまりにもコールマンとフライが見せた試合のスタイルは、高いレベルで進化し続け、大会サブタイトルで『REBORN』、すなわち再生と謳っている今回の『プライド』には、ふさわしいとは思えない内容だった。K―1の角田競技統括プロデューサーの言葉を借りれば〝賞味期限切れ〟ということになってしまう

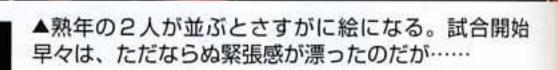
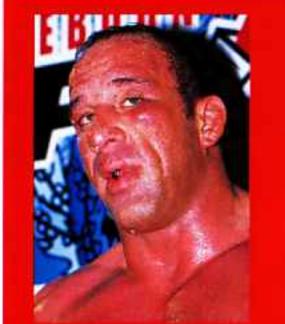
PRIDE.26
6・8★横浜アリーナ

7年ぶりの再戦は、コールマンが返り討ち！

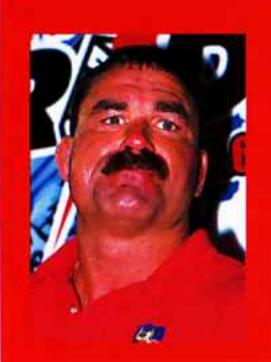
▲フライの健闘を讃えるコールマン。2人とも死力は出し尽くしたと思うのだが……。フライはボディへの攻撃が効いたのか、試合後しきりに腹をさすっていた

◀勝利したコールマンはマイクアピールで「フライは真の王者」と讃え、ヒョードルの持つベルトの奪取を誓った

死力を出し尽くした親父たちの挽歌……

▲熟年の2人が並ぶとさすがに絵になる。試合開始早々は、ただならぬ緊張感が漂ったのだが……

▼◀さすがに2人ともラウンドを重ねる毎にフラフラになっていく。特にフライのこの座り方は……。渋いと言いたいのだが……

After the fight

コールマンのコメント 勝

「今日、勝利でカムバックを果たせた。次回はもっといいコンディションで、いい試合を皆さんにお見せしたい。自分の動きも遅く、錆ついていたような感じだった。今日のようなファイトだとタイトル挑戦は無理だろう。だから、元の強かった頃の自分を取り戻すことを約束するよ。『プライド』でまた、ベルトを奪り戻そうじゃないか。な？」

フライのコメント 負

「今日の試合は最低だった。コールマンが強かったということを証明してしまったんだからな。1月に右肩手術をしたんだけど、リハビリが不十分だった。でも、それは全て私が悪いことだ。みんなに1つアドバイスをしたい。手術をしたら必ずリハビリをするように（笑）。コールマンがベルトを奪ったら、オレが取り返すよ。もう3度目はないからね」

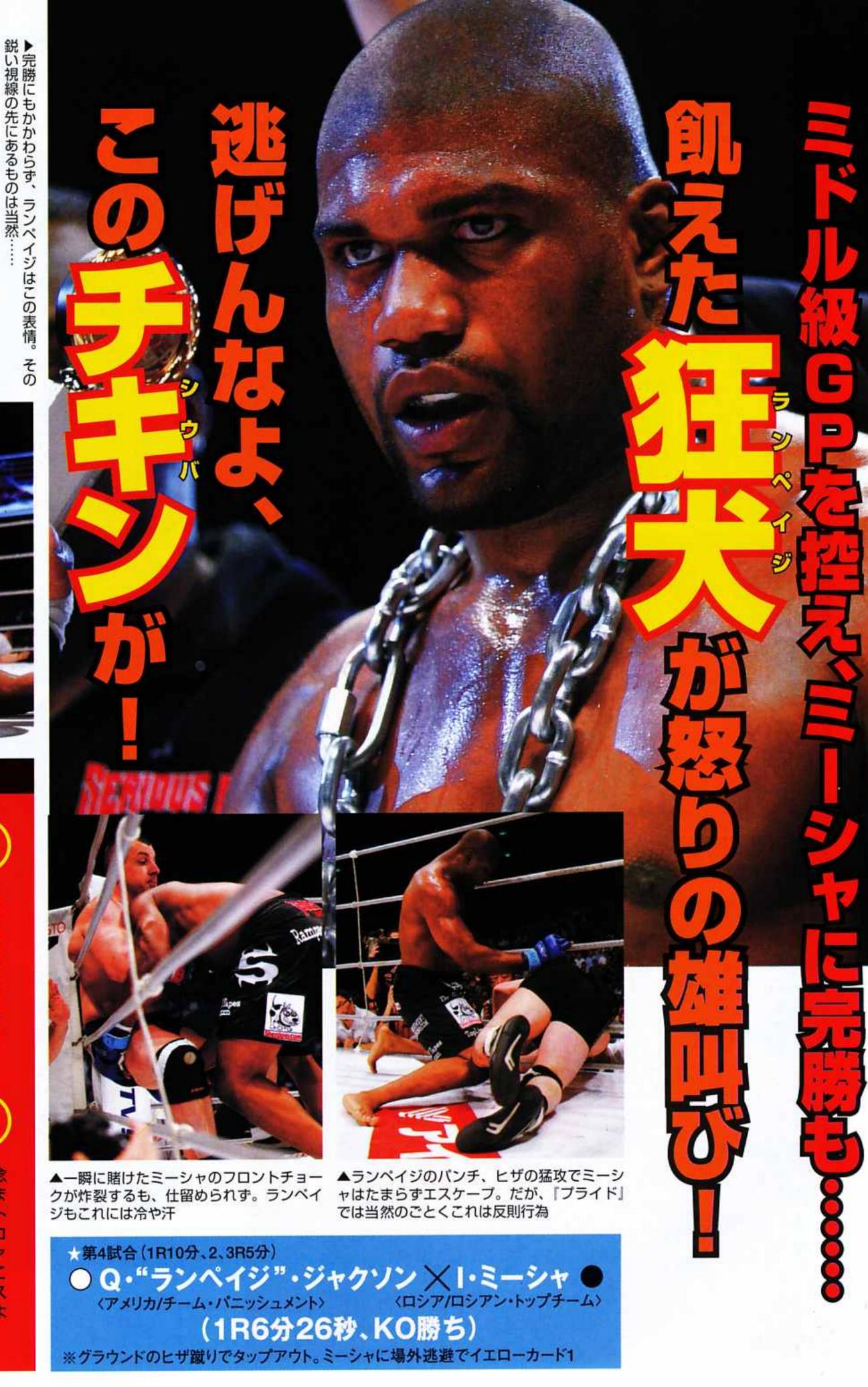
★第5試合（1R10分、2、3R5分）
○M・コールマン×D・フライ●
〈アメリカ/ハンマーハウス〉〈アメリカ/フリー〉
（3R判定3-0）

切れ〃ということになってしまうのか？　残念ながら……。
と言っても、コールマンとフライ、本人たちが賞味期限切れということではない。ただ、愛弟子ケビン・ランデルマンに練習中にパワーボムで首に重傷を負わされながらも、『WRESTLE—1』で闘う、いい意味での馬鹿っぷりを発揮してくるコールマンと、ちょうど1年前の『プライド21』で高山と真っ正面から打ち合いを挑み最高の馬鹿っぷりを見せてくれたフライの両馬鹿なら、もっと凄いモノを見せてくれるだろうという期待感が大きかったのだ。
この試合は、〃どっちが強いか？〃というテーマよりも、5・2の小橋VS蝶野戦でのケロちゃんの前口上にあるとおり、〃男が男を決める勝負！〃というテーマの闘いだったと思う。特に、〃『プライド』男塾塾長〃のキャッチフレーズを持つフライの試合ならば、余計にそのテーマが求められていたはずだろう。
現在の『プライド』は、〃どっちが強いか？〃というテーマの中で、ヘビー級はヒョードルを代表とする怪物的な連中がしのぎを削っている。この日のような試合だと、コールマンとフライには『プライド』で出番がなくなってしまう。髙田統括本部長に、「おまえら男だ！」と言わせるような試合を、彼らにやってもらいたいのだ。
最後に一つだけ心配がある。コールマンのベルト挑戦宣言が、この日観戦していた新日本プロレス藤波社長の毎年恒例G1出場宣言のように聞こえなければいいのだが……。
（小松）

ミドル級GPを控え、ミーシャに完勝も……
飢えた狂犬(ランペイジ)が怒りの雄叫び！
逃げんなよ、このチキン(シウバ)が！

▶完勝にもかかわらず、ランペイジはこの表情。その鋭い視線の先にあるものは当然……

狂犬噛み付きまくり！ ミーシャ？ 誰だそりゃ！

▶ミーシャコールもむなしく、ついにタップアウト。ミーシャ本人もファンも、心がへし折られた結末となった

▲もの凄い高さから振り落とされたヒザが、容赦なくミーシャに襲いかかる。こりゃ、たまらん！

After the fight

ランペイジのコメント　勝

「なんでこんなミーシャなんていう奴と試合をしているんだと思ったよ。頭にきたというよりは、ガッカリだよ。ベルトを賭けた試合ができると思ってたし、6月はオレの誕生日があるから、良いバースデープレゼントになるはずだったのに。闘わないということは、アイツ（シウバ）はただ逃げているだけの腰抜け野郎だ」

ミーシャのコメント　負

「今回負けてしまって、とても残念です。右ヒザの靭帯を伸ばしてしまった関係で、1カ月半くらいしかトレーニングができなくて、あまりコンディションが良くなかった。ファンのみなさんに声援をいただいたことを感謝しています。またチャンスがあるならば、良い結果が出せるようにしたいと思います」

▲一瞬に賭けたミーシャのフロントチョークが炸裂するも、仕留められず。ランペイジもこれには冷や汗

▲ランペイジのパンチ、ヒザの猛攻でミーシャはたまらずエスケープ。だが、『プライド』では当然のごとくこれは反則行為

★第4試合（1R10分、2、3R5分）

○Q・"ランペイジ"・ジャクソン×I・ミーシャ●
〈アメリカ/チーム・バニッシュメント〉〈ロシア/ロシアン・トップチーム〉
（1R6分26秒、KO勝ち）

※グラウンドのヒザ蹴りでタップアウト。ミーシャに場外逃避でイエローカード1

クイントン・"ランペイジ"・ジャクソンは、猛烈に怒っている。

それは言うまでもない。なぜなら、前回の『プライド25』で、ヴァンダレイ・シウバと大乱闘を繰り広げたランペイジは、すっかり今大会でミドル級王者であるシウバとのチャンピオンシップが組まれるもんだと思いこんでいたのだから。ランペイジだけじゃなく、あの現場を目撃した人なら、誰もが「あ〜、次はシウバとやるんだな」と思っていたに違いない。ところがどっこい、突如として組まれたのは、イリューヒン・ミーシャとの一戦だった。

それにしてもランペイジは、よくもまあ"ふてくされないで"いられたと思う。っていうか、ふてくされていたのか？ 試合後、コメントブースでミドル級GPの意気込みを聞かれて「生まれてこのかた、やったこともないような厳しいトレーニングを積んでやる！」って、かなりやけクソ気味だったもんなぁ。そりゃ、ランペイジじゃなくても怒りを通り越して呆れるよ。ミーシャは、ヒザのケガを不調の理由にしてたけど、それはもう1年以上前から言い続けていることだし。いくらなんでも、そりゃあんまりだよ、ホントに。

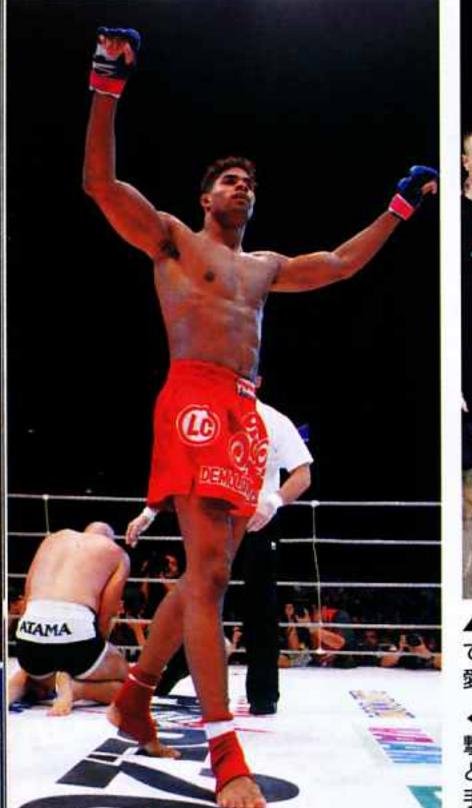
ランペイジの心理状態が、穏やかじゃないのは確かなことだけれども、とにかく今は、8月のミドル級GPに向かってやっていくしかないのだ。とまあ、心に言い聞かせでもしないとやってられないでしょ、ランペイジは。

腐るな、ランペイジ。狂犬の8月反抗に期待しているぞ。（佐藤）

◀KO劇の始まりはこのヒザ蹴りから。そんなに強くヒッ

なんと言っても、ミルコの先生である。今やK―1でも

▶アリスターの右パンチが振り下ろされる。怯えきったベンチッチはこのままカメの状態になって、レフェリーにストップされる

『先生、それはなりません』と、ミルコは言わなかっただろうけど……

▲ニックネームのバットマン姿で登場したベンチッチ。横には愛弟子ミルコの姿も見える

◀アリスターの楽勝だった。攻撃力は兄のヴァレンタイン以上と言われているが、この日は相手がもの足らない

準備不足で闘うのも修行のうち⁉ 『ミルコの先生』ベンチッチが完敗

◀KO劇の始まりはこのヒザ蹴りから。そんなに強くヒットしたとは思えなかったが、ベンチッチはゴロリと倒れた

▶一瞬のスキをついて関節を狙う。ただし、ベンチッチがそんな柔術家の本領を見せたのはほんの数度

After the fight

アリスターのコメント

「完全にKOできなかったことが残念だが、勝ったことは嬉しいよ。急に決まった相手だし、どう闘ってくるか分からない。いいヤツか悪いヤツかもね。だから、最初は注意して闘ったんだ。次は今日やるはずだったアローナとやりたいね。ミドル級GP？　もらえるものはなんでももらう。ミドル級GPのタイトルだって、もちろんさ」

ベンチッチのコメント

「まあ、なんともないさ。そんなにダメージも受けていない。とにかく練習していなかったからね。（出場の）オファーを受けたのは7日前だぜ。体重もずいぶん増えていたしね。作戦なんかない。とりあえず自分ができるものを全力で出そうと思っていただけ。今後闘いたい相手？　誰でもいいよ。準備ができていればね」

★第3試合（1R10分、2、3R5分）

○A・オーフレイム×M・"バットマン"・ベンチッチ●

〈オランダ/ゴールデン・グローリー〉〈アメリカ/クロコップ・スクワッドジム〉

（1R3分44秒、TKO勝ち）

※グラウンドのパンチ連打でレフェリーストップ

なんと言っても、ミルコの先生である。今やK―1でも『プライド』でもなんでもこい、のスーパー格闘家に総合格闘技のなんたるかを、そのイロハから教えたのだという。そんなベンチッチだから、よほど凄いのかと思った。たしかに若いアリスターがいきなり押し倒してくると、関節を狙いにかかった。しかし、その凄さの片鱗もここまでだった。

それもしょうがない。本当はアリスターの相手には、ブラジルの雄ヒカルド・アローナが用意されていたのだ。アローナが出場不能になって、急に話を振られたのは1週間前。準備不足は明らかだ。

スタンドの攻防になって、アリスターは得意の打撃で攻め続ける。この男、攻め出したら止まらない。ダッチ・サイクロンとも呼ばれる攻撃力には、実の兄ヴァレンタイン以上の潜在能力があるとも言われるが、194センチの長身から繰り出す連続攻撃は迫力満点だ。対するベンチッチはいっこうに冴えない。攻防の合間に、よそ見をしてしまうなど、集中力も見られない。これじゃ、この後でヒーリングと闘うミルコがせっかくセコンドについてくれていても、まったく手本にならない。

最後もあっけなかった。ヒザ蹴りを浴びて倒れ込んだベンチッチに、アリスターは右パンチの連打で襲いかかる。ベンチッチは背後を向けて逃げるのにやっと。レフェリーストップも当然だった。

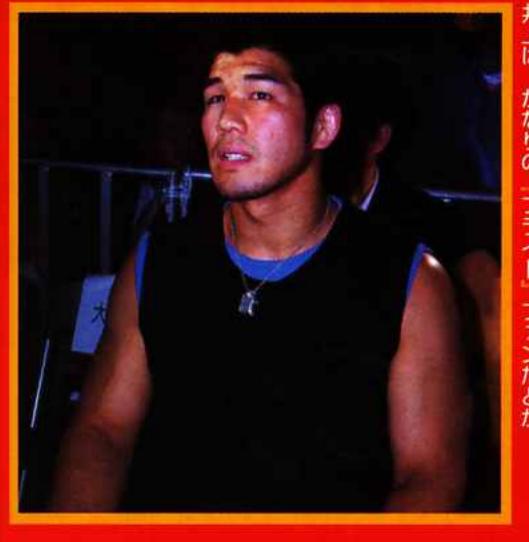
厳しい条件だったのは理解できる。しかし、鬼教官と言われるくらいだったら、もう少しその力を見せてほしかった。

（宮崎）

REBORNダァー！ 17,187人が大熱狂ダァー！

『プライド』の新たなる船出ダァー！

▲メイン終了後、会場にいる『プライド』戦士がリング上に一同集結。新たなるスタートを誓い、猪木が決意の「1、2、3、ダァー！」で締めくくった。あれっ？ 辰っつぁんもいるぞ！

◀日本柔道界のエース、井上康生も観戦。何を隠そう井上は、かなりの『プライド』ファンだとか

▲『プライド』といえば、この方を忘れちゃいけません！ 小池栄子ちゃんもメインの激闘に大興奮！

▶生まれ変わった『プライド』を見ようと、会場の横浜アリーナには、17,187人（超満員札止め）のファンが集まった

◀『プライド王』でおなじみのサトエリこと佐藤江梨子ちゃんも、熱い視線で試合を見守っていたぞ！

◀プライドガールも今大会からREBORNしたぞ！ 虹色が眩しすぎるぜ、う～ん、レインボー！

"男"髙田劇場、ここに幕開け！

ミドル級GP編

新生『プライド』の象徴となるか!?

▲休憩明けで髙田延彦統括部長が集まったファンに対し挨拶。そして、8月10日に行われるPRIDEミドル級GPの開催を発表。ここで場内が暗転。コーナーにスポットライトが！

お前は男だ！

▶現れたのは、ミドル級王者のヴァンダレイ・シウバ。「チャンピオンとして出る気はあるか？」と言う髙田の問いに対し、シウバは日本語で「ヤル！」と返答。するとシウバの対角線上に人陰が！

お前も男だ！

▲そこにいたのは、シウバの因縁の相手であるクイントン・"ランペイジ"・ジャクソン。「シウバと闘いたかったら、出て来いよ！」と言う髙田の呼び掛けに対し、ランペイジも「ヤル～！」と遠吠え、するとリング外から！

グレイシー一族、お前らも男だ！

▼「ちょっと待った！　タカダさん！」と物申したのは、ヘンゾ・グレイシー。ヘンゾは「グレイシー一族から誰かを送り込む」と主張。髙田は即座に承諾。まだまだ終わらないぞ！

▲「みなさん！　1人大事なのを忘れてませんか？　桜庭！　出て来いや～！」と髙田が呼び掛けると、場内におなじみのテーマ曲が流れる！

▲「恥ずかしいので」とマスク装着でリングインの桜庭は、「負けるのも飽きちゃったんで、プライドGPいただきます！」と力強く宣言！

サク、お前はやっぱり男の中の男だ！

▲桜庭の強い決意に髙田は、アノ台詞を投げかけた！　リング上で甦った名シーンに場内割れんばかりの大歓声！　「さいたまで会いましょう！」という髙田の締めとともに、髙田劇場これにて終了

8.10『PRIDE GP 2003～1st ROUND』開催！

◆日　時/8月10日（日）14:00開場　16:00試合開始（予定）
◆会　場/さいたまスーパーアリーナ
◆入場料/VIP100,000円【特典：専用入場ゲート・グッズ付】、RRS30,000円、スタンドS16,000円、スタンドA7,000円、桜庭和志応援シート（スタンドS）16,000円【グッズ付】
◆チケット発売所/各有名プレイガイド

8.10～1st ROUND～& 11.9～2nd ROUND～セットチケット発売決定！

◆入場料/VIP　170,000円（30,000円おトク！）、RRS　55,000円（5,000円おトク！）、スタンドS　29,000円（3,000円おトク！）、スタンドA　14,000円
※セットチケットは、一部プレイガイドでは取り扱いしてません
※桜庭和志応援シートのセットチケット販売は行いません
【チケット特別先行電話予約】
6/22（日）AM10:00～PM7:00　特電：052－961－6341
チケット一斉発売 7/13（日）AM10:00～

榊原信之代表取締役による大会総括

「みなさんのご協力等もありまして、良い大会ができたと思います。とにかく今日は、本当に日本人選手の活躍に尽きると思います。第1試合目の浜中君、そして高瀬君。僕は高瀬君には頭が下がるというか、あそこまでやってくれるという期待はしていなかったというのが本音です。良い意味での裏切りをさせてもらって、大変感謝してます。藤田君に関しては、今までとは違う彼の覚悟が見えました。この試合をやるという時に「どっちかが灰になるまでやりますんで」と、しっかり目を見て話をしていた藤田選手に僕は賭けたんで。藤田選手の覚悟と決意と、今日このリングに上がるまでやってきたことが、凄くよく見えた試合だったなと。もうちょっとだったんですけどね。藤田君も決して、世界のヘビー級の中で引けを取らないんで。で、さっき藤田君と話をして、彼自身も『まだやれます。またチャンスをください』と言って、あれだけ殴られていながら、凄いなと思いましたね。まだまだ再スタートを切ったばかりで、次は8月にGPもありますし。選手の闘いたいという気持ちやファンの見たいという気持ちは止められないですから。それに追い越されないように、しっかり頑張りますので、今後ともよろしくお願いします。ありがとうございました」

ビギナーズラックに乾杯！誰もが絶賛した興行だった

ＲＥＢＯＲＮとは何か？
再び生まれるという意味である。

当日のパンフレットを見ると『紙のプロレス』の山口日昇編集長が、原稿を書いていた。以前に山口編集長がＰＲＩＤＥ統括本部長の髙田延彦をインタビューした時、たまたま〝ＲＥＢＯＲＮ〟という言葉が出てきて、それが『プライド26』のサブタイトルになったというのである。

故森下社長の一件があり、『プライド』はいやが上にも、新しく生まれ変わらなければならない運命にあった。

そして6月8日を迎えた。私はあまりにも素晴らしい興行、試合だったので2人の友人にリサーチしてみた。

共にものの見方は辛口ときている。ひとりは〝書評名人〟の吉田豪ちゃんである。もうひとりは私の弟子兼マネジャーにあたる歌枕力。豪ちゃんは横浜アリーナに来ていた。歌枕は家でペイ・パー・ビューのテレビで見た。

2人とも絶賛なのだ。果たしてこの日のカードが深い計算と読みの中でやられたのかは、私には分からない。

しかし興行は結果が全ての世界。もともと格闘技の試合はやってみて初めて答えが見えてくるもの。試合の中身、内容と結果の両方を誰もコントロールできないのだ。

そこに格闘技の難しさと尊厳がある。最終的には運を天にまかす他力本願。でも、仕込みと企画とアイディアは最善の自力本願で望む。

今回の『プライド26』は他力本願の大爆発となった。全て偶然がもたらした幸運。『プライド』にもやっとツキがまわってきた。そんな印象を与える興行だった。それを称して私は〝ビギナーズラック〟と呼びたい。

新しく生まれ変わろうとした『プライド』の初戦。見事なまでのビギナーズラックになった。これはエンターテインメントの神がいるとしたら、その神からのあたたかいプレゼント。

贈り物といってもいい。まずはそう考えたい。新社長の榊原氏と髙田氏がこれから自信を持って『プライド』を運営していくために、神が側面からアシストしてくれたのだ。

日本の諺で「捨てる神あれば拾う神あり」というが、まさにそれだ。第1試合で『プライド』初挑戦の日本人選手、浜中和宏が桜庭和志を破ったニーノ〝エルビス〟シェンブリに勝ったのだ。第2試合では高瀬大樹がアンデウソン・シウバにこれまた完勝。

第1試合と第2試合で神がかり的な出来事が起きたのだ。興行のファーストインパクトは完璧だった。神は気紛れだが今日の神には私は愛を感じた。

総評

よくぞ再出発できた……これは神からのプレゼントか？

文◉ターザン山本

立ち技打撃格闘技のK―1は〝REVENGE〟を一つのコンセプトにした。日本語に訳すと少し物騒だが、復讐とか仕返しという意味になる。これは試合に負けたもの、敗れたものに再びチャンスを与えるという思想である。

つまり格闘技なのに敗者にウェイトを置いているのだ。これは負けたものの中にこそ、ファイターの存在理由を見出そうという考え方だ。この発想はプロレスとどこか似ている。共通する部分がある。

敗者を救っていくシステムでは、プロレスとK―1は同じなのだ。これに対してUFCや『プライド』では、勝者にしか存在理由を与えない。非常に厳しい世界なのだ。試合は聖なる1回性。一期一会の闘い。だから負けることは全てを失うことになってしまうのだ。

それがなかったら『プライド』は『プライド』とは言えない。髙田がヒクソン・グレイシーと2回闘い、桜庭もヴァンダレイ・シウバと2回、試合をしたのは異例中の異例。髙田も桜庭もプロレスラーだったことで、特例として再戦というチャンスが与えられたのだ。

ここで考えてほしい。髙田と桜庭は同じ相手に2連敗していることである。藤田和之もミルコ・クロコップと2回やって、2回とも勝てなかった。『プライド』では2回闘って1勝1敗とか、勝ったり負けたりというのはないのだ。

ドン・フライはかつてUFCのリング（1996年7月）でマーク・コールマンに敗れている。今回、その復讐戦に挑んだがやっぱり負けてしまった。

バーリ・トゥードに再戦なし。リベンジなしがここでも証明された。それにしてもコールマンvsフライ戦は、見るからにレトロ的バーリ・トゥードだった。

これはコールマンとフライの世代が今の『プライド』では役割を終えたことを表している。その証拠となるのがこの2

人には、打撃の技術がトップレベルにないことだ。そのため両者の試合はグラウンドの闘いに終始した。

イリューヒン・ミーシャもあっさりと敗れたが、彼も今の『プライド』ではフェードアウトしていく世代の中に入っている。『プライド』は髙田が出た時を第一次PRIDEとし、桜庭が活躍した時代を第二次PRIDEと考えるなら、今はもう第三次PRIDE。

私はそれが〝REBORN〟の本来の定義だと思う。そして6・8横浜アリーナ大会『プライド26』は、第三次PRIDEの代表選手、チャンピオンが誰であるかを天下に知らしめた。

それがヒョードルでありクロコップのことである。ヒョードルに敗れた藤田とクロコップに負けたヒーリングは、致命的かつ決定的な敗北だった。そしてそこには『プライド』のもう一つのキーワード、コンセプトが見えてきた。

『プライド』のリングで真の勝利者になるには、まず打撃技のスペシャリストになることだ。そこからスタートしてそののち総合（組み技）の練習をする。

逆のパターンである組み技を先に始めてそのあと打撃のテクニックを身に付けるやり方は、賢明な判断とは言えない。そうでなかったら組み合った瞬間に投げ（テイクダウン）の技術を、パーフェクトなものにするかそのどちらかだ。

REBORNは古い世代のファイターたちを、自然にフェードアウトしていくことと、勝利を呼び込むための技術が次々とその時々で変わっていく。

この2つを我々の前に見せてくれている。この大会が素晴らしかったということの裏には、そうした問答無用で妥協を許さない格闘技の真理が、あったことを忘れてはならない。むしろ我々としては望むところである。ああ、私は観客の側で本当に良かったと思っている。■

尾崎社長が明言！

パンクラスVS新日本

8・31両国でVT対抗戦！

一方で内部にも"脅威"が……

メインで勝ったカストロを称える尾崎社長。この後、記者陣に8・31両国大会のプランの一部を明かした

撮影◎中島ミノル

★第8試合・メインイベント
ライトヘビー級5分2R

○N・デ・カストロ
〈ブラジル/シュート・ボクセ・アカデミー〉

（1R4分00秒、TKO勝ち）

●KEI山宮
〈パンクラスism〉

※グラウンドのパンチ連打でレフェリーストップ

菊田早苗VS近藤有己という大一番を終えた今、パンクラスの何に対して最も関心が集まっているかと言えば、それはもう8月31日に両国国技館で行われる旗揚げ10周年記念大会だろう。

そしてこの日、新日本プロレスの上井取締役とパンクラス・尾崎社長がそれぞれコメント。8・31両国大会に新日本プロレスの選手が出場することが明らかになった。言明はさけていたが、交渉は詰めの段階に入っているようだ。

尾崎社長によれば、参戦するのは複数。もちろん「パンクラス・ミッションの試合（＝純プロレス）ではないです」ということで、新日本とパンクラスのVT団体対抗戦である。

「8月31日のウチの10周年の両国大会に関しては、パンクラスVS新日本、パンクラスVS世界の2本立てでいけるかなと思ってます。隠し玉もいますんで」（尾崎社長）ということで、パンクラス史上かつてない豪華＆異色カードがラインナップされることになりそうだ。

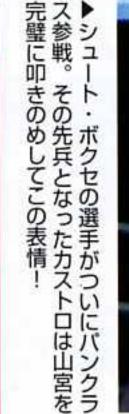
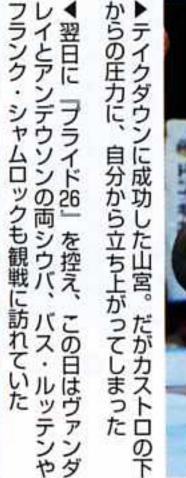
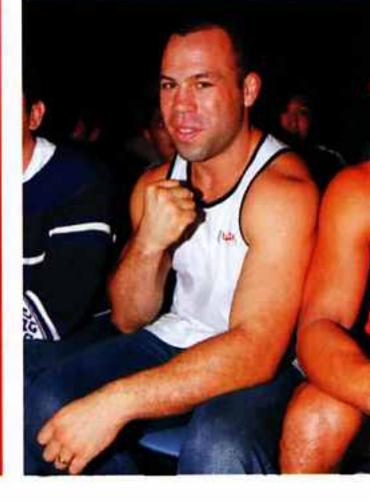
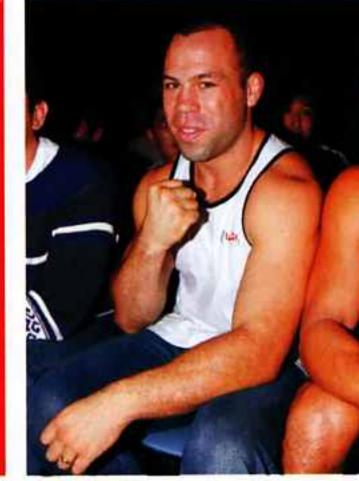
また、上井取締役からの情報としては、10月の新日ドーム大会は『アルティメット・クラッシュ』の第2弾となり、パンクラスからの出場選手として菊田、近藤、髙橋義生、渋谷修身という具体的な名

シュート・ボクセ初参戦！カストロが山宮をメッタ打ちTKO

尾崎社長のコメント

「8月31日の両国大会に新日本さんの選手を出していただけるということで、上井取締役と話を進めてます。中身に関しては、もうほぼ具体的になりつつあるんですが、まだちょっとお話できる段階じゃないんで、後日改めて発表させていただけると思います。（具体的に名前が？）挙がってます。複数です。8月31日のウチの10周年の両国大会に関しては、パンクラスVS新日本、パンクラスVS世界の2本立てでいけるかなと思ってます。（近藤VS菊田の再戦は？）できれば今年の後半のビッグマッチでやれればなと思っています。1年以上とか長く間を開けるつもりはありません。パンクラスもこれから面白くなると思いますんで、よろしくお願いします」

▼豪快かつ鮮やかなフィニッシュ。首相撲でガッチリとホールドしてボディにヒザ、そして顔面に飛びヒザ！ダウンした山宮にパンチを連打し、レフェリーストップとなった

▶シュート・ボクセの選手がついにパンクラス参戦。その先兵となったカストロは山宮を完璧に叩きのめしてこの表情！

After the fight

カストロのコメント 勝

「パンクラスのリングは初めてだけど、観客もとても素晴らしかった。ますます日本が好きになったよ。相手も強敵だったけど、総合的に闘う選手だから、全ての力は発揮できなかったんじゃないかな。飛びヒザは大好きな技の1つ。練習でやってるんで、自然に出るね。目標は当然、パンクラスのチャンピオンになること」

山宮のコメント 負

「今まで味わったことがないような圧力を感じました。効いた攻撃はあんまりなかったんですけど。効いたというよりうまいという感じで、疲れさせられた感じでした。ストップは仕方ないけど心は折れていないんで、まだまだ頑張れると思ってます。今回はある意味、郷野選手に負けた時よりも悔しいですね」

▶テイクダウンに成功した山宮。だがカストロの下からの圧力に、自分から立ち上がってしまった

◀翌日に「プライド26」を控え、この日はヴァンダレイとアンデウソンの両シウバ、バス・ルッテンやフランク・シャムロックも観戦に訪れていた

義生、渋谷修身という具体的な名前も挙がっているという。

鈴木みのるVS獣神サンダー・ライガー戦（パンクラスルール）、鈴木みのるの新日本プロレス参戦に続いて、尾崎社長と上井取締役の「信頼関係」が果たしてどんなマッチメイクを生み出すのか、興味は尽きない。中西学がVTを経験したのにとどまらずK－1にまで出ることが決定しているだけに、パンクラスVS新日本にはそれ以上のインパクトがあるカードを期待したいところだ。

ただし、そういった派手な話題にばかり目を向けている場合ではないのも、また確か。ライトヘビー級戦線で、着々とブラジル人選手たちが勢力を拡大してきているのだ。

今大会では、シュート・ボクセのニルソン・デ・カストロがパンクラスに初登場。K－1ジャパンで子安慎悟をボコボコにしたカストロだが、実は総合でも21戦18勝3敗という好成績を残しているのだ。前ライトヘビー級王者のKEI山宮が相手だったが、まったく問題なくTKO勝利。特に相手をガッチリと固定して思うがままにヒザを打ち込む首相撲のクラッチの力は驚くべきものだった。

現在3連勝中のヒカルド・アルメイダ、前大会で衝撃的な日本デビューを果たしたエヴァンゲリスタ・サイボーグに続いて、またも強豪が参入してきたわけである。果たして、この3人を日本勢は止めることができるのか？

菊田と近藤が、再戦する前にこの中の誰かに寝首をかかれても、決しておかしくはない。（橋本）

速報！ **6.7～6.8 極真カラテ 大阪夏の陣**
全日本ウェイト制空手道選手権大会

優勝候補が次々敗れる中、塩島、気魄の2連覇達成！

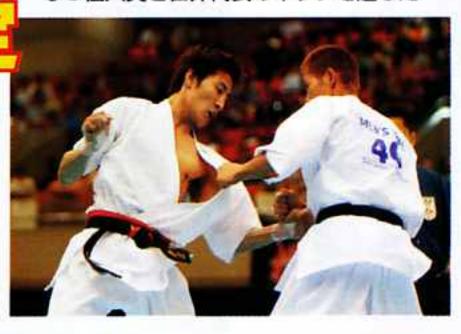
世界大会代表、新たに12名決定！

▲軽重量級決勝。池田雅人は下段回し蹴りで池田祥規から技有りを奪い優勢勝ちで初優勝を決めた

残り代表枠は4名。正道から複数出場も!?

▶城西世田谷東支部の同門対決となった重量級決勝。先輩・近藤博和が佐藤誉仁を延長の末の判定で破り、3年ぶり2度目の優勝を果たした

▲軽量級決勝。塩島修は小野篤史を下段回し蹴り一本で下し大会2連覇を達成した

▼正道会館勢として準決勝に唯一勝ち残った大渡博之は、昨年の王者・塩島に惜敗してベスト4。3位決定戦（写真）・福田高広戦では押しと顔面殴打で減点1を取られ判定負けし3位入賞と世界代表のキップを逃した

▲各階級の優勝者。左から塩島修、金森俊宏、池田雅人、近藤博和

今年11月に行われる、4年に一度の極真世界大会の代表最終選考会を兼ねた全日本ウェイト制大会が6月7日、8日の両日、大阪府立体育会館で開催された。世界大会の最終予選ということもあり、例年以上の激しい試合が繰り広げられた結果、各階級3位までの入賞した選手が、世界大会のキップを獲得。注目された他流派・正道会館勢は、期待の加藤達哉、子安慎悟らが初日に姿を消し、重量級の出畑力也が準々決勝敗退。「優勝の可能性も十分」と高い評価をされていた軽量級の大渡博之は4位に止まった。

また、昨年優勝の中量級・伊藤慎、軽重量級の御子柴直司らが敗れる中、軽量級の塩島修は安定した内容で2連覇を達成。その他の階級は、重量級の近藤博和が2度目の優勝。軽重量級・中量級の池田雅人と金森俊宏はそれぞれ悲願の初優勝だった。

大会の詳報は次号（6月26日発売）で掲載予定。お楽しみに。■

各階級の入賞者は以下のとおり

●軽量級（70kg以下）
優勝　塩島　修（下総支部）
2位　小野篤史（京都支部）
3位　福田高広（愛媛支部）
4位　大渡博之（正道会館）

●中量級（80kg以下）
優勝　金森俊宏（兵庫支部）
2位　野加久詞（城西国分寺支部）
3位　日比野丈二（総本部）
4位　伊藤　慎（総本部）

●軽重量級（90kg以下）
優勝　池田雅人（総本部）
2位　池田祥規（城南目黒中央支部）
3位　井野真孝（三重支部）
4位　御子柴直司（横浜東支部）

●重量級（90kg超）
優勝　近藤博和（城西世田谷東支部）
2位　佐藤誉仁（城西世田谷東支部）
3位　足立慎史（本部直轄浅草・柏・神田・松戸道場）
4位　高尾正紀（大阪東支部）

※各階級の3位内入賞者が世界大会代表権を獲得！

FUTURE FIGHTER IKUSA3 ～特攻～ BROKEN ARROW
6.8★六本木velfarre

崖っぷちからの生還！ コヒ、再起戦を飾る！

▶KO勝利を寸前で逃しただけに、試合後の第一声で「倒したかった」と反省する小比類巻。"強いコヒ"を取り戻すための反抗がいよいよ始まった

★第7試合/打撃特別ルール（ヒジなし）
○小比類巻貴之（3R判定3-0）湘南キャリミ●
〈チームドラゴン〉〈SB湘南ジム〉
※小比類巻は3Rに減点1あり、キャリミは3Rに小比類巻のハイキックでダウン1

★第6試合/打撃ルール
○チャンデット・ソーパンタレー（3R判定3-0）マグナム酒井●
〈タイ〉〈士道館〉

★第5試合/打撃特別ルール（ヒジなし）
○雷暗暴（3R判定3-0）HAYATO●
〈PUREBRED東京/KILLER BEE〉〈FUTURE_TRIBE〉
※HAYATOは2Rに雷暗のパンチでダウン1

★第4試合/打撃特別ルール（ヒジなし）
○百瀬竜徳（延長判定2-0）吉川富美男●
〈ターゲット〉〈正道会館〉
※本戦は判定1-1でドロー

★第3試合/打撃ルール
○武井豊（3R判定3-0）吉岡篤史●
〈谷山〉〈武勇会〉

★第2試合/総合ルール
○高森啓吾（1R17秒KO）西田操一●
〈MEGATON〉〈フリー〉
※スタンディングパンチ連打

★第1試合/打撃ルール
○萬田隼人（3R判定3-0）立嶋篤史●
〈チームドラゴン〉〈ASSHI PROJECT〉
※立嶋は3Rに萬田のローキックでダウン1

UFC 43
MELTDOWN
6.6★アメリカ・ラスベガス/トーマス＆マックセンター
Photo by Susumu Nagao
アンダーテイカーまで出現！
クートゥアー40歳、3度目の戴冠！
おひさしぶりのキモ（35歳）登場
なんと相手は……
これって
UFC
マスターズリーグ!?

打撃のチャック・リデル、組み技のクートゥアーと思われたこの試合だが、クートゥアーはスタンドで主導権を握っていった。試合が進むにつれてパンチもガンガン当たりだす

ンより、フライより凄い 強の中年男!!

日本の野球にはプロＯＢの『マスターズリーグ』があり、ゴルフにはシニアツアーがあるが、ついに総合格闘技も……？

なにしろ、セミがキモVSタンク・アボットである。35歳と38歳。そしてメインに登場するのはランディ・クートゥアー39歳。といっても誕生日が6月22日だから、ほとんど40歳だ。

で、おまけに会場を見ればアメリカ格闘技界の長老格（？）モーリス・スミスが、ＷＷＥの大ベテラン・スーパースターであるアンダーテイカーと談笑中だったりするのである。

だが、クートゥアーの闘いを見て思い知らされた。年齢なんて絶対的なものじゃなく、本人の努力と能力でいくらでも相対化されてしまうものなんだと。昨年3月、ジョシュ・バーネットに敗れてヘビー級王座陥落。その後ジョシュの王座剥奪によってチャンスを得た王座決定戦でもリコ・ロドリゲスに敗北を喫したクートゥアー。このまま終わってしまってもおかしくないのだが、なんとライトヘビーに階級を下げて復帰を果たす。

転向一発目のリデル戦は、ライトヘビー級暫定王座決定戦となった。これは第1挑戦権を持つリデルとの試合を王者ティト・オーティズが拒否したためで（理由は「友達とは闘えない」というもの。しかしティトにはプロレス行きや映画界進出の噂も絶えない）、今回のクートゥアーは絶好調リデルの相手役という捉え方もできる。

しかし。そんな予想が覆るのに時間はかからなかった。脂肪を削ぎ落とした見事な肉体で現れたク

クートゥアーの圧力に あのリデルが 太刀打ちできない！

▲顔面へのヒザ蹴りも思いっきりヒット。クートゥアーの強さはレスリングだけではない。コンプリートな力を持っている

▲フィニッシュはマウントパンチ。それ以前の段階でさんざんダメージを受けたリデルは、まともにディフェンスできなかった

▲ヘビー級に続きライトヘビー級王座（暫定）も獲得、2階級制覇を成し遂げたクートゥアーはこんな笑顔を見せた

▲テイクダウンされても、金網にもたれながらスルスルと立ち上がったリデル。しかし逃げても逃げても、クートゥアーの攻めは静まる気配がないのだ

▲この大会で最も観客の声援を受けていたのがリデルだったのだが……

★第5試合・メインベント/UFCライトヘビー級暫定王座決定戦（5分5R）

○R・クートゥアー〈アメリカ/チーム・クエスト〉 × C・リデル〈アメリカ/ザ・ピット・ファイト・チーム〉●

（3R2分40秒、TKO勝ち）

2階級制覇達成！

コールマンよ

地上最

ートゥアーは、常に前に出てプレッシャーをかけていく。レスラーのパンチがキックボクサーを脅かす。組めば大きくリフトしてマットに叩き付ける。リデルも「さすが」というところを見せたが、それはディフェンス面において。

これまでケビン・ランデルマンをKOし、ムリーロ・ブスタマンチにテイクダウンを許さず、ビクトー・ベウフォートからダウンを奪ったリデルが、40歳の中年男に押されまくっている。試合が進むにつれ、明らかにリデルの顔から精気が失せていった。

決着は3R。マウントパンチの連打でレフェリーが試合を止めた。クートゥアーは3度目の王座獲得にして2階級制覇達成である。

クートゥアーの凄さは、ベテランならではの老獪さやインサイドワークに頼りすぎないところだ。前に出る。自分の距離を保つ。パンチを当てる。倒して殴る。ごく当たり前のスタイルを、実に勤勉に、忠実にやってのける。逆に言えば、最もしんどく、骨が折れる闘い方である。それができるのも、普段からの節制とたゆまぬトレーニングの賜物に違いない。

たしかにクートゥアーは、風貌も闘いぶりも派手ではない。スタミナも戦略も考えない殴り合いのほうが観客にはウケるだろう。でも考えてみてほしい。1年のうちたった数分間だけ蛮勇をふるうこと、365日、絶えず自分に妥協を許さないこと。どっちが苦しいだろうか。それをやってのけたのが、クートゥアーなのである。

UFCのシニアリーグ設立は、まだまだ時期尚早のようだ。■

UFC43 MELTDOWN

6.6★アメリカ・ラスベガス/トーマス＆マックセンター

打撃なし。試合はあっけなく肩固めで決着 変わりすぎたキモと、変わらなすぎたタンク…

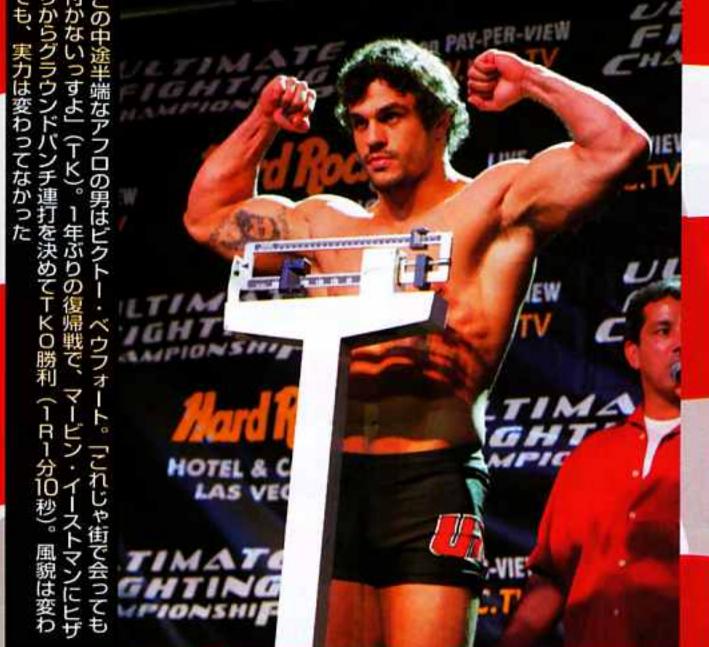
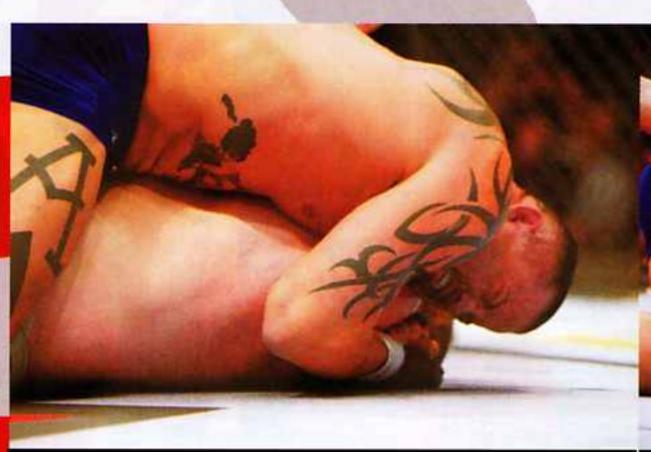
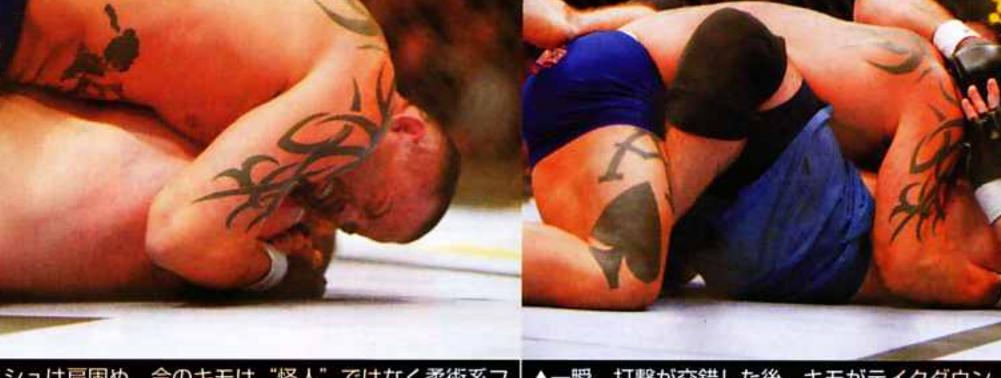
▲キモの入場シーン。もう十字架を背負ったりしなければ、セコンドのジョー・サンもいない

▲対するタンクは往年の雰囲気そのまんま。雰囲気だけだったが……

時空に歪みでもできたか？ 2003年のキモVSタンク

▲大会前日の公開計量にて。今が何年何月なのかを忘れさせるような2ショット

★第4試合/ヘビー級5分3R
○キモ〈ドイツ〉×T・アボット〈アメリカ〉●
（1R1分59秒、肩固め）

▶この中途半端なアフロの男はビクトー・ベウフォート。「これじゃ街で会っても気付かないっすよ」（TK）。1年ぶりの復帰戦で、マービン・イーストマンにヒザ蹴りからグラウンドパンチ連打を決めてTKO勝利（1R1分10秒）。風貌は変わっても、実力は変わってなかった

▲フィニッシュは肩固め。今のキモは"怪人"ではなく柔術系ファイターである

▲一瞬、打撃が交錯した後、キモがテイクダウン。期待された殴り合いは見られなかった

え～、あらためて確認してみたい。今年は2003年である。で、今月は6月。合ってるよね？

今が21世紀だということに異論を挟まれる方も、まあいないと思う。一応、確認。

そんな、21世紀の、2003年6月に開催されたUFCで組まれたカードが、キモVSタンク・アボット。……今年って何年だっけ？

キモがホイス・グレイシーに敗れながらも棄権に追い込んだのが第3回のUFC、94年である。タンクがUFCデビューし、そのケンカ屋ぶりで名を馳せたのは95年だ。そういやティトって、最初はタンクの子分だったっけ。

あれから何年も経った。世の中も移り変わった。新興ジャンルである総合格闘技の世界は、とりわけ流れが速い。

キモも変わった。柔術を学び、入場時に背負う十字架やジョー・サンに別れを告げてまっとうな総合格闘家になった（それだって、だいぶ前の話。一時はプロレスのリングにも上がった）。

逆に、タンクは変わらなかった。おかげで現在の総合シーンについていけなくなった。UFC復帰を果たした前々回の大会では、たった46秒でタップした。

そんな2人が闘い、結果は1R2分弱でキモの一本勝ち。それも肩固め。菊田じゃないっつーの！

荒々しさをなくしたキモ。なんにもできなかったタンク。キャラは他のどんな強豪にだって負けない2人だから、いかにも惜しい。

やっぱ必要かもなぁ、総合格闘技にもシニアリーグ。■

ケータイサイト特集企画に関するお問い合せは　プランニングワコー　千代田区内神田1−8−14　ヨシザワビル　03(5282)2894

キュート

http://www.c-cute.jp

出会いを求める熟女がケータイ番号大公開!!写真付。

無料で試せる安心サイト。熟女が多数登録で大変!?

ベリーズ

http://www.p-berrys.com

47都道府県別で女の子を捜せマス!!地元娘直電公開。

近場で待合せOKかも!?写真付き、無料Pt付は勿論。

モバッチャオ!

http://www.55315.com

全国の優良サイトを簡単検索できるスグレモノ!

全サイトお試し無料ポイント付!コード「5078」

フォト倶楽部

http://www.foto-c.com

自慢の写真やメールが殺到!!直電付投稿も有

まずは無料で体験!!好みの女性がスグ見つかるはず。

DEAIの総合サイト

http://39315.com

タダで見放題!!写真付き&ケータイ番号付きサイト

出会いを求める多種多様な女性達と、出逢えるチャンス。

iなび

http://www.pta.be

お試し無料ポイントで人気出会いサイトを楽しもう!

無料コード5103で好みの女の子と即アポ!

erosu

http://www.erosu.jp/vtj

リニューアルオープン!!掲示板書く・読む無料!!

女性誌に広告を多数掲載中。好みの女性に会えるかも。

ティアラ

http://www.t-tiara.jp

ピュア系に大人気!!写真付・直アド付多し。無料P付

有名女性誌に広告中の為若い女の子がワンサカ!!

iモードHEAVEN

http://375375.com

女性に人気のサイトを厳選した出会いリンク集

熟女、OL、大学生まで気になるタイプを一発検索!

完全無料DEAIサイトFACE

http://i-face.tola

完全無料!画像付直メアド表示掲示板!

無料ならではのヤラセ一切無しの出会い!!

ひみつの花園

http://www.himitu-h.jp

熟女達の不満解消!?大胆な写メールが多数のサイト。

自分好みの熟女がワンサカでパンク寸前。直電付も有。

エイチ・ドコモ・ビー

http://H.docomo.be

ケータイにぎりっ娘。出没!無料ポイント付!

出会い系メイン総合サイト集。無料コード1665

戦国武将クラブ

http://salem.pinky.ne.jp

戦国時代の武将の肖像画と家紋が満載！

戦国武将を地域ごとに整理いざ「出陣」メニューへ！

i-にがおえ

http://nigaoe.ducub.com/i/

スポーツ選手、アイドルなどの似顔絵が満載！

丁寧に描かれた有名人の似顔絵が収録されている。

無料着メロ！メロディックス

http://melodix.net/a

登録なし！全部無料！新曲当日追加！使い放題！！

今のBEST10を即日追加！今時の完全無料着メロ☆

ブッディービーズ

http://www.fates.co.jp/buddy/

ブッディービーズの驚くべき威力で幸運をゲット!?

ストーンパワーで自分がみるみる変わるかも!?

PCのみ

Overdose

http://members.jcom.home.ne.jp/mentai69

博多で活動しているR&Rバンドの公式サイト。

映像も充実。70年代ロックの好きな方にオススメ!!

贋作.com

http://www.bakacon.com/gansaku/

インパクト抜群！ジャンプ系漫画の贋作待受！

悟空、ジョジョなどの力強いタッチは迫力満点!!

大人の女優名鑑

http://postjam.com/av/

あの有名女優もいるぞ！キミだけの女神をさがせっ！

現役・引退、有名・無名を問わず数々の女優を掲載！

あんたの子供

http://qo-op.to/baby/

質問に答えるだけで二人のオリジナル赤ちゃんが誕生

カップルで質問に答えて点数付赤ちゃん画像をゲット

Girls♥ Safe Labo

http://go-op.to/gsl/

友達に言えない！彼氏に言えない！女性同士のH話！！

女性の本音で考えるエッチについての研究サイト！

ジャケット パラダイス

http://mtjp.jp/CD/

日本最大級のCDジャケット専門店、待受サイト発見！

中森から浜崎まで！画像数2万枚突破の超巨大サイト

グリードアイランド

http://www.k-t.to/gi/

バーチャル無人島で恋人を守りながらひたすら生きろ

携帯で仲間を作って戦いながら生き残る通信ゲーム！

知りたい気持ち

http://www.k-t.to/kimochi/

気になるあの子のほんとの気持ちをこっそりチェック

心理テストを使って相手の本音を聞きだす心理メール

できれば３日間、無理なら１日間、あるいは一食だけでも——。

食べることを休んでみませんか？

グレートアントニオ
誌上通販

なんと、DEEP佐伯代表がファスティングにチャレンジ！ 結果はしばし待て！

内臓を休めて代謝をアップ、無駄な脂肪と有害物質を撤去する。ファスティングとは、“カラダのリセット”です。

今、現代人のカラダは、あなたが思っている以上に疲れ、汚れ、
ダメージを受けています。
なぜでしょう？

あなたがこれまで深く考えずに食べてきたもの、
嗜好の赴くままに食べてきたもの、
カラダにいいと誤解して食べてきたもの、
それらすべてが今のあなたのカラダを作っているので、
本来の正常な働きができるカラダとは、
ほど遠い状態になっているからです。
農薬や食品添加物などの有害物質や環境ホルモンも、
あなたのカラダに溜まっています。

まずは、それらをカラダから排除しなくてはいけません。
あなたが生まれたときから休みなく働き続けている、
食道、胃、肝臓、十二指腸、大腸、膵臓、胆嚢、腎臓などを
休息させてあげなくてはいけません。

ファスティングは体重を落とすだけでなく、
「カラダを一度リセット」するための療法です。
ファスティングは、食べ物を消化するために使われていたエネルギーを、
新しい組織を再生するための活動に回すことができる、
現代人に必須のプログラムなのです。

杏林予防医学研究所所長／「ファスティング・ダイエット」開発者
山田豊文

ファスティングのおこないかた

3日間ファスティング（3日で本品3本使用）

1日ファスティングジュース1本（360cc）とミネラル・ウォーターを飲用。これを3日間続けます。4日目の朝食はお粥からはじめ、3日かけて徐々に復食していきます。

1日間ファスティング（本品1日1本使用）

1日ファスティングジュース1本（360cc）とミネラル・ウォーターを飲用。月3回の実行が効果的。翌日の朝食はお粥からはじめ、1日かけて徐々に復食していきます。

半日間ファスティング（27日で本品3本使用）

朝または夜の食事をファスティングジュース40ccに切り替えます。

ただいま「ファスティング・ダイエット」ご購入の方にアントニオ猪木お守りプレゼント中！

80種類以上の植物を自然発酵させて作りました。

プロスポーツ選手や芸能人の間でブームの断食。これは内臓を休息させて代謝を活性化させることにより、脂肪の燃焼や体内毒素の排出を促す美容健康療法です。その際、飲用されているのが、この『ファスティング・ダイエット』。

『ファスティング・ダイエット』は、大自然の緑の中でたくましい生命力を秘めて育った野草や野生植物を主に、農薬や化学肥料を使わずに栽培された新鮮な野菜・果物・穀類・海藻・貝化石などの原料にハチミツを加え、一年間以上の時間をかけ、天然の栄養分を損なうことなく独特な技術で自然発酵させた理想的な酵素飲料です。

多種類の酵素・ビタミン・ミネラルやアミノ酸などがバランスよく含まれています。減量だけでなく、肌やカラダの調子が良くなりますので、健康を願う人の栄養補助飲料として、また美容飲料として、どなたでも安心してお召し上がりください。

Mineral & Herb
Fasting Diet
（360ml×3本入り）
18,000円（税別）

開発検定／杏林予防医学研究所　〒604-8151 京都市中京区烏丸通蛸薬師西入る橋弁慶町227 第12長谷ビル5F
販 売 元／株式会社ローデス　〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-14-12 神田NSビル8F

栄養素表示

● 品名 清涼飲料水
● 内容量 360ml×3
● 栄養表示／100g（約80ml）あたり

項目	値
水分	49.9g
エネルギー	198kcal
たんぱく質	0.3g
ナトリウム	12.9mg
灰分	0.6g
カルシウム	15.4mg

原材料表示

野草 ヨモギ、ドクダミ、タンポポ、オオバコ、クコ、クマザサ、ツユクサ、松の葉、オトギリソウ、ハトムギ、カンゾウ、アカザ、アマチャヅル、キダチアロエ、ナンテンの葉、カワラケツメイ、エゾウコギ、イチョウ、カキドオシ、アマドコロ、スギナ、ケツメイシ、ツルナ、桂皮、ハブ茶、アカメガシワ、アケビの実、忍冬、杜仲の葉、ハブソウ、ヤマイモ、ウコン、マタタビ　他
野菜 トマト、きゅうり、キャベツ、ホウレンソウ、パセリ、大根、ブロッコリー、れんこん、人参、玉ねぎ、かぶ、もやし、ごぼう、しいたけ、じゃがいも
果物 りんご、パパイヤ、パイナップル、レモン
その他 塩水湖水低塩化ナトリウム液（塩水湖水ミネラル液）、根こんぶ、貝化石、果糖（蔗糖）、黒糖、オリゴ糖

スポーツ界芸能界でもファスティングが大ブーム！

ダイエットが気になる**美川憲一さん**もファスティングを体験しています。
3日で5kgのダイエットに成功したそうです。
（参考：『ファスティングダイエット』アスキー・コミュニケーションズ刊より）

アントニオ猪木さんはファスティングを定期的に体験しています。
3日間で10kg体重が減ることもあるそうです。ご存じのとおり、いつも元気です。
（参考：『ファスティングダイエット』アスキー・コミュニケーションズ刊より）

お仕事を休めない**小池栄子さん**は、自宅で手軽に断食できるファスティングを体験しました。
「小顔になり腰回りもすっきり。一気に体重が落ちたけど、胸の大きさは変わらなかった」と、笑顔です。
（参考：デイリースポーツ／2002.1/3号より）

NEW

グレート・アントニオ×週刊ファイト！
ボク達のバイブルがTシャツになりました。

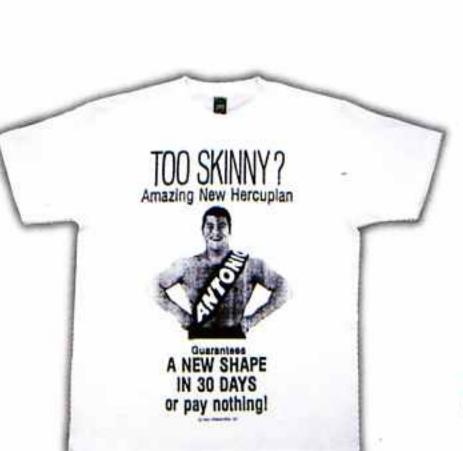
●週刊ファイトTシャツ
（白・黒／サイズ M・L・XL）
¥3,000（税別）

NEW

グレート・アントニオ×サムライTV！
人気コーナー『浅草キッドの海賊男』Tシャツ

●海賊男Tシャツ
（白／サイズ XS・M・L・XL）
¥3,500（税別）

GREAT ANTONIO INOKI SERIES

●グレート・アントニオ猪木Tシャツtype.A
（白／サイズ XS・M・L・XL）　¥4,000（税別）

●グレート・アントニオ猪木Tシャツtype.B
（白／サイズ XS・M・L・XL）　¥4,000（税別）

●グレート・アントニオ猪木Tシャツtype.C
（白／サイズ XS・M・L・XL）　¥4,000（税別）

●グレート・アントニオ猪木Tシャツtype.D
（白／サイズ XS・M・L・XL）　¥4,000（税別）

ご注文方法

『グレート・アントニオ』&『ヤマダ元気』通販専用NAVIダイヤル

☎ **0570-007800** ※携帯電話からは掛かりません。

☎ **03-3295-4450** ※携帯電話でも掛かります。

【受付曜日・時間】月曜日～土曜日 AM10:00～PM6:00

グレート・アントニオ
http://www.great-antonio.jp

ヤマダ元気
http://www.yamadagenki.com

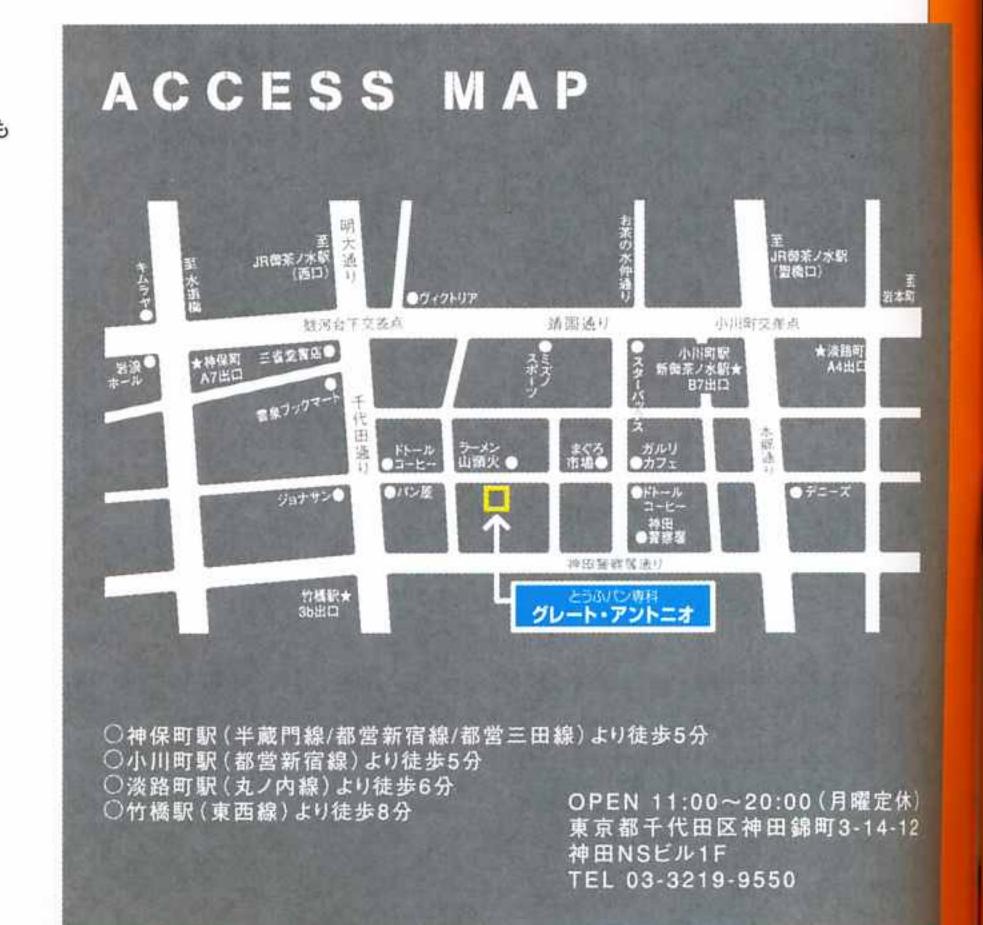
【24時間受付】

代金引換でのお受け取りとなります。
◎商品代金のほかに送料約700円（ゆうパック）、代引手数料約250円（いずれも地域によって異なります）がかかります。
◎お届けはご注文をいただいてから、5日前後で（株）ジャンボ（大阪）より郵送いたします。（ご注文が集中した場合は、お時間をいただく事があります。ご了承ください）

◎代金、送料の先払いはお受けできません。
◎サイズ交換等の返品・交換はお受けできません。不良品等の理由による返品・交換の場合は、商品到着後10日以内にお電話にてご連絡ください。（期日を過ぎた場合は、受け付け致しかねます）
◎『グレート・アントニオ』店頭および『SRS・DX』編集部では、通販のご注文は受け付けておりません。

ACCESS MAP

○神保町駅（半蔵門線／都営新宿線／都営三田線）より徒歩5分
○小川町駅（都営新宿線）より徒歩5分
○淡路町駅（丸ノ内線）より徒歩6分
○竹橋駅（東西線）より徒歩8分

OPEN 11:00～20:00（月曜定休）
東京都千代田区神田錦町3-14-12
神田NSビル1F
TEL 03-3219-9550

【吉田道場 提供】

人気の吉田グッズを計16名様に！

326男前Tシャツ
(白/サイズ S・M・L・XL)

FRONT BACK

2名様

吉田道場ステッカー

A B

C D E F G

各2名様

※吉田選手の友人、イラストライターの326氏のイラストの入った吉田Tシャツは渋谷界隈でかなり売れているらしいぞ！ 定価4,600円（税別）。ステッカーは1枚600円（税別）。詳しくは吉田道場オフィシャルHPをご覧ください。http://www.hidehiko.jp/

【BAEMS 提供】

格闘技界のイケメンを着ろっ！

緒形健一Tシャツ
(白/サイズ M・L)

小野寺力Tシャツ
(黒/サイズM・L)

1名様　1名様

※BAEMS渋谷店「BE」では限定カラー小野寺/ブラウン、緒形/ベージュも販売中。定価4,800円（税別）

前号のターザンとの対談が大反響！

【朝日 昇&orso 提供】

朝日昇サイン入りTシャツ
(グレイ/サイズL)

1名様

FRONT BACK

※朝日選手の個性的なイラストは実に味があるよね。自筆サイン入りだからぜひ家宝に！

【本誌編集部 提供】

大好評のチェキシリーズ、今回はモギュ！

茂木康子サイン入りチェキ

3名様

※衣（ギ）を脱いだところもカッコイイ！

【新紀元社 提供】

CIMAとターザンの対談も掲載！

『クレイジー・サマー 往生際日記5』

3名様

※格闘技界が激しく動いていた昨年の夏。ターザンはどのように生きていたのか？ 今年の夏を熱く生きる（狂う）ためにも、この日記は必読！ 定価1,600円（税別）。全国書店にて絶賛発売中

DX PRESENT 読者プレゼント

今年の夏はPRIDE Tシャツでキマリッ！

【DSE 提供】

PRIDE男塾ドン・フライ塾長Tシャツ
(白/サイズ S・M・L・XL)

1名様

FRONT BACK

©宮下あきら/集英社

PRIDE男塾 高山一号生筆頭Tシャツ
(白/サイズ S・M・L・XL)

1名様

FRONT BACK

©宮下あきら/集英社

1名様

SKAL MASK Tシャツ
(白/サイズ S・M・L・XL)

1名様

SAKU SKAL MASK Tシャツ
(白/サイズ S・M・L・XL)

SILVA
I am champion
Tシャツ
(白/サイズ S・M・L・XL)

1名様

ランデルマンTシャツ
(白/サイズ S・M・L・XL)

1名様

新日本・中西、K-1参戦!! こりゃ面白いことになってきたぞ

【ブッカーK 提供】

ADCC
ブラジル大会記念Tシャツ

ファン垂涎、ブッカーKのADCC土産

FRONT BACK

1名様

パンフレット

3名様

※前号で大会レポートを掲載したアブダビコンバット ブラジル大会。日本勢は残念な結果に終わっちゃったけど、ブッカーKから嬉しいお土産ゲット！ 超貴重だぞ！

暴走戦士 族 Tシャツ
(白/サイズ S・M・L・XL)

1名様

花くまステッカー

5名様

※『プライド26 REBORN』を記念して作られた新グッズの数々。キミの一番欲しいのは男塾T？ それともシウバT？ ランデルマンTも捨てがたい！ SILVA T、PRIDE男塾Tは4,000円（税別）、その他のTシャツは3,800円（税別）。ステッカーは1,000円（税別）。PRIDEグッズに関するお問い合わせは、ドリームステージエンターテインメント☎03-5464-1531

応募券は忘れずに！

官製ハガキに応募券を貼って、
(1) 郵便番号・ご住所・電話番号
(2) お名前
(3) 年齢・ご職業
(4) 希望プレゼント
(5) 今号で面白かった記事とその理由
(6) 今号で面白くなかった記事とその理由
(7) 本誌に対する意見・感想を書いて、以下までご応募ください！

あて先
〒101-0051
東京都千代田区神田錦町3-14-12 神田NSビル8F
SRS・DX編集部『読者プレゼントDX係96』まで
締め切り……2003年6月26日(木)（当日消印有効）

応募券
SRSDX 読プレ

SPA!DX 6・26 No.96

平成15年1月21日第三種郵便物認可
平成15年6月26日発行（毎月第2・第4木曜日発行） 第5巻・13号・通巻96号
発行人／濱賀主水 編集人／谷川良治 発行・発売／（株）扶桑社
〒105-8070 東京都港区海岸1-15-1 TEL.03-5403-8859（販売）
（株）ローデス 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-14-12 神田NSビル8F
TEL.03-3295-4445（編集） 協力／フジテレビジョン・フジテレビ出版

6・29『K-1 BEAST II』最新情報

定価680円 本体648円

タイピング百裂拳 激打3 北斗の拳

GEKIUCHI THREE

北斗百裂拳、お前はもう打てている！

タイピングマスターソフト
Win & Mac
かな & ローマ字入力
Mac OS X 完全対応

★累計50万本以上のメガヒット『北斗の拳 激打』シリーズの最新作！ ★原哲夫先生による多数のオリジナル原画をフルカラーで使用し、ゲームとしても格段にパワーアップ！ ★「サザンクロス」から「修羅の国」までを完全収録、立ち塞がる敵をうち砕け！ ★「ラオウVSトキ」といった因縁の対決は勿論、「ハート様VSシン」「ファルコVSカイオウ」など原作にはない夢の対決が遂に実現する！ ★北斗柔破斬を極める「ハート様の章」、秘孔実験を楽しめる「アミバの章」など、番外編ストーリーも充実！

標準価格 5,200円（税別） ●お求めはお近くのパソコンショップ各店で！ 商品に関するお問い合せは、TEL.03-3343-6001またはwww.ssitristar.comまで

大好評発売中！

雑誌21584-6/26
T1121584060682
印刷／（株）廣済堂
printed in Japan